

市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事

(馬堀中学校・鴨居中学校)

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	改修工事特記仕様書1	-	A-37	鴨居中学校 配膳室 2・3階平面詳細図	1:50	M-01	馬堀中学校 機器表・器具表・凡例	-
A-02	改修工事特記仕様書2	-	A-38	鴨居中学校 断面図1	1:50	M-02	馬堀中学校 1階平面図・2階平面図	1:300
A-03	改修工事特記仕様書3	-	A-39	鴨居中学校 断面図2	1:50	M-03	馬堀中学校 3階平面図・R階平面図	1:300
A-04	改修工事特記仕様書4	-	A-40	鴨居中学校 1階給食事務・休憩室 展開図	1:50	M-04	馬堀中学校 空調設備 1階荷受室・配膳室平面図	1:50
A-05	改修工事特記仕様書5	-	A-41	鴨居中学校 1階荷受室・配膳室 展開図	1:50	M-05	馬堀中学校 空調設備 2階配膳室平面図	1:50
A-06	改修工事特記仕様書6	-	A-42	鴨居中学校 2・3階配膳室 展開図	1:50	M-06	馬堀中学校 空調設備 3階配膳室平面図	1:50
A-07	馬堀中学校 案内図・配置図	1:600	A-43	鴨居中学校 天井伏図	1:50	M-07	馬堀中学校 空調設備 R階平面図	1:50
A-08	馬堀中学校 工事概要・仕上表	-	A-44	鴨居中学校 建具キープラン、建具表	1:50, 200	M-08	馬堀中学校 衛生設備 1階荷受室・配膳室平面図	1:50
A-09	馬堀中学校 1階平面図・2階平面図	1:300	A-45	鴨居中学校 部分詳細図	1:5, 10, 20	M-09	馬堀中学校 衛生設備 2階配膳室平面図	1:50
A-10	馬堀中学校 3階平面図・R階平面図	1:300	A-46	鴨居中学校 昇降路 平面図・断面図・詳細図	1:10, 30, 50	M-10	馬堀中学校 衛生設備 3階配膳室平面図	1:50
A-11	馬堀中学校 荷卸場所 1階平面詳細図	1:50	A-47	鴨居中学校 既存建物改修 配置図	1:600	M-11	鴨居中学校 機器表・器具表・凡例	-
A-12	馬堀中学校 荷受室・配膳室 1階平面詳細図	1:50	A-48	鴨居中学校 既存建物改修 立面図	1:200	M-12	鴨居中学校 1階平面図	1:300
A-13	馬堀中学校 配膳室・少人数教室 2階平面詳細図	1:50	A-49	鴨居中学校 既存建物改修 建具表、詳細図	1:50	M-13	鴨居中学校 2階平面図	1:300
A-14	馬堀中学校 配膳室・少人数教室 3階平面詳細図	1:50				M-14	鴨居中学校 3階平面図	1:300
A-15	馬堀中学校 断面図1	1:50	K-01	馬堀中学校 仮設計画図1(参考用)	1:300	M-15	鴨居中学校 空調設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図	1:50
A-16	馬堀中学校 断面図2	1:50	K-02	馬堀中学校 仮設計画図2(参考用)	1:600	M-16	鴨居中学校 空調設備 C棟1階荷受室・配膳室平面図	1:50
A-17	馬堀中学校 1階荷卸場所 展開図	1:50	K-03	馬堀中学校 仮設計画図3(参考用)	1:200	M-17	鴨居中学校 空調設備 C棟2・3階配膳室平面図	1:50
A-18	馬堀中学校 1階荷受室・配膳室 展開図	1:50	K-04	鴨居中学校 仮設計画図1(参考用)	1:300	M-18	鴨居中学校 衛生設備 C棟1階理科教室平面図	1:50
A-19	馬堀中学校 2階配膳室・少人数教室 展開図	1:50	K-05	鴨居中学校 仮設計画図2(参考用)	1:600	M-19	鴨居中学校 衛生設備 A棟1階放送室平面図	1:50
A-20	馬堀中学校 3階配膳室・少人数教室 展開図	1:50	K-06	鴨居中学校 仮設計画図3(参考用)	1:200	M-20	鴨居中学校 衛生設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図	1:50
A-21	馬堀中学校 天井伏図	1:100				M-21	鴨居中学校 衛生設備 C棟1階荷受室・配膳室平面図	1:50
A-22	馬堀中学校 建具キープラン、建具表	1:50, 200				M-22	鴨居中学校 衛生設備 C棟2階配膳室平面図	1:50
A-23	馬堀中学校 部分詳細図	1:5, 10, 20	S-01	構造設計標準仕様書	-	M-23	鴨居中学校 衛生設備 C棟3階配膳室平面図	1:50
A-24	馬堀中学校 昇降路 平面図・断面図・詳細図	1:10, 30, 50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	-			
A-25	馬堀中学校 既存建物改修 配置図	1:600	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	-			
A-26	馬堀中学校 既存建物改修 立面図	1:200	S-04	鉄骨構造標準図(1)	-			
A-27	馬堀中学校 既存建物改修 建具表、詳細図	1:50	S-05	鉄骨構造標準図(2)	-			
A-28	鴨居中学校 案内図・配置図	1:600	S-06	あと施工アンカー、無収縮モルタル施工標準図	-			
A-29	鴨居中学校 工事概要・仕上表	-	S-07	馬堀中学校 基礎・1.2階伏図(撤去、増設)	1:50			
A-30	鴨居中学校 1階平面図	1:300	S-08	馬堀中学校 3、R1、R階伏図(撤去、増設)	1:50			
A-31	鴨居中学校 2階平面図	1:300	S-09	馬堀中学校 軸組図(鉄骨部材増設)	1:50			
A-32	鴨居中学校 3階平面図	1:300	S-10	馬堀中学校 床補強詳細図・ビット配筋図・鉄骨詳細図	1:30, 20			
A-33	鴨居中学校 4階平面図	1:300	S-11	鴨居中学校 基礎・1.2階伏図(撤去、増設)	1:50			
A-34	鴨居中学校 渡り廊下 1階平面詳細図	1:50	S-12	鴨居中学校 3、R1、R階伏図(撤去、増設)	1:50			
A-35	鴨居中学校 給食事務・休憩室 1階平面詳細図	1:50	S-13	鴨居中学校 軸組図(鉄骨部材増設)	1:50			
A-36	鴨居中学校 荷受室・配膳室 1階平面詳細図	1:50	S-14	鴨居中学校 床補強詳細図・ビット配筋図・鉄骨詳細図	1:30, 20			


公共建築課長	主査等	担当者
		

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). It contains detailed specifications for construction items like foundation work, drainage, and safety measures.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). It details specifications for roof waterproofing, drainage, and structural reinforcement.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). It covers specifications for exterior waterproofing, insulation, and window treatments.

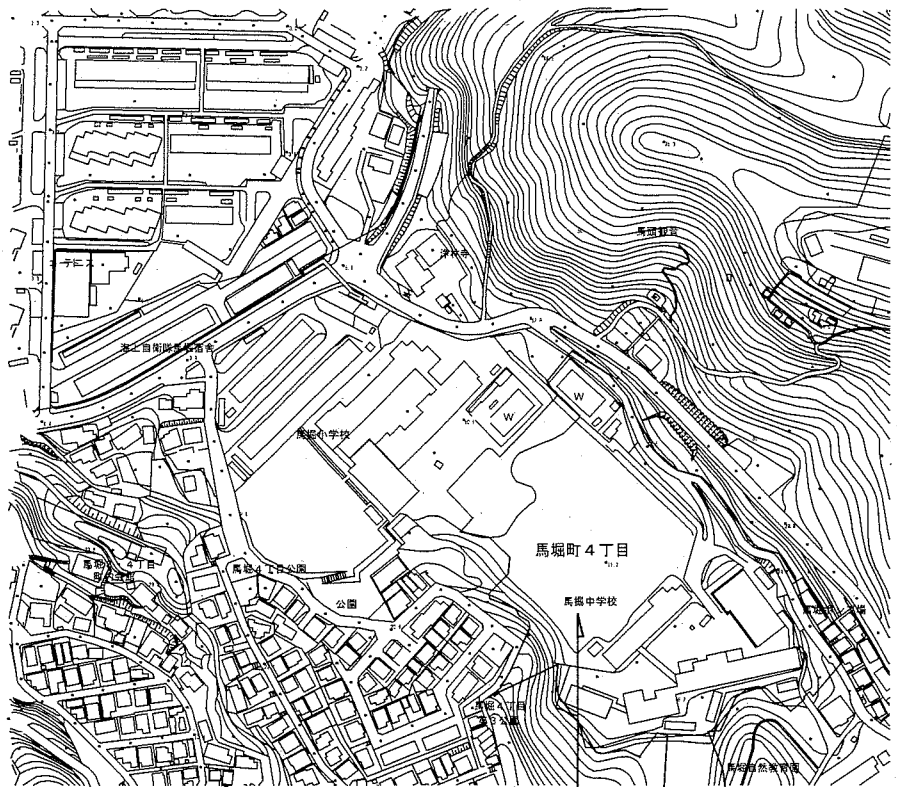
Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). It includes specifications for interior finishing, flooring, and furniture.

Main drawing table with columns for Item (項目), Remarks (特記事項), and various technical specifications for construction materials and methods. It includes detailed tables for material properties, application methods, and performance metrics.

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項							
6章 内装改修工事	① 帯電防止床シート張り	種類： 性能：・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) 厚さ：・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm	6章 内装改修工事	② 材料	13. せっこうボード、その他ボード及び合板張り	7章 内装改修工事	16.4 有機系接着剤によるタイル張り	7章 内装改修工事	① ***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)								
	② 帯電防止床タイル張り	種類： 性能：・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) 寸法厚さ：・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示		13.3 工法	規格名称		種類		記号	厚さ(mm)	タイルの種類：・図示 ・下表による	種類：・A種 ※B種 ・C種						
8.3 工法	③ 視覚障害者用床タイル張り	種類： 性能：・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム表面DN ・せっく器質タイル ・コンクリート 厚さ：・2mm ・15mm ・20mm ・30mm	9.2 材料	③ 工法	木質系せつこう板	・木毛せつこう板 ・木片せつこう板	・HN ・NW ・HF ・NF	・25 ・50	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による 区分	耐薬品性 有 無	色 標準 特注	釉薬 施釉 無釉	備考	② ***塗料塗り	11. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	
	④ 耐動荷重性床シート張り	種類：○ 抗菌 厚さ：○ 2.0mm		④ 材料	せっこうボード製品	○せつこうボード ・シーツンせつこうボード ○強化せつこうボード ・せつこうボード ・化粧せつこうボード (トガ付)	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	○9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ○12.5 ○21.0 ※9.5 ・7 ・9.5 ・12.5 ○9.5 ・12.5	○タイルの役物 使用箇所：・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法：・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う ・行わない タイルの試験張り：・行う ・行わない 壁タイル張り工法：・改良積上張り	② ***塗料塗り	12. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)							
9.3 工法	⑤ 防汚性床シート張り	種類： 厚さ： mm	9.3 工法	⑤ 工法	繊維強化せつこう板	○ケ酸かみ板 (9A72) ○化粧ケ酸かみ板	○0.8FK ・1.0FK	○608 ・10 ○6 ・8 ・10	③ 材料	1. 共通事項	③ 材料	1. 共通事項	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料
	⑥ 防汚性床タイル張り	種類： 寸法厚さ：・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示		⑥ 工法	⑥ 工法	火山性ガラス質複層板 (VSボード)	・RS ・VS ・DV ・DO ・DC		③ 材料	2. 下地調整	③ 材料	2. 下地調整	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料	③ 材料
10.3 工法	⑦ ニードルパンチカーベット	厚さ：・4mm ・7mm	10.3 工法	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料	⑦ 材料
	⑧ タイルカーベット	種類： 厚さ：・4mm ・7mm		⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料	⑧ 材料
12.2 材料	⑨ 下敷き材	種類： 厚さ：・4mm ・7mm	12.2 材料	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法	⑨ 工法
	⑩ タイルカーベットの敷き方 (平場)	種類： 厚さ：・4mm ・7mm		⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法	⑩ 工法

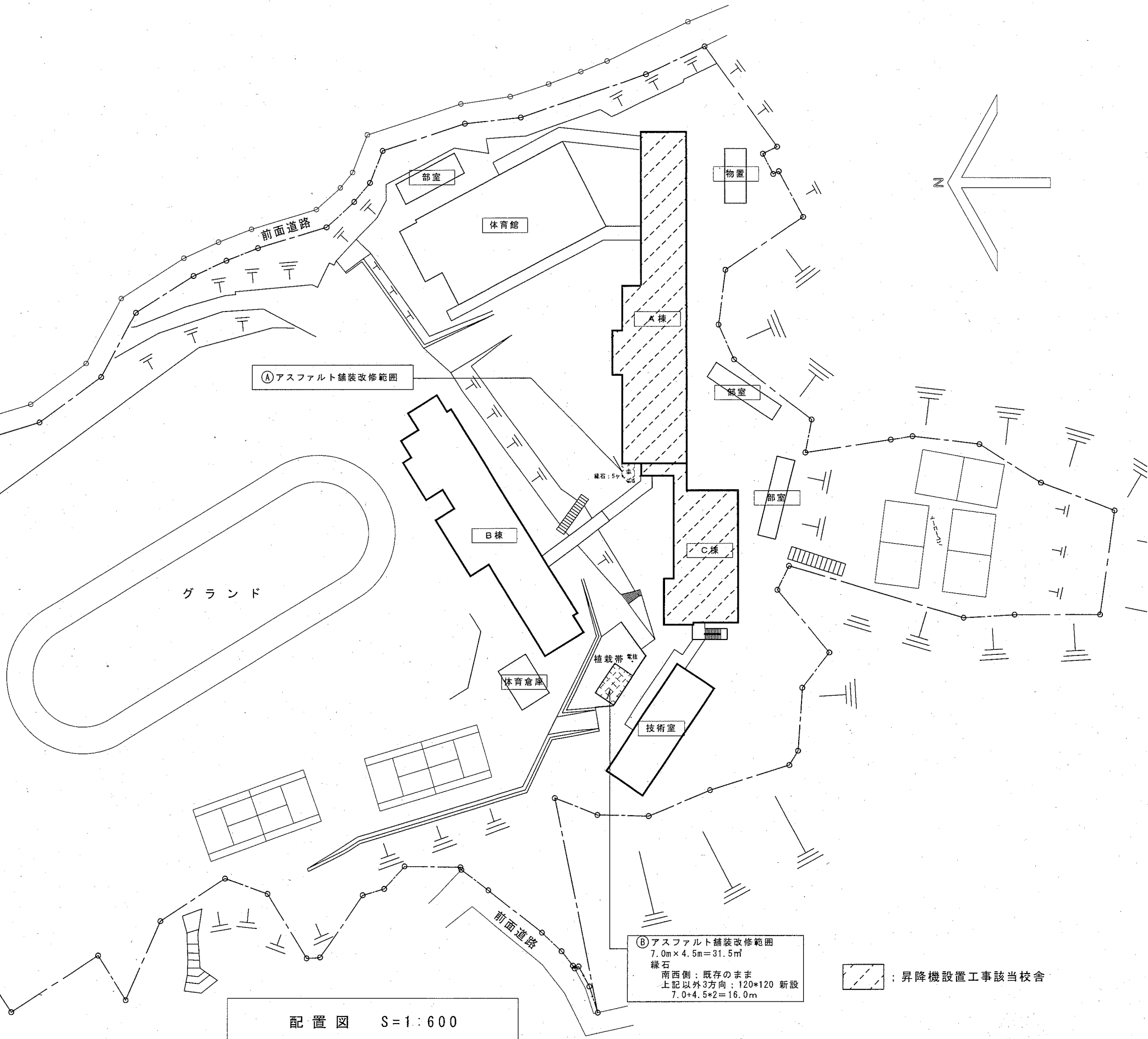
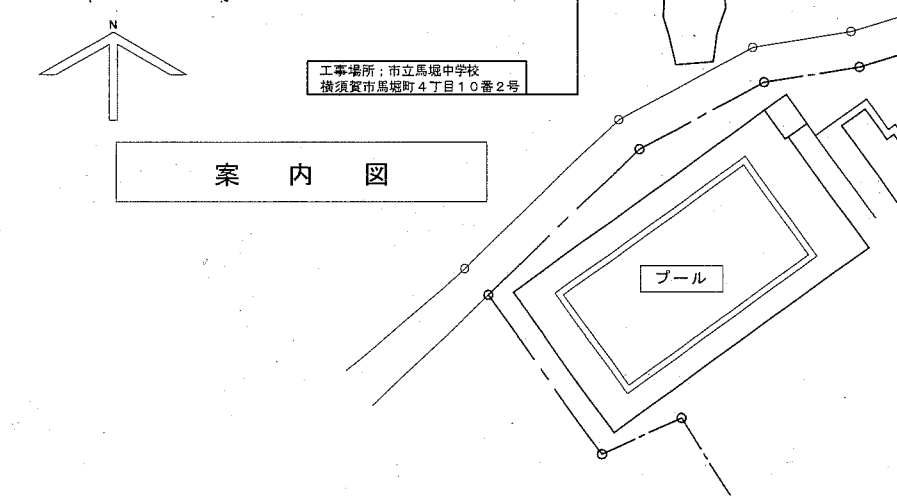
章	項目	特記事項
9章 環境配慮改修工事	3.4 工法	風圧力に対応した工法：・製造所仕様による・図示 下地調整：・製造所仕様による・図示 断熱材の施工方法：・製造所仕様による・図示 外装材の施工：・製造所仕様による・図示 外装材の取付：・あと施工アホカ・接着剤・図示 通気層：・有り(厚み：mm)・無し
	4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ：・図示 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分：※U3-1・U3-2
	5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事 種類 種別 厚さ(mm) ・ビーズ法 [※] リソレンフォーム ・ 25 ・押出法 [※] リソレンフォーム ・3種：土間コンクリート下地 ・25・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・フェノールフォーム
	5.3 現場吹付け発砲断熱材	接着剤のMM7 [※] 放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 材料：・吹付け硬質ウレタンフォーム 種類：・A種1 難燃材：・1級・2級・3級 吹付け厚さ(mm)：・図示・25・30・20
	5.4 断熱材後張り工法	種類 種別 厚さ(mm) ・ビーズ法 [※] リソレンフォーム ・ 25 ・押出法 [※] リソレンフォーム ・3種：土間コンクリート下地 ・25・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・フェノールフォーム
	6.2 材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類：・コウライ [※] ・シバ [※] 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数：・図示 縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示 建設省告示第1458号に対応した工法： 灌水装置の設置/種類：・設置しない・設置する【種類：・図示】 既存保護層等の撤去：・撤去しない・撤去する 新植芝、地被類の枯保証期間：・1年・半年
	6.3 工法	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去：・撤去しない・撤去する【範囲等：○図示・改修部分全面】 既存舗装の再利用：・再利用しない ・再利用する【範囲等：・図示・改修部分全面】
	6.4 ***の枯補償	凍上抑制層の適用：○適用しない・適用する 厚さ：・車道部 mm・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用：・適用しない・適用する 厚さ：車道部【・150mm・mm】歩道部【・50mm・mm】 路床安定処理の適用：・適用しない・適用する 路床安定処理の方法：・添加材料による処理・図示 処理内容：【厚さ：・300mm・mm】 【目標CBR：・5以上・mm】 盛土の種類：・A種・B種・C種・D種 フィルター層の材料：・砂・図示 砂の品質：・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料：・普通 [※] ポンドセメント・高炉セメントB種 ・フラッシュセメント・生石灰【・特号・1号】 ・消石灰【・特号・1号】 路床土のCBR試験：○行わない・行う【・乱した土・乱さない土】 路床締固め試験：・行う○行わない 車道部の路盤の厚さ：○図示・150mm 歩道部の路盤の厚さ：・図示・100mm 路盤の材料：※砕石【※ケラックラン・粒度調整砕石】 ※再生材【※ケラックラン・※ケラックラン鉄鋼 [※] ・粒度調整砕石】
	7.2 既存舗装の撤去及び再利用	舗装の厚さ(mm)：車道部【○50mm・mm】歩道部【・30mm・mm】 舗装の平坦性：※著しい不陸のない程度○水の滞留がない平滑性 アスファルトの種類(車道部)：・図示※ [※] 改質アスファルトI型 ・ [※] 改質アスファルトII型○再生密粒 アスファルトの種類(歩道部)：・図示※ [※] アスファルト アスファルトの抽出試験：・行う○行わない
	7.3 路床	
7.4 路盤		

工事区分表					
No	工事内容	建築	電気 (別途工事)	機械	備考
1	昇降機計画通知申請手続き		○		
2	仮設足場(脚立を除く)	○			
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付		○		
9	ステンレス製(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水目皿廻りシーリング	○			
15	排水溝・蓋設置及び配管敷設工事			○	
16	側溝・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設備工事)	○			
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
20	給気口及び室内レジスター			○	
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン			○	
23	空調屋外機・屋内機廻り配線(冷媒管共巻き)			○	
24	空調機器一次側電源供給		○		
25	昇降路の築造工事及び仕上げ工事	○			
26	昇降路ピット防水	○			
27	昇降路頂部機器吊用ビームの設置工事	○			
28	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
29	出入口三方枠、敷居、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
30	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			



案内図

工事場所：市立馬場中学校
横須賀市馬場町4丁目10番2号



配置図 S=1:600

A アスファルト舗装 S=1/20	
<p>改修前</p> <p>【土部分】 掘削範囲 2.700 100 100 100 掘削範囲 1.600 1.0m</p> <p>【コンクリート部分】 掘削範囲 100 100 掘削範囲 1.0m</p> <p>コンクリート撤去: 1.0m x H0.1m = 0.1m³ コンクリート撤去: 0.6m x 5ヶ = 3.0m</p>	<p>改修後</p> <p>A-5-15 アスファルト舗装 アスファルト混合物 (再生密粒) プライムコート (PK-3) 再生砕石 (RC-40)</p> <p>アスファルト舗装面積計算: 同左 9.4m²</p>
B アスファルト舗装 S=1/20	
<p>改修前</p> <p>掘削範囲 平均値 400</p> <p>※緑石 既存のまま</p>	<p>改修後</p> <p>A-5-15 アスファルト舗装 アスファルト混合物 (再生密粒) プライムコート (PK-3) 再生砕石 (RC-40)</p> <p>埋戻し 70 100 100 掘削範囲 220 ※コンクリート緑石 (120*120) 新設</p> <p>アスファルト舗装面積計算: 7.0m x 4.5m = 31.5m²</p>

B アスファルト舗装改修範囲
7.0m x 4.5m = 31.5m²
緑石
南西側: 既存のまま
上記以外3方向: 120*120 新設
7.0*4.5*2 = 16.0m

昇降機設置工事該当校舎

建築概要

○昇降機設置に伴う建築工事

- ・1階：特別支援教室を荷受室、配膳室へと改修
昇降口を荷卸場所へと改修
- ・2階：生徒会室を配膳室・少人数教室へと改修
- ・3階：資材庫を配膳室・少人数教室へと改修

・その他（既存アルミ建具ガラス交換及び既存灯油庫改修、物置場撤去）

○機械設備工事
○電気設備工事（別途工事）

外部仕上表

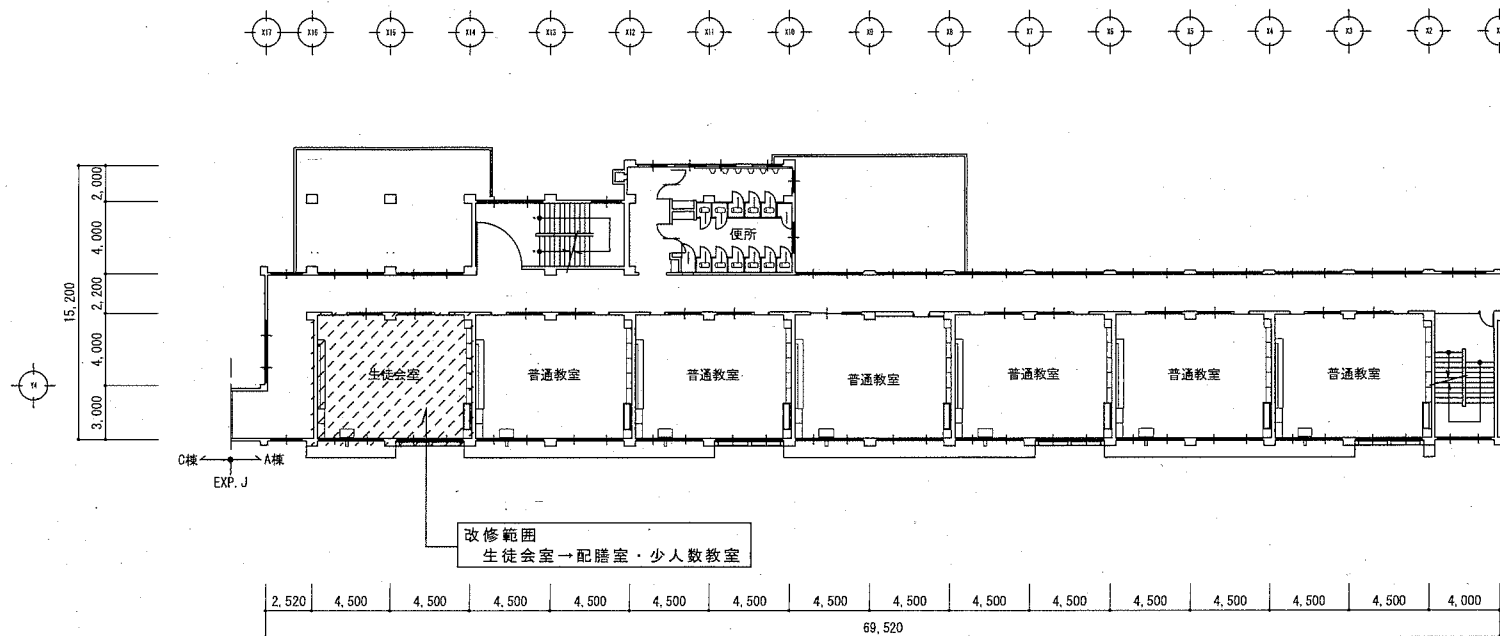
	既存	改修	備考
外壁	モルタル毛引き、複層塗材吹付	外壁用塗膜防水材塗	
外中木	モルタル金縷		
外構 プラットホーム	滑止め段鼻タイル (撤去)	コンクリート金縷仕上 (水勾配) 立上:打放コンクリート種	溶融亜鉛めっき製L-50×50×67mm

注記

- ・外壁塗装材塗：外壁用塗膜防水材塗 (ローさざ波模様 シリコン仕上)
- 下地調整：C-1 (新規モルタル面・既存シリコン面)
- ・EP-G：つや有合成樹脂エポキシ樹脂付塗料
- 木部・新規：工程A種 下地調整R種 塗替：工程B種 下地調整R種
- モルタル面・せつこうボード面・新規：工程B種 下地調整R種 塗替：工程B種 下地調整R種
- ・EP：合成樹脂エポキシ樹脂付塗料
- せつこうボード面・新規：工程B種 下地調整R種 塗替：工程B種 下地調整R種
- ・荷卸場所・配膳室・少人数教室：抗菌、耐動荷重性床タイルt=2.0
- ・下地調整：モルタル面・シリコン面
- ・捨てコン：呼び強度S18、床スラブ・土間スラブ：F21 S18、プラットホーム：呼び強度21 S18 (別紙参照)
- ・塗膜防水材：ケイ酸質系塗布防水 JASS8 M-301規格適合品 C-UP工法
- ・複合フローリングt15：表層材t=3.0、塗装品、クッション付き ・木製中木：ワラ材 ・木製縦線・木製フローリングタイル：SP材

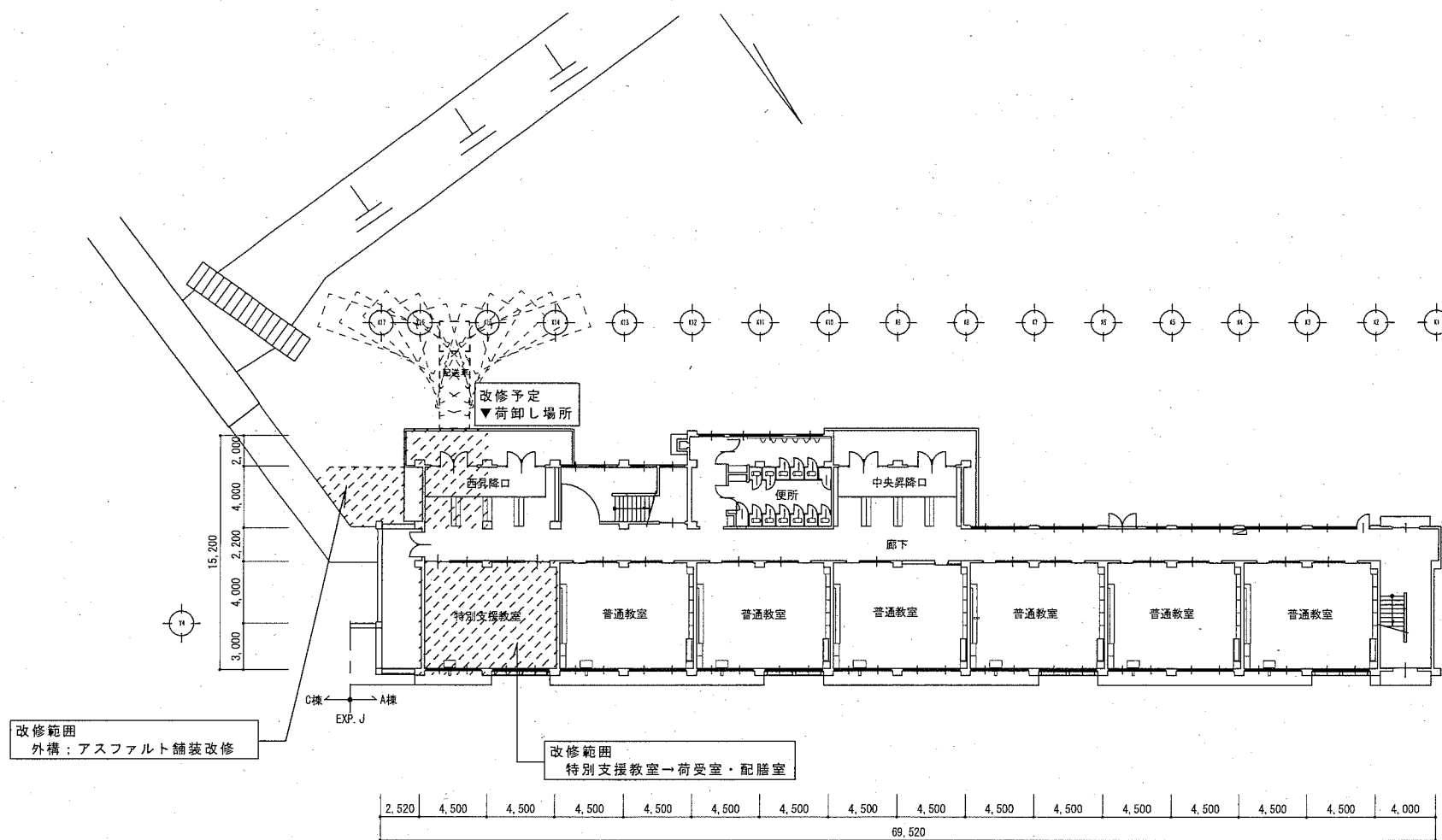
内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	高さ	備考
1階	既存 昇降口	コンクリート (既存のまま) 人工石研出しt=15 (モルタル下地共) (一部撤去)	モルタル金縷 VP H=100 (一部撤去)	腰壁：モルタル金縷 VP (一部撤去) 壁：アクリル塗、 (一部撤去)	木下地 有孔ワラ材t=4 OP (撤去) LGS下地 化粧石膏ボードt=9.5 (撤去)	2500	撤去：7mm製ワック、滑止め段鼻タイル、木製下駄箱、SUS見切り 移設：木製下駄箱、スチール製掃除機
	改修 荷卸場所	モルタルt=28下地又は コンクリート金縷下地の上 ビニル床シートt=2.0 (新設)	モルタル塗りの上 EP-G塗替 (一部新設) EP-G塗替 (一部新設)	EP-G塗替 (一部新設) モルタル塗りの上 EP-G (一部新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	2500	新設：7mm製ワック、SUS製見切り押え金物W25
	既存 特別支援教室	コンクリート下地 (既存のまま) フローリングt=15 (撤去) 土間スラブt=120 (コンクリート下地共) (一部撤去)	木製巾木t=24 OP H=120 (撤去)	腰壁：モルタル金縷 VP (一部撤去) 壁：アクリル塗、EP (一部撤去)	木下地 (撤去) うずしおボードアクリル含有成形板t=9 (撤去) 木毛板t=24 WP (一部撤去)	2930	撤去：7mm製ワック、カーテンレール、塩ビ製廻線、木製(スチール)カーテンボックス、掲示板(木下地共)、木製棚、木製流し台、洗濯機パン置場
	改修 荷受室、配膳室	モルタルt=15程度 (新設) ビニル床シートt=2.0 (新設) 土間スラブ (モルタルt=15下地共) (一部新設)	ワック合板t=12(1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1下地の上 ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 壁-1・2の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、塩ビ製廻線、木製(スチール)カーテンボックス、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧)、スチールキャップ、室名札 7mm製吊カーテンレール、SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付)、PS壁点検口200角(7mm製縦線付)、天井点検口600角(7mm製縦線付)
2階	既存 生徒会室	木下地 (撤去) フローリングt=18 (撤去) 床スラブt=120 (一部撤去)	木製巾木t=24 OP H=120 (撤去)	モルタル金縷 VP (一部撤去) アクリル塗t=9.5の上 アクリル塗 (一部撤去)	木毛板t=24 WP (一部撤去)	3300	撤去：木製・7mm製建具、木製間仕切壁、木製棚、木板、天井吊スクリーン、カーテンレール 撤去：PS7mm製、木製流し台、教壇、掲示板(木下地共) 黒板、木製掃除用具入、固定木製棚 取外し：カーテンレール、FF暖房機
	改修 配膳室	鋼製床下地 ワック合板(1類)t=12+12 (新設) モルタルt=28下地 (新設) ビニル床シートt=2.0 (新設) 床スラブt=120 (一部新設)	ワック合板t=12(1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1下地の上 ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 壁-1・2・3の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、塩ビ製廻線、木製(スチール)カーテンボックス、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧)、スチールキャップ、室名札 SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付)、天井点検口600角(7mm製縦線付) 復旧：床スラブ 改修：7mm製ワック
	改修 少人数教室	鋼製床下地 ワック合板(1類)t=12 複合フローリングボードt=15 (新設) モルタルt=15下地 複合フローリングボードt=15 (一部新設) ※複合フローリングボード：表層材t=3.0 塗装品クッション付	木製(ワック)巾木t=10 EP-G H=120 (新設) モルタル塗りの上木製(ワック)t=10 H=120 EP-G(新設)	壁-2・3の上 EP-G (新設) EP-G塗り(既存塗面) (一部新設) モルタル塗りの上 EP-G (一部新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	3000	新設：7mm製建具、UDスライダボード白板W3600×H1200、PS点検口、室名札 再取付：カーテンレール
3階	既存 資材室	木下地 フローリングt=18 (撤去) 床スラブt=120 (一部撤去)	木製巾木t=24 OP H=120 (撤去)	モルタル金縷 VP (一部撤去) アクリル塗t=9.5の上 アクリル塗 (一部撤去)	木下地 (撤去) ワック合板t=4 OP (撤去)	3020	撤去：木製建具、木製間仕切壁、木製棚、木板、天井吊スクリーン、カーテンレール、塩ビ製廻線、 撤去：木製教壇、黒板、掲示板、木製掃除用具入、固定木製棚、木製流し台、掲示板、PS7mm製
	改修 配膳室	鋼製床下地 ワック合板(1類)t=12+12 (新設) モルタルt=28下地 (新設) ビニル床シートt=2.0 (新設)	ワック合板t=12(1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1下地の上 ケイ酸カルシウム板t=8の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6(新設) 壁-1・2・3の上化粧ケイ酸カルシウム板t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、塩ビ製廻線、木製(スチール)カーテンボックス、ライニング、ライニング 甲板(片面小口化粧)、スチールキャップ、室名札 SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付) 復旧：床スラブ 改修：7mm製ワック
	改修 少人数教室	鋼製床下地 ワック合板(1類)t=12 複合フローリングボードt=15 (新設) モルタルt=15下地 複合フローリングボードt=15 (新設) ※複合フローリングボード：表層材t=3.0 塗装品クッション付	木製(ワック)巾木t=10 EP-G H=120 (新設) モルタル塗りの上木製(ワック)t=10 H=120 EP-G (一部新設)	壁-2・3の上 EP-G (新設) EP-G塗り(木部モルタル面) (一部新設) モルタル塗りの上 EP-G (一部新設)	LGS19形@225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏ボードt=9.5 (新設)	3000	新設：7mm製建具、UDスライダボード白板W3600×H1200、SUS製カーテンレール、PS点検口、室名札
各階	既存 廊下	モルタルt=28下地 (一部撤去) ビニル床シートt=2.5 (コイントイル) (一部撤去)	モルタル金縷 VP H=100 (一部撤去)	腰壁：モルタル金縷 VP (一部撤去) アクリル塗 (一部撤去)	木下地 (一部撤去) ワック合板t=4 OP (一部撤去)	2700	
	改修 廊下	既存モルタル面下地調整 又は モルタルt=28下地 (一部新設) ビニル床シートt=2.5 (コイントイル) (一部新設)	一部モルタル塗りの上EP-G (一部新設) 壁-2'の上 ビニル巾木H=100 (新設)	モルタル塗りの上 EP-G (一部新設) 壁-2'の上 EP-G (一部新設)	LGS19形@300又は@225 (インサート共) 下地(一部新設) 1・2階：ワック合板t=5.5 EP-G (一部新設) 3階：化粧石膏ボードt=9.5 (一部新設)	2700	



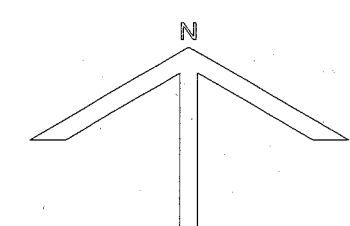
2階床面積 ; 1,076.00m²

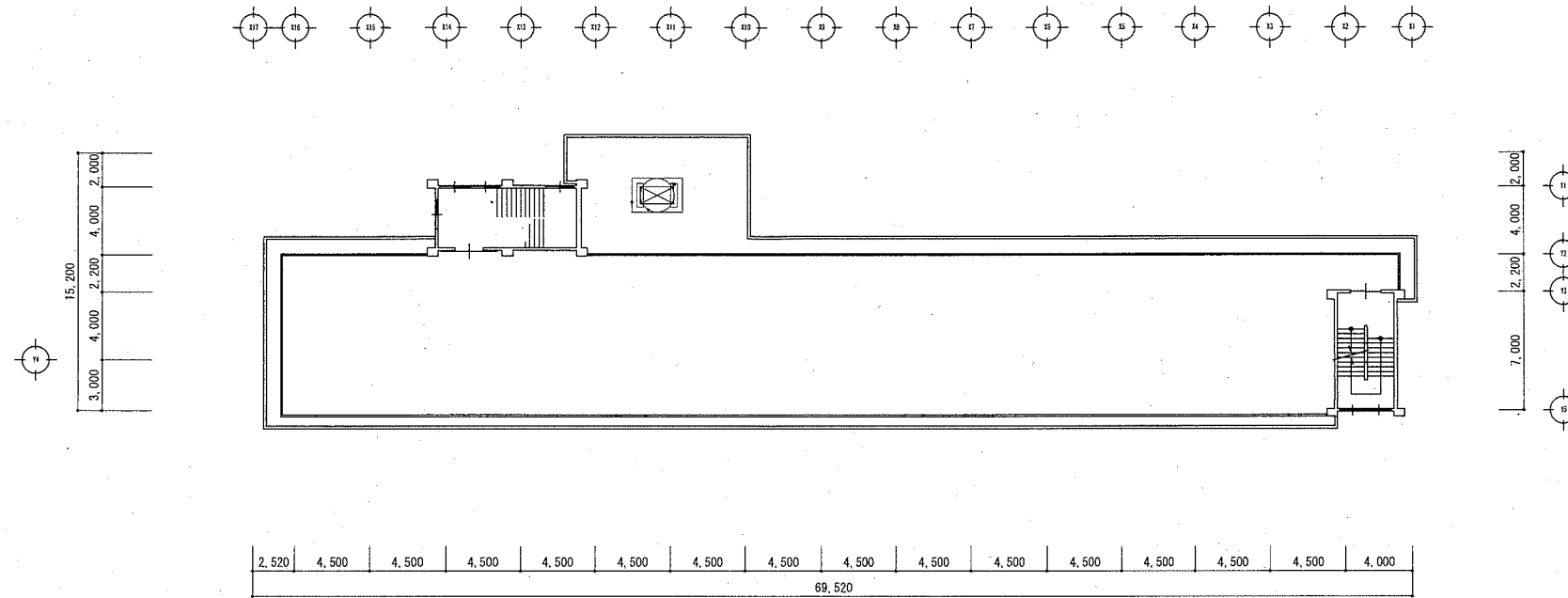
2階平面図



1階床面積 ; 1,164.00m²

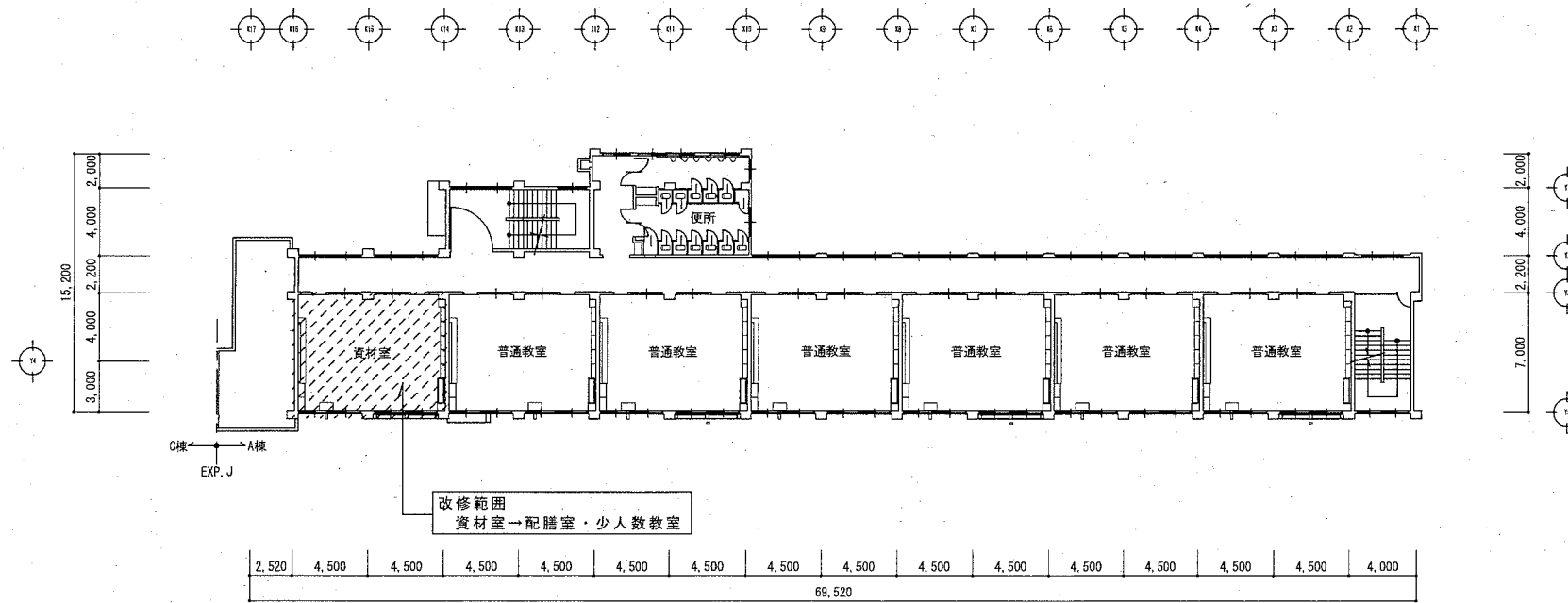
1階平面図





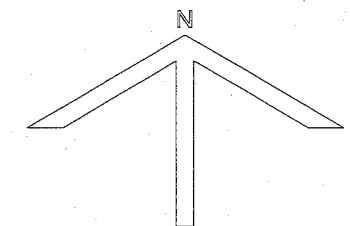
PH階床面積 ; 87.00㎡

R 階 平 面 図

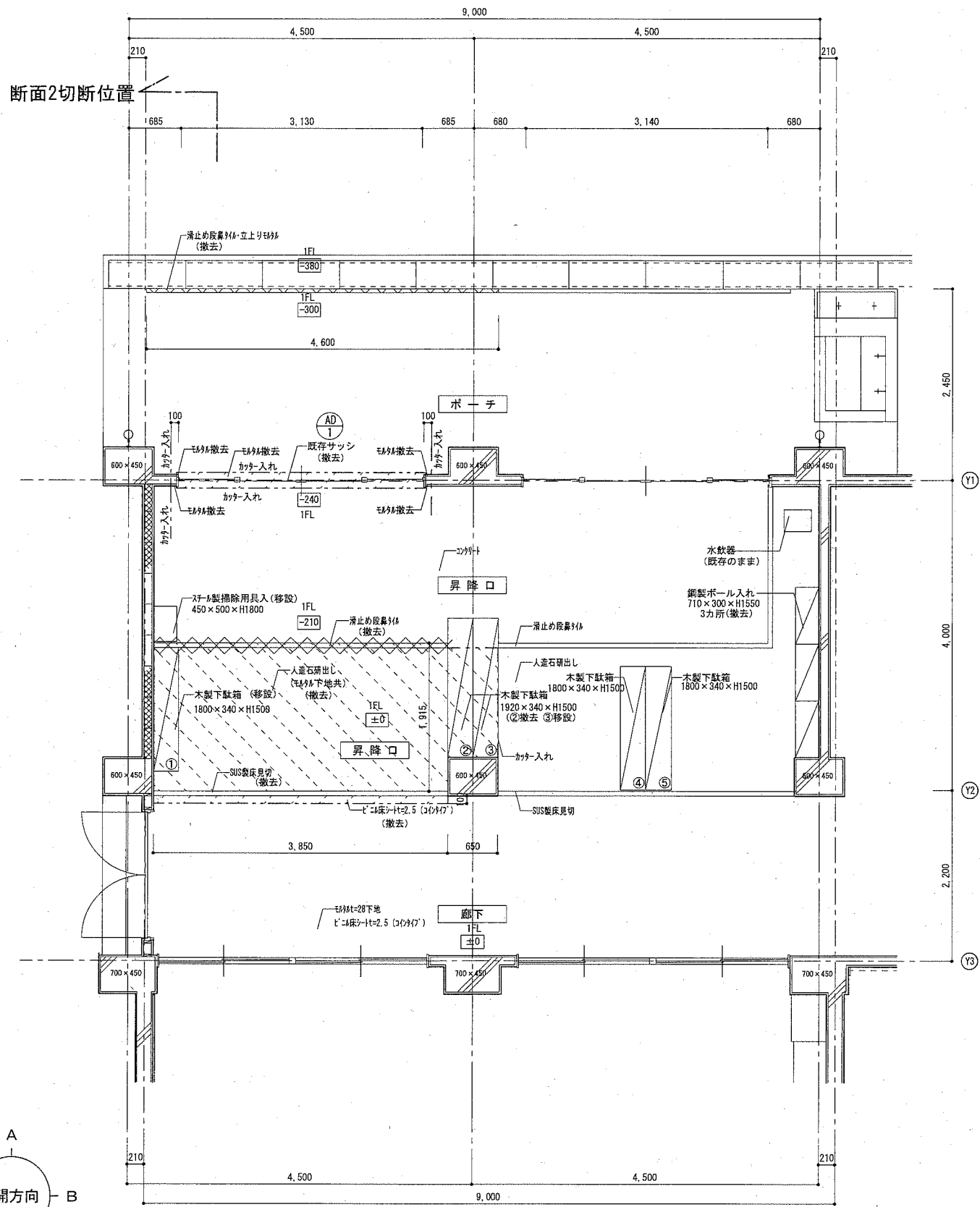


3階床面積 ; 1,045.00㎡

3 階 平 面 図

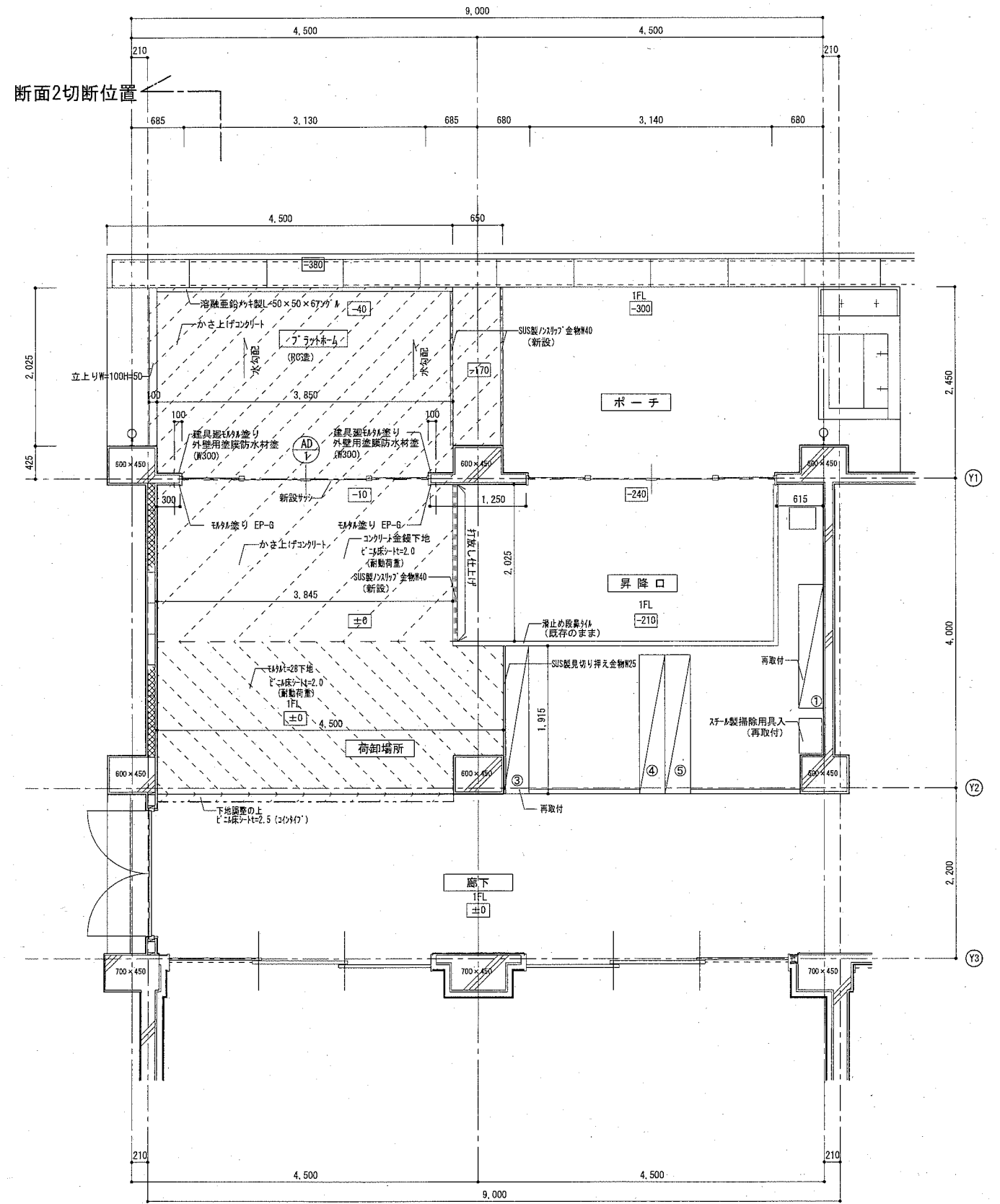


公共建築課長 桑島	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和 2年 2月	設計名称 NAME OF PROJECT 市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (馬堀中学校)	図面名称 ITEM OF DRAWING 3階平面図・R階平面図	縮尺 SCALE 1 : 300	A-10
--------------	-----	-----	----------------------------------	---------------------------------------------------------------	----------------------------------------	------------------------	------



1階平面詳細図 (改修前・昇降口)

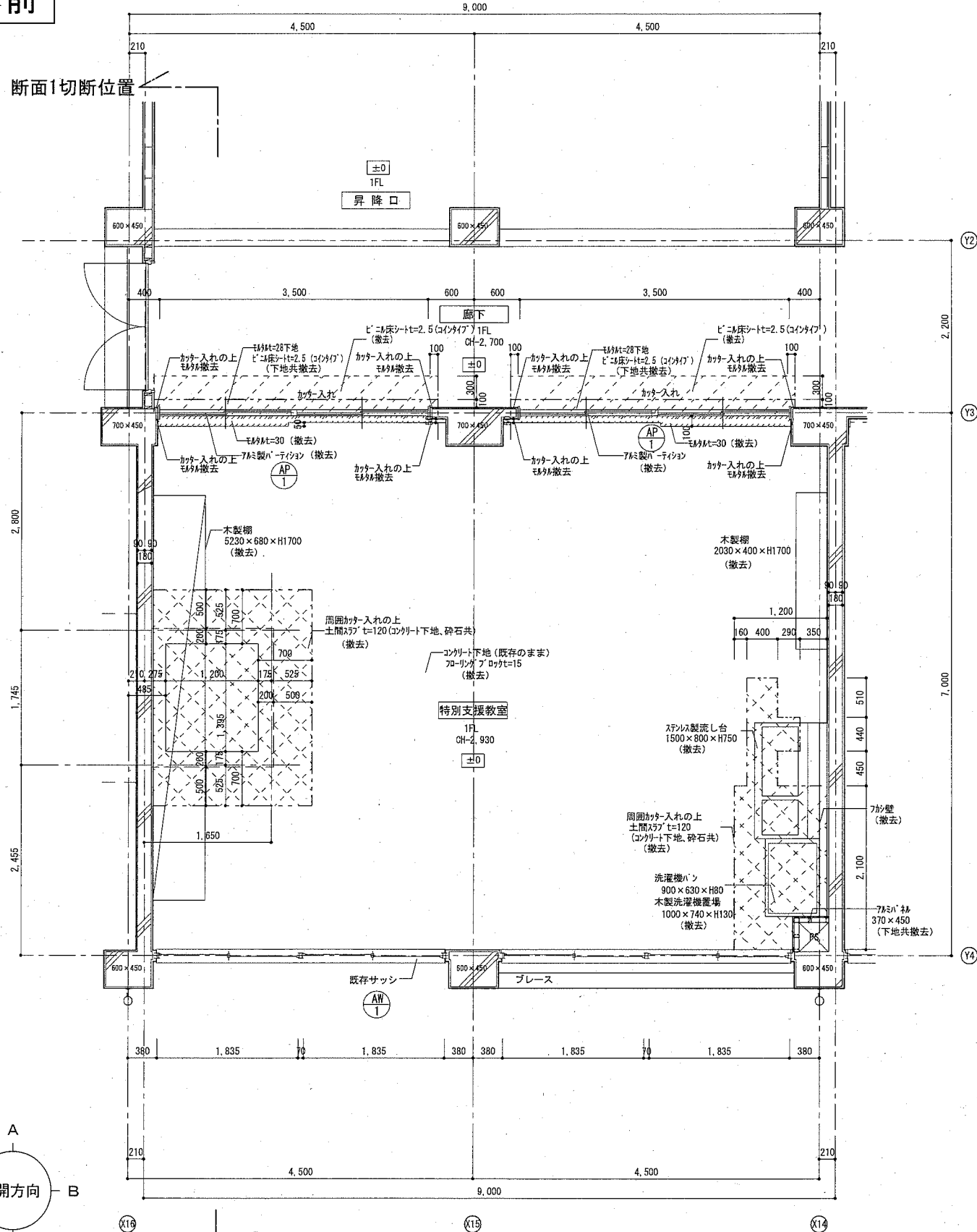
	廊下	昇降口
床	ビニル床シート=2.5 (一部撤去)	人造石研出し=15 (撤去)
巾木	モルタル金縁 VP H=100 (既存のまま)	モルタル金縁 (一部撤去)
壁	モルタル金縁 VP (既存のまま)	モルタル金縁VP (一部撤去)
	ガラス塗 (既存のまま)	ガラス塗 (一部撤去)
天井	木下地	LGS下地化粧石膏板=1' t=9.5 (一部撤去)
	ラワン=1t=4 OP (既存のまま)	木下地有孔ラワン=1t=4 OP (一部撤去)



1階平面詳細図 (改修後・昇降口)

	廊下	荷卸場所
床	下地調整の上 ビニル床シート=2.5 (一部撤去)	モルタル=28下地又は コンクリート金縁下地 ビニル床シート=2.5 (一部撤去)
巾木	モルタル金縁 VP H=100 (既存のまま)	モルタルの上 EP-G EP-G塗替 (一部新設)
壁	モルタル金縁 VP (既存のまま)	EP-G塗替 (一部新設)
	ガラス塗 (既存のまま)	モルタルの上 EP-G (一部新設)
天井	LGS19形@225 (イナト共)下地	LGS19形@225 (イナト共)下地
	ラワン=1t=5.5 EP-G 塩ビ継ぎ (一部撤去)	化粧石膏板=1' t=9.5 (新設)

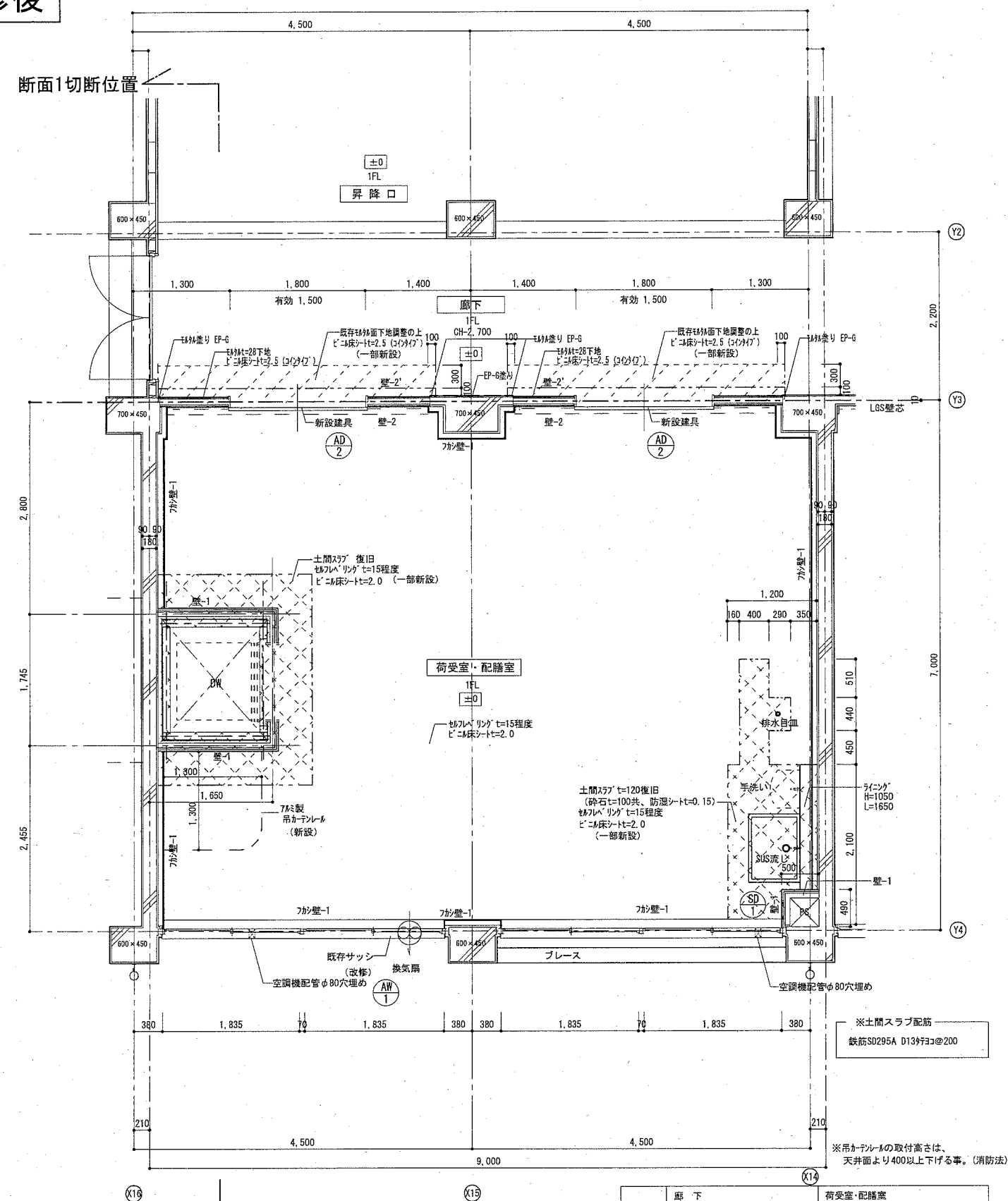
改修前



	廊下	特別支援教室
床	ビニルシート撤去 (一部撤去)	土間スラブ=120 (コンクリート下地、砕石共) (一部撤去) フローリング=15 (撤去) モザイク (撤去)
巾木	モザイク VP H=100 (一部撤去)	木製巾木 t=24 DP H=120 (撤去)
壁	モザイク VP (一部撤去) ガラス窓 (一部撤去)	モザイク VP (一部撤去) ガラス窓 EP-G (一部撤去)
天井	木下地 (一部撤去) 77mm t=4 OP (一部撤去)	木下地ラフ仕上げ (撤去) 77mm t=9 成形板 (撤去) 細目木毛板 t=24 WP (一部撤去)

1階平面詳細図 (改修前・特別支援教室)

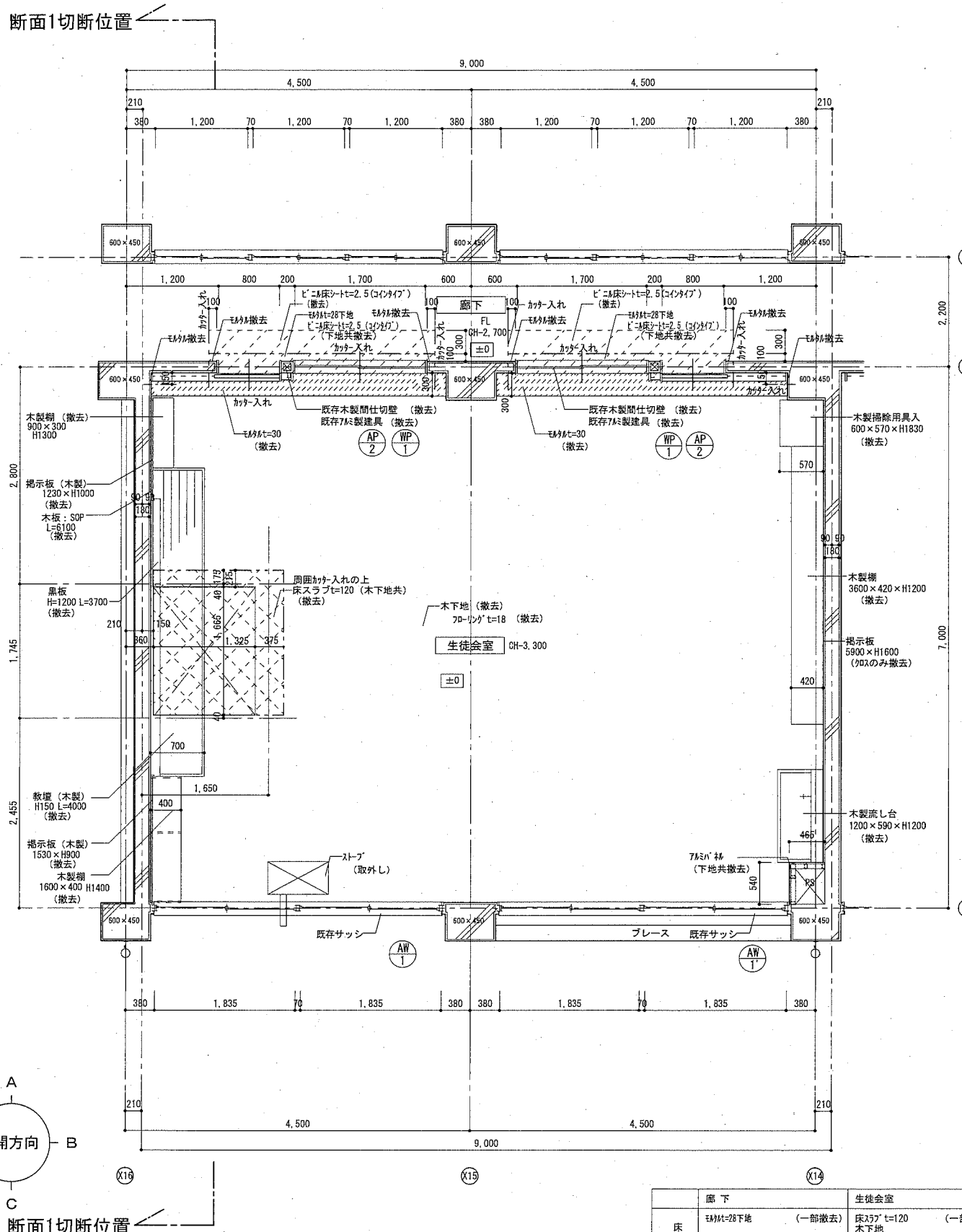
改修後



	廊下	荷受室・配膳室
床	ビニルシート撤去 (一部撤去) 既存ビニルシート撤去の上 ビニルシート=2.5 (コンクリート下地撤去) (一部撤去)	土間スラブ=120 (一部撤去) モザイク VP H=100 (一部撤去) ビニルシート=2.0 (新設)
巾木	モザイク VP H=100 (一部撤去) 壁-2の上 t=100 (新設)	ビニル巾木 H=300 (新設)
壁	既存面 EP-G (一部撤去) モザイクの上 EP-G (一部撤去) 壁-2の上 EP-G (一部撤去)	77mm t=15 (一部撤去) モザイクの上 t=15 (一部撤去) 壁-1の上 t=15 (一部撤去) 壁-1の上 t=15 (一部撤去) 壁-1の上 t=15 (一部撤去)
天井	LGS下地 (一部撤去) 77mm t=5.5 EP-G 撤去 (一部撤去)	LGS19形225 (インサート) 下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

1階平面詳細図 (改修後・荷受室・配膳室)

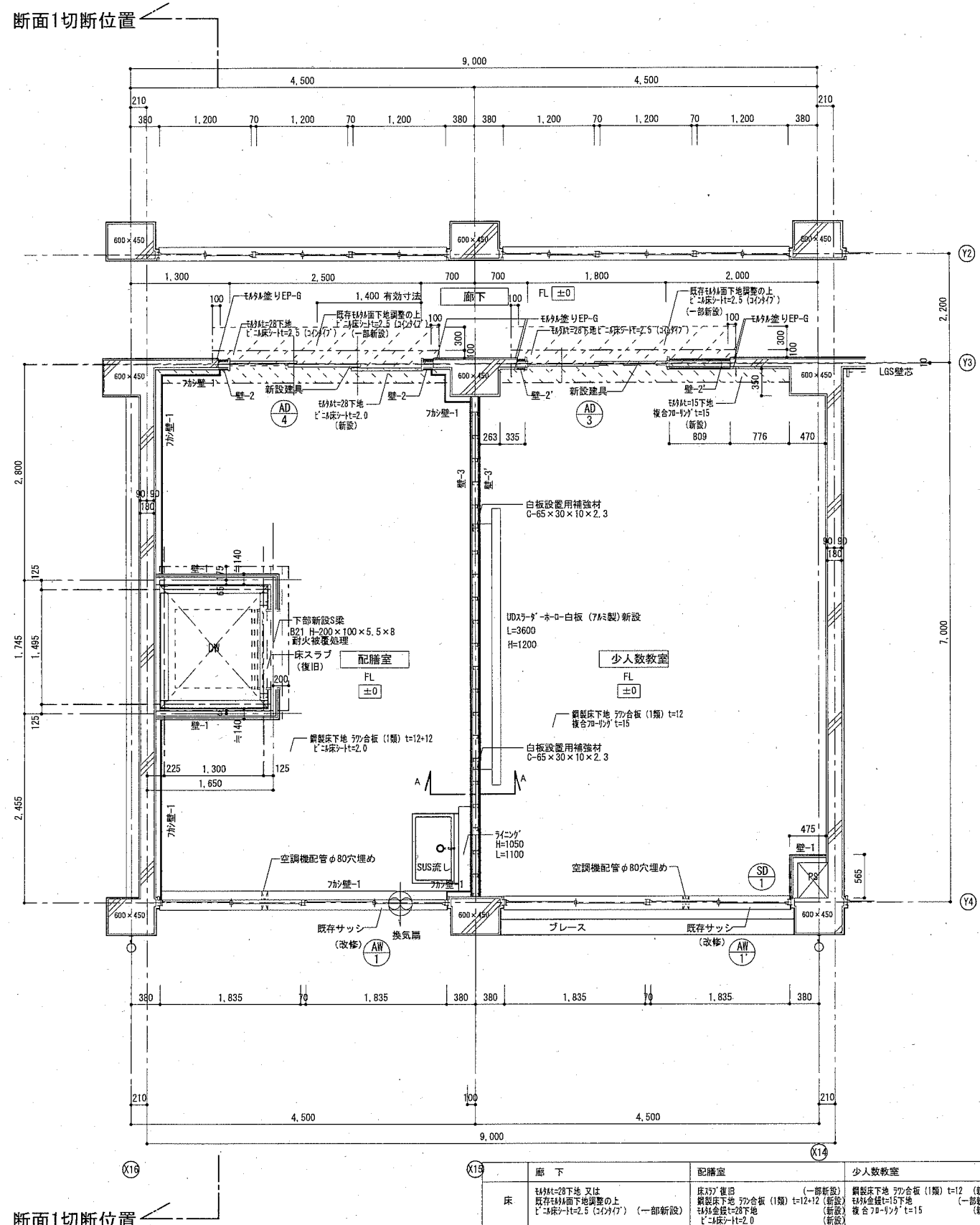
改修前



2階平面詳細図 (改修前・生徒会室)

廊下	床	巾木	壁	天井	生徒会室
既存77mm製建具 (撤去)	EP-28下地 (一部撤去) ビニル床シート=2.5 (一部撤去)	木製巾木 t=24 OP H=120 (撤去)	木製金縁 VP (一部撤去) ガラス貼 (一部撤去)	木製天井 t=24 OP (一部撤去)	床スラブ t=120 (一部撤去) 木下地 フローリング t=18 (撤去)

改修後

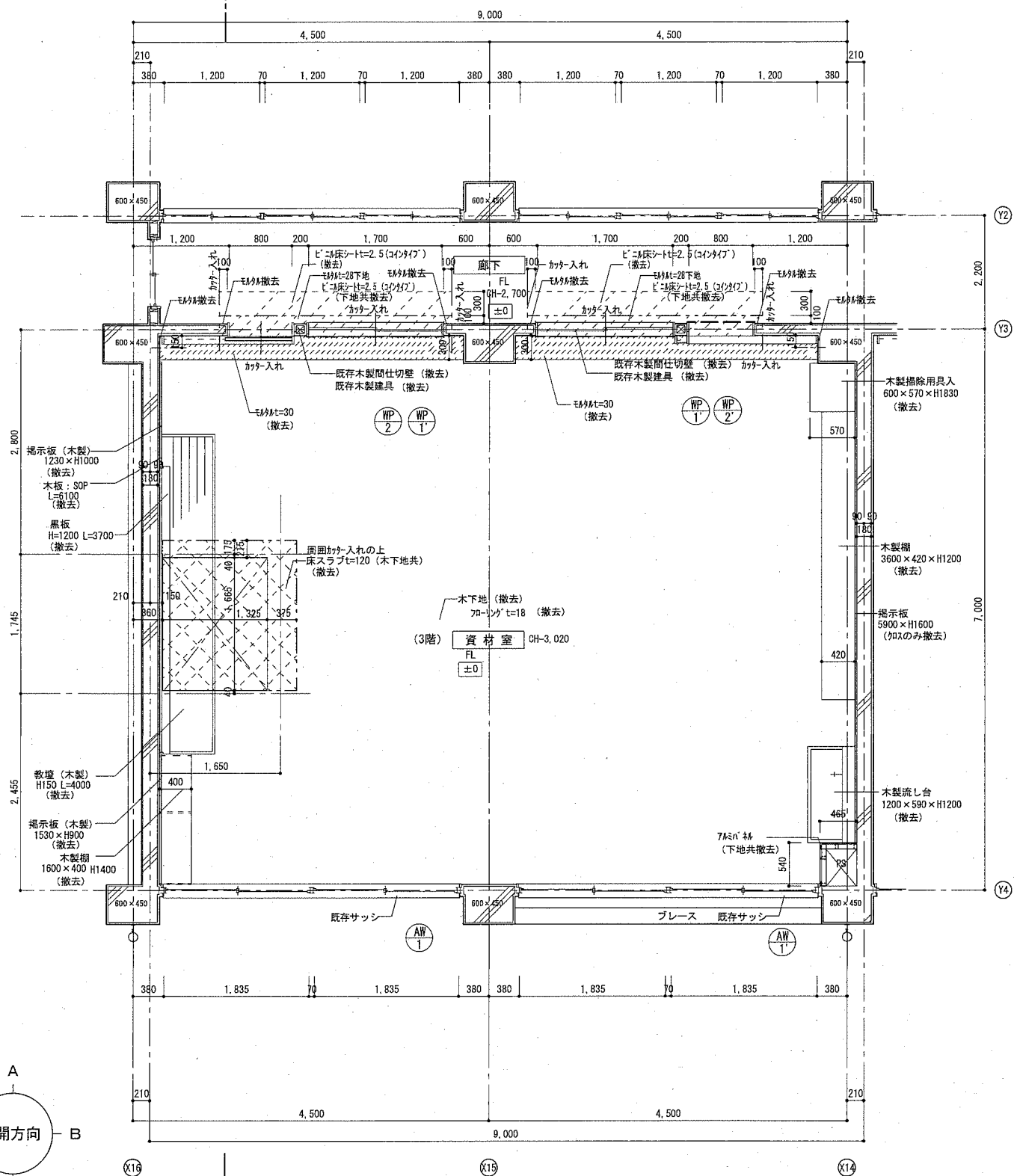


2階平面詳細図 (改修後・配膳室・少人数教室)

廊下	配膳室	少人数教室
EP-28下地 又は 既存77mm製建具の上 ビニル床シート=2.5 (一部撤去)	床スラブ t=120 (一部撤去) 木下地 フローリング t=18 (撤去)	木製巾木 t=10 EP-G H=120 (新設) 木製巾木 t=10 H=120 EP-G (新設)

改修前

断面1切断位置

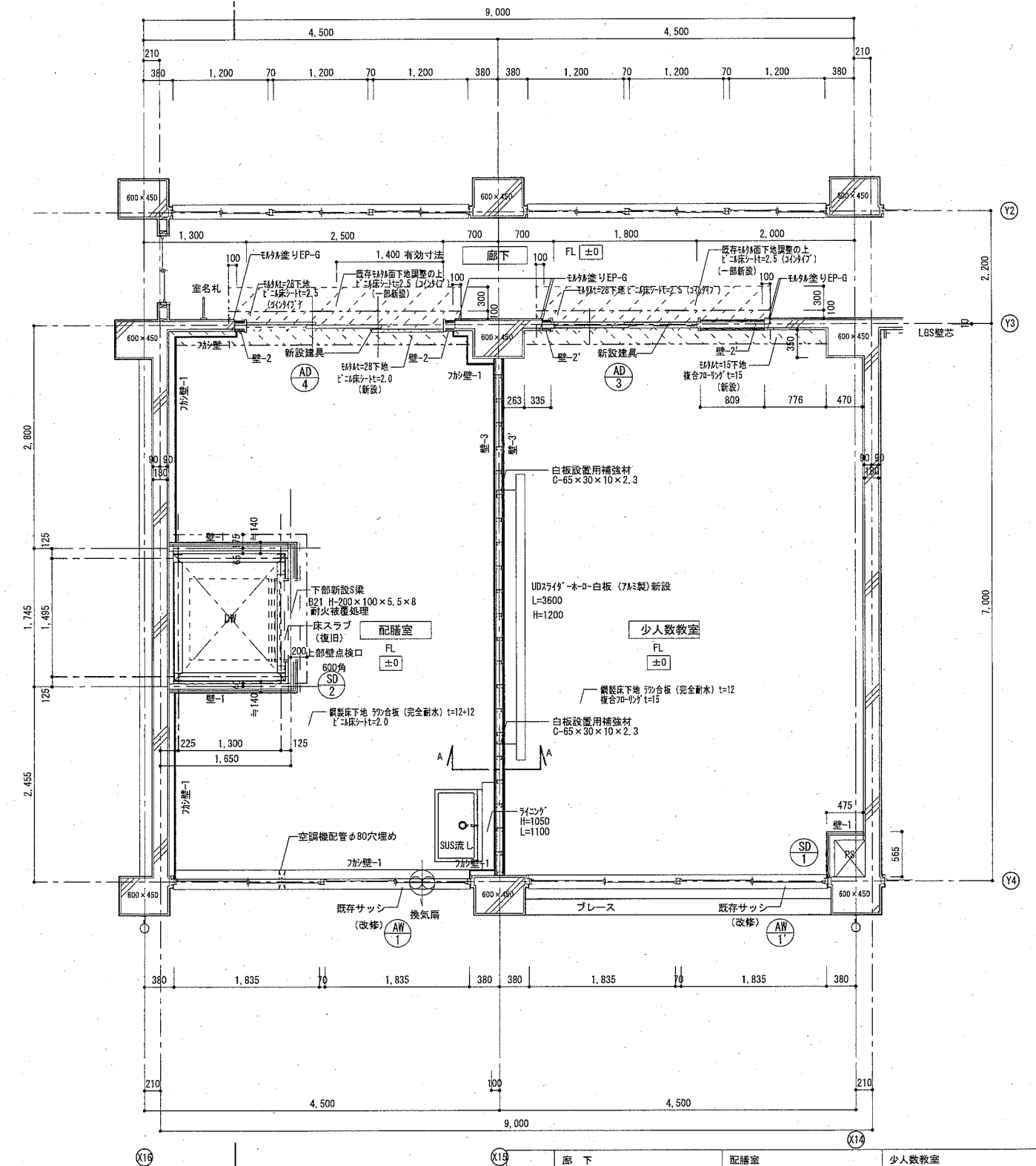


3階平面詳細図 (改修前・資材室)

	廊下	資材室
床	EP-G ₂₈ 下地 (一部撤去) ビニル床 ₁₁ -t=2.5 (一部撤去) モルタル ₁₁ -t=2.5 (一部撤去)	床スラブ ₁₁ -t=120 (撤去) 木下地 (撤去) 70-リソ ₁₁ -t=18 (撤去)
巾木	EP-G ₁₁ 金線 VP H=100 (一部撤去)	木製巾木 ₁₁ -t=24 OP H=120 (撤去)
壁	EP-G ₁₁ 金線 VP (一部撤去) ブラス ₁₁ -塗 (一部撤去)	EP-G ₁₁ 金線 VP (一部撤去) 31 ₁₁ -t=0.57 ₁₁ ブラス (一部撤去)
天井	木下地 (一部撤去) 70 ₁₁ -リソ ₁₁ -t=4 OP (一部撤去)	木下地 (撤去) 70 ₁₁ -リソ ₁₁ -t=4 OP (撤去)

改修後

断面1切断位置

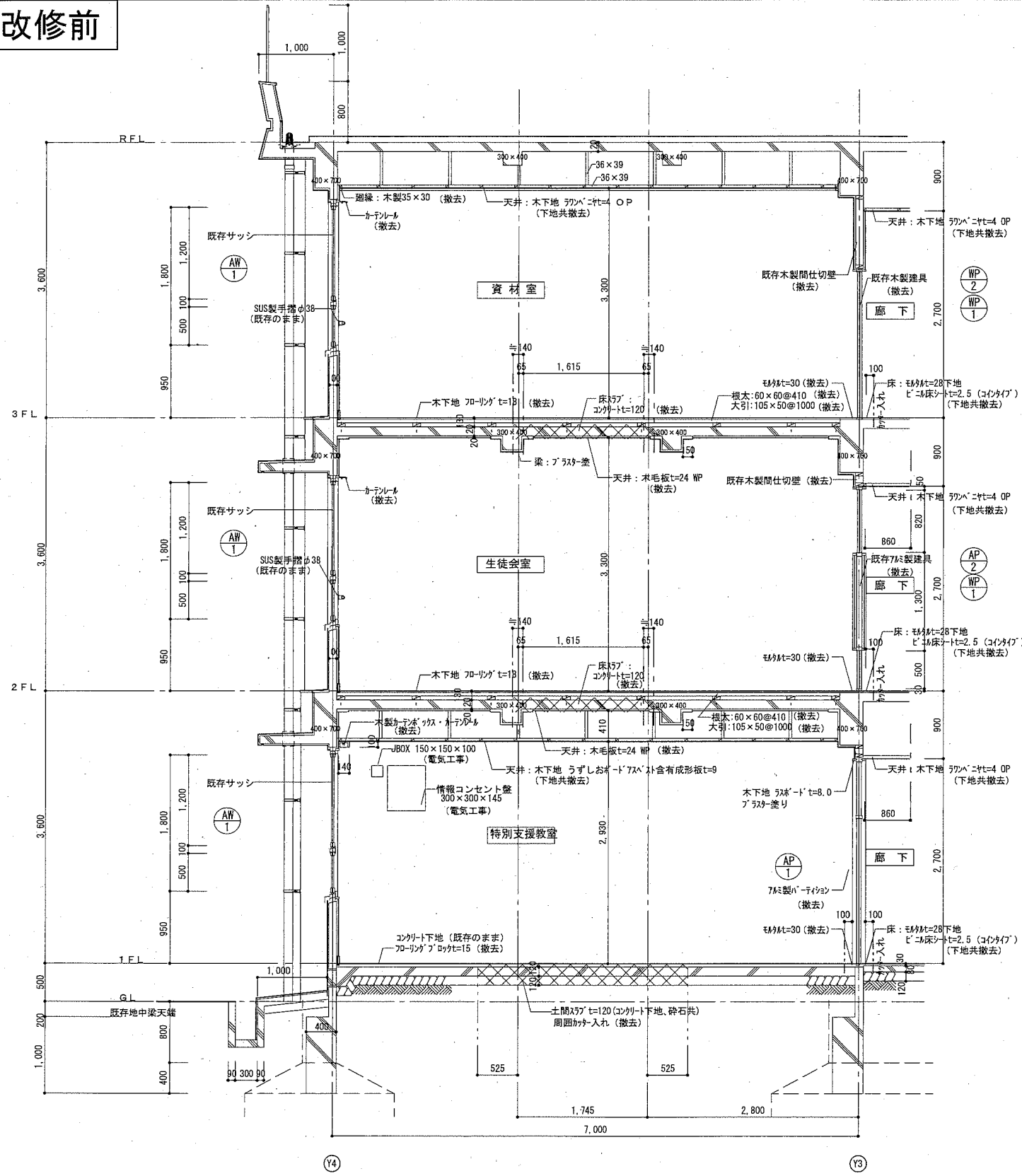


3階平面詳細図 (改修後・配膳室・少人数教室)

	廊下	配膳室	少人数教室
床	EP-G ₂₈ 下地 又は 既存EP-G ₂₈ 下地調整の上 ₁₁ (一部撤去) ビニル床 ₁₁ -t=2.5 (一部撤去)	鋼製床下地 ₁₁ 70 ₁₁ 合板 (1層) t=12 (新設) EP-G ₁₁ 金線 ₁₁ -t=15下地 (新設) 70-リソ ₁₁ -t=15 (新設)	鋼製床下地 ₁₁ 70 ₁₁ 合板 (1層) t=12 (新設) EP-G ₁₁ 金線 ₁₁ -t=15下地 (新設) 70-リソ ₁₁ -t=15 (新設)
巾木	EP-G ₁₁ 金線 ₁₁ の上 EP-G (一部撤去)	木製巾木 ₁₁ H=300 (一部撤去)	木製巾木 ₁₁ H=120 EP-G (新設) 木製巾木 ₁₁ H=120 EP-G (新設)
壁	壁 ₁₁ -2の上 EP-G (一部撤去)	70 ₁₁ 壁 ₁₁ -1の上 (新設)	壁 ₁₁ -2 ₁₁ -3 EP-G (新設) EP-G ₁₁ 塗り (既存塗面) (一部撤去) 壁 ₁₁ -1-2-3の上化粧 ₁₁ EP-G ₁₁ 板 ₁₁ -t=6 (新設) EP-G ₁₁ 塗りの上 EP-G (一部撤去)
天井	LGS下地 (一部撤去) 化粧石膏 ₁₁ -t=0.5 (一部撤去)	空調機配管φ80穴埋め 70 ₁₁ 壁 ₁₁ -1 SUS流し 換気扇 既存サッシ (改修)	LGS19形 ₁₁ φ225 (インサート共) 下地 (新設) LGS19形 ₁₁ φ225 (インサート共) 下地 (新設) 化粧石膏 ₁₁ -t=9.5 (新設)

断面1切断位置

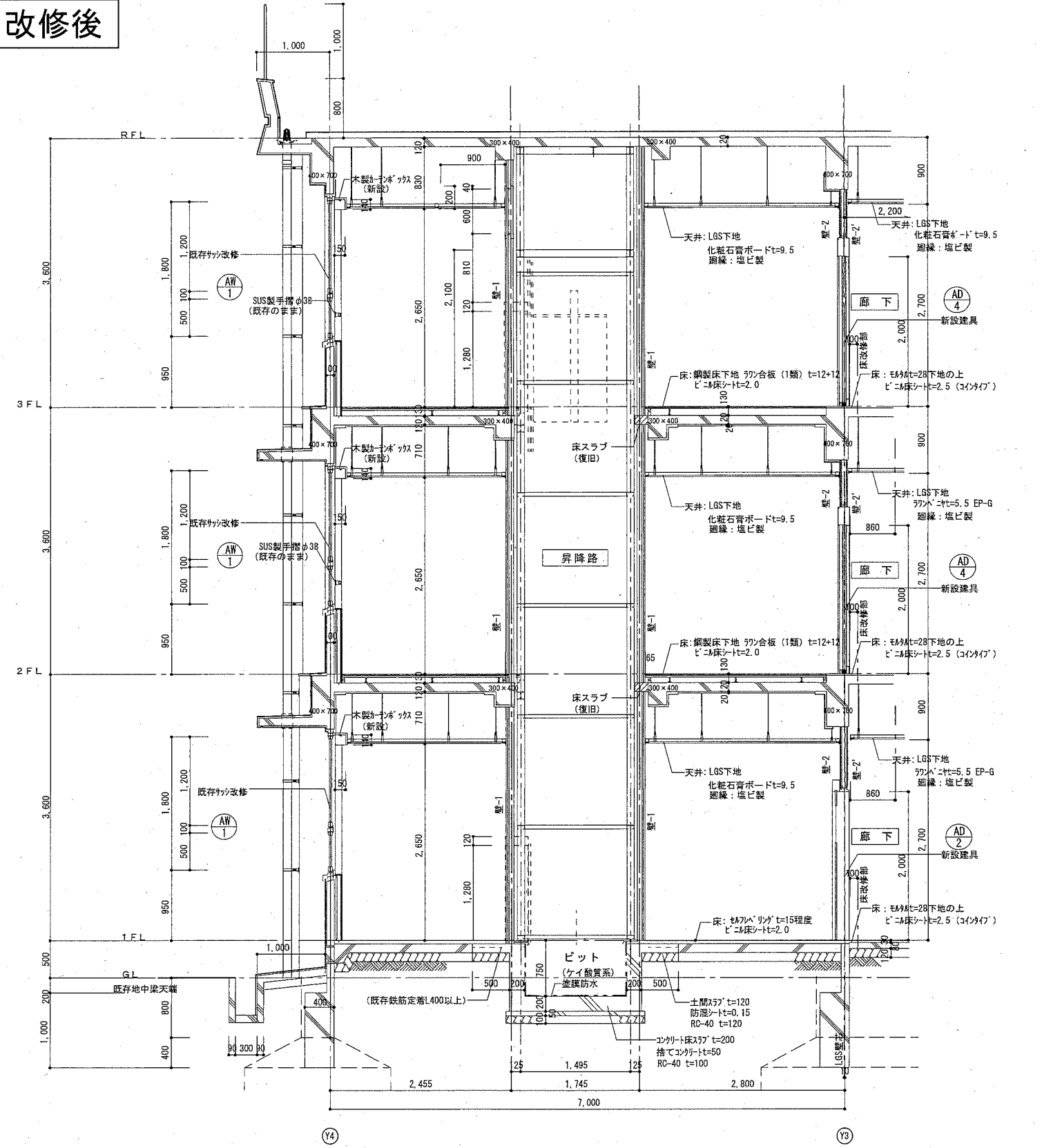
改修前



断面図1 (改修前)

※スラブ仕様
 鉄筋
 短辺端部上筋 13φ@200 下筋9φ@400
 中央部上筋 なし 下筋9・13φ@200交互
 長辺端部上筋 13φ@200 下筋9φ@400
 中央部上筋 なし 下筋9φ@200
 コンクリート: 厚120

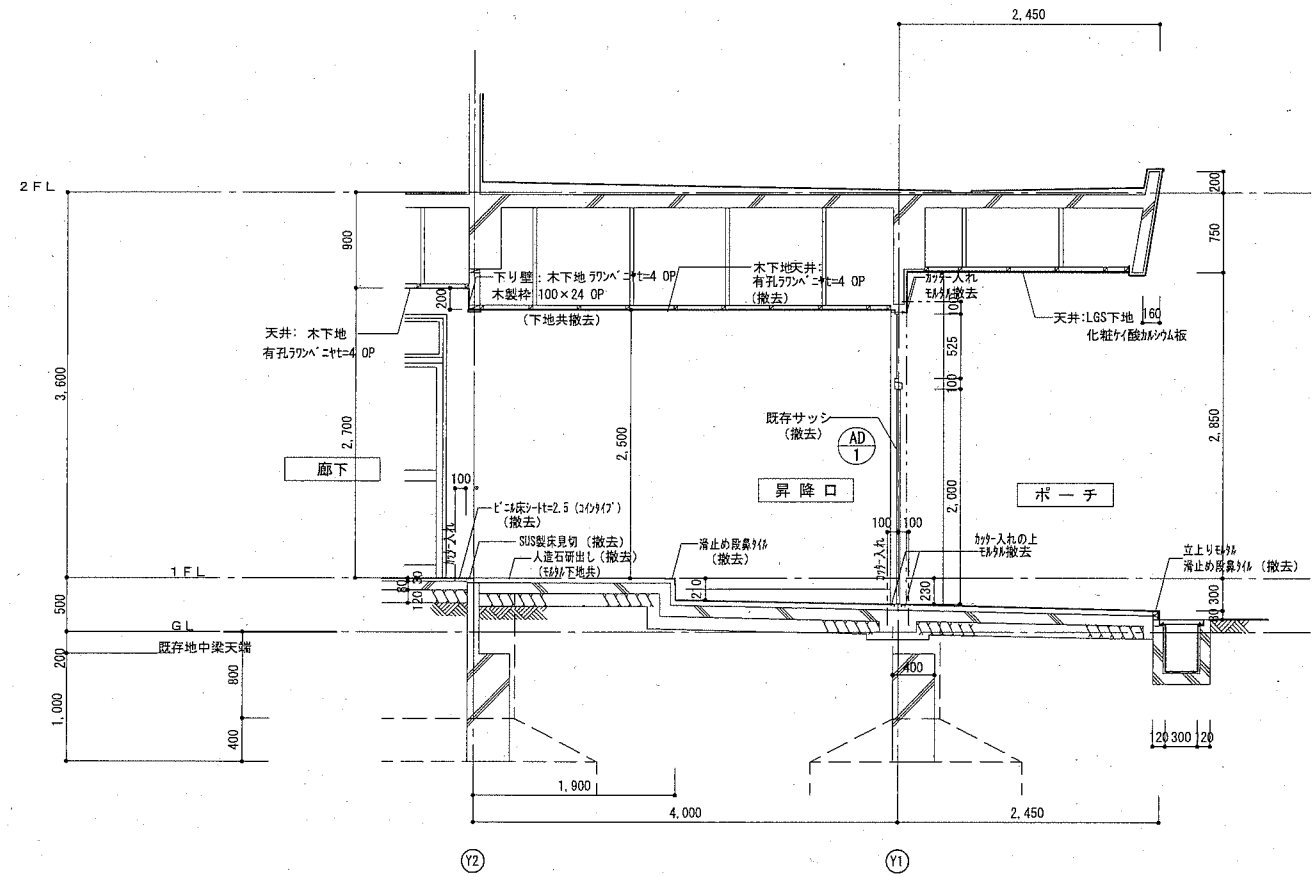
改修後



断面図1 (改修後)

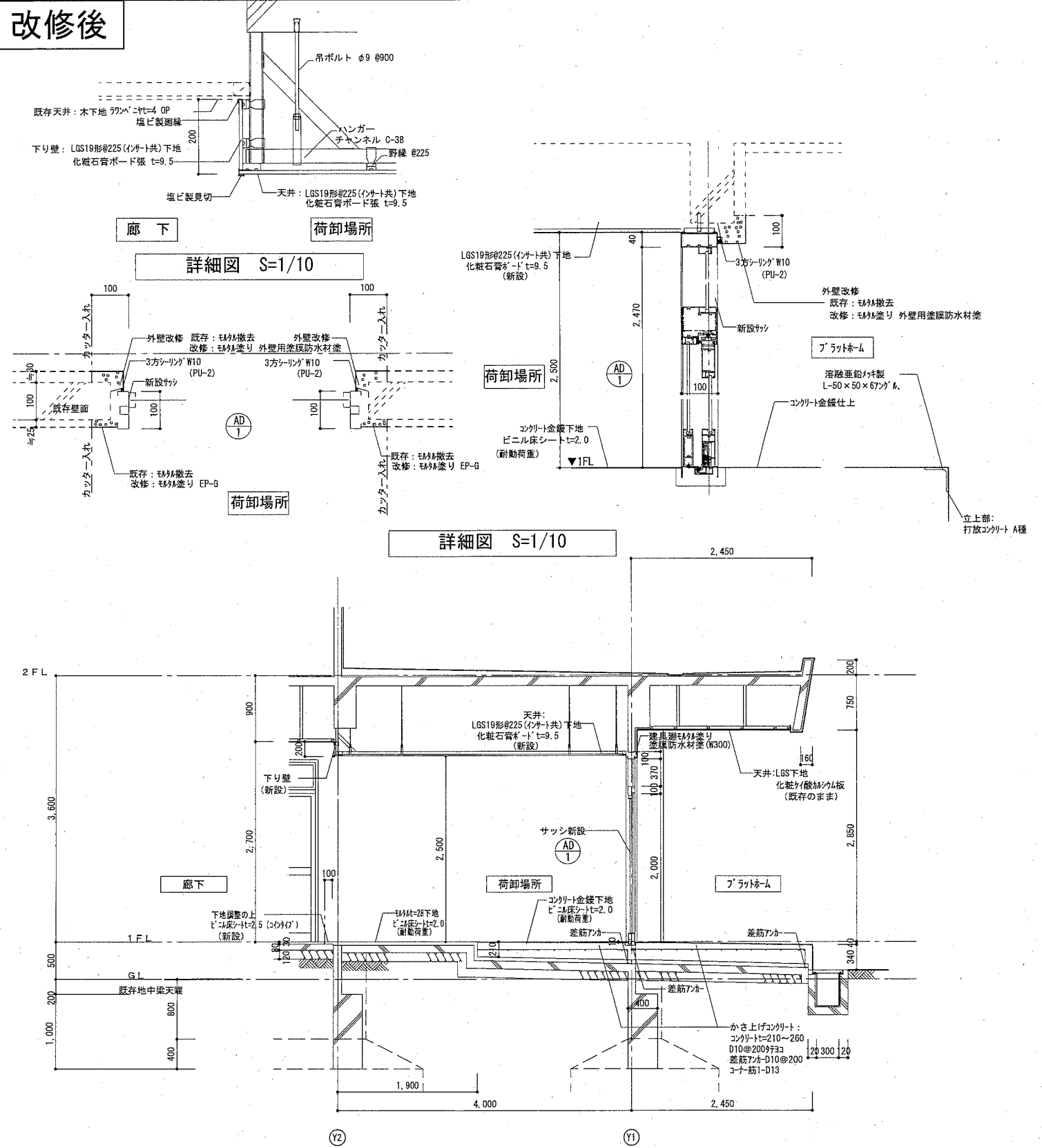
※ビット仕様
 鉄筋SD295A D13φ@200
 コンクリート: Fo=21N/mm² S=18
 捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
 砕石: 再生砕石(RC40)

改修前



断面図2 (改修前)

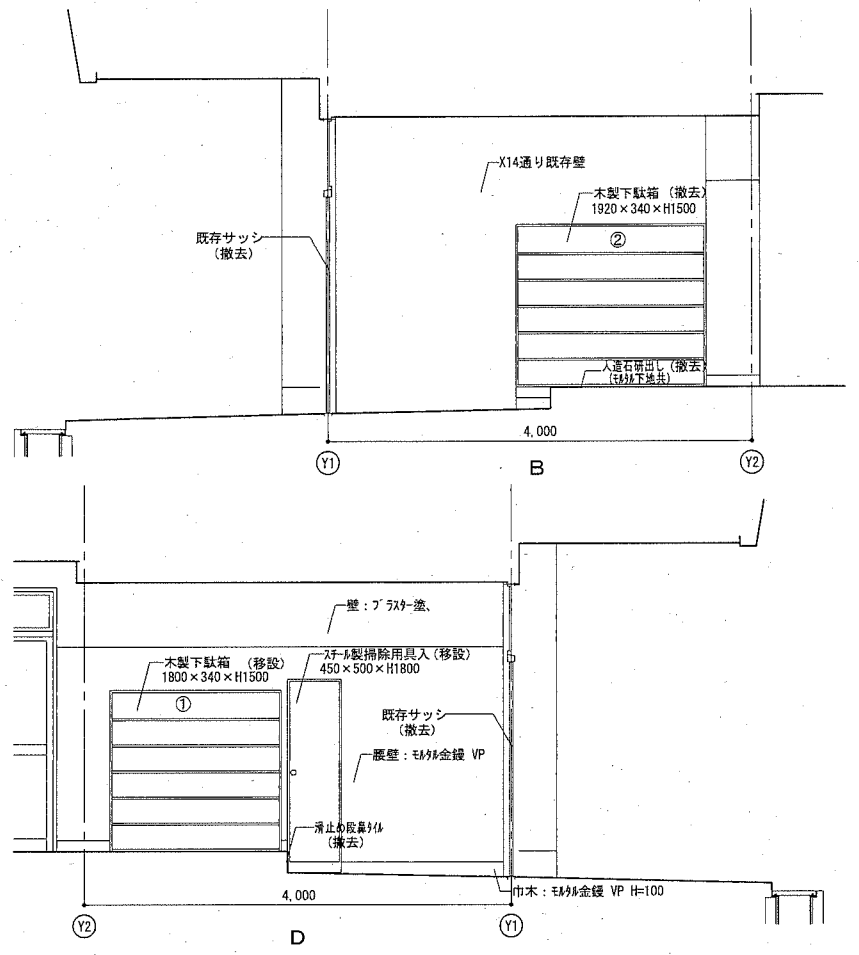
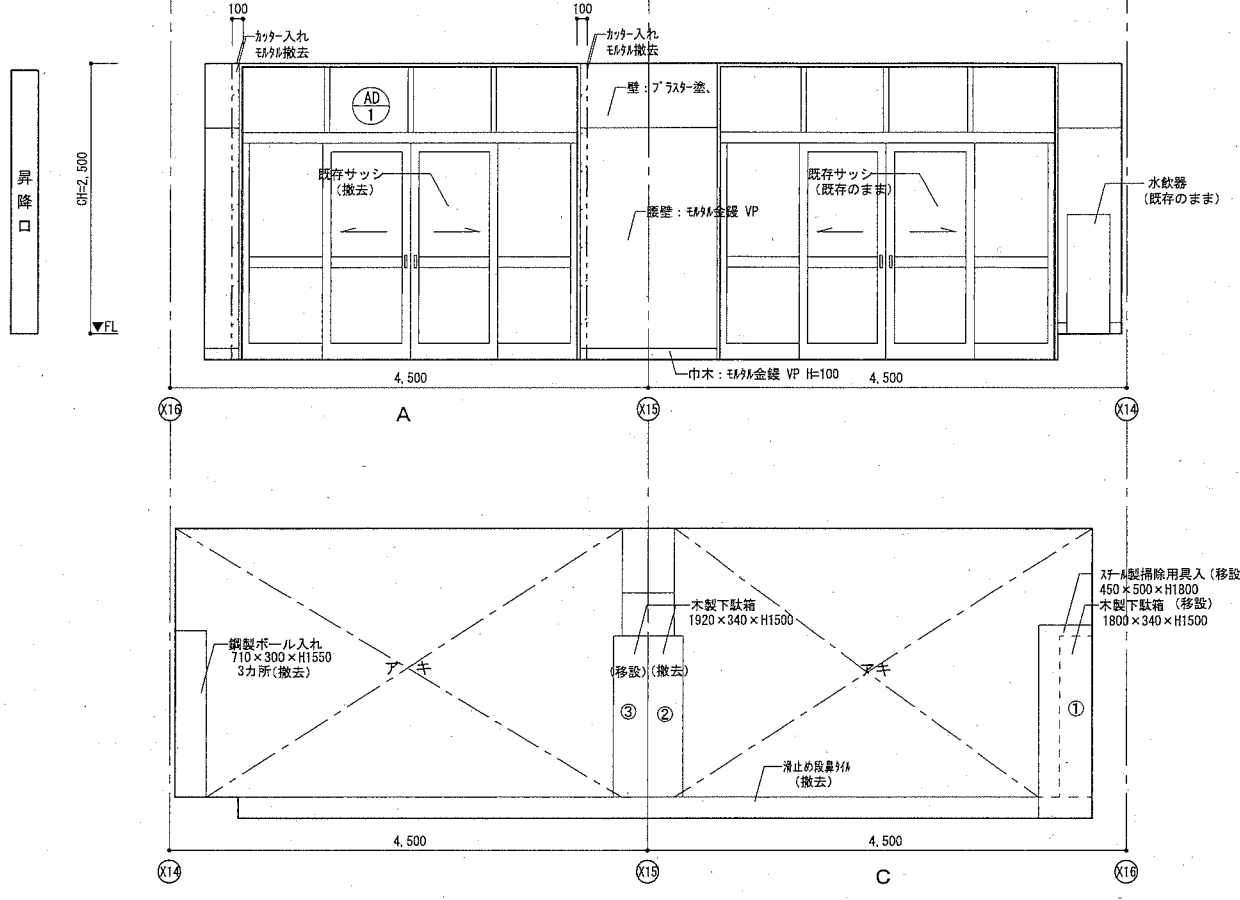
改修後



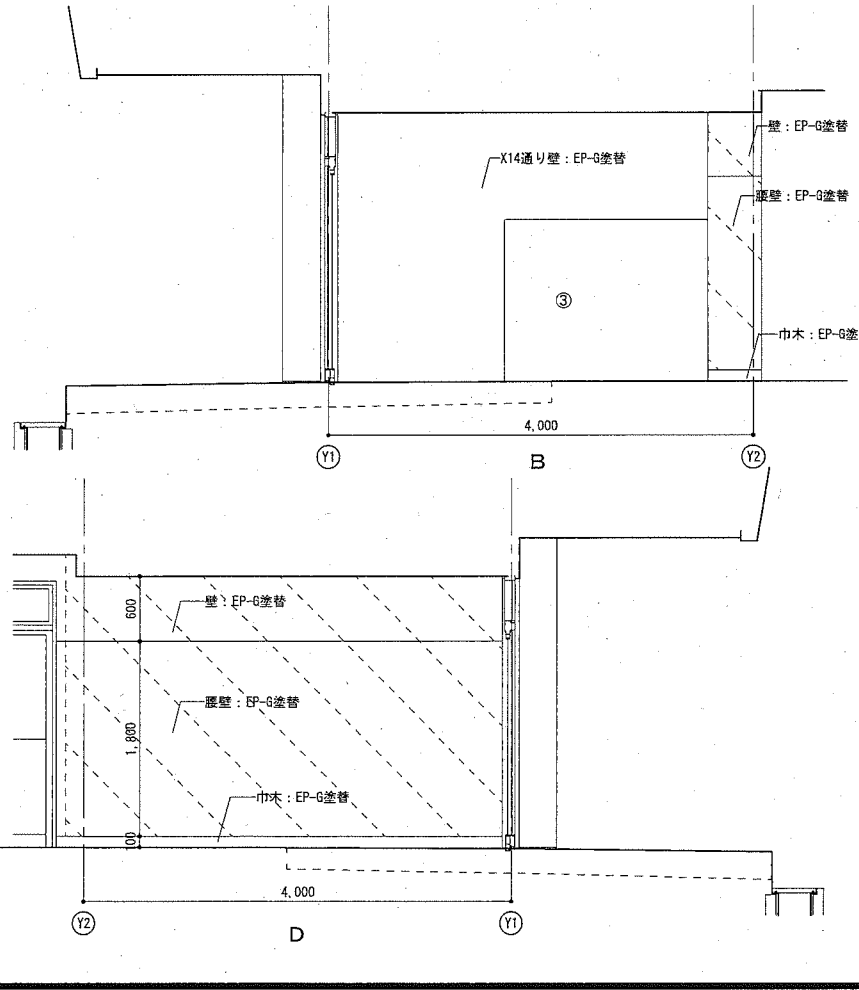
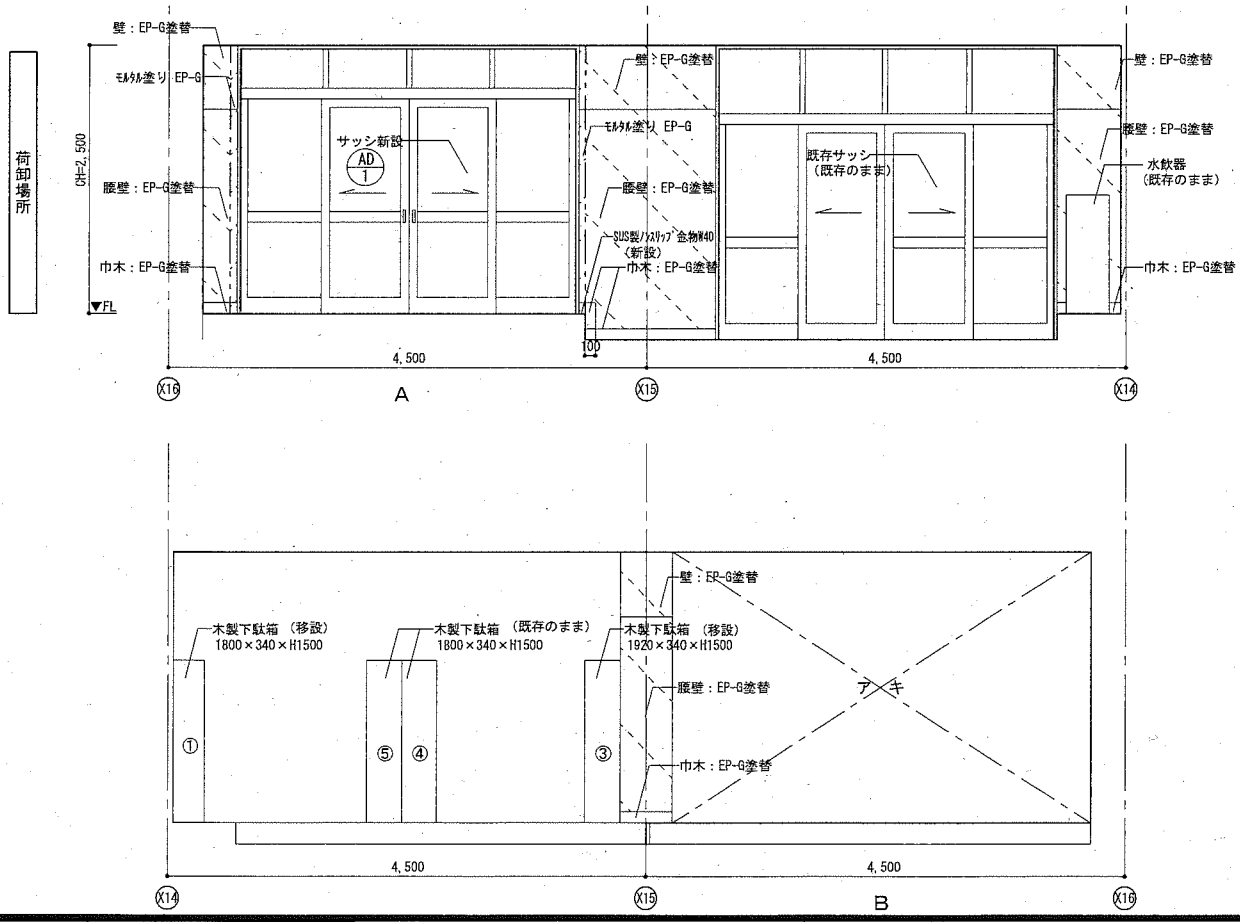
断面図2 (改修後)

※コンクリート仕様
 鉄筋SD295A D10@200
 差筋7カ-D10@200
 コナ筋1-D13
 コンクリート: 呼び強度21 S=18

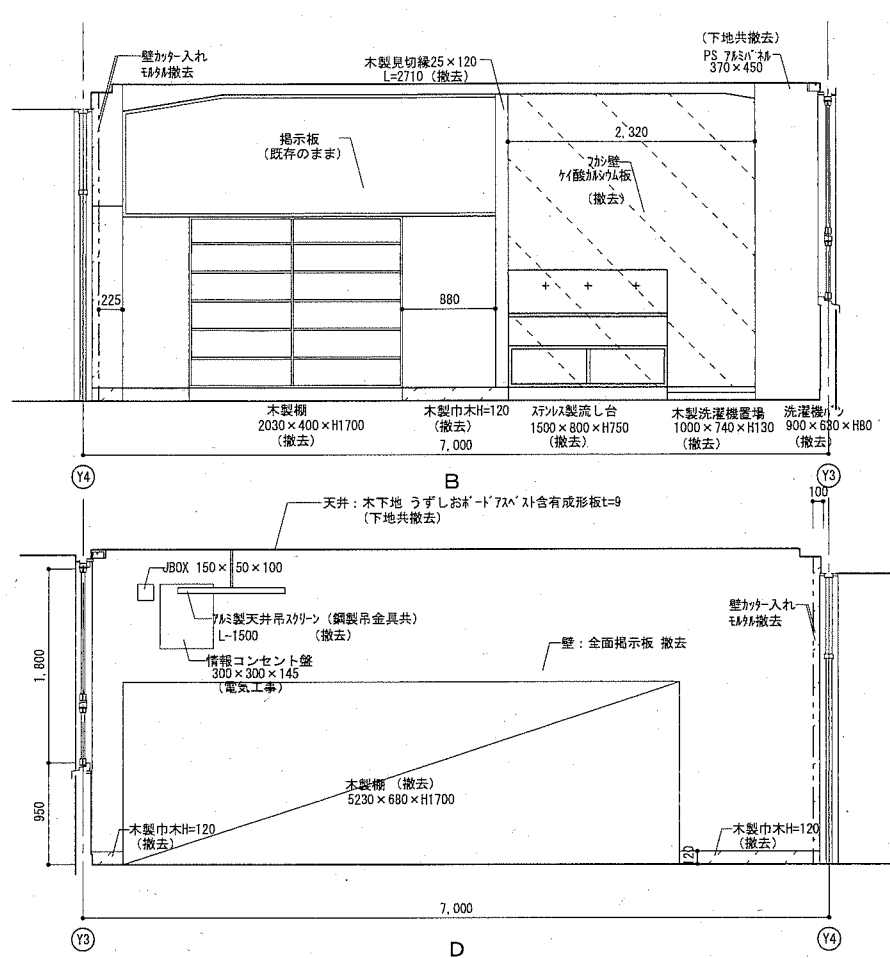
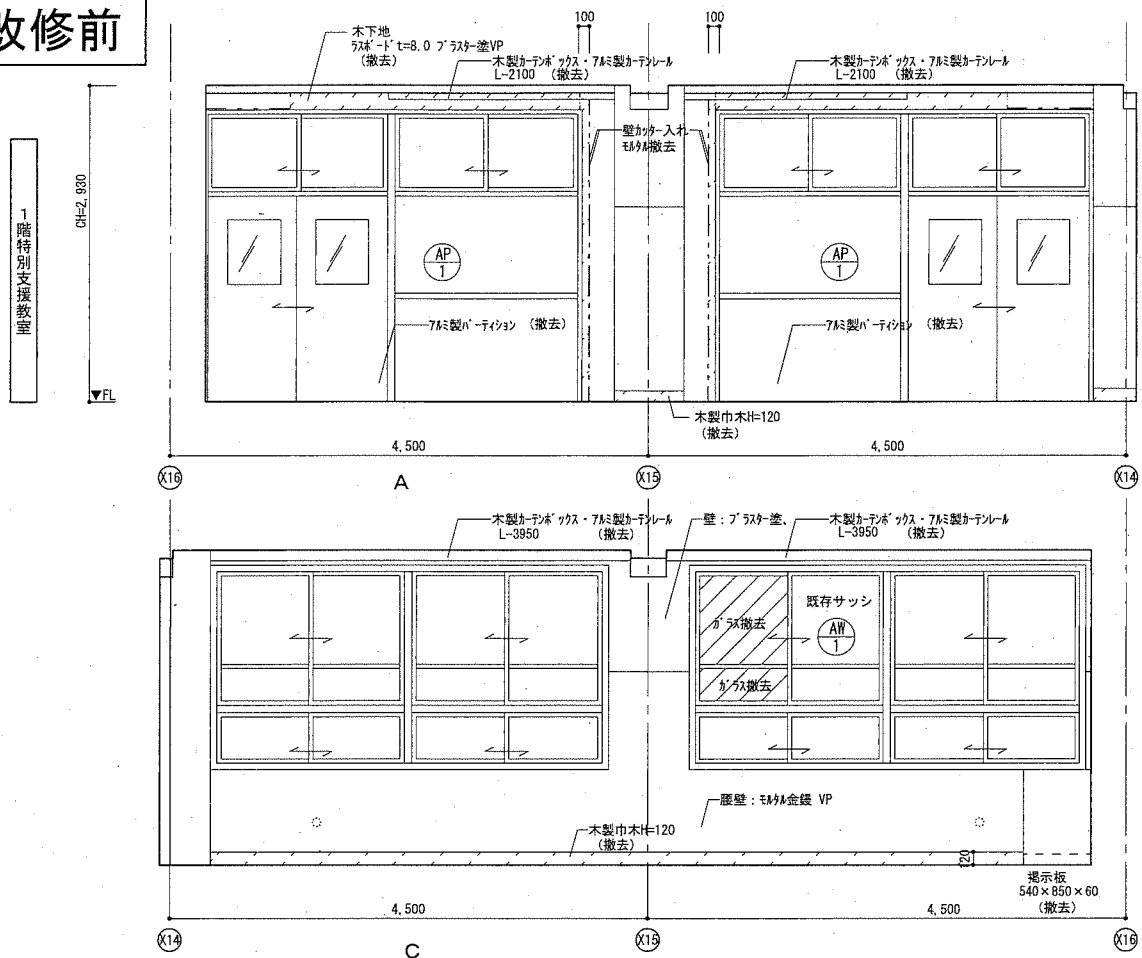
改修前



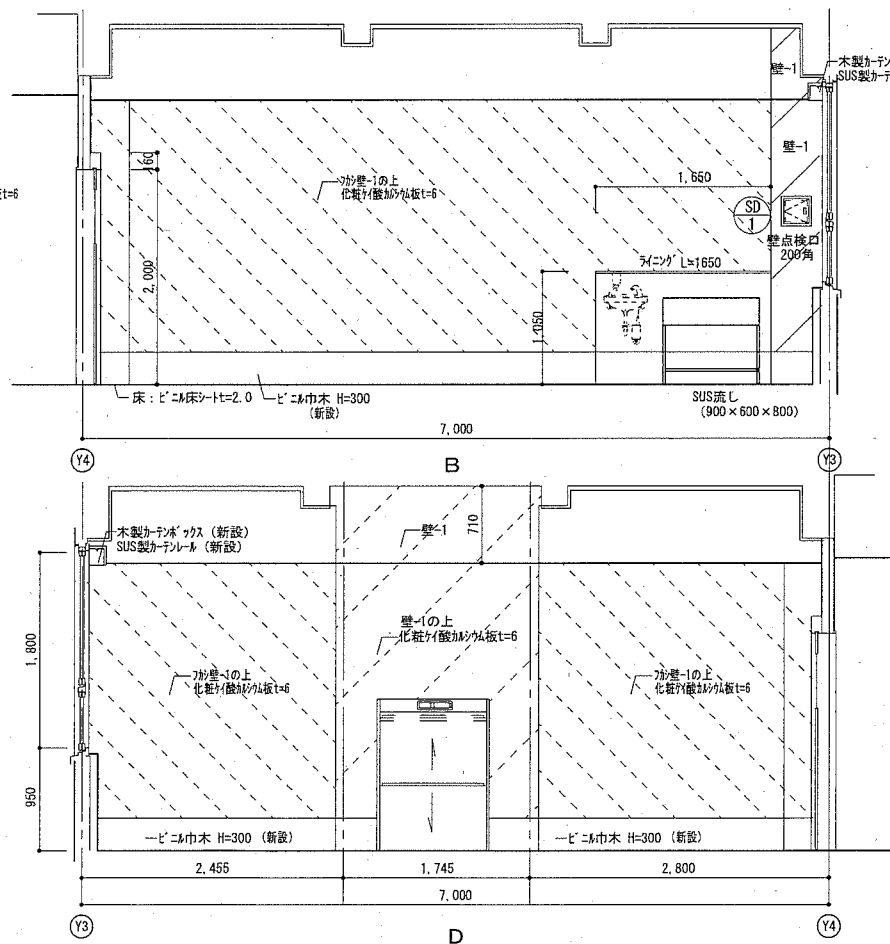
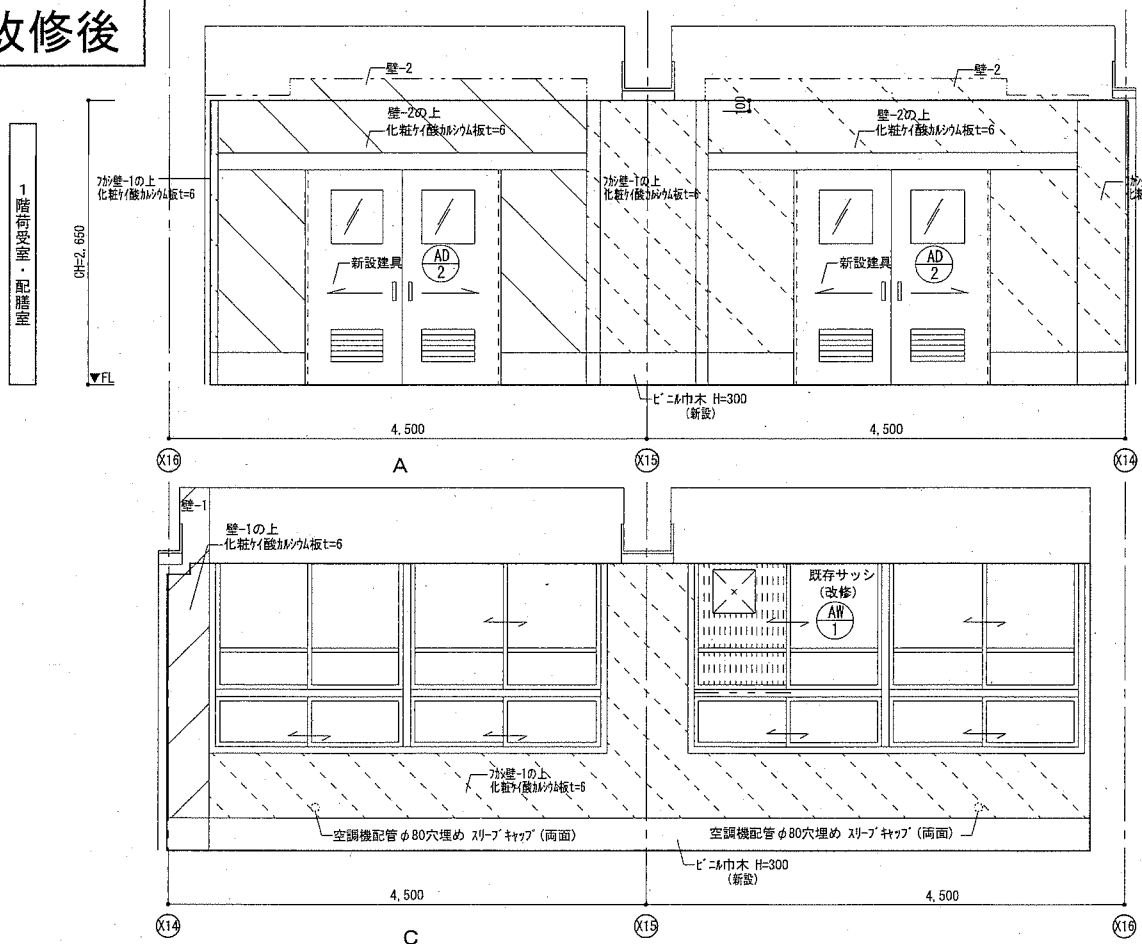
改修後



改修前



改修後



◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

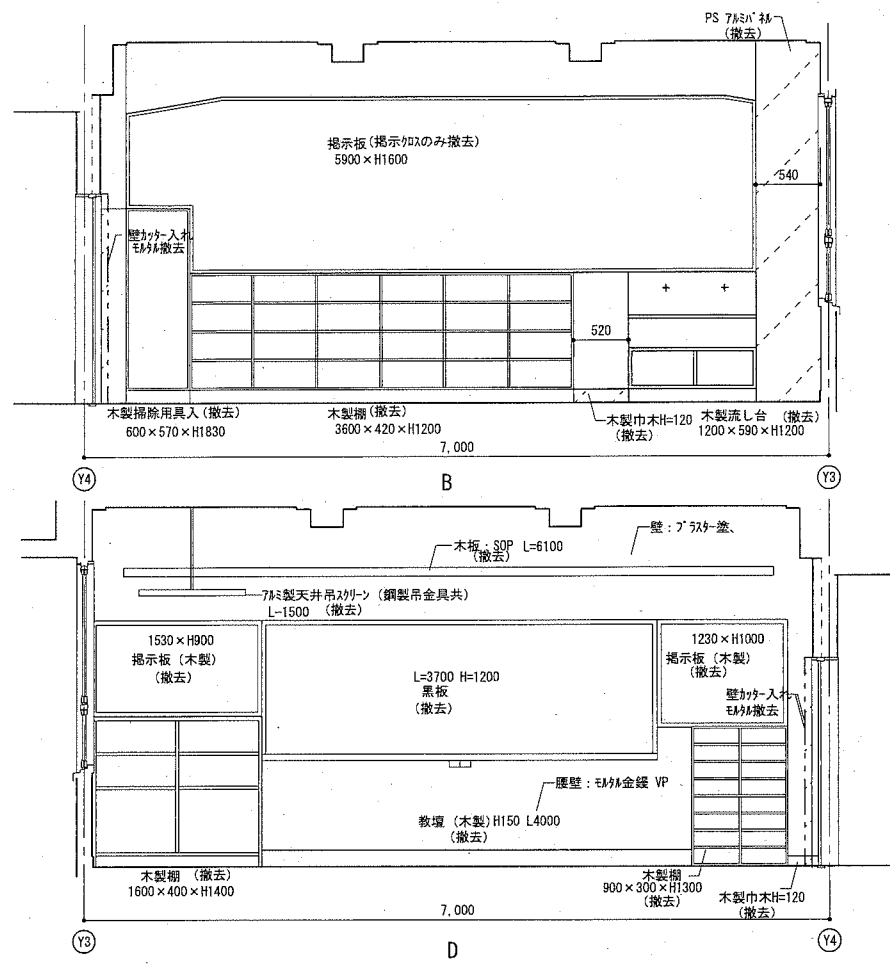
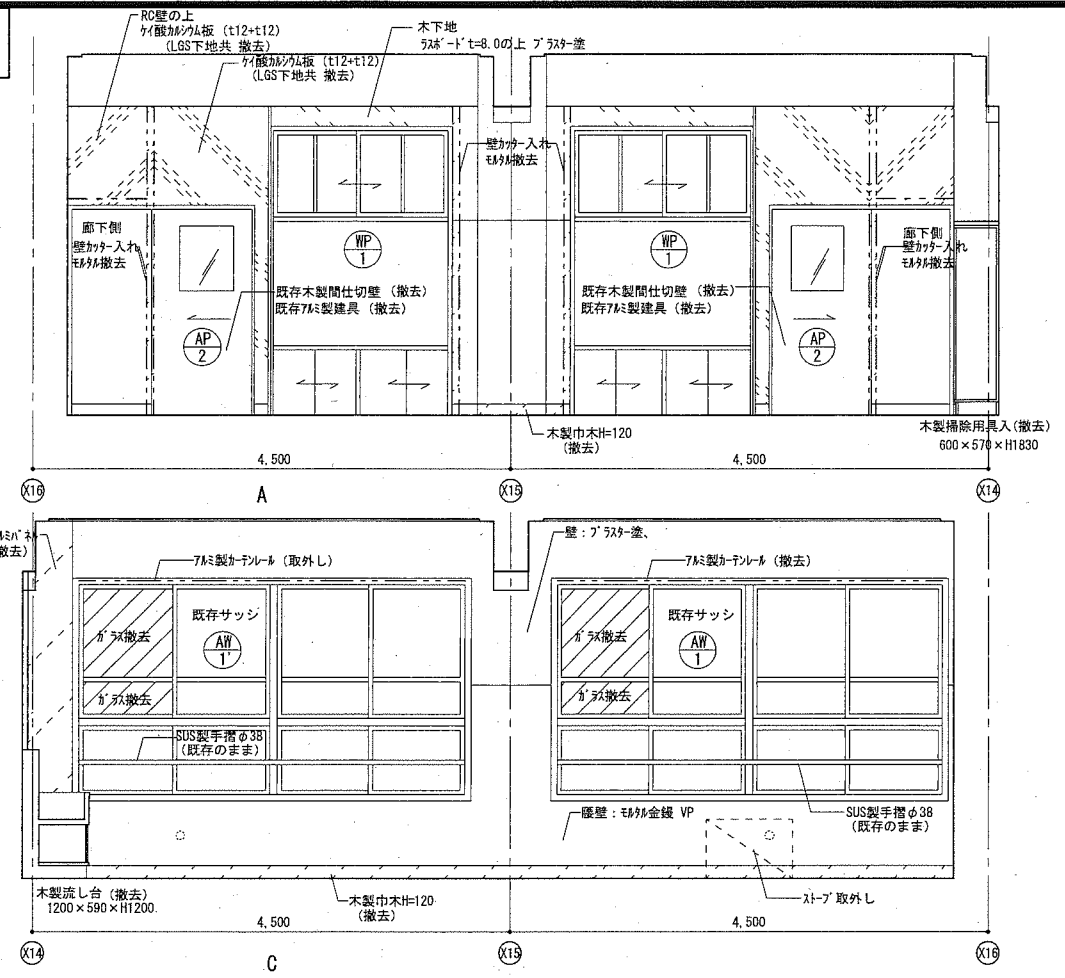
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称 市立馬場中学校ほか1校昇降階段改修工事	図面名称 1階待受室・配膳室 展開図
(馬場中学校)	縮尺 1 : 50

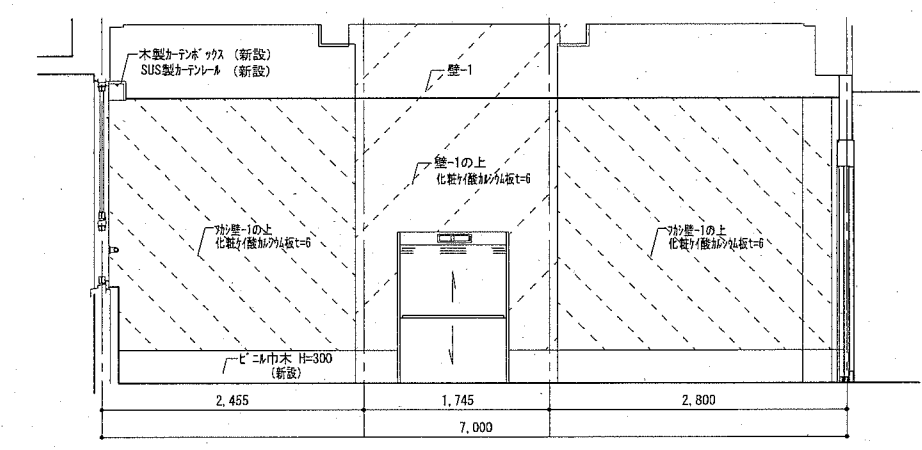
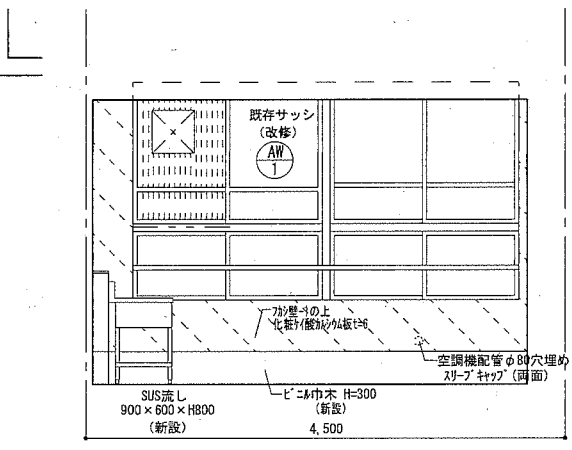
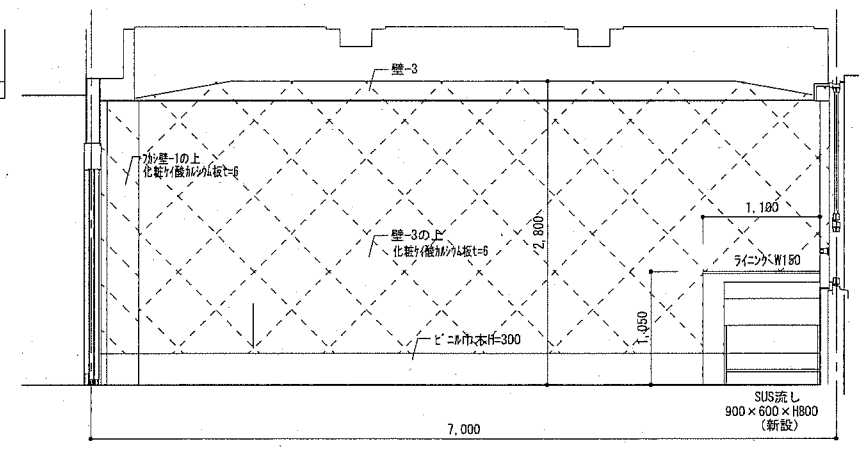
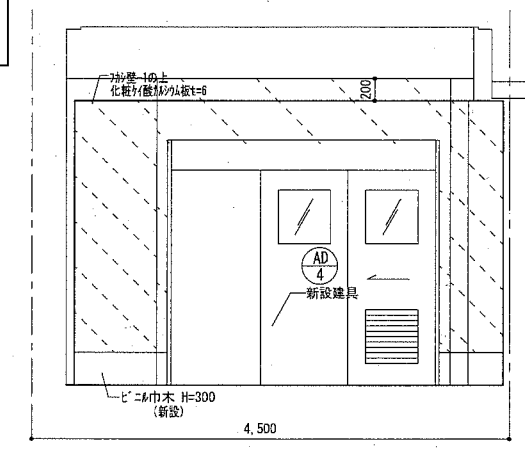
改修前

2階生徒会室

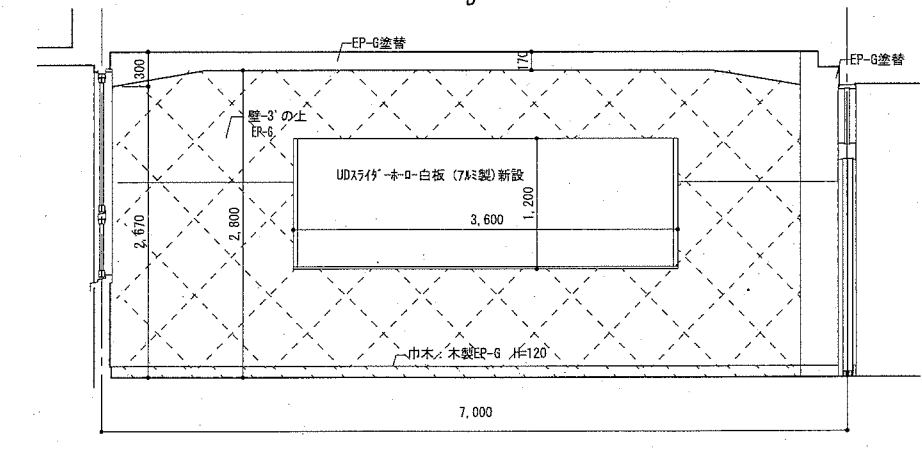
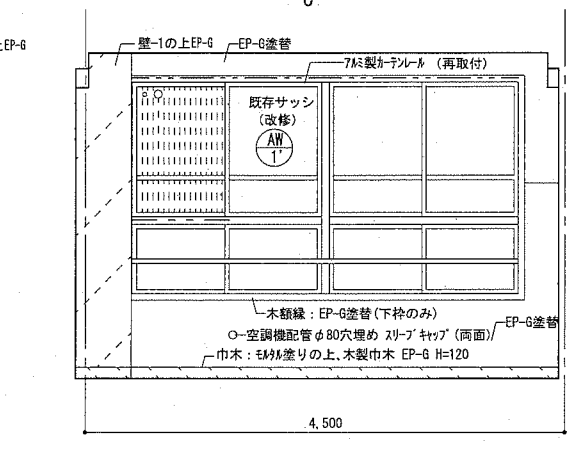
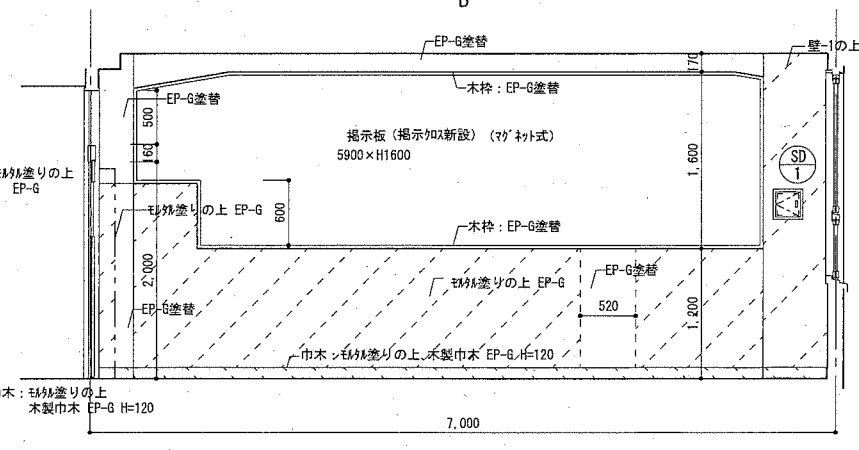
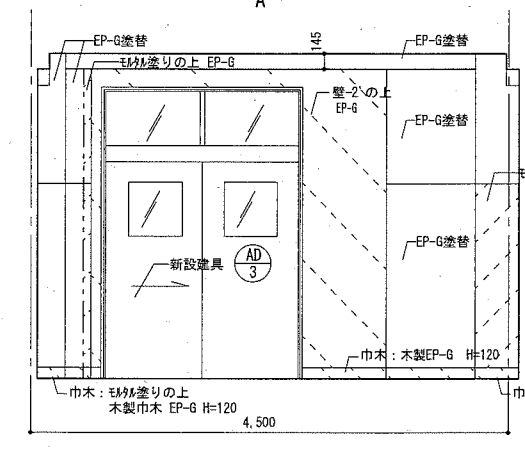


改修後

2階配膳室

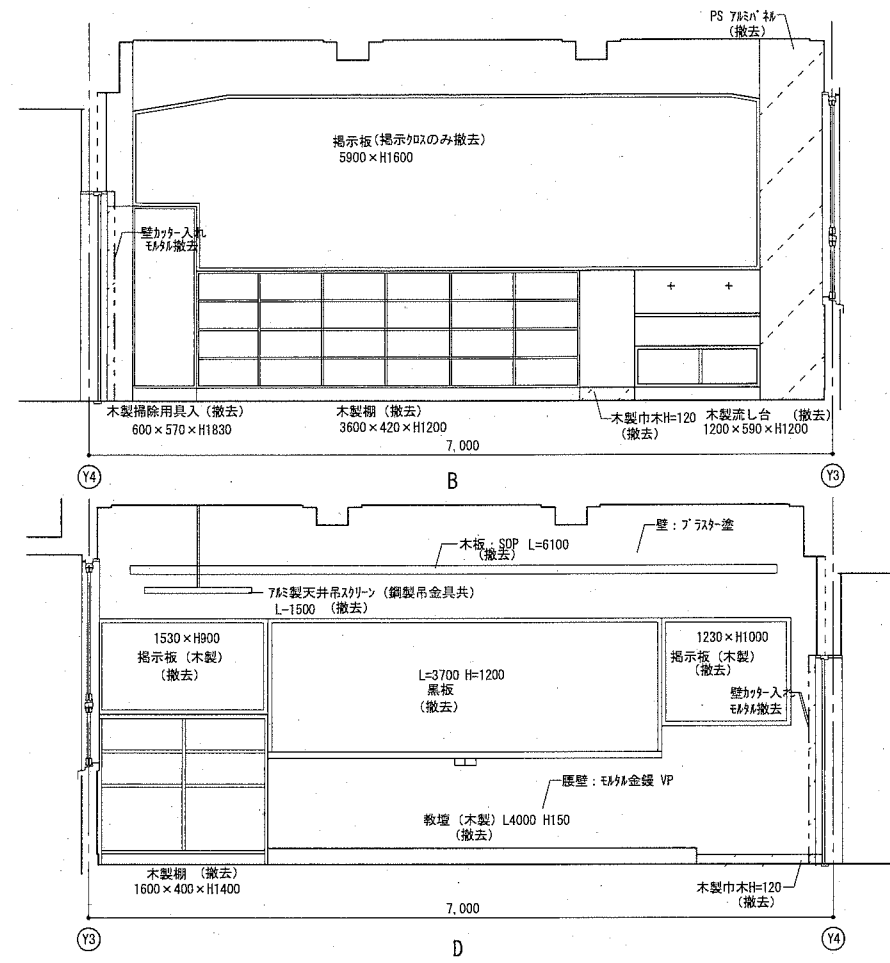
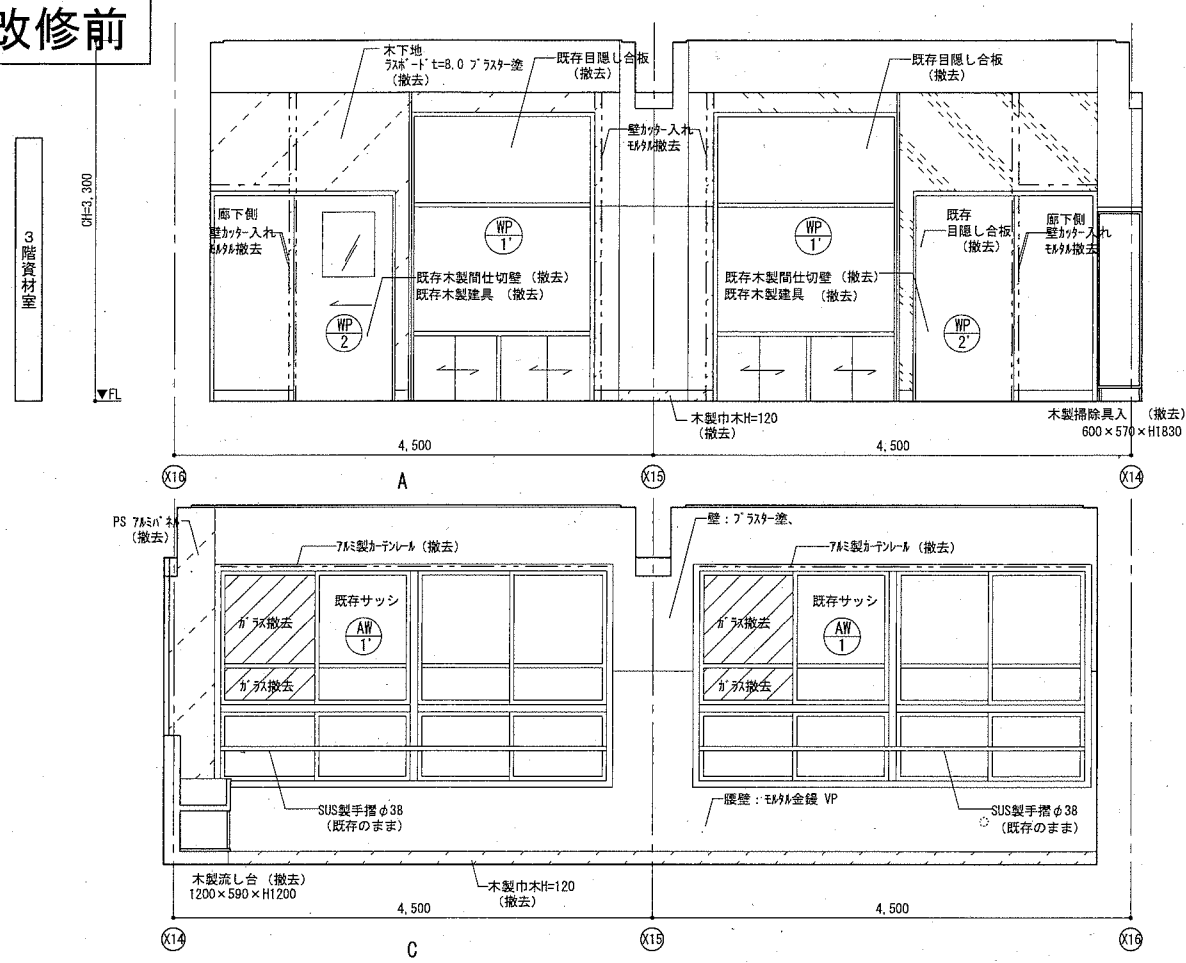


2階少人数教室

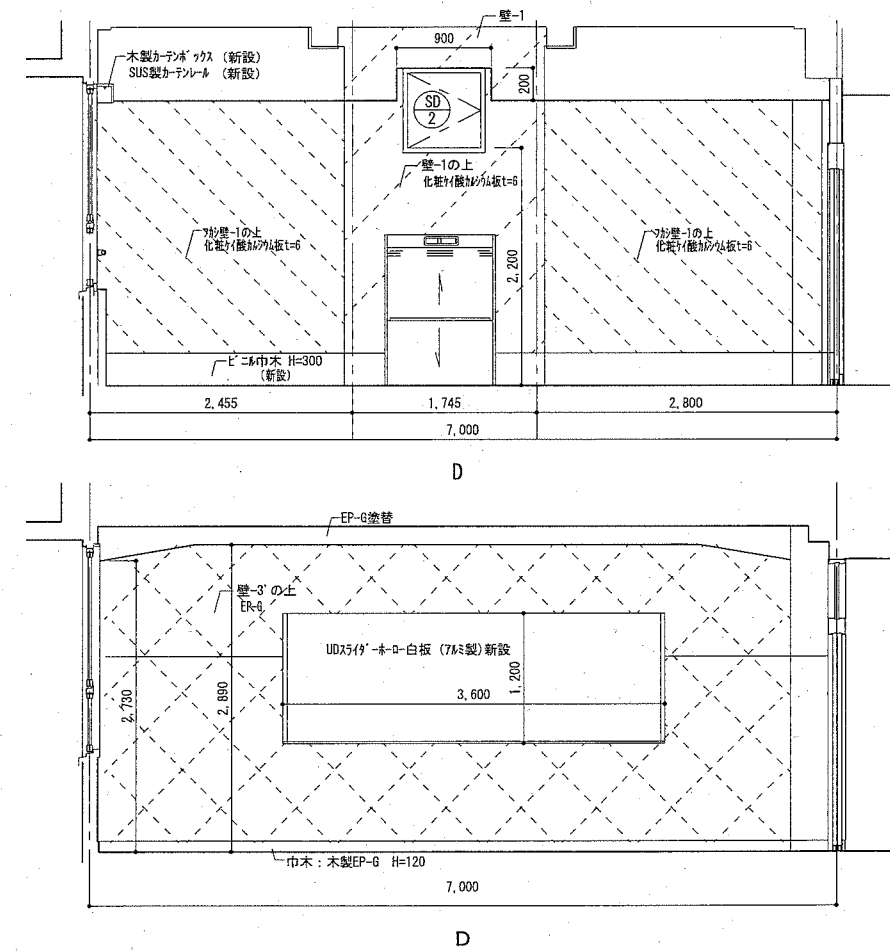
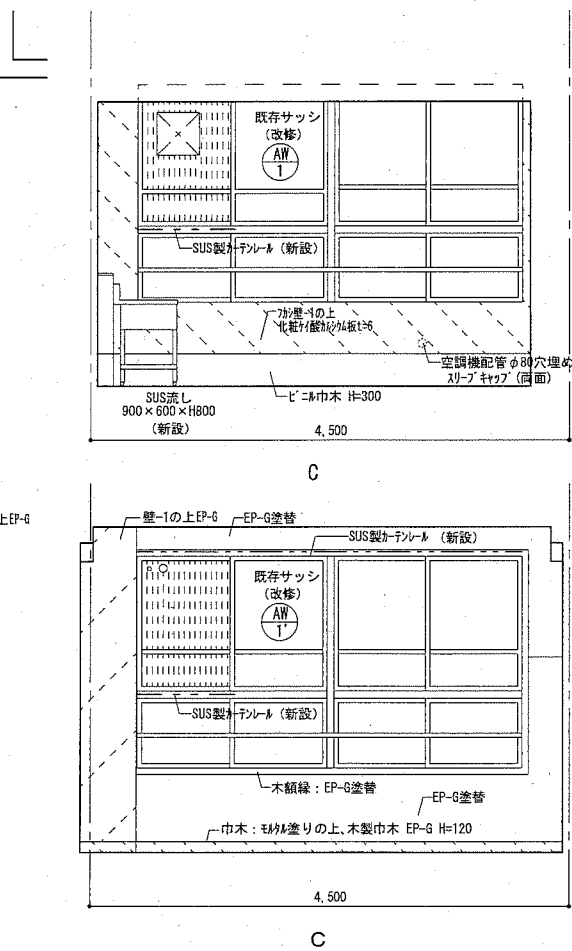
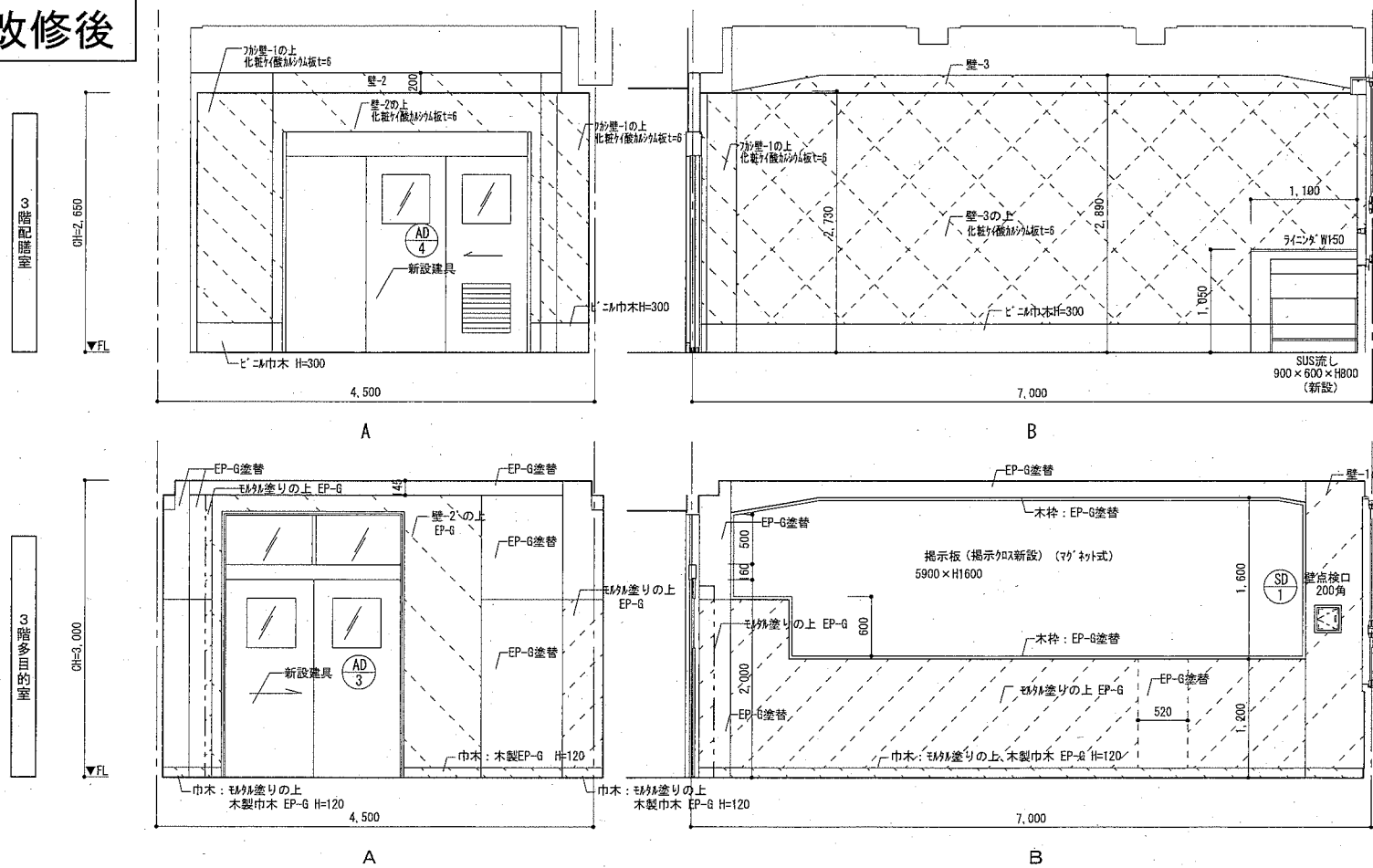


◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

改修前

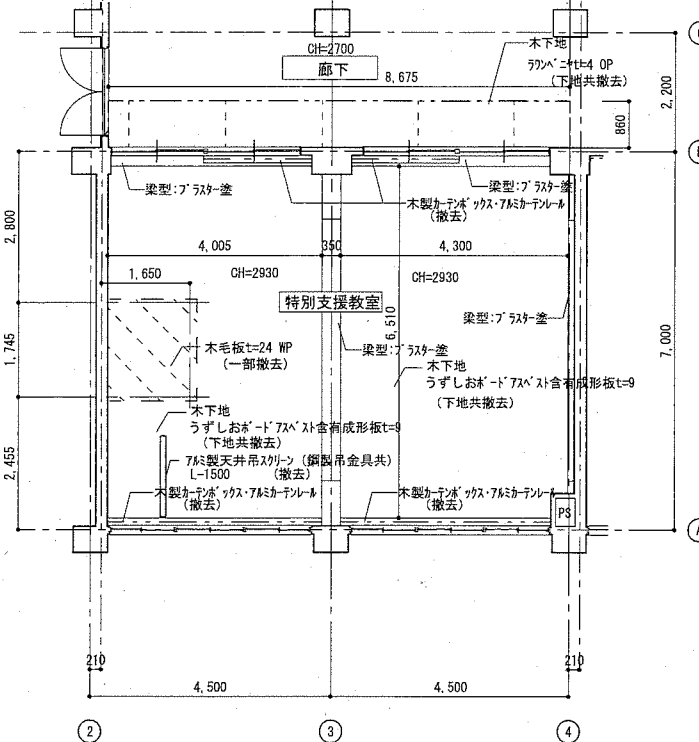


改修後

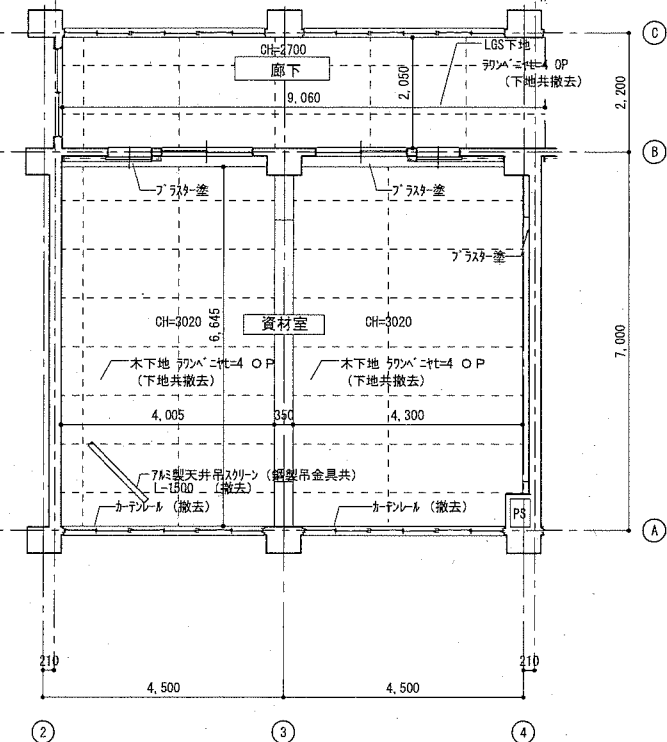


◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

改修前

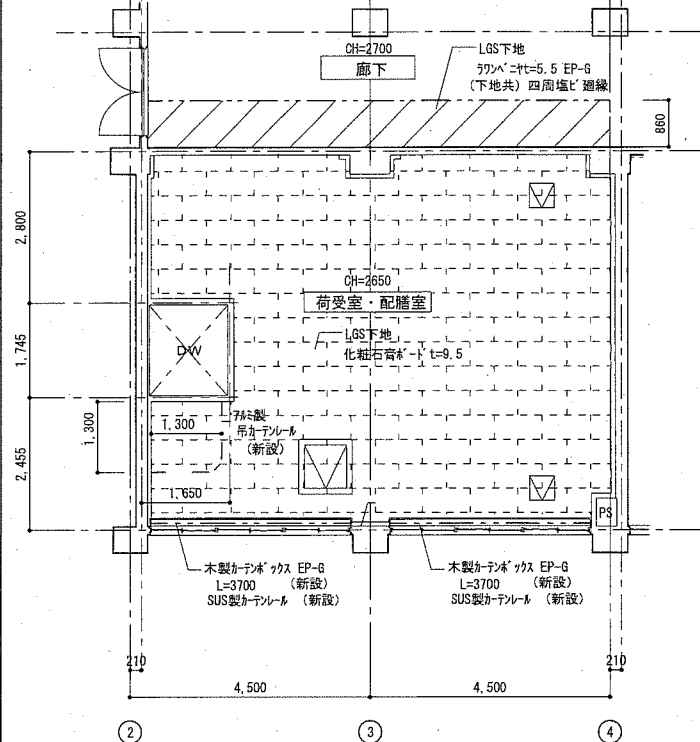


1階天井伏図

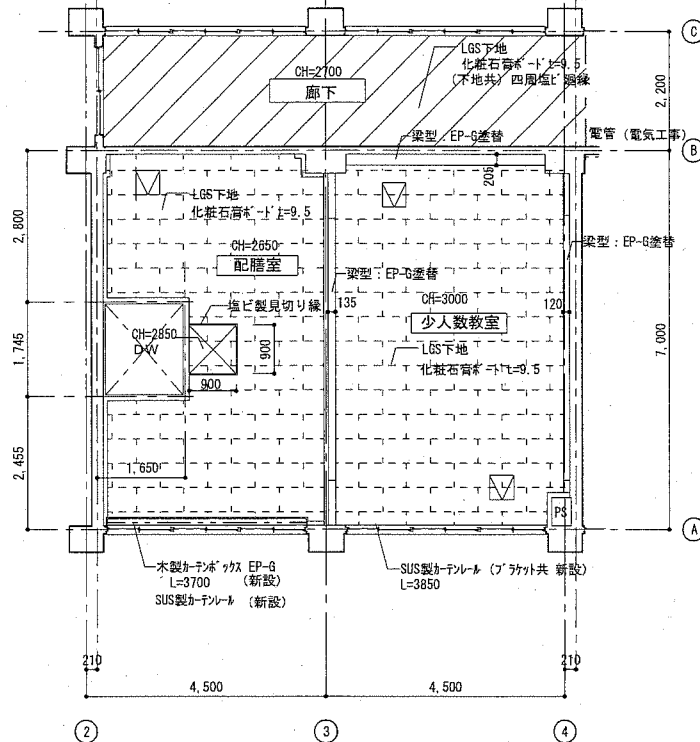


3階天井伏図

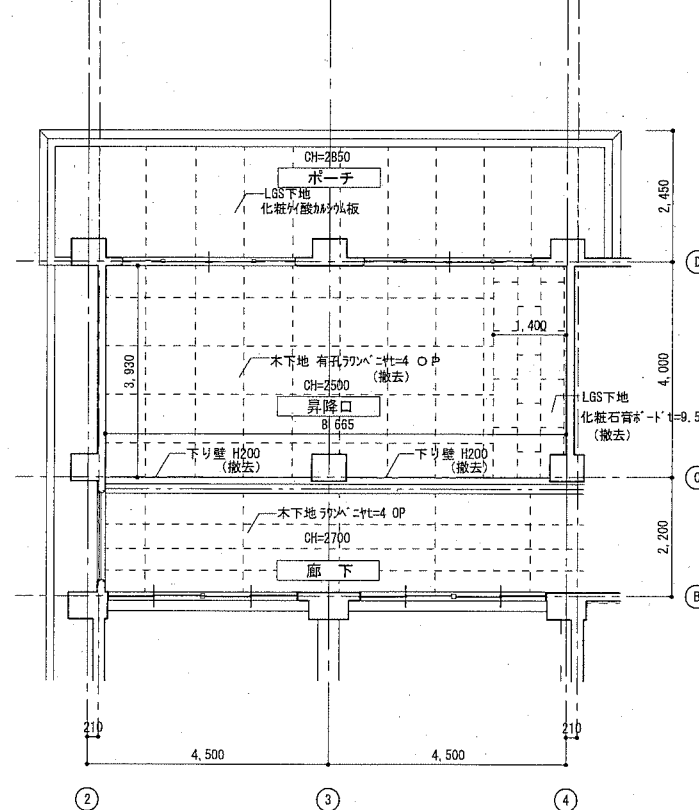
改修後



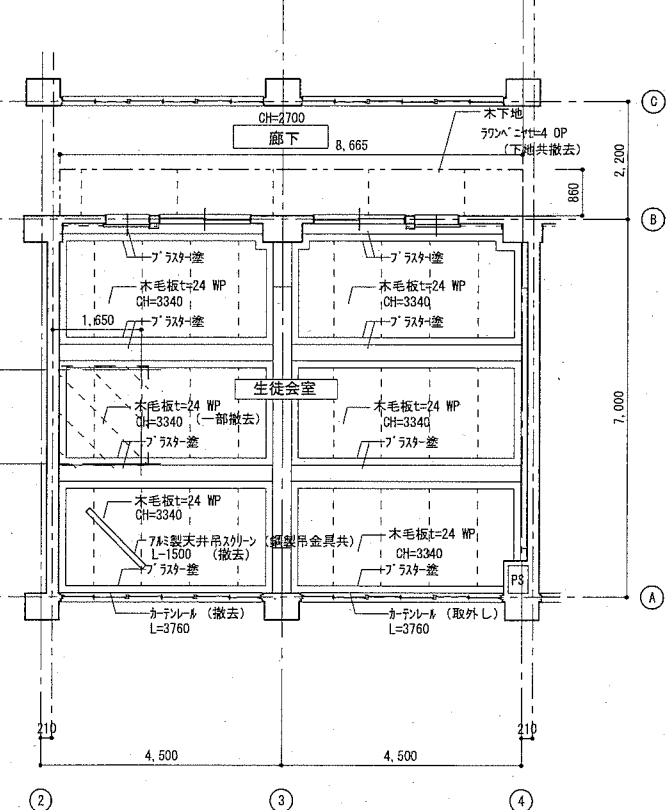
1階天井伏図



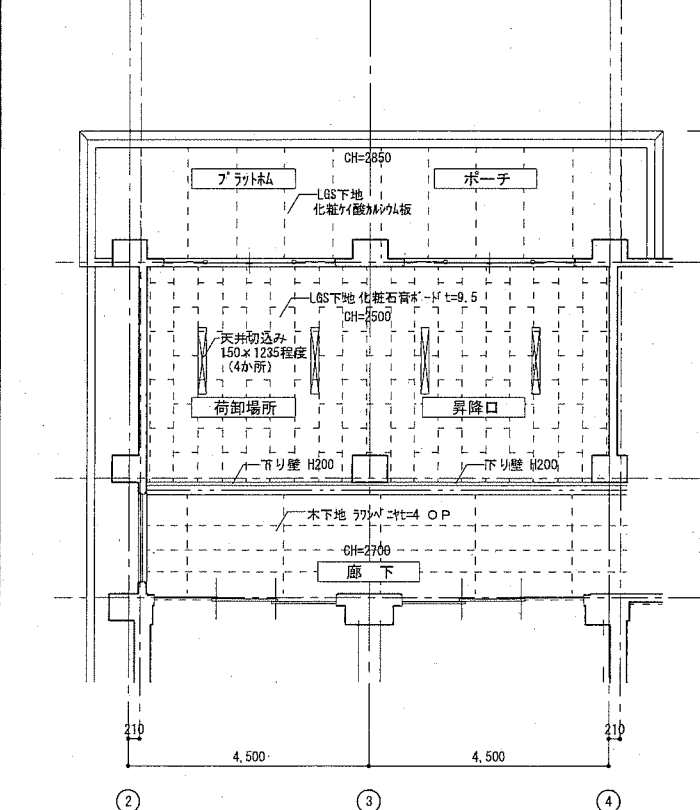
3階天井伏図



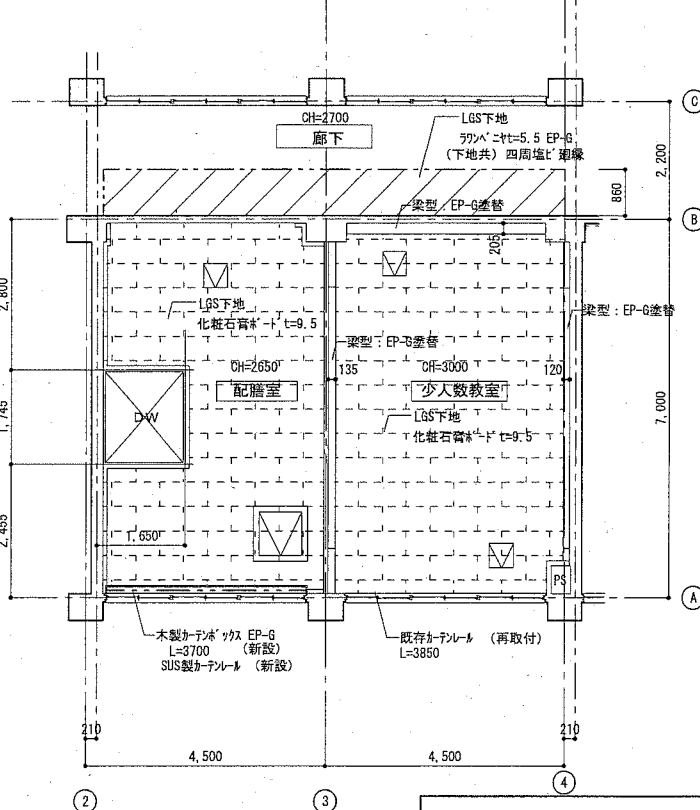
1階天井伏図



2階天井伏図



1階天井伏図



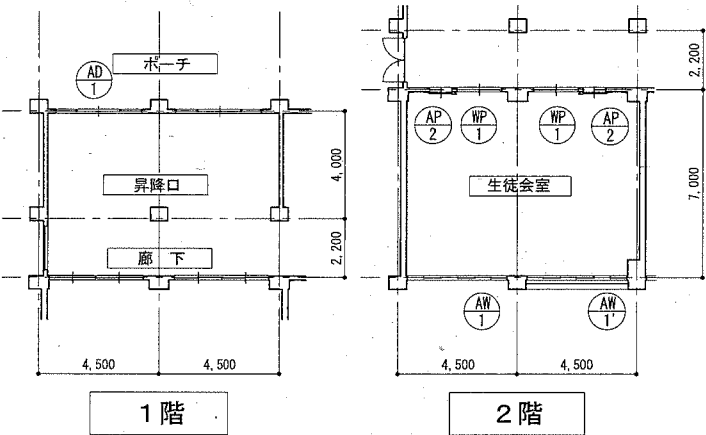
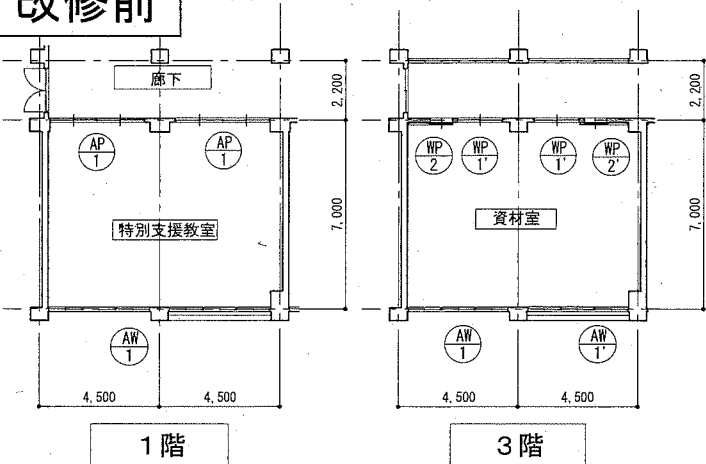
2階天井伏図

注記：
天井撤去は塩ビ製隠蔽具とする。

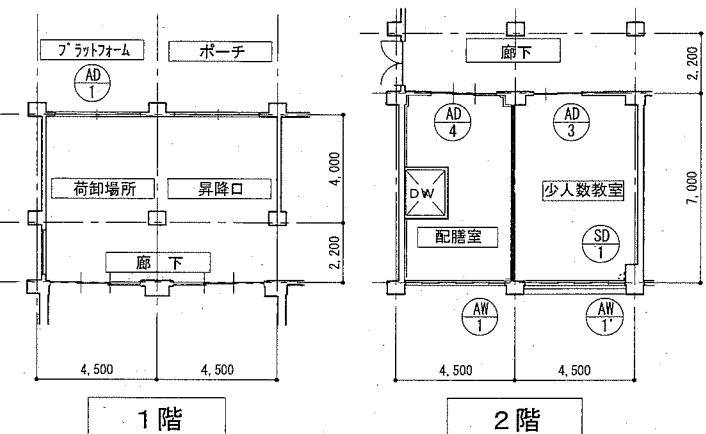
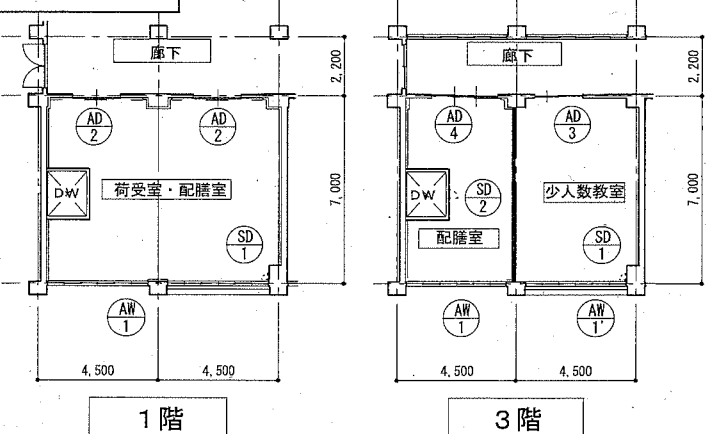
注記：
LGS下地：内部LGS(軽量鉄骨)天井下地は19形
天井には塩ビ製隠蔽具を使用する。
☑ 天井点検口：7ø製450角 隠蔽÷7 (下地開口補強共)
☑ 天井点検口：7ø製600角 隠蔽÷7 (下地開口補強共)

改修前

建具キープラン S=1/200

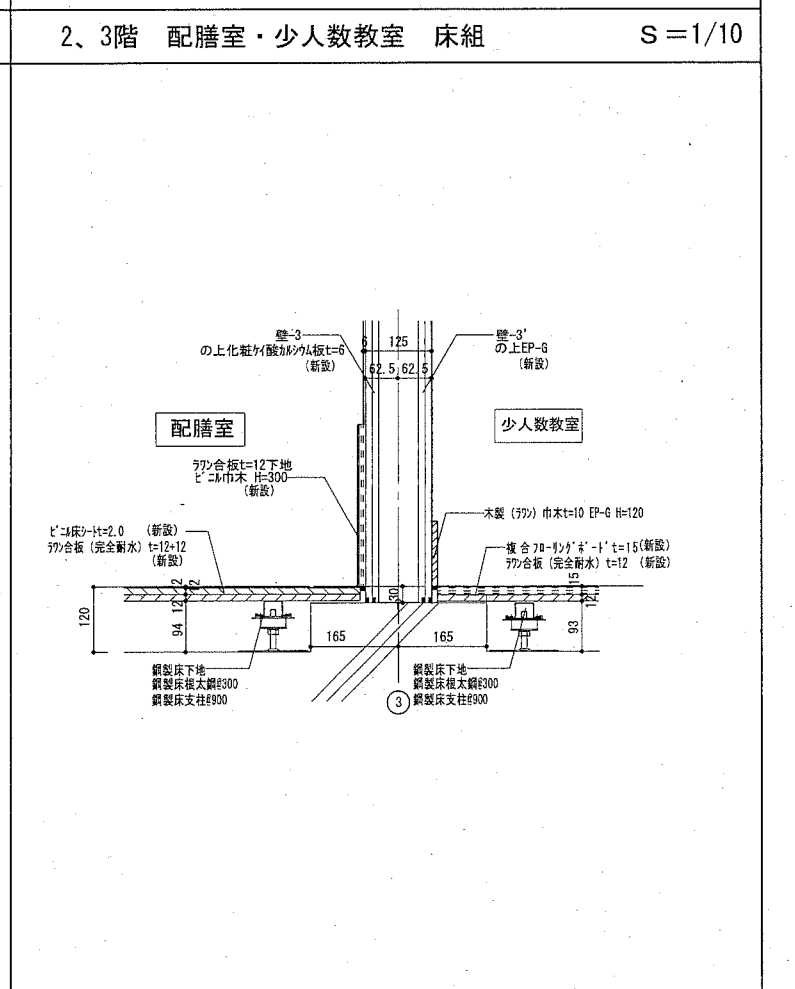
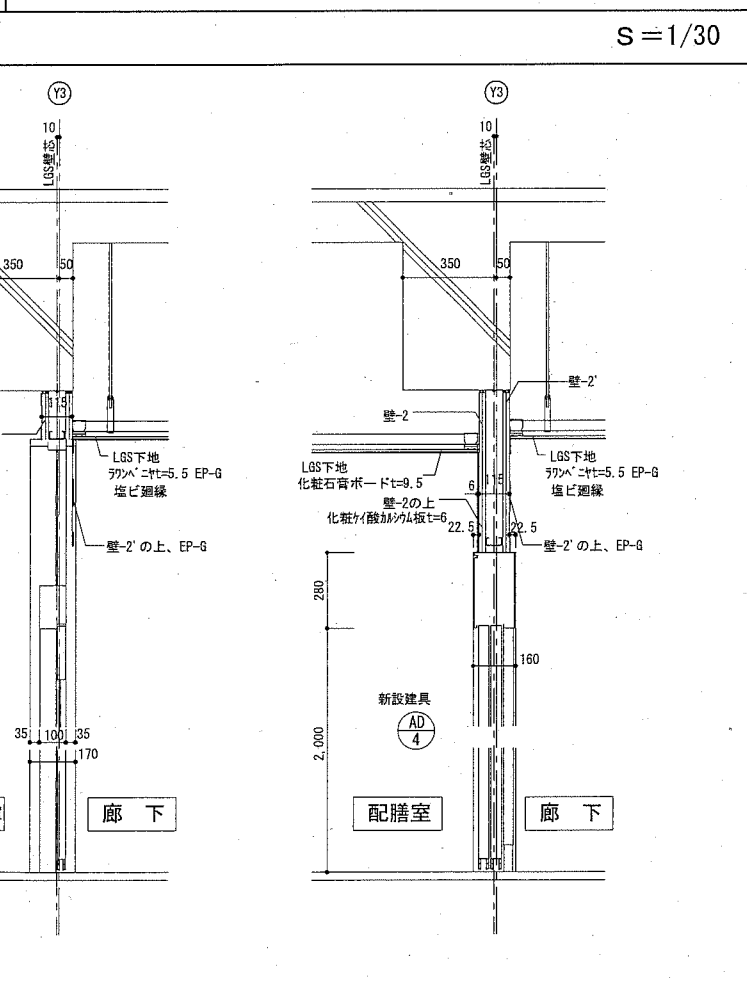
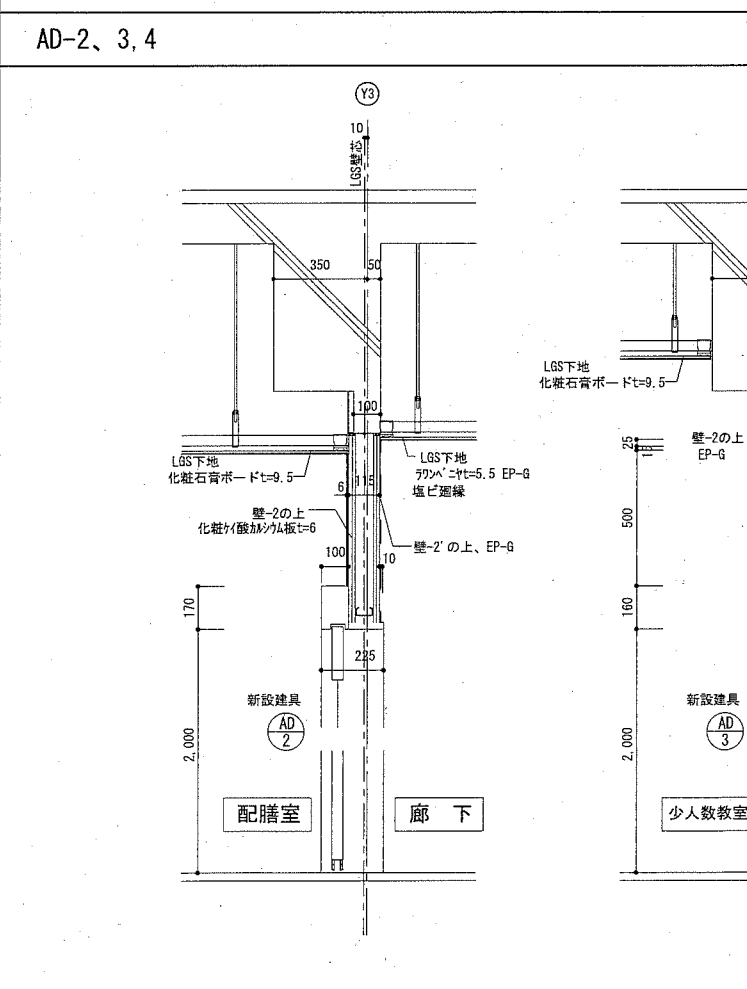
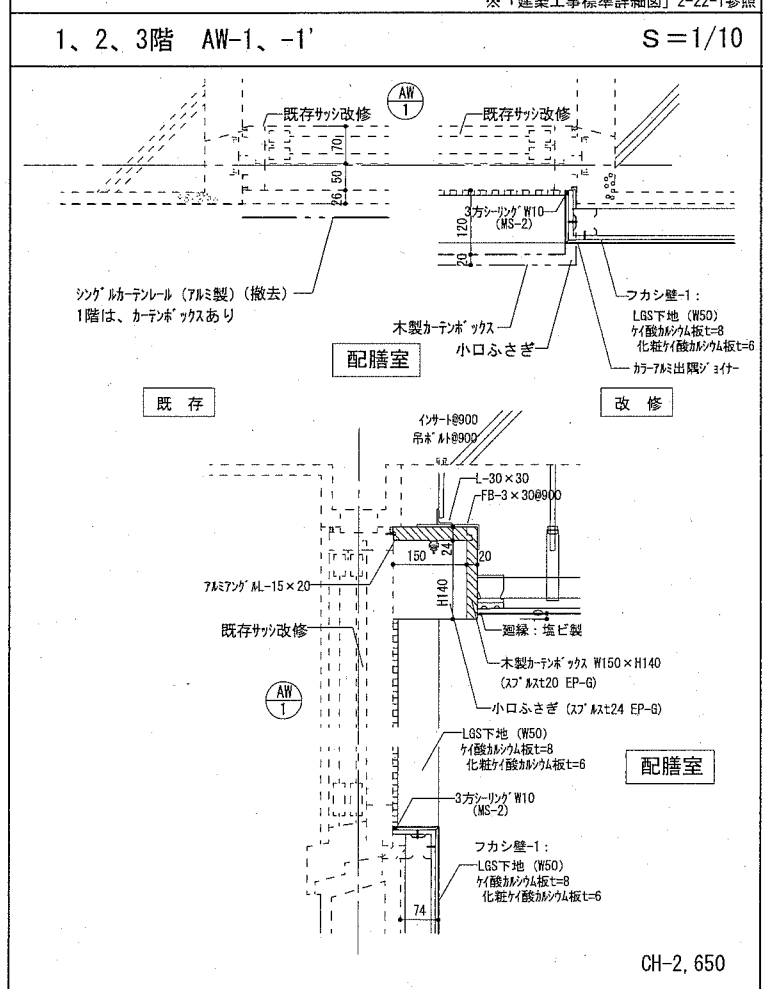
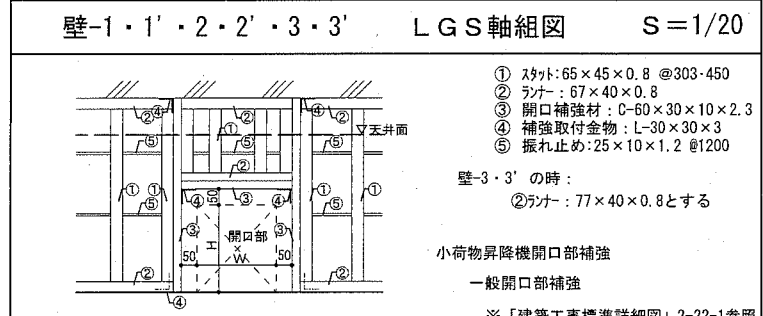
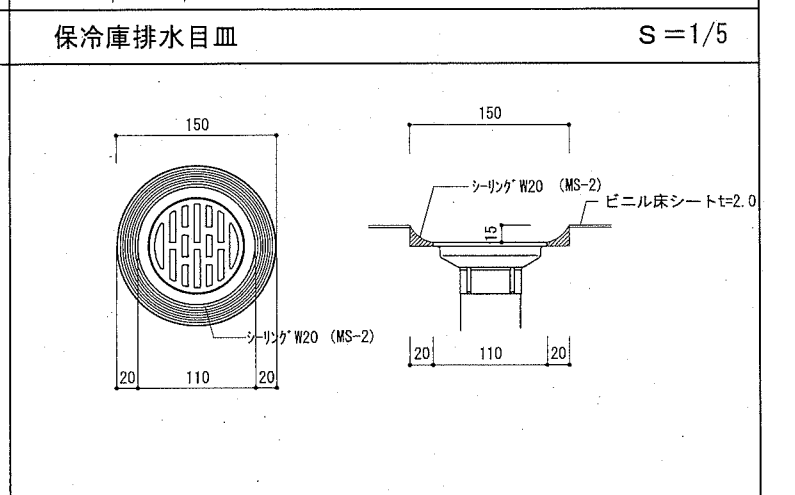
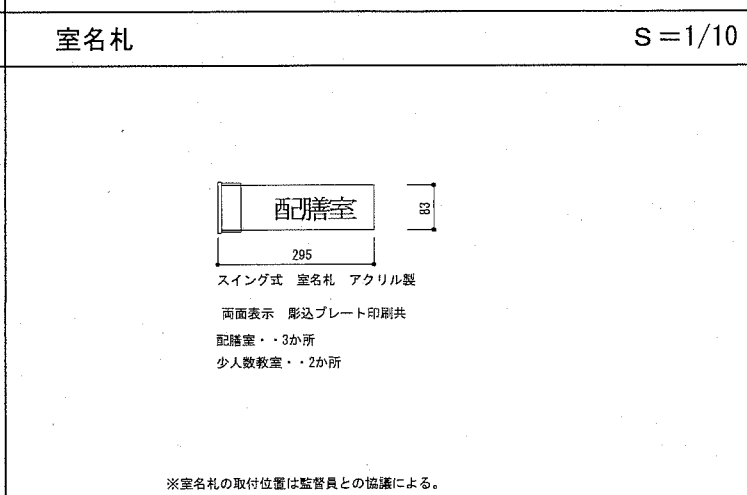
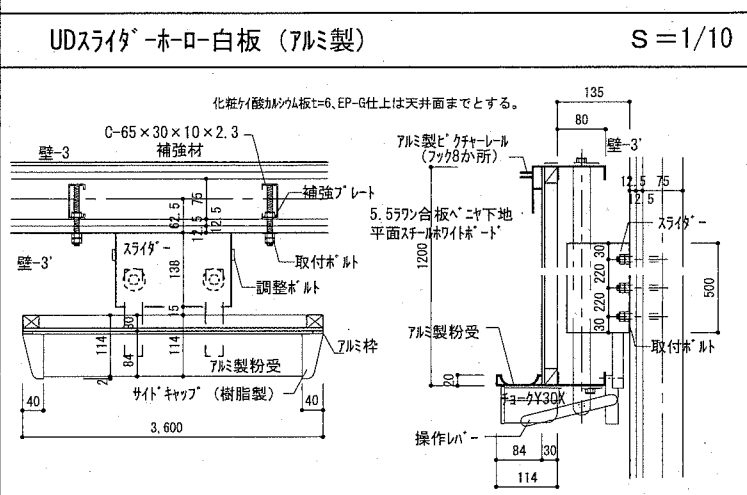
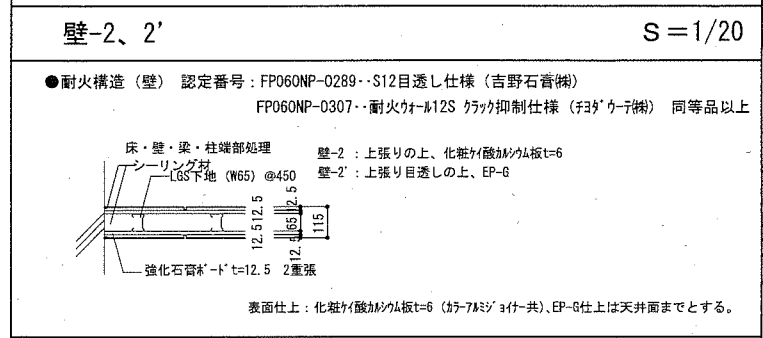
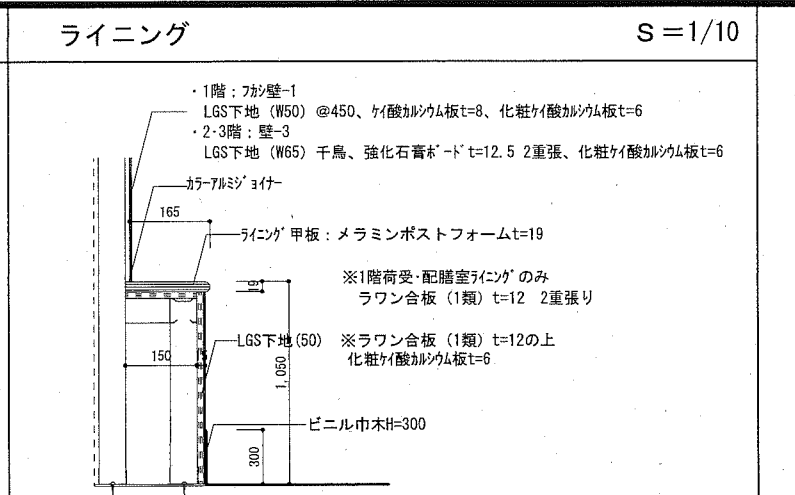
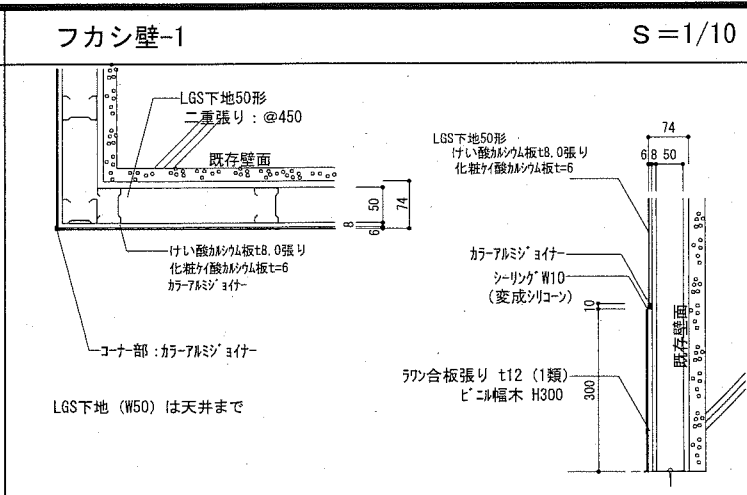
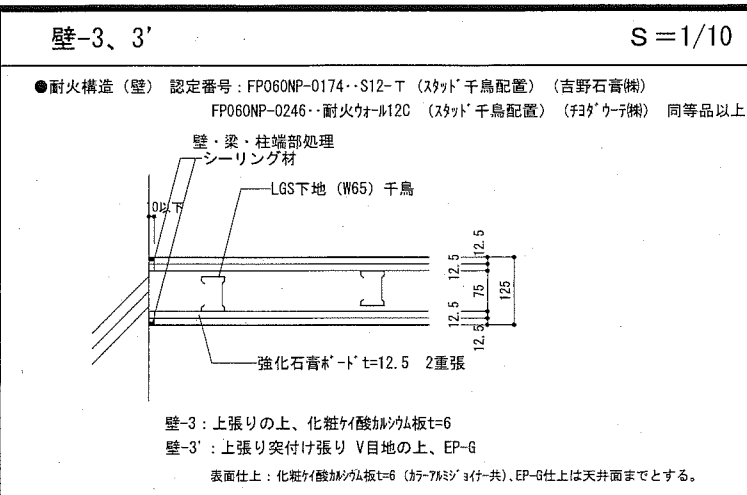
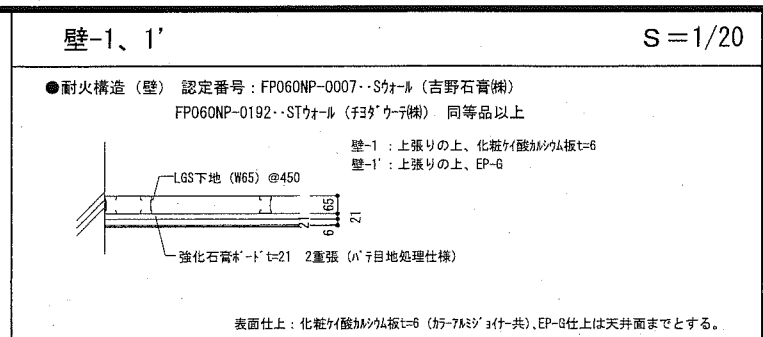


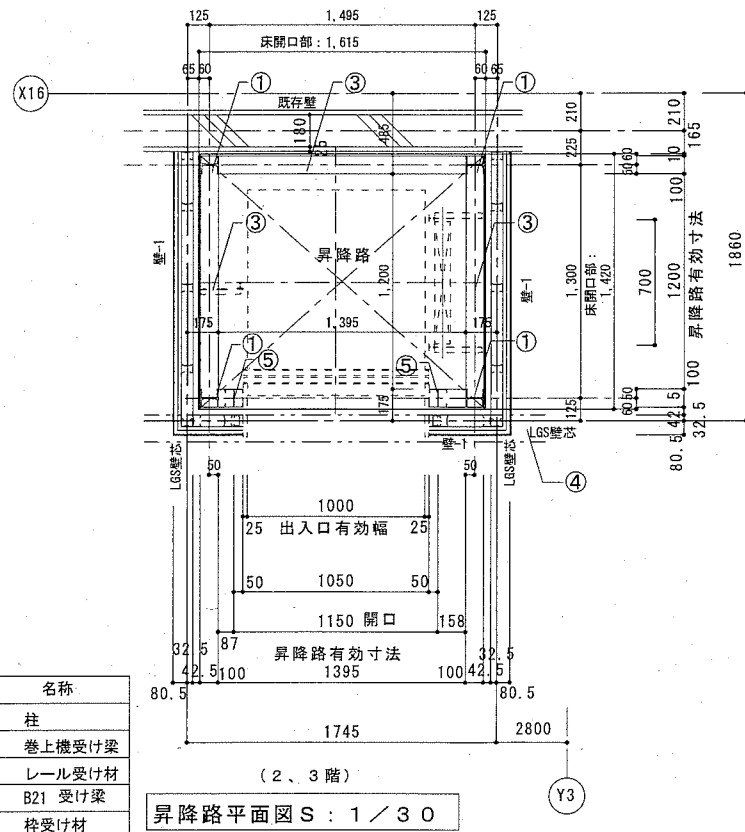
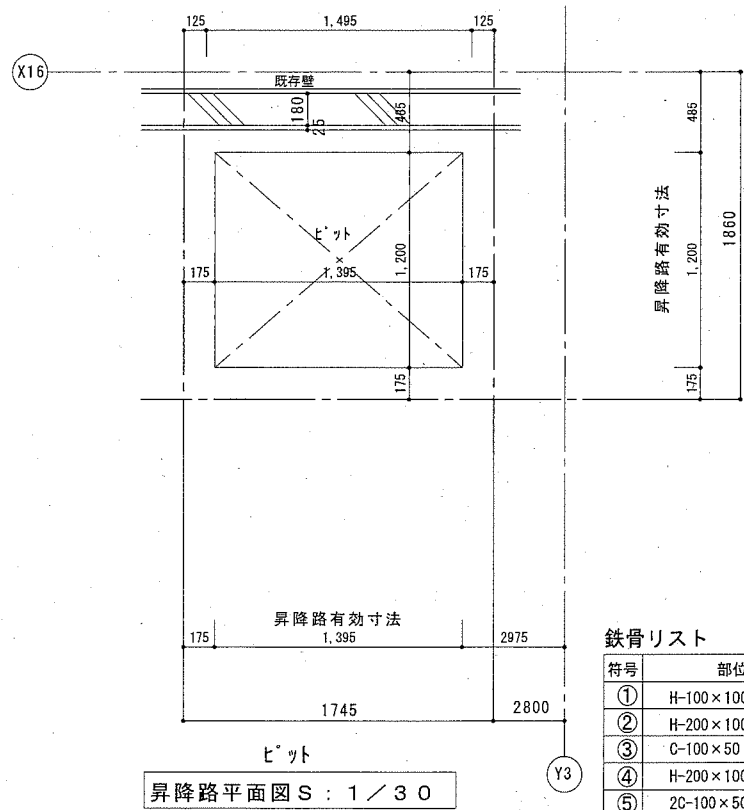
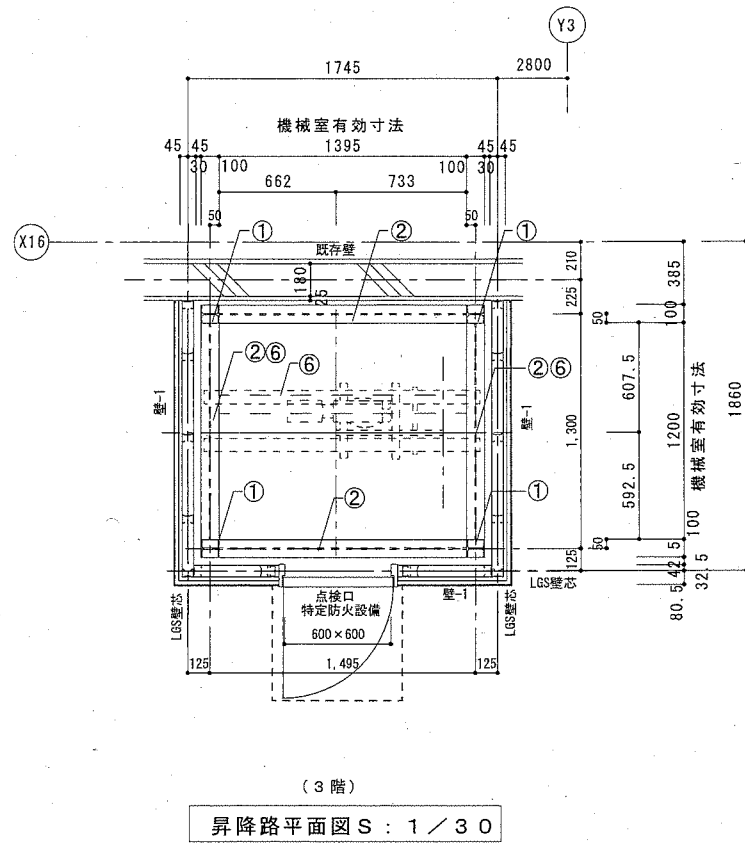
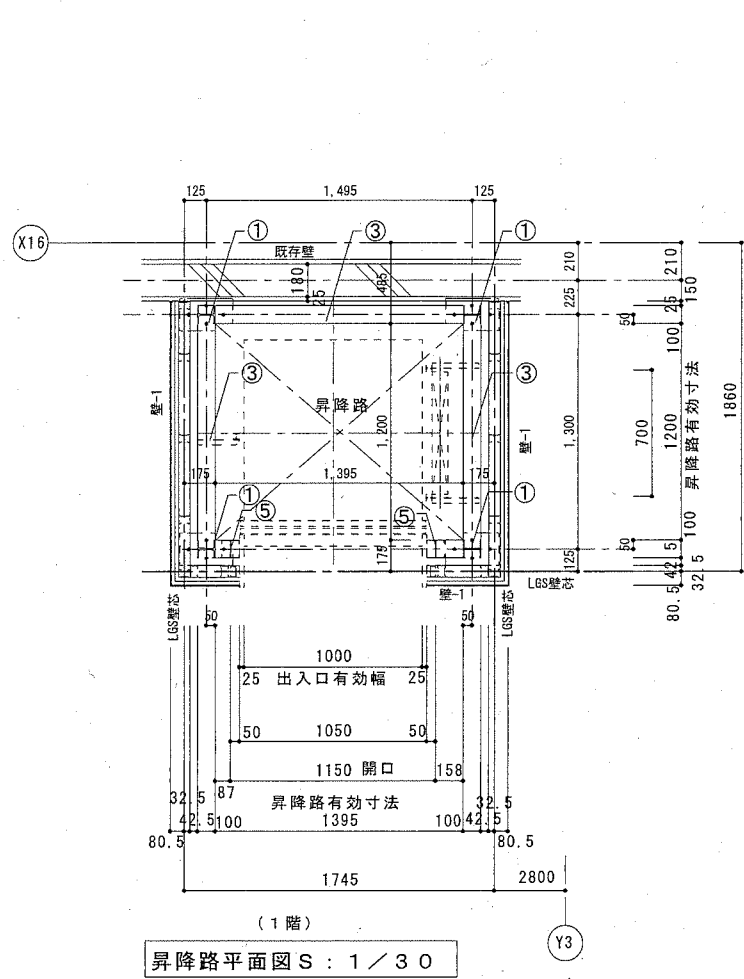
改修後



建具表 S=1/50

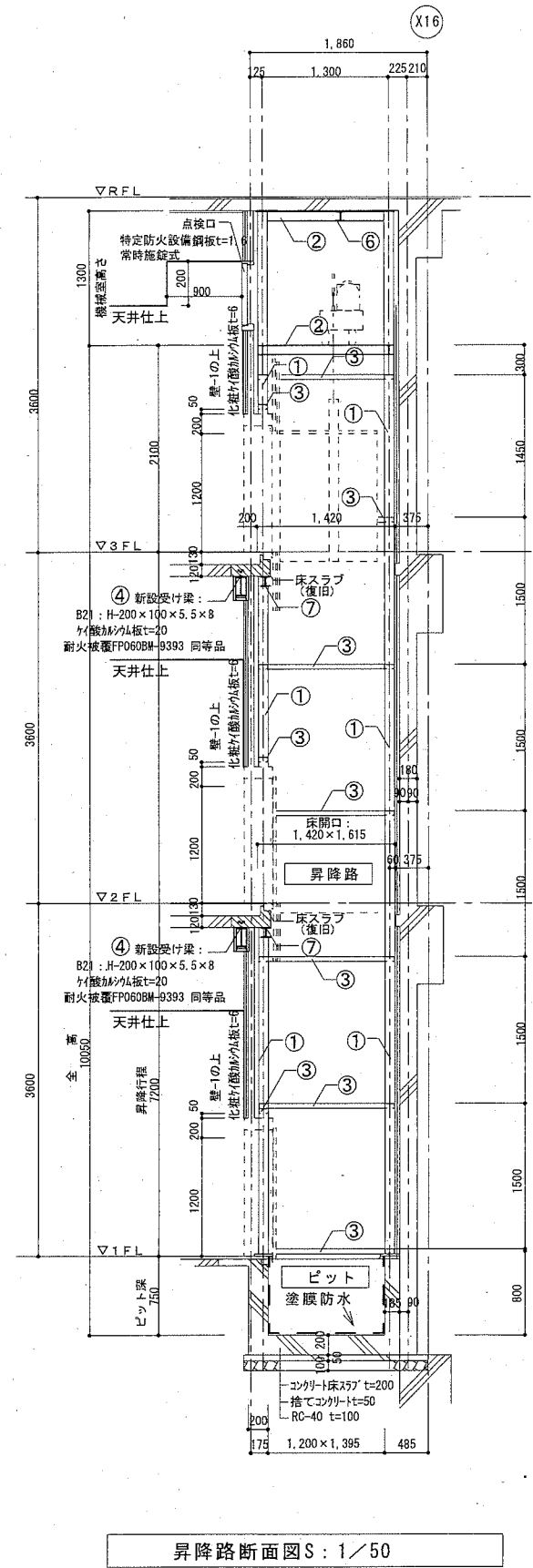
記号・個数	AD-1	AD-2	AD-3	AD-4	SD-1	SD-2
取付場所	昇降口	1階荷受室・配膳室	2・3階少人数教室	2・3階配膳室	1階配膳室、2・3階少人数教室	3階配膳室
形状・寸法						
見込・寸法	70	100	70	160	80	80
種別方式	引違い窓	引分け半自動ドア (必要換気量: 0.13m³)	片引き半自動ドア	片引き半自動ドア (必要換気量: 0.06m³)	片開き点検口	片開き点検口
材料仕上	アルミ製 (シルバー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ焼付塗装	アルミ焼付塗装
ガラス厚	網入り透明ガラス t=6.8	網入り型板ガラス t=6.8	網入り型板ガラス t=6.8・ラマ部: 網入り透明ガラス t=6.8	網入り型板ガラス t=6.8	透明ガラス t3.0	網入り型板ガラス t=6.8
付属金物	引戸錠、引戸錠、SUS製レール、7&8額縁	運動自動装置、ガイドローラー、エンドストップ、引戸錠、押し棒、額縁	引戸錠、押し棒、額縁	引戸錠、押し棒	点検口ヒンジ、点検口用ドアコジー	オートヒンジ番
備考	既存ラマ: 撤去	ガラリの荷受室・配膳室側にSUS24メッシュの防虫網を取付	ガラリの配膳室側にSUS24メッシュの防虫網を取付	ガラリの配膳室側にSUS24メッシュの防虫網を取付	特定防火設備	特定防火設備
記号・個数	AP-1	AP-2	WP-1	WP-2	WP-1	WP-2
取付場所	1階荷受室・配膳室	2階生徒会室	2階生徒会室、3階資材庫	3階資材庫	1階特別支援教室、2階生徒会室、3階資材庫	1階特別支援教室、2・3階配膳室、少人数教室
形状・寸法						
見込・寸法	100	70	70	70	70	70
種別方式	引違い窓	片引き戸	引違い窓	片引き戸	引違い窓	引違い窓
材料仕上	7&8製	7&8製	木製	木製	アルミ製 (シルバー)	アルミ製 (シルバー)
ガラス厚	網入り型ガラス t=6.8、透明ガラス t3	網入り型ガラス t=6.8	透明ガラス t3.0	網入り型ガラス t=6.8	網入り透明ガラス t=6.8 (一部撤去)	網入り透明ガラス t=6.8 (一部撤去)
付属金物	枠共撤去	枠共撤去	枠共撤去	枠共撤去	7&8レール t=2.5、水切、木製額縁	7&8レール t=3、SUS製レール、ストップ止め
備考	枠共撤去	枠共撤去	枠共撤去	枠共撤去	パネルの位置は1階と2・3階で異なる。(1階表示)	パネルの位置は1階と2・3階で異なる。(1階表示)



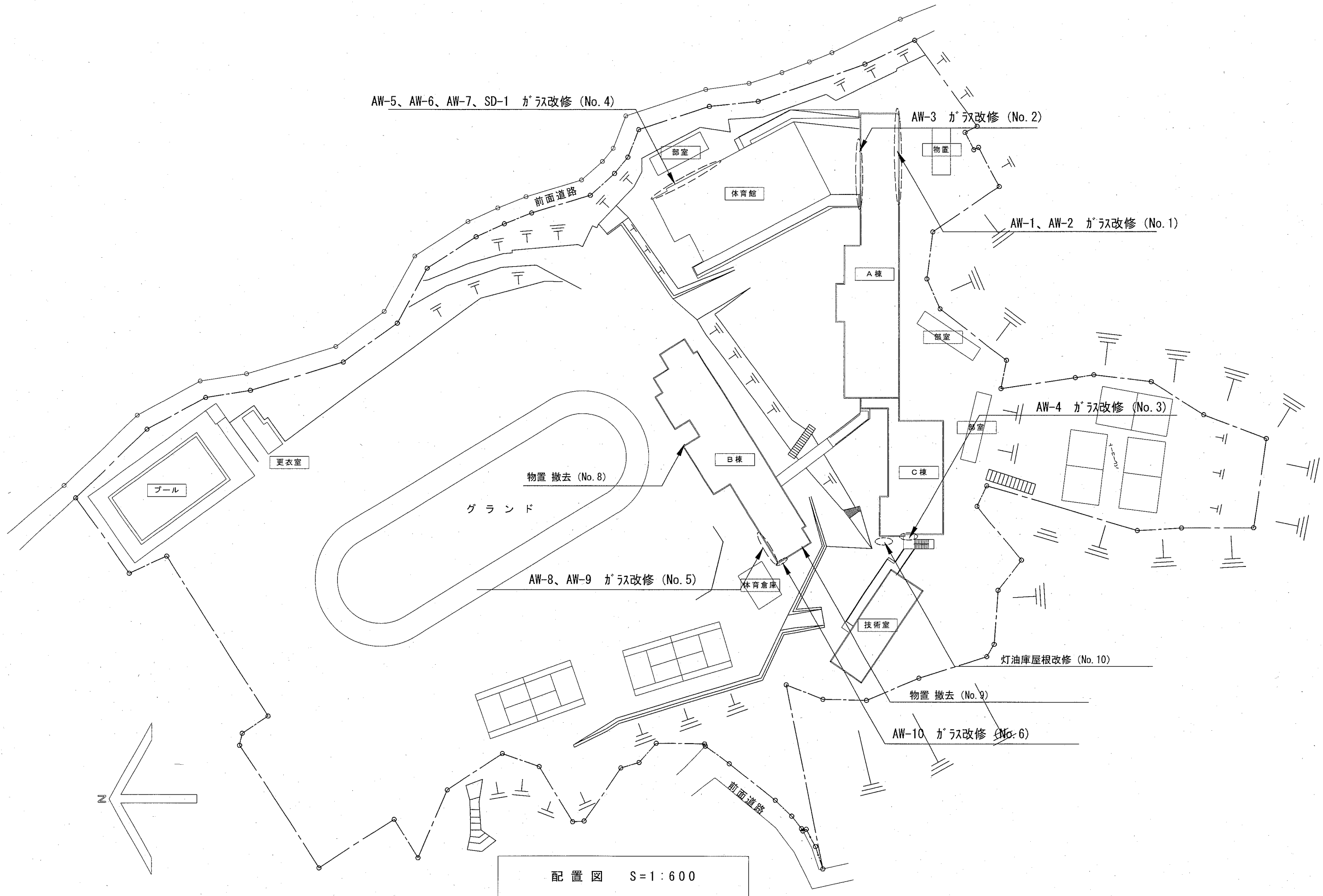


鉄骨リスト

符号	部位	名称
①	H-100×100×6×8	柱
②	H-200×100×5.5×8	巻上機受け梁
③	C-100×50×20×3.2	レール受け材
④	H-200×100×5.5×8	B21 受け梁
⑤	2C-100×50×20×3.2	枠受け材
⑥	H-100×100×6×8	構重用梁
⑦	H-100×100×6×8	敷居受け材



塗膜防水材：ケイ酸質系塗布防水
JASS8 M-301規格適合品
C-UPアイワ

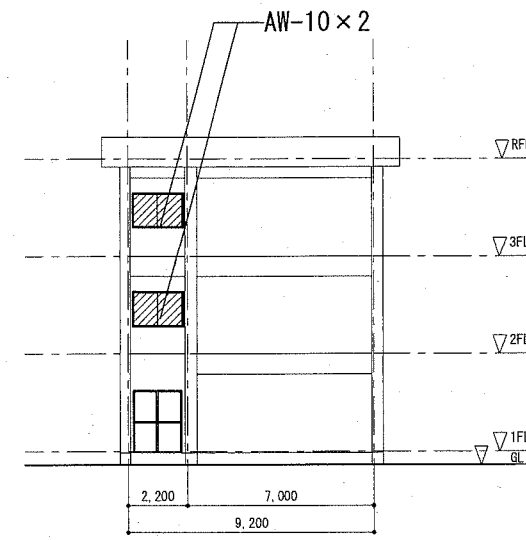


配置図 S=1:600

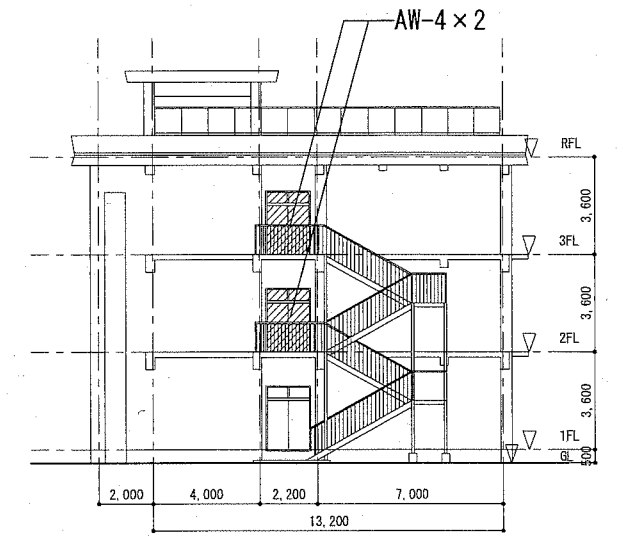
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (馬堀中学校)	図面名称 既存建物改修 配置図	縮尺 1:600	A-25
			設計年月日 令和 2年 2月	図面番号	縮尺		



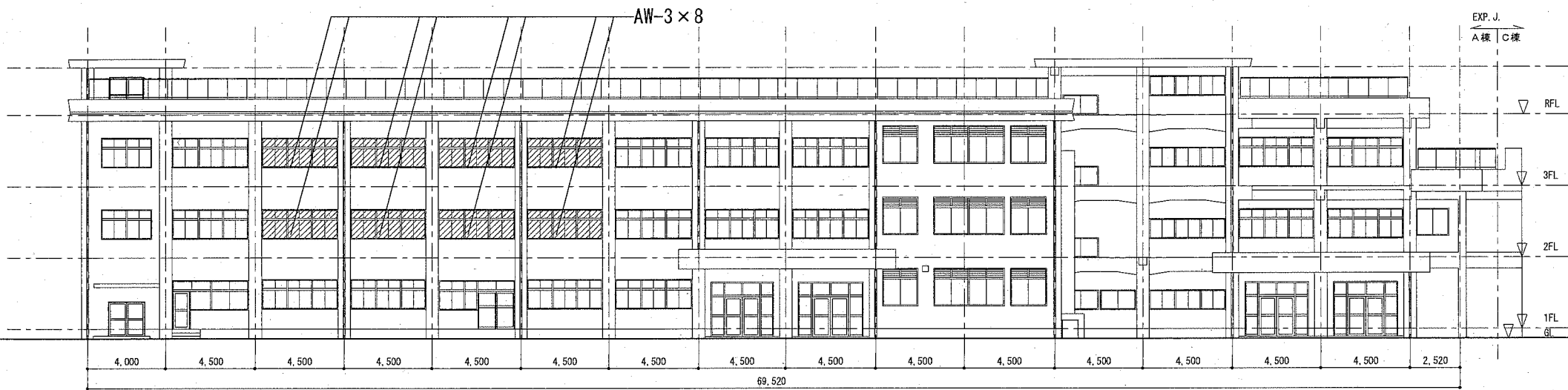
B棟北面立面図 S=1/200



B棟西面立面図 S=1/200

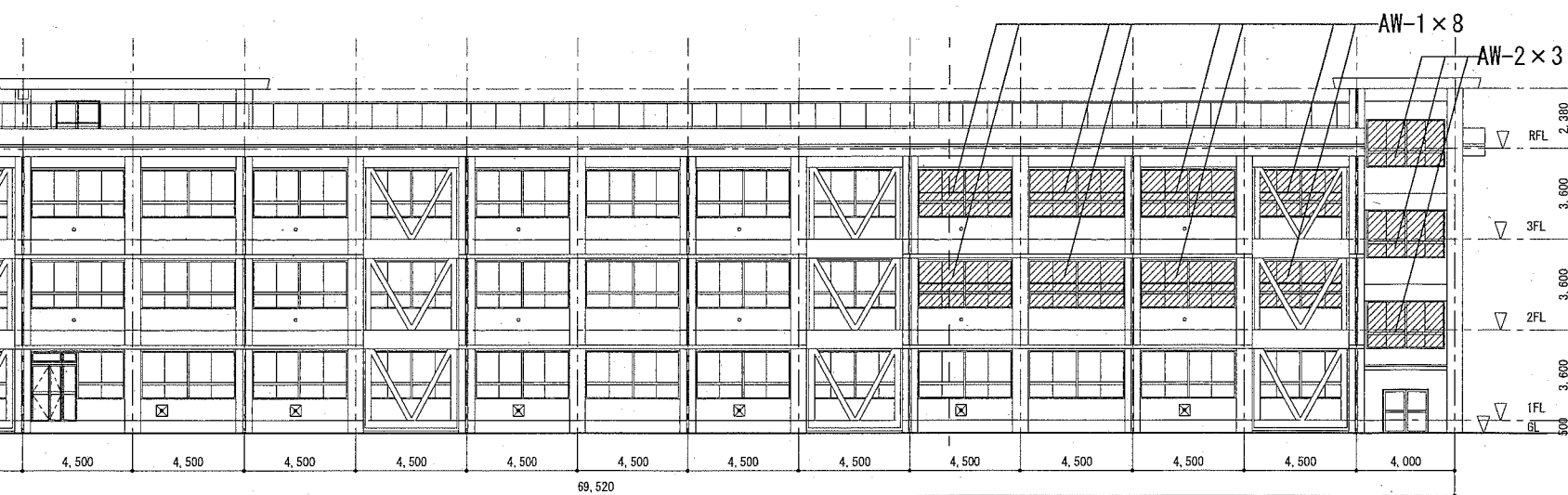


C棟西面立面図 S=1/200

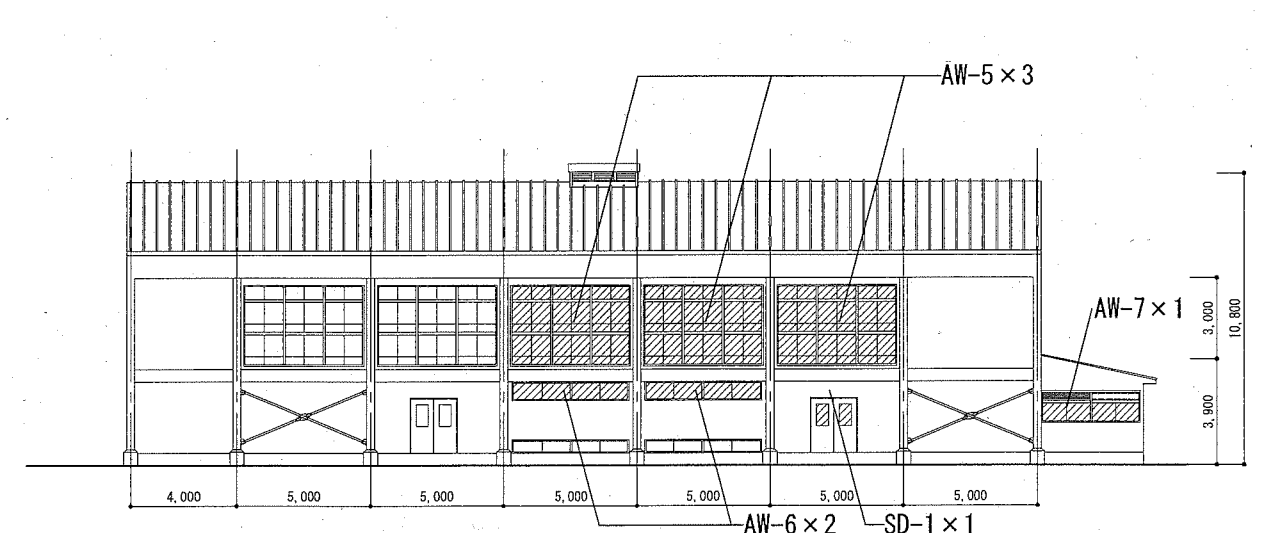


A棟北面立面図 S=1/200

既存が撤去し、透明網入りガラスt=6.8新設
(防火設備用シーリング共) (建具表参照)



A棟南面立面図 S=1/200

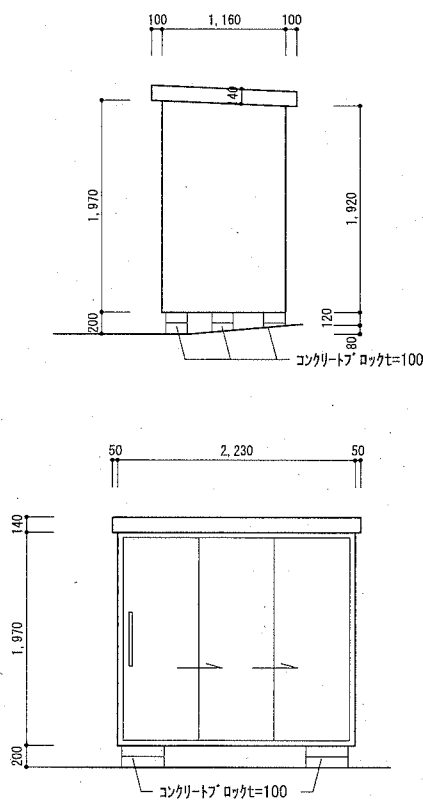


体育馆東面立面図 S=1/200

記号・個数 取付場所	AW-1 校舎 No1 A棟 2~3階 8か所	AW-2 校舎 No1 A棟 2~3階 3か所	AW-3 校舎 No2 A棟 2~3階 8か所	AW-4×2 校舎 No3 C棟 2~3階 2か所	AW-5 体育館 No4 2階 (ネット上部) 3所	
形状・寸法						
ガラス厚	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	
記号・個数 取付場所	AW-6 体育館 No4 1階 2か所	AW-7 体育館 No4 1階 1か所	AW-8 校舎 No5 B棟 1~3階 3か所	AW-9 校舎 No5 B棟 1~3階 3か所	AW-10 校舎 No6 B棟 2~3階 2か所	SD-1 体育館 No4 1階 1か所
形状・寸法						
ガラス厚	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)	透明ガラスt3+飛散防止フィルムの上撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シリング(内外共)

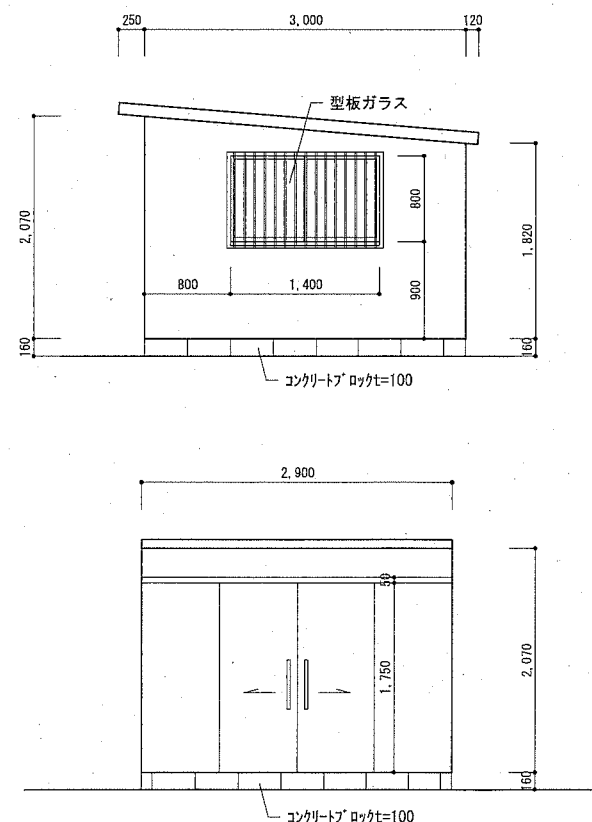
(No. 8) 物置 撤去

S=1/50

軽量鋼板製物置
(YODOKO製)

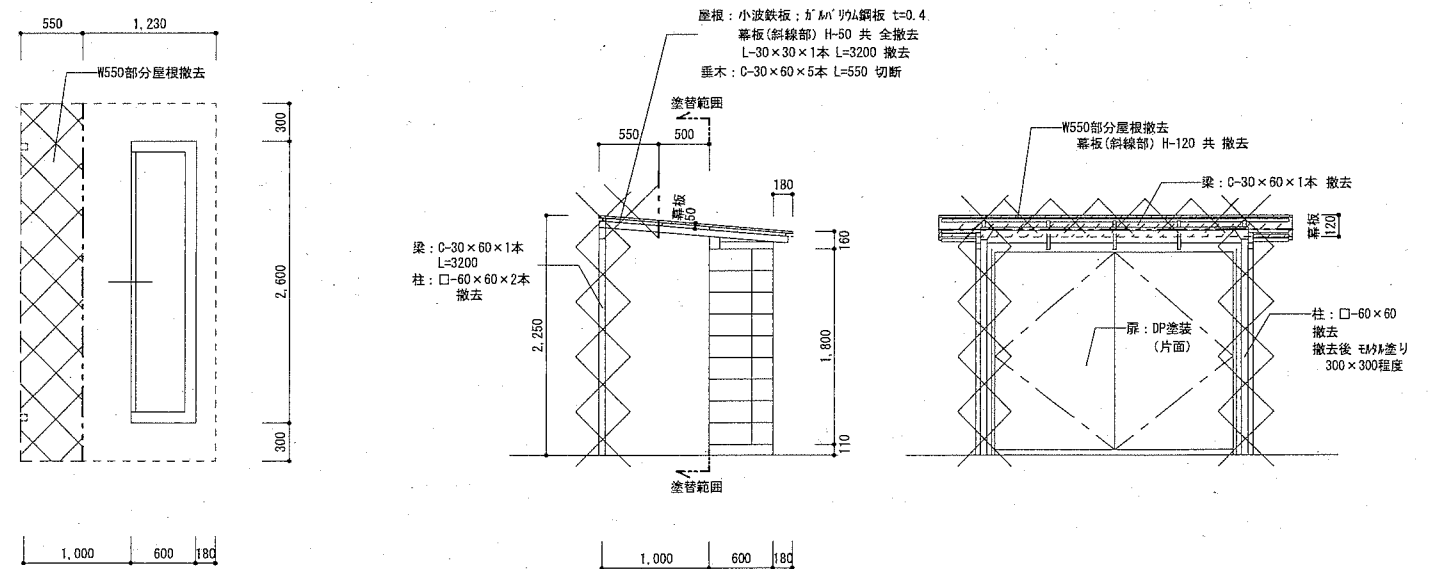
(No. 9) 物置 撤去

S=1/50

軽量鋼板製物置
(株)田産工業所製

(No. 10) 灯油庫屋根改修

S=1/50



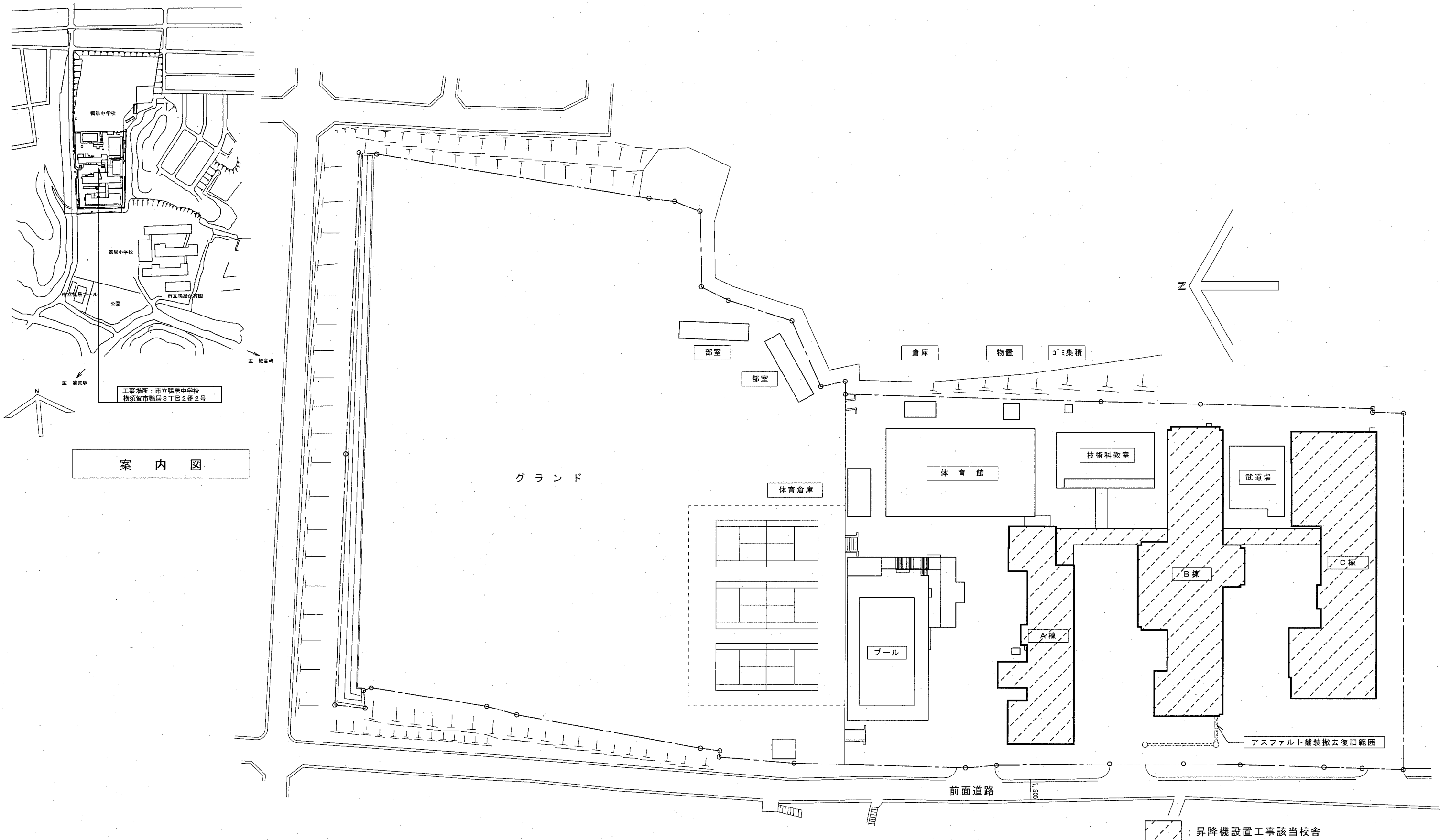
W550部分屋根撤去 (幕板共)
 既存鉄部 DP塗装: 工程D種、下地調整RB種 (鉄厚 片面)
 切口処理: 同上

屋根: 小波鉄板; 鋼板 t=0.4
 幕板 (斜線部) H-50 共 全撤去
 L-30×30×1本 L=3200 撤去
 垂木: C-30×60×5本 L=550 切断

W550部分屋根撤去
 幕板 (斜線部) H-120 共 撤去

梁: C-30×60×1本 撤去

柱: □-60×60
 撤去後 杉材塗り
 300×300程度



案内図

配置図 S=1:600

建築概要

○昇降機設置に伴う建築工事

- 1階：更衣室を荷受室、配膳室へと改修
バンコナーを給食事務・休憩室へと改修
渡り廊下を荷降場所へと改修
- 2階：更衣室を配膳室へと改修
- 3階：更衣室を配膳室へと改修

・その他（既存アルミ建具ガラス交換及び既存石油庫改修、倉庫撤去、
既存アルミ建具撤去の上新設アルミ建具基礎設置。新設アルミ建具：機械設備工事）

○機械設備工事
○電気設備工事（別途工事）

外部仕上表

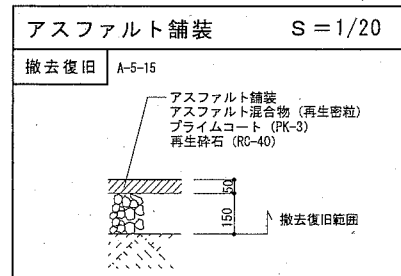
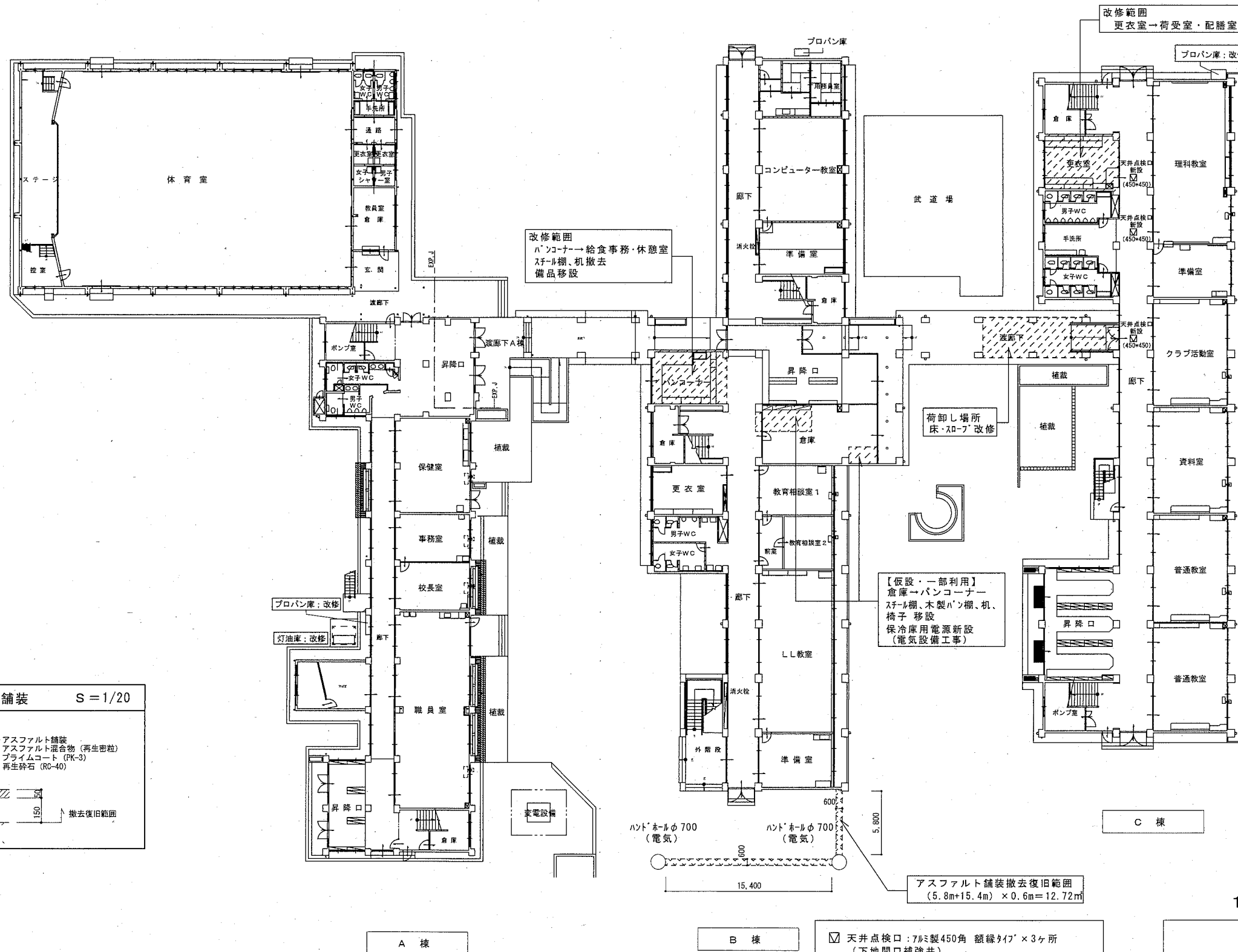
	既存	改修	備考
外壁	珪藻土毛引き、複層塗材吹付		
軒裏	珪藻土毛引き、外装薄塗材E		
開口部	7mm製建具	(一部撤去)	一部新設
外中木	珪藻土金縷		

注記

- 外壁塗装材：外壁用塗膜防水材塗 (ローラ ざざ波模様 シコン仕上)
- 下地調整：0-1 (新規珪藻土面、既存珪藻土面)
- EP-G：つや有合成樹脂珪藻土塗
- 木部：新規：工程A種 下地調整R種 塗替：工程B種 下地調整R種
- 珪藻土面・せっこうボード面：新規：工程B種 下地調整B種 塗替：工程B種 下地調整R種
- EP：合成樹脂珪藻土塗
- 珪藻土面・せっこうボード面：新規：工程B種 下地調整R種 塗替：工程B種 下地調整R種
- 荷受室・配膳室：床シート：抗菌、耐動荷重性床シートt=2.0
- 下地調整：珪藻土塗
- コンクリート（土間・スラブ）：Fc=21N/mm² (外構を除く)、外構：呼び強度21N/mm²
- 塗膜防水材：珪藻土系塗布防水 JASS8 M-301 規格適合品O-UPタイプ
- 珪藻土面塗装：硬質珪藻土樹脂 膜厚1.0~1.5mm 防滑・屋外対応型

内部仕上表

	室名	床	巾木	壁	天井	高さ	備考
1階	既存 更衣室	珪藻土=28下地 又は、土間スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部撤去) ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) 又は、木下地「ナローリッジ」 t=15 (撤去)	珪藻土金縷 VP H=100 (既存のまま) 珪藻土巾木 H=85 (撤去)	腰壁：珪藻土金縷 VP (一部撤去) プラスチック塗 (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9 EP (撤去)	2780	撤去：7mm製バネーション、木製流し台、PS珪藻土、珪藻土製棚、7mm製吊カテナール
	改修 荷受室兼配膳室	土間スラブ t=120、珪藻土=28下地 (一部新設) 既存珪藻土面下地調整の上 ビニル床シート=2.0 (新設)	ワン合板 t=12 (1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設) 壁-1・2の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、木製額縁、塩ビ製廻縁、木製カテナール、SUS製カテナール、ラインク、ラインク 甲板 (片面小口化粧) SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付)、PS壁点検口300角 (7mm製額縁付)、天井点検口600角 (7mm製額縁付)
	既存 バンコナー	土間スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部撤去) 珪藻土=28下地 (既存のまま) ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) (撤去)	珪藻土金縷 VP H=100 (既存のまま)	腰壁：珪藻土金縷 VP (既存のまま) プラスチック塗 (既存のまま)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9 EP (撤去)	2500	撤去：ノスリッパ 金物、木製カテナール、珪藻土製棚、珪藻土製机 移設：珪藻土製棚、珪藻土製机、木製収納庫
	改修 給食事務・休憩室	コンクリート下地 又は、土間スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部新設) 既存珪藻土面下地調整の上 ビニル床シート=2.5 (マブル) (新設)	ビニル巾木H=100 (新設) 既存面 EP-G塗替 (新設)	既存面 EP-G塗替 (新設) 壁-2'の上 EP-G (新設)	LGS19形@225 (インサート共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2500	新設：7mm製建具、塩ビ製廻縁、天井点検口450角 (7mm製額縁付)、7mm製カテナール、ラインク、ラインク 甲板 (片面小口化粧)、ノスリッパ 金物 既存木製カテナール：EP-G
	既存 渡り廊下 スロープ	磁器質タイル (190×90×t20)、コンクリート新り (撤去) コンクリート下地、塗床 (勾配1/12) コンクリート新り (撤去)	珪藻土金縷 VP (既存のまま) 珪藻土金縷 VP (既存のまま)	珪藻土下地複層塗材塗 (既存のまま) 同上 (既存のまま)	LGS下地 プレキャストボード t=4 (既存のまま) 同上 (既存のまま)	3930	
改修 荷卸し場所 スロープ	珪藻土=30下地、塗床 (ウレタン樹脂系) (新設) 自流しの上、珪藻土塗 t=0~65 塗床 (ウレタン樹脂系・防滑) (改修)						
2階	既存 更衣室	珪藻土=28下地 又は、床スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部撤去) ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) (撤去) 木下地「ナローリッジ」 t=15 (撤去)	珪藻土金縷 VP H=100 (一部撤去) 珪藻土巾木 H=85 (撤去)	腰壁：珪藻土金縷 VP (一部撤去) プラスチック塗 (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9 EP (撤去)	2780	撤去：7mm製バネーション、木製流し台、7mm製バネ、7mm製吊カテナール、珪藻土製棚
	改修 配膳室	既存珪藻土面下地調整 又は、床スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部新設) ビニル床シート=2.0 (新設)	ワン合板 t=12 (1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設) 壁-1・2の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、木製額縁、塩ビ製廻縁、木製カテナール、SUS製カテナール、ラインク、ラインク 甲板 (片面小口化粧) PS点検口300角 (7mm製額縁付)、SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付)、天井点検口600角 (7mm製額縁付)
3階	既存 更衣室	珪藻土=28下地 又は、床スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部撤去) ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) (撤去) 木下地「ナローリッジ」 t=15 (撤去)	珪藻土金縷 VP H=100 (一部撤去) 珪藻土巾木 H=85 (撤去)	腰壁：珪藻土金縷 VP (一部撤去) プラスチック塗 (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9 EP (撤去)	2780	撤去：7mm製バネーション、木製流し台、7mm製バネ、7mm製吊カテナール、珪藻土製棚
	改修 配膳室	既存珪藻土面下地調整 又は、床スラブ t=120 珪藻土=28下地 (一部新設) ビニル床シート=2.0 (新設)	ワン合板 t=12 (1類)の上、ビニル巾木H=300 (新設)	7mm壁-1の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設) 壁-1・2の上 化粧珪藻土加珪藻土板 t=6 (新設)	LGS19形@225 (インサート共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	2650	新設：7mm製建具、木製額縁、塩ビ製廻縁、木製カテナール、SUS製カテナール、ラインク、ラインク 甲板 (片面小口化粧) PS点検口300角 (7mm製額縁付)、SUS流し (W900×D600×H800 バックボード・排水トラップ付)、天井点検口450角 (7mm製額縁付)、珪藻土製点検口
各階	既存 廊下	珪藻土=28下地 (一部撤去) ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) (一部撤去)	珪藻土金縷 VP H=100 (一部撤去)	腰壁：珪藻土金縷 VP (一部撤去) プラスチック塗 (一部撤去)	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9 EP (一部撤去)	2500	
	改修 廊下	珪藻土=28下地 (新設) 既存珪藻土面下地調整の上 ビニル床シート=2.5 (コンタイプ) (新設)	珪藻土塗りの上 EP-G H=100 (一部新設) 既存珪藻土面 EP-G H=100 (新設) 壁-2'の上 ビニル巾木H=100 (新設)	珪藻土塗りの上 EP-G (一部新設) 壁-2' EP-G (新設) 既存面 EP-G塗替 (新設)	LGS19形@300 (インサート共)下地 (一部新設) 石膏ボード t=9.5 目透し張りEP (一部新設)	2500	新設：天井点検口 450角 (7mm製額縁付) (2か所)、600角 (7mm製額縁付) (1か所) 一部新設：塩ビ製廻縁

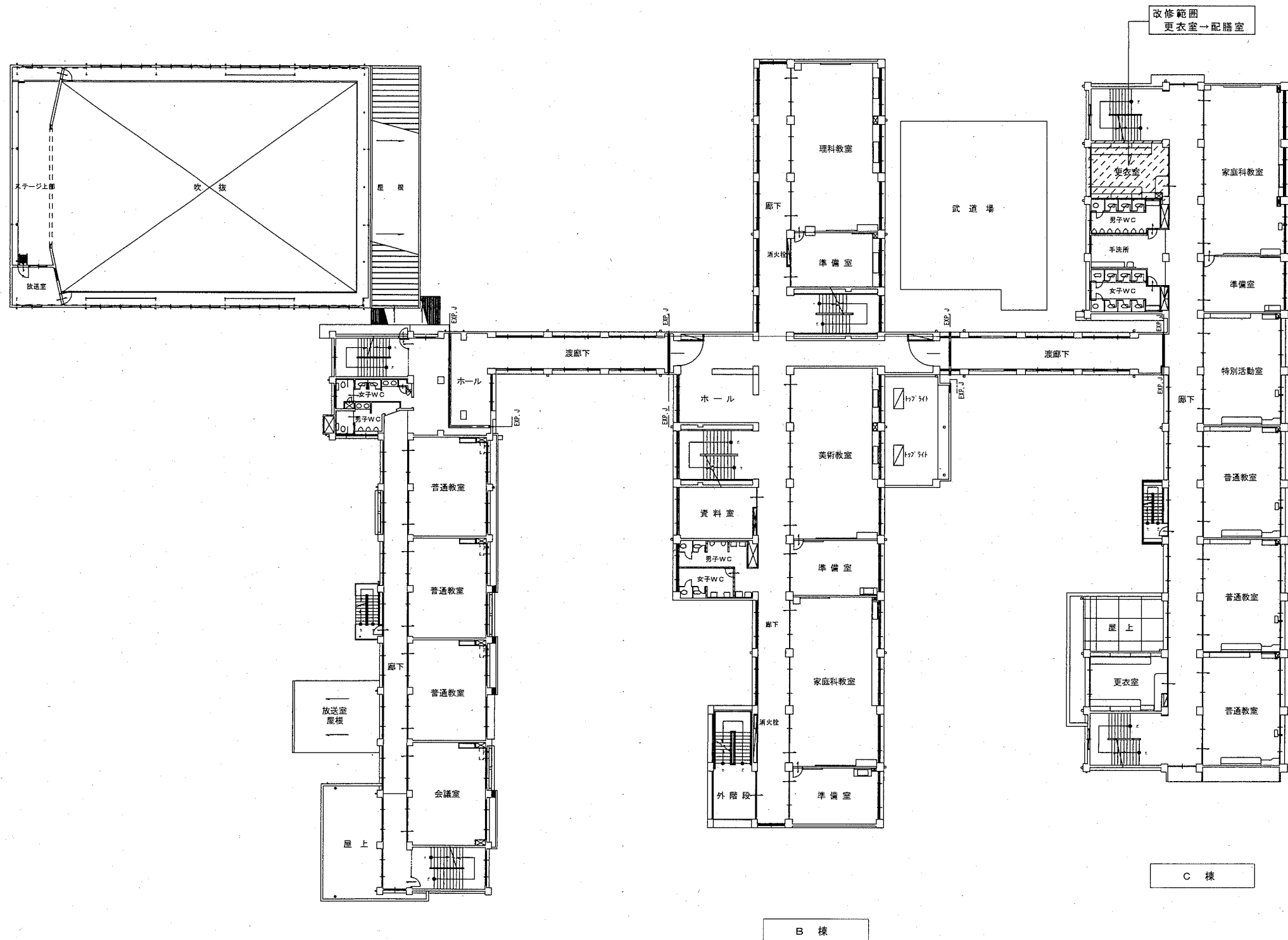


1階床面積 ; 2,471.58㎡

1階平面図

☑ 天井点検口: 7形製450角 額縁タイプ×3ヶ所
(下地開口補強共)
設置詳細位置は、電気設備工事と調整すること。

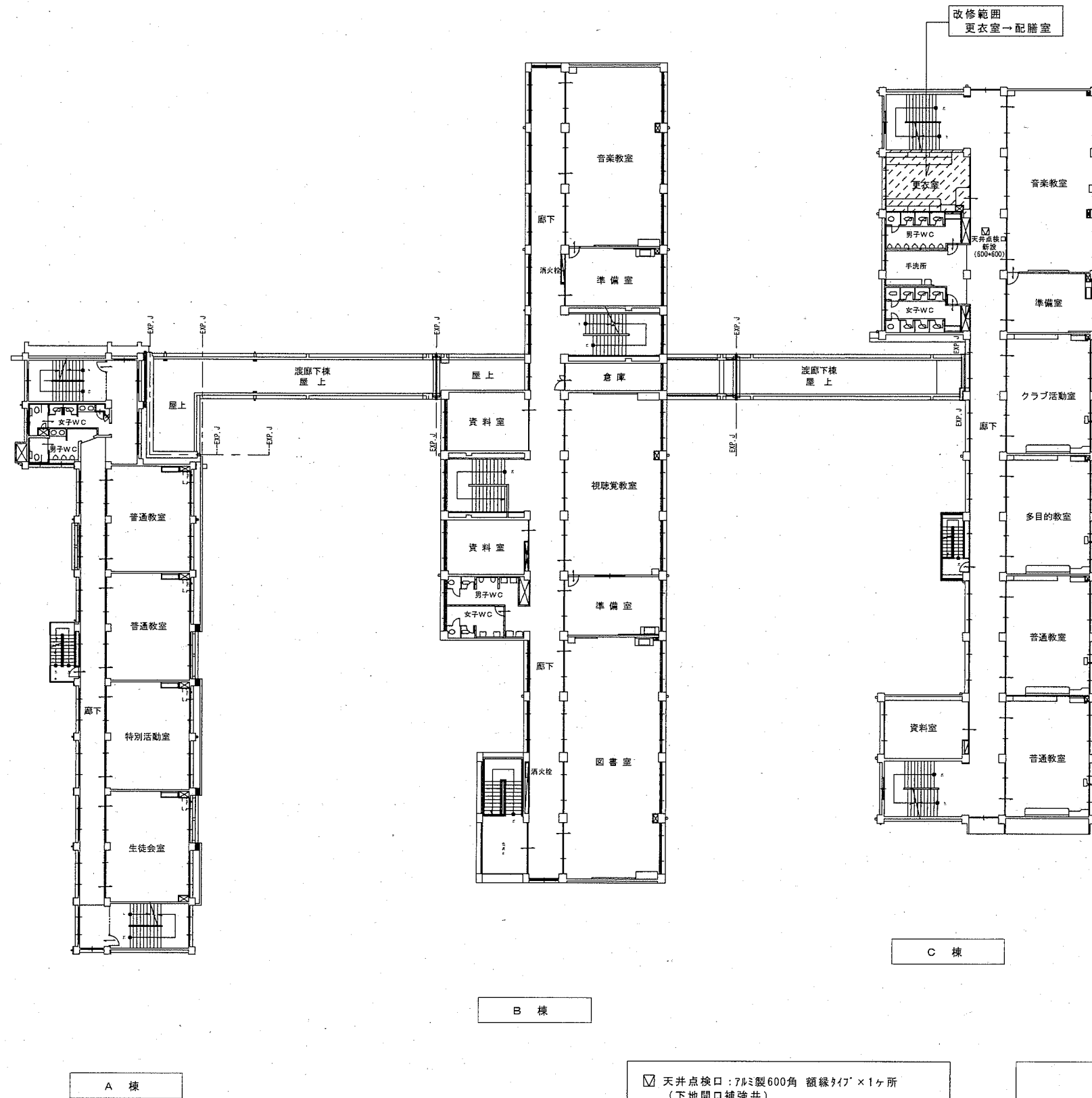
アスファルト舗装撤去復旧範囲
(5.8m+15.4m) × 0.6m = 12.72㎡



2階床面積 ; 2,337.16㎡

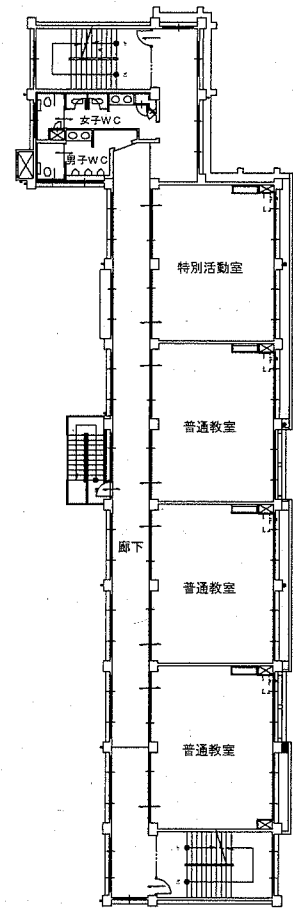
2階平面図

公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和 2年 2月	設計名称 <small>NAME OF PROJECT</small> 市立高尾中学校ほか1校群附属施設建築工事 <small>ITEM OF DRAWING</small> (鴨居中学校) <small>PROJECT NUMBER</small>	図面名称 <small>ITEM OF DRAWING</small> 2階平面図 縮尺 1 : 300 <small>SCALE</small>	A-31
----------------------------------------------------------------------------------------------	---------	---------	----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	------

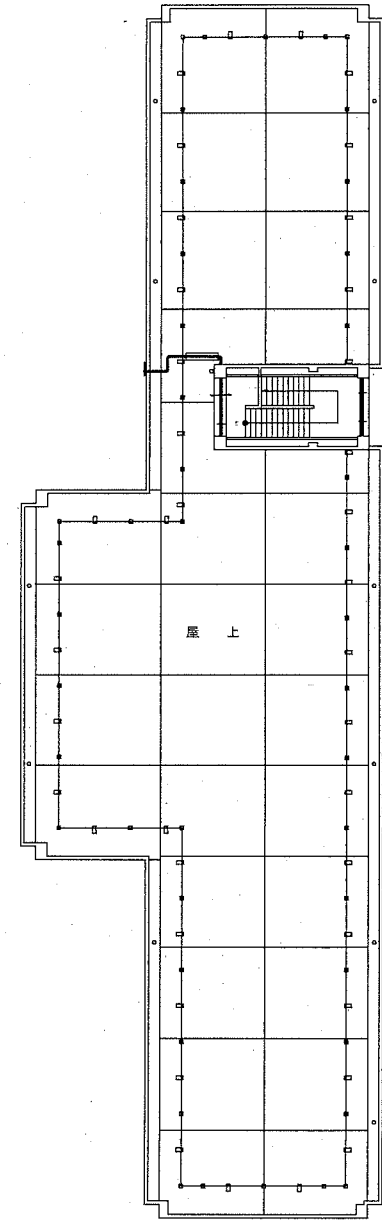


天井点検口: 7Rミ製600角 額縁タイプ×1ヶ所
 (下地開口補強共)
 設置詳細位置は、電気設備工事と調整すること。

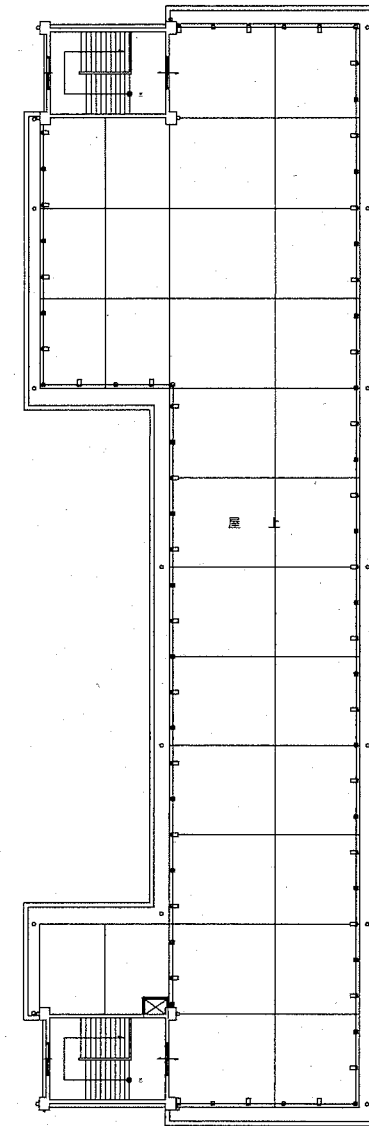
3階床面積: 2,411.98㎡
 3階平面図



A 棟



B 棟

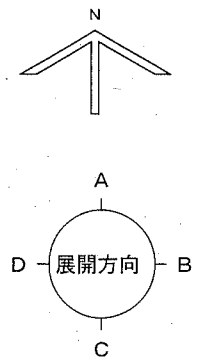
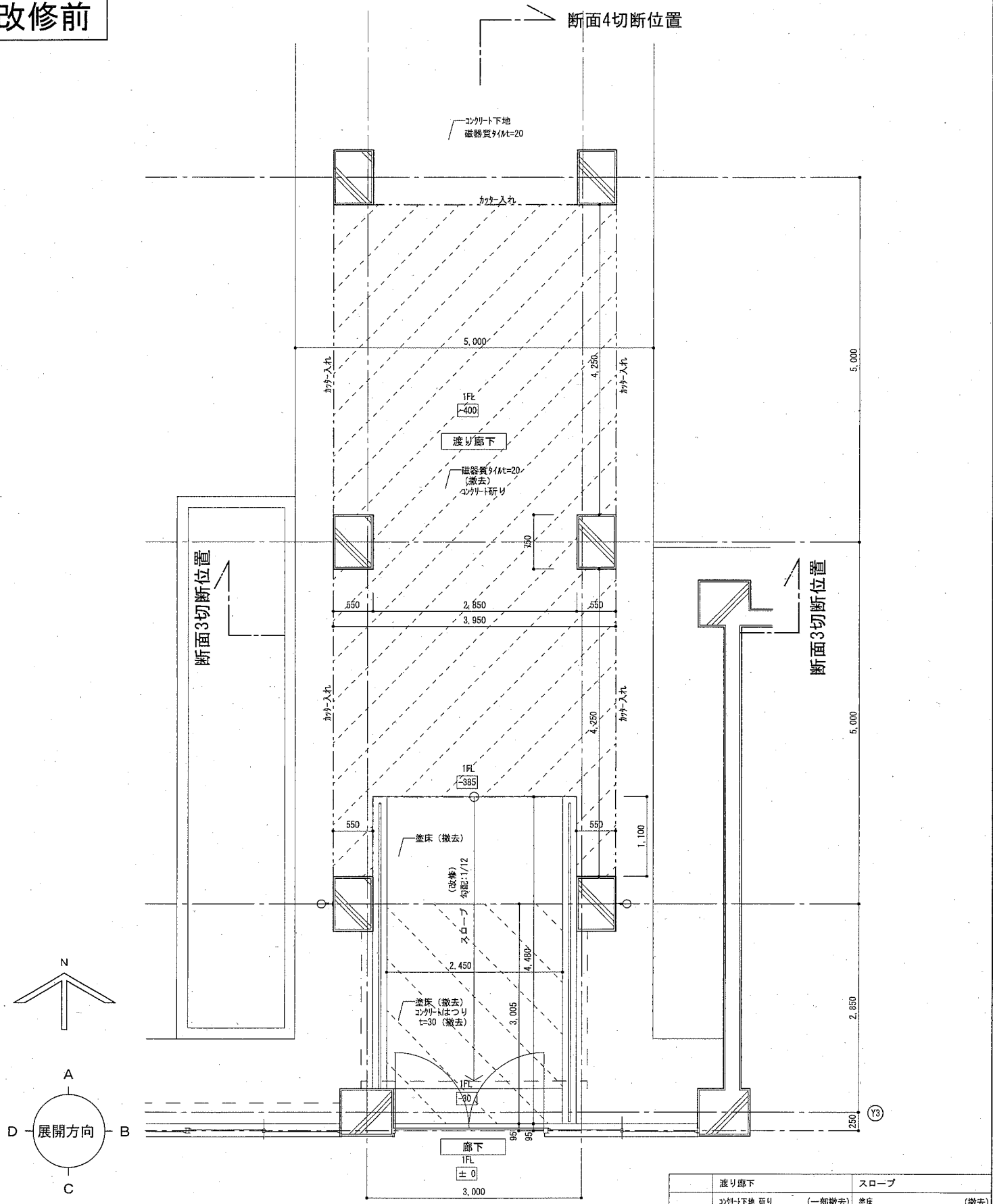


C 棟

4階床面積；447.33㎡
 (PH階床面積；148.95㎡)

4階平面図

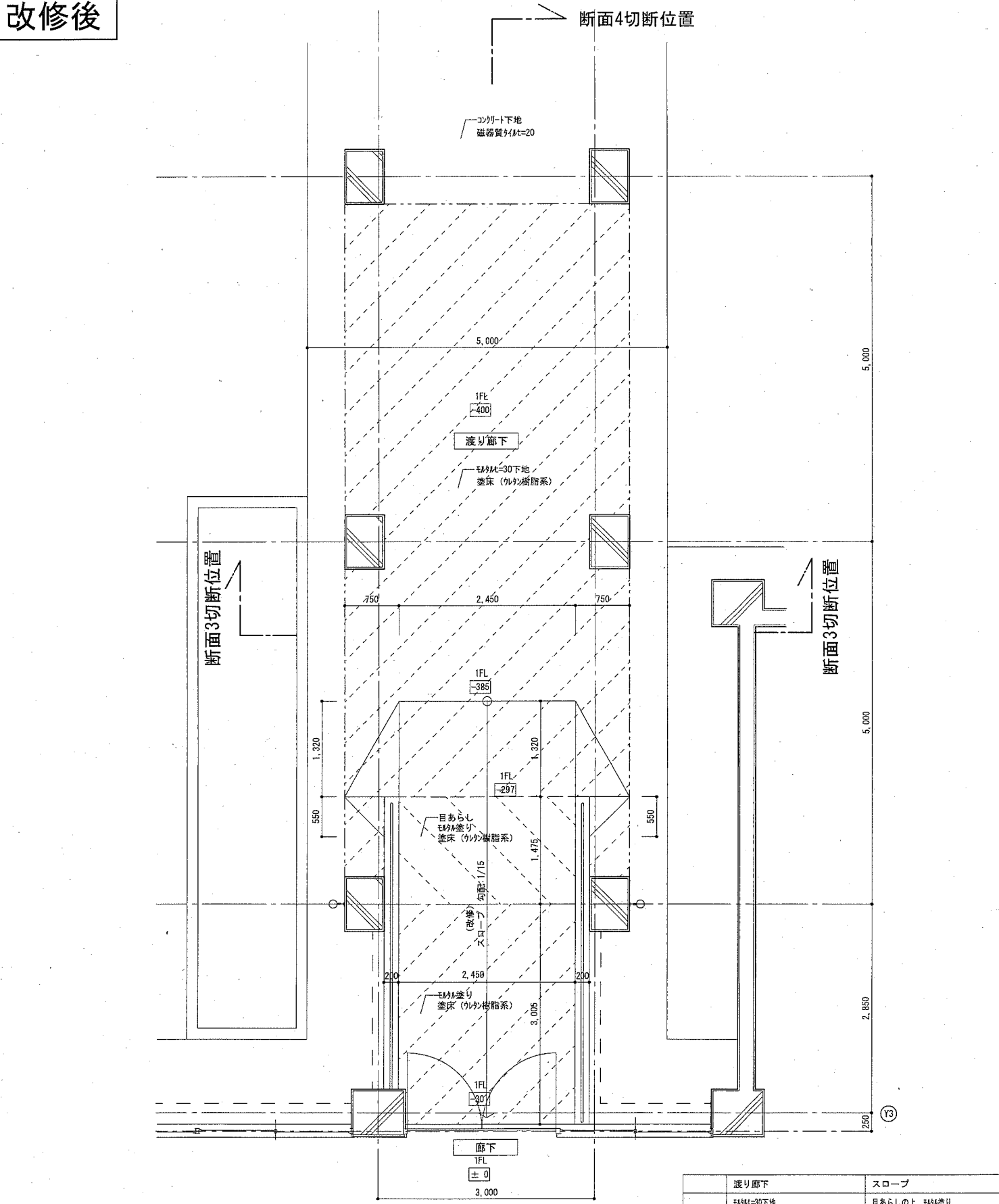
改修前



1階平面詳細図(改修前・渡廊下)

床	渡り廊下 コンクリート下地研り (一部撤去) 磁器質(190×90×120) (一部撤去)	スロープ 塗床 (撤去) コンクリートはつり (一部撤去)
外巾木	モルタル金網 VP (既存のまま)	モルタル金網 VP (既存のまま)
外壁	モルタル下地の 複層塗材塗 (既存のまま)	モルタル下地の 複層塗材塗 (既存のまま)
軒裏	LGS下地 フナシブ 鉄-ド t=4EP (既存のまま)	LGS下地 フナシブ 鉄-ド t=4EP (既存のまま)

改修後



1階平面詳細図(改修前・渡廊下)

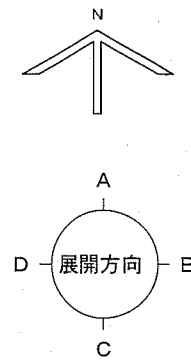
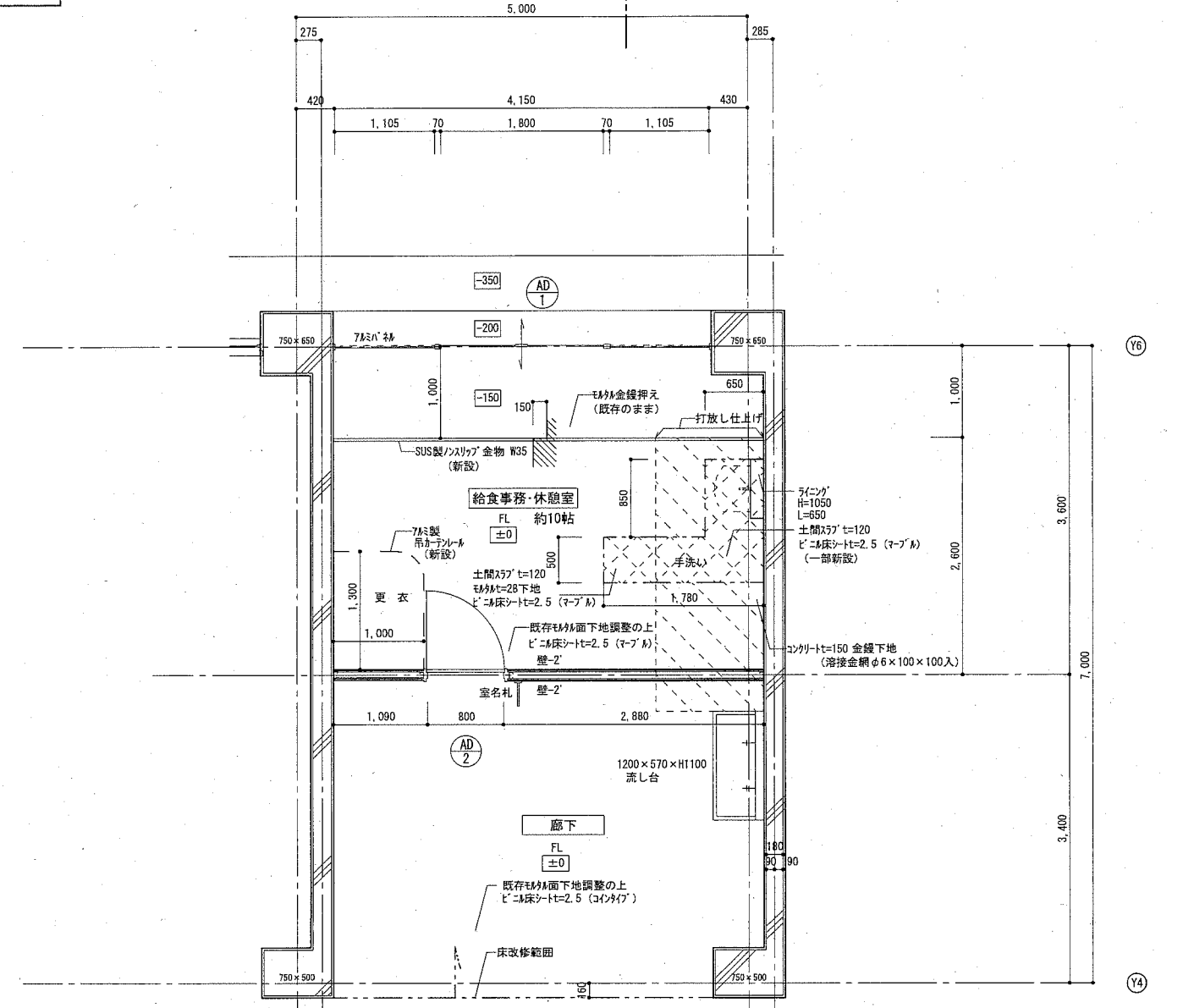
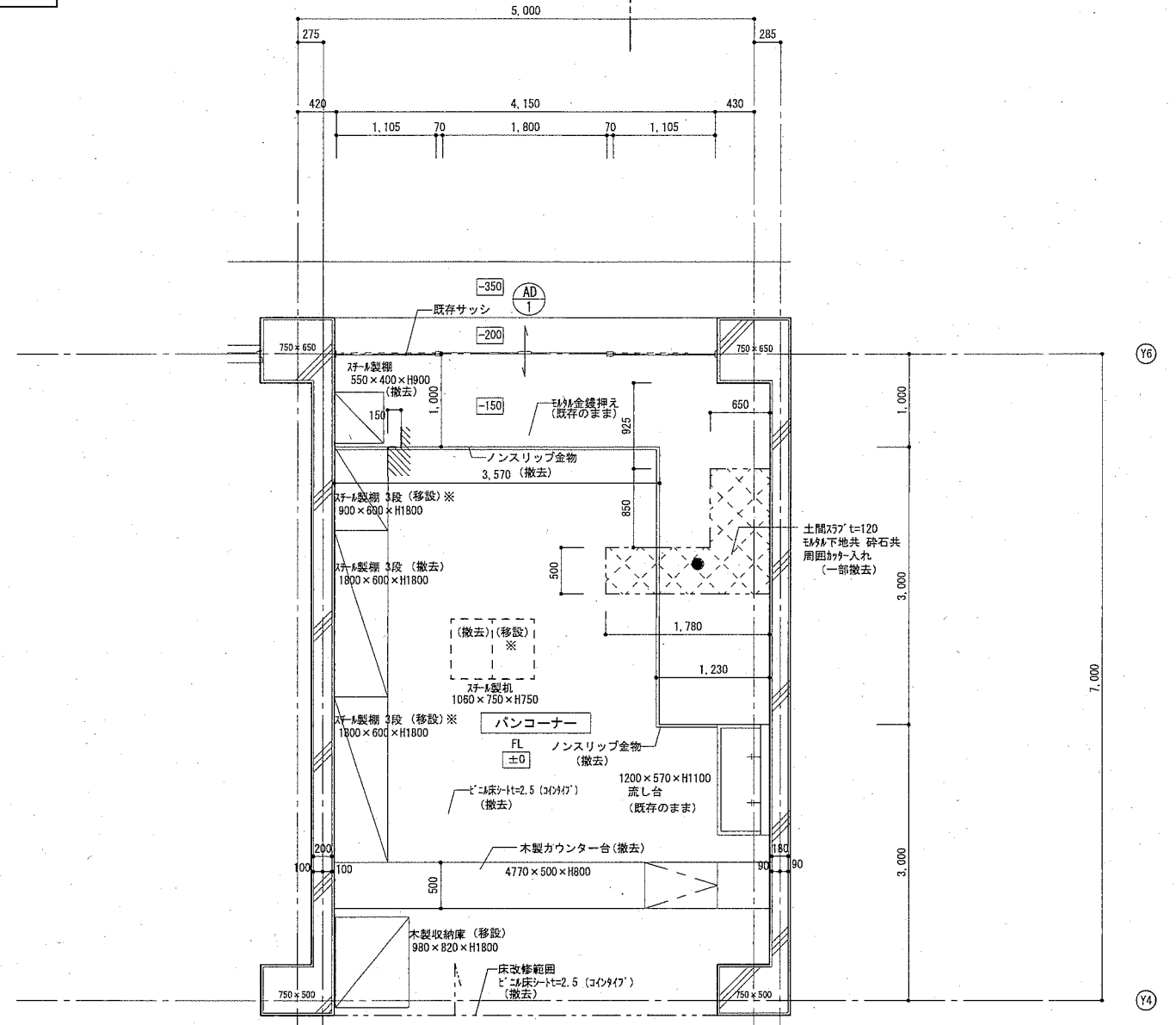
床	渡り廊下 モルタル-30下地 塗床 (樹脂系) (新設)	スロープ 目あらしの上、モルタル塗り 塗床 (樹脂系) (新設)
外巾木	モルタル金網 VP (既存のまま)	モルタル金網 VP (既存のまま)
外壁	モルタル下地の 複層塗材塗 (既存のまま)	モルタル下地の 複層塗材塗 (既存のまま)
軒裏	LGS下地 フナシブ 鉄-ド t=4EP (既存のまま)	LGS下地 フナシブ 鉄-ド t=4EP (既存のまま)

改修前

改修後

断面2切断位置

断面2切断位置



1階平面詳細図 (改修前・パノナー)

1階平面詳細図 (改修後・給食事務・休憩室)

(移設) ※: 仮設パノナーに移設

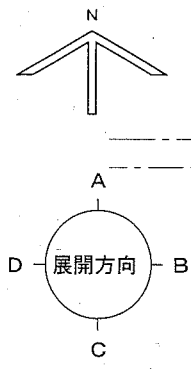
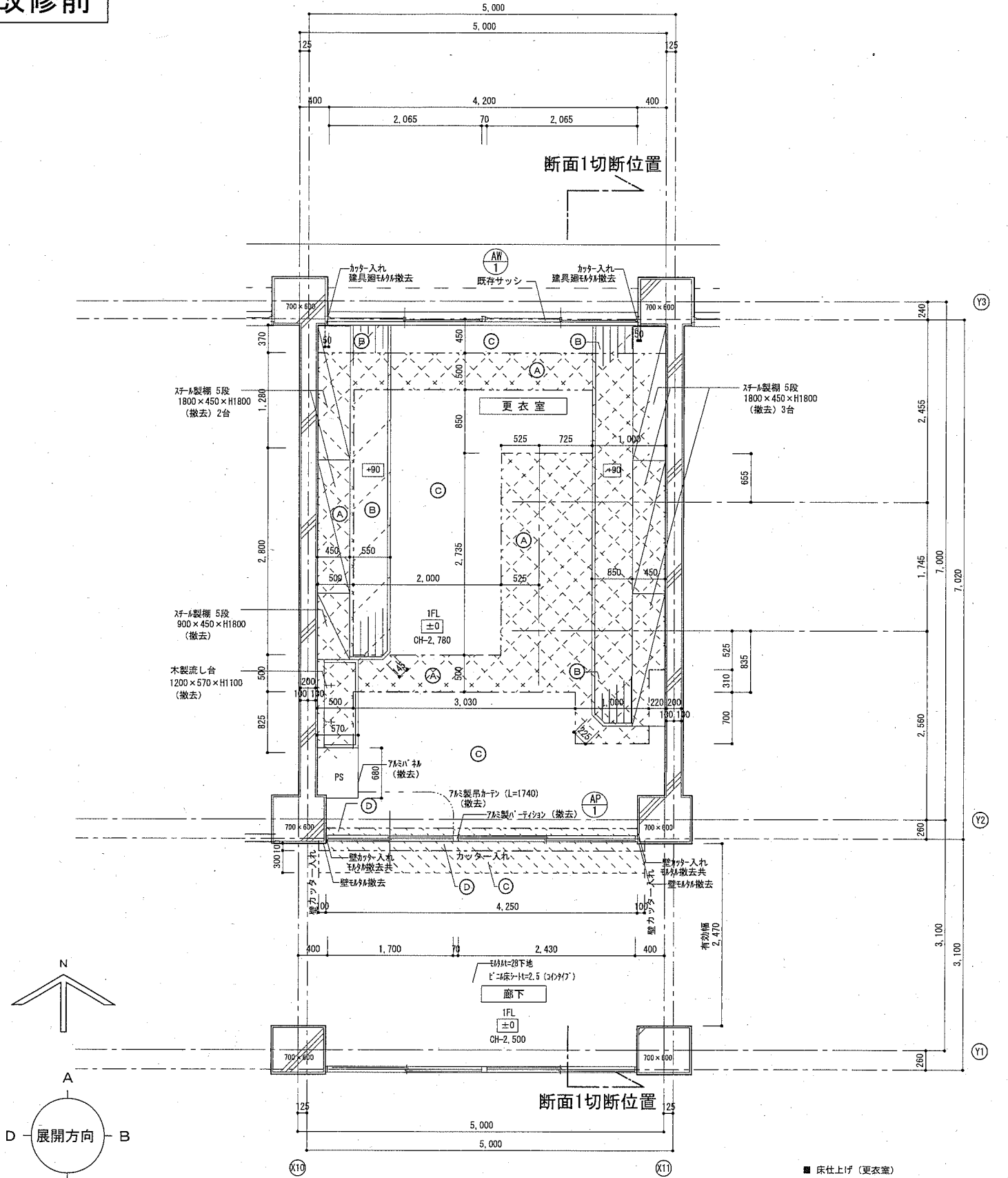
	廊下	パノナー
床	モルタル下地 (既存のまま) ビニルシート=2.5 (コウキウ) X (一部撤去)	モルタル下地 (既存のまま) 土間スラブ=120 モルタル下地 砕石共 (一部撤去) ビニルシート=2.5 (コウキウ) (撤去)
巾木	モルタル金網 VP H=100 (既存のまま)	モルタル金網 VP H=100 (既存のまま)
壁	モルタル金網 VP (既存のまま) ガラス貼 (既存のまま)	モルタル金網 VP (既存のまま) ガラス貼 (既存のまま)
天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏板=1' t=9 EP (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏板=1' t=9 EP (撤去)

※土間スラブ仕様
鉄筋SD295A D13@300@200
コンクリート: Fc=21N/mm² S=18
捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
砕石: 再生砕石 (RC40)

※吊り天井の取付高さは、天井面より400以上上げる事。(消防法)

	廊下	給食事務・休憩室
床	既存モルタル下地調整の上 ビニルシート=2.5 (コウキウ) (一部撤去)	土間スラブ=120 モルタル下地 (一部撤去) コンクリート下地 (一部新設) 既存モルタル下地調整の上 ビニルシート=2.5 (コウキウ) (撤去)
巾木	モルタル金網の上 EP-G (一部新設) 既存面 EP-G塗替 (一部新設)	モルタル金網 H=100 (新設) 既存面 EP-G塗替 (新設)
壁	モルタル金網の上 EP-G (一部新設) 既存面 EP-G塗替 (一部新設)	既存面 EP-G塗替 (新設) 壁-2'の上 EP-G (新設)
天井	LGS19形300 (吊り共)下地 (一部新設)	LGS19形225 (吊り共)下地 (新設) 石膏板=1' t=9.5 目差し張り EP (一部新設)

改修前

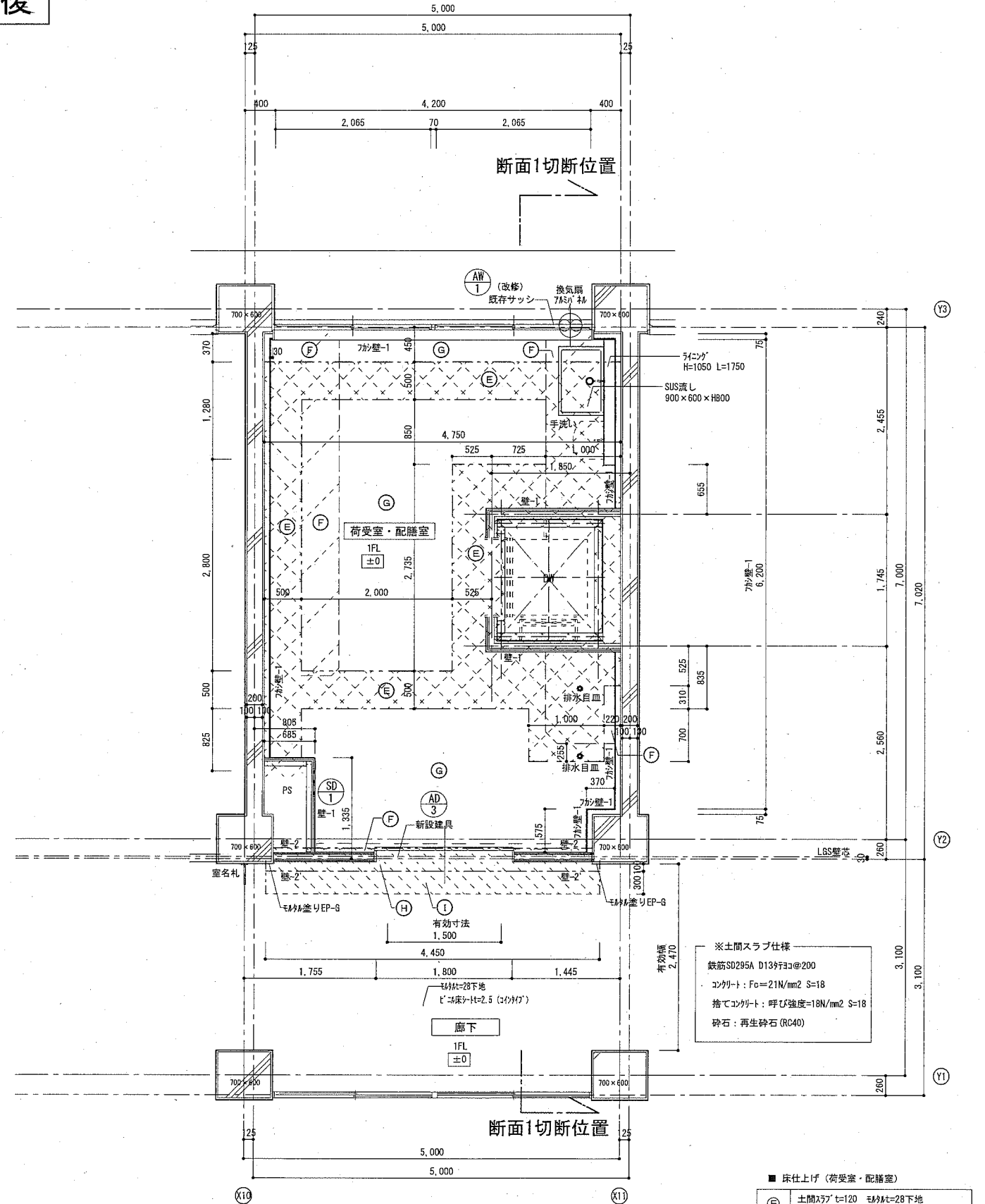


1階平面詳細図 (改修前・更衣室)

廊下	更衣室
巾木 杉材金縁 VP H=100 (一部撤去) 杉材巾木 H=85 (撤去)	杉材金縁 VP H=100 (既存の更衣室) 杉材巾木 H=85 (撤去)
壁 杉材金縁 VP (一部撤去) フラスコ塗 (一部撤去)	杉材金縁 VP (一部撤去) フラスコ塗 (一部撤去)
天井 LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード t=9 EP (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード t=9 EP (撤去)

- 床仕上げ (更衣室)
- ① 土間スラブ t=120 杉材下地共 砕石共 (撤去)
周囲カッター入れ
ビニル床シート (撤去)
- ② 木下地 (根太40×45@360)
フローリング t=15 (下地共撤去)
- ③ ビニル床シート t=2.5 (コウキイフ) (撤去)
- 床仕上げ (廊下)
- ④ ビニル床シート t=2.5 (コウキイフ) (一部撤去)
- ⑤ 床 t=28下地
ビニル床シート t=2.5 (コウキイフ) (一部撤去)

改修後



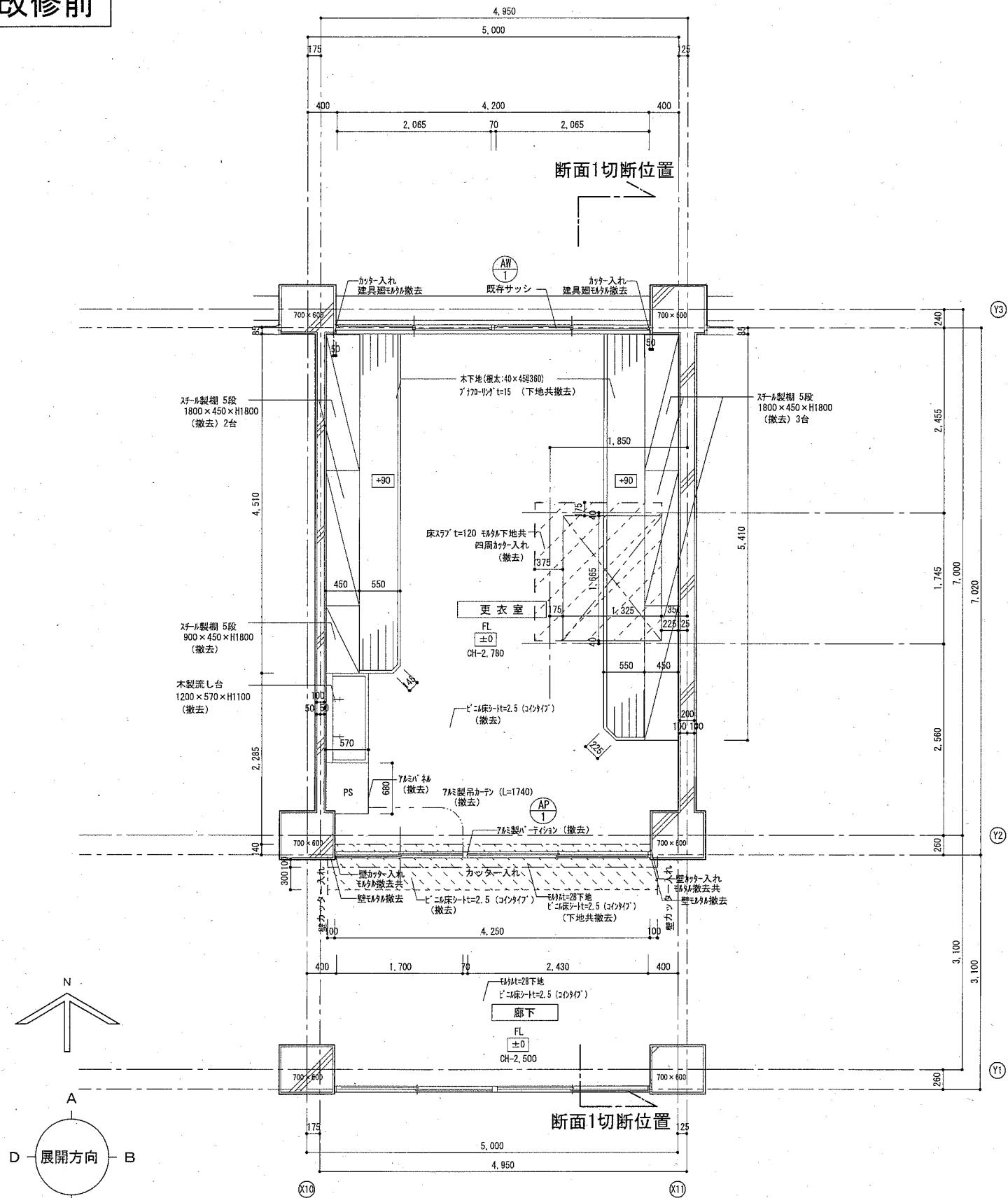
1階平面詳細図 (改修後・荷受室・配膳室)

廊下	荷受室・配膳室
巾木 杉材金縁 VP H=100 (一部新設) 壁-2の上 t=10杉材木 H=100 (新設)	ビニル巾木 H=300 (新設)
壁 杉材塗りの上 EP-G (一部新設) 壁-2の上 EP-G (新設)	カッセルの上 t=10杉材木 t=8の上 化粧板 t=8 (新設) 壁-1-2の上化粧板 t=8 (新設)
天井 LGS19形 t=300 (引付共)下地 (一部新設) 石膏ボード t=9.5 目隠し張り EP (一部新設)	LGS19形 t=225 (引付共)下地 (新設) 化粧石膏ボード t=9.5 (新設)

- 床仕上げ (荷受室・配膳室)
- ⑥ 土間スラブ t=120 杉材 t=28下地
ビニル床シート t=2.0 (新設)
- ⑦ 杉材 t=28下地
ビニル床シート t=2.0 (一部新設)
- ⑧ 既存杉材面 下地調整の上
ビニル床シート t=2.0 (新設)
- 床仕上げ (廊下)
- ⑨ 杉材 t=28下地
ビニル床シート t=2.5 (コウキイフ) (一部新設)
- ⑩ 既存杉材面 下地調整の上
ビニル床シート t=2.5 (コウキイフ) (一部新設)

※土間スラブ仕様
鉄筋SD295A D13@200
コンクリート: Fc=21N/mm² S=18
捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
砕石: 再生砕石 (RC40)

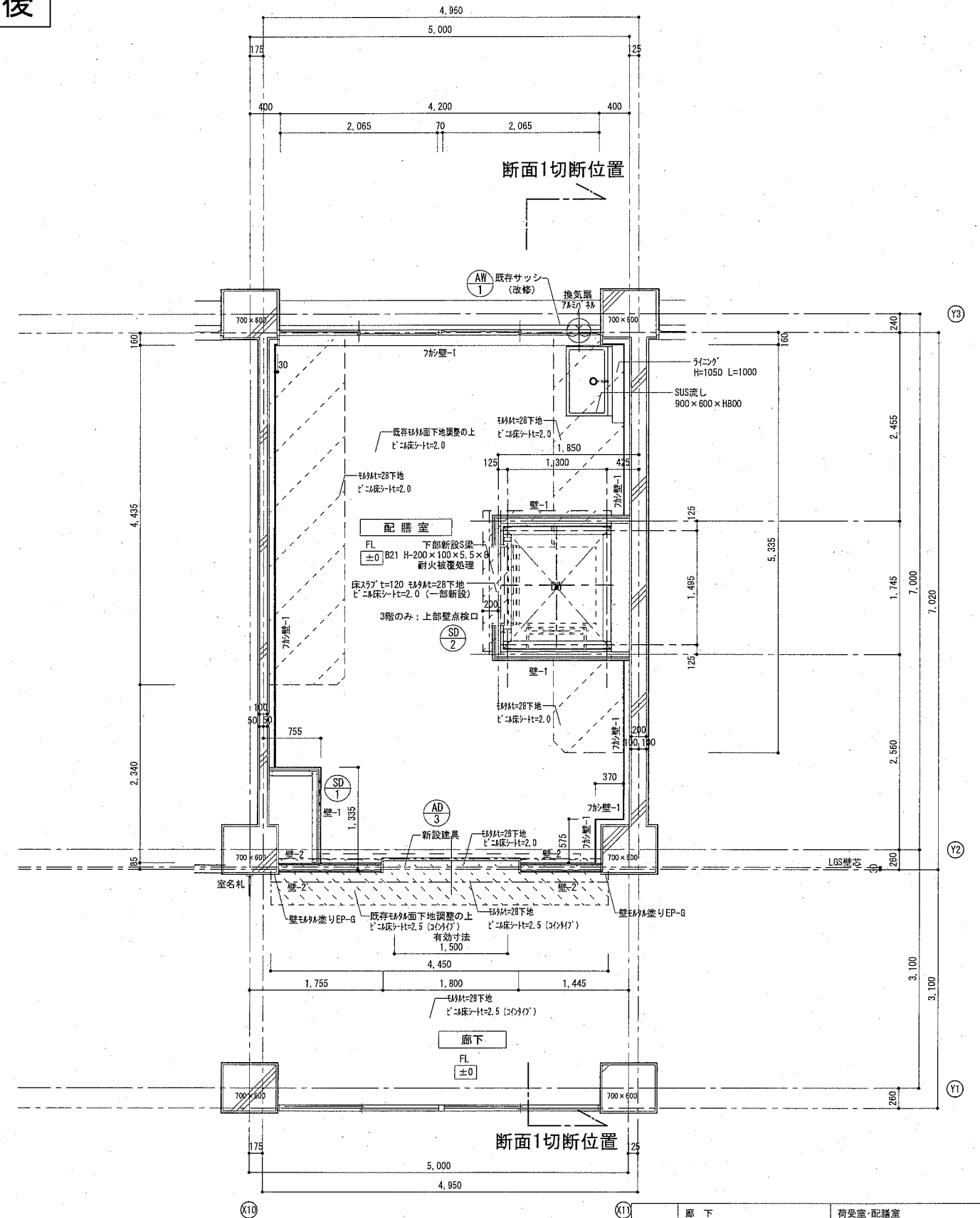
改修前



2・3階平面詳細図(改修前・更衣室)

	廊下	更衣室
床	EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去)	EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去)
巾木	EP-100 (一部撤去)	EP-100 (一部撤去)
壁	EP (一部撤去)	EP (一部撤去)
天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード EP (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード EP (撤去)

改修後

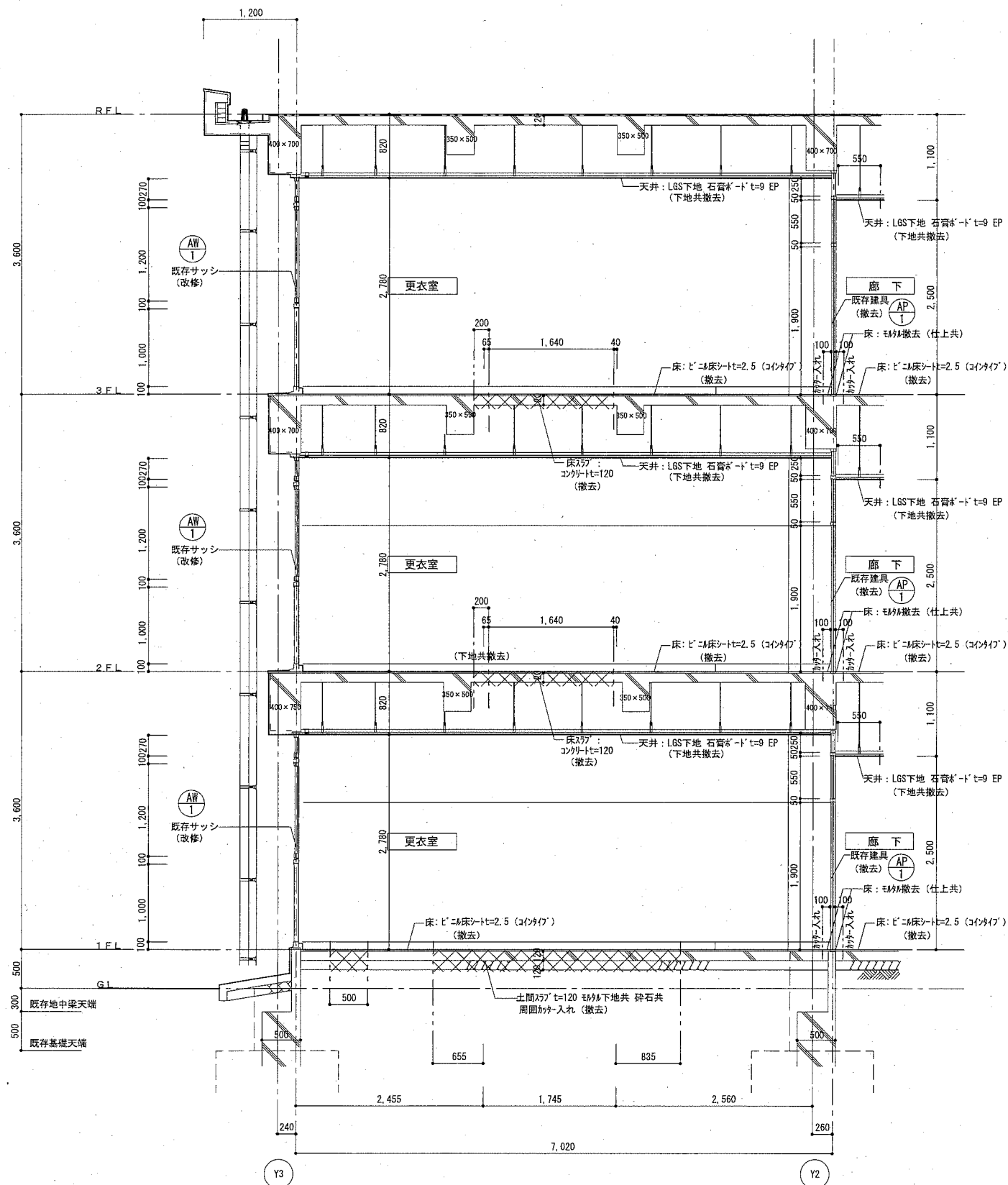


2・3階平面詳細図(改修後・配膳室)

	廊下	荷受室・配膳室
床	EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去)	EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去) EP-28下地 (一部撤去)
巾木	EP-100 (一部撤去)	EP-100 (一部撤去)
壁	EP (一部撤去)	EP (一部撤去)
天井	LGS下地 (一部撤去) 石膏ボード EP (一部撤去)	LGS下地 (撤去) 石膏ボード EP (撤去)

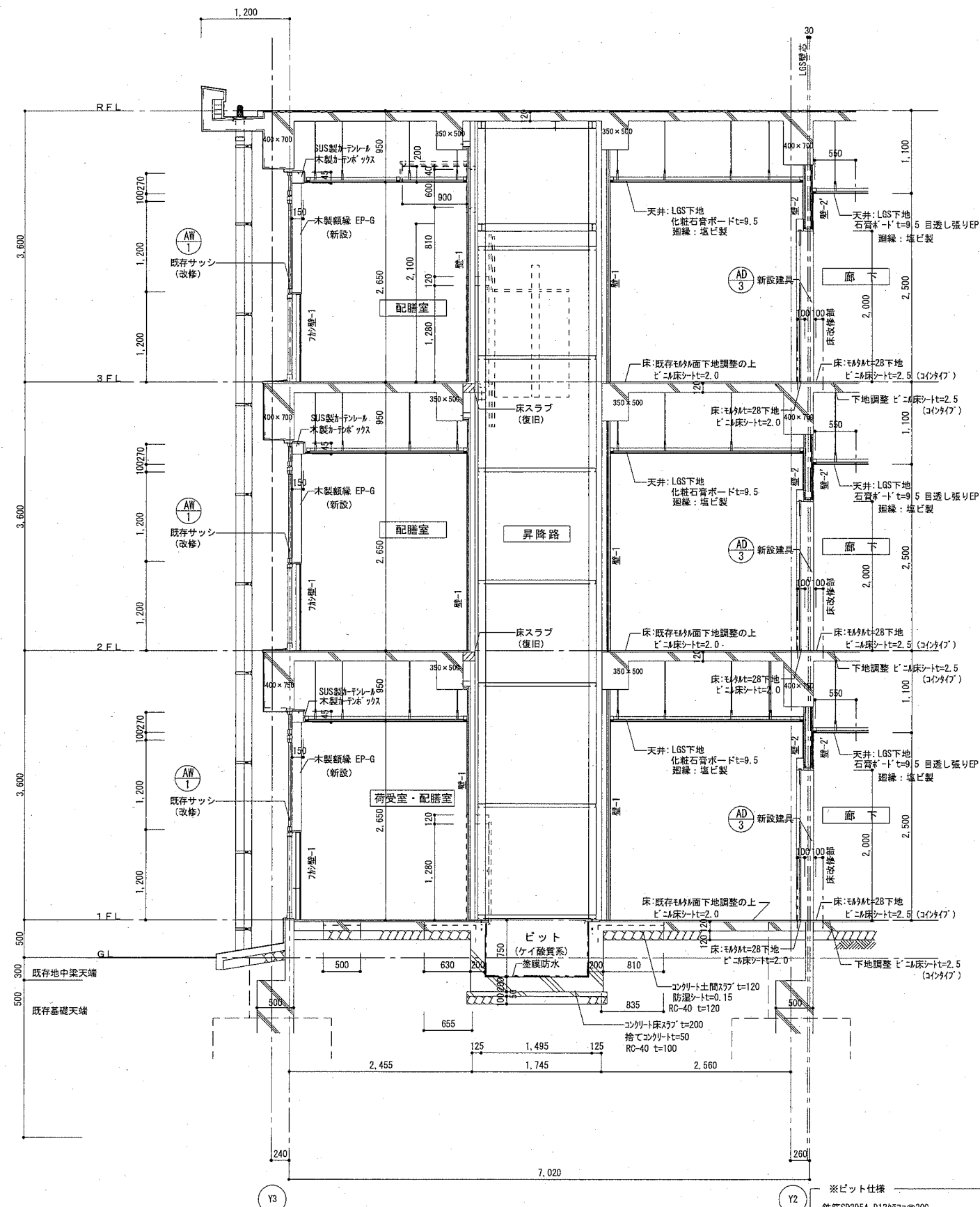
改修前

改修後



断面図 1 (改修前)

※スラブ仕様
 鉄筋
 短辺端部上筋 13φ@200 下筋9φ@400
 中央部上筋 なし 下筋9-13φ@200交互
 長辺端部上筋 13φ@200 下筋9φ@400
 中央部上筋 なし 下筋9φ@200
 コンクリート 厚120



断面図 1 (改修前)

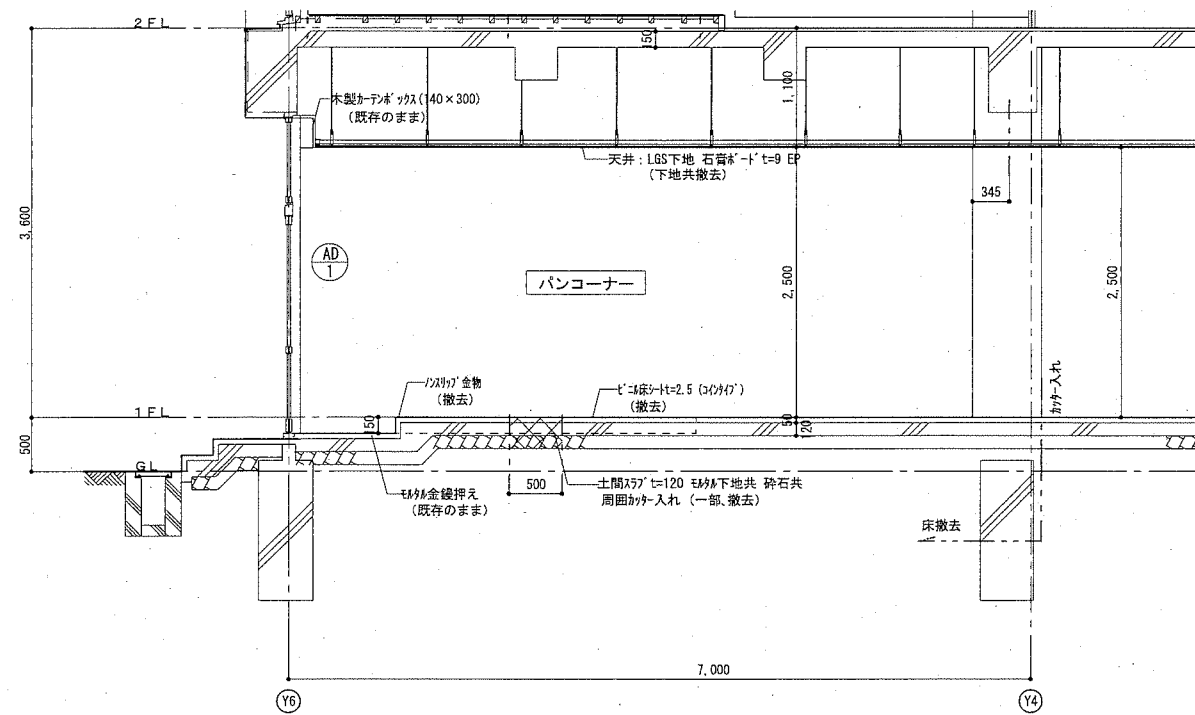
※ピット仕様
 鉄筋SD295A D13φ@200
 コンクリート: Fc=21N/mm² S=18
 捨てコンクリート: 呼び強度=18N/mm² S=18
 砕石: 再生砕石(RC40)

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和 2 年 2 月

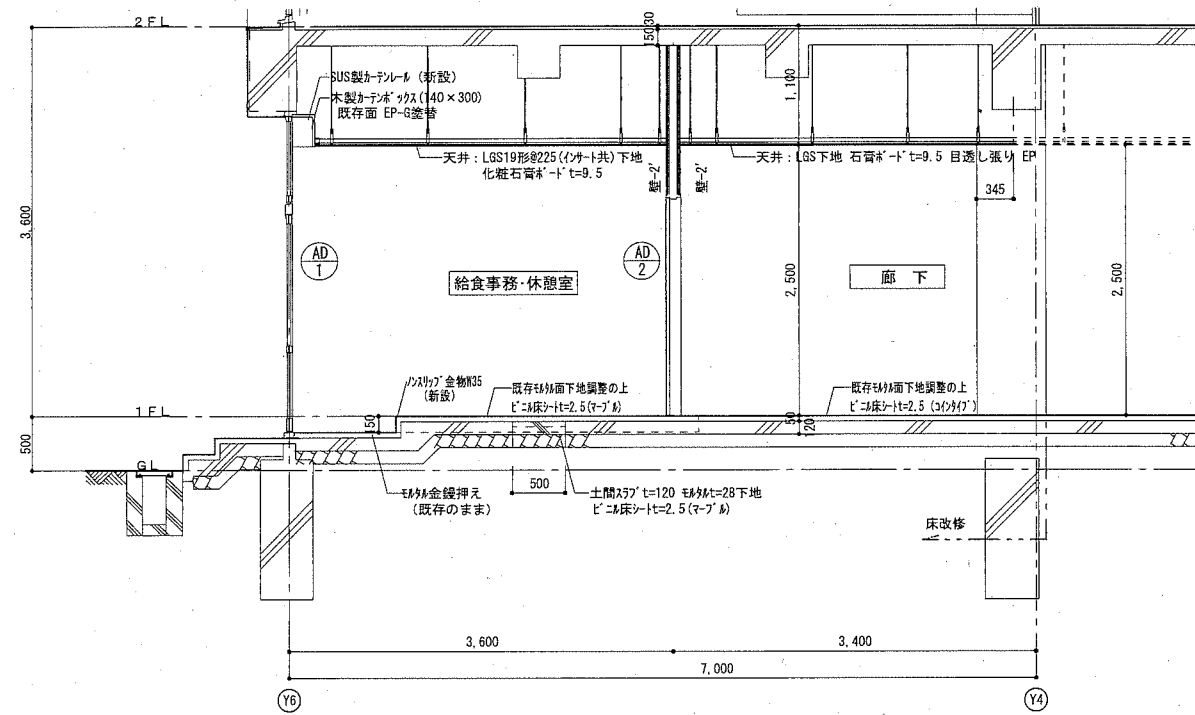
設計名称 NAME OF PROJECT 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事	図面名称 ITEM OF DRAWING 断面図 1
(鶴居中学校)	縮尺 1 : 50
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER

改修前

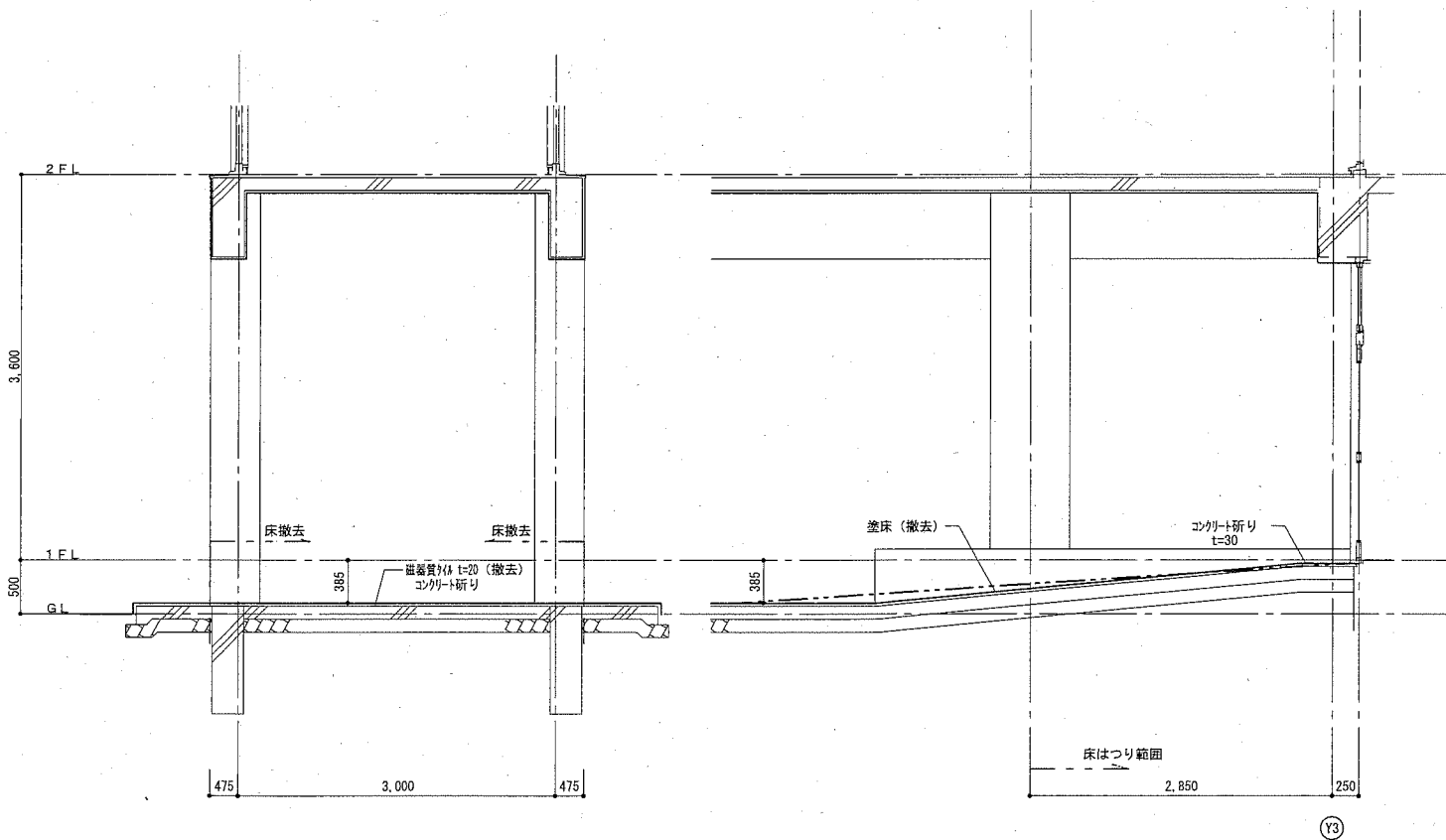


断面図 2 (改修前)

改修後

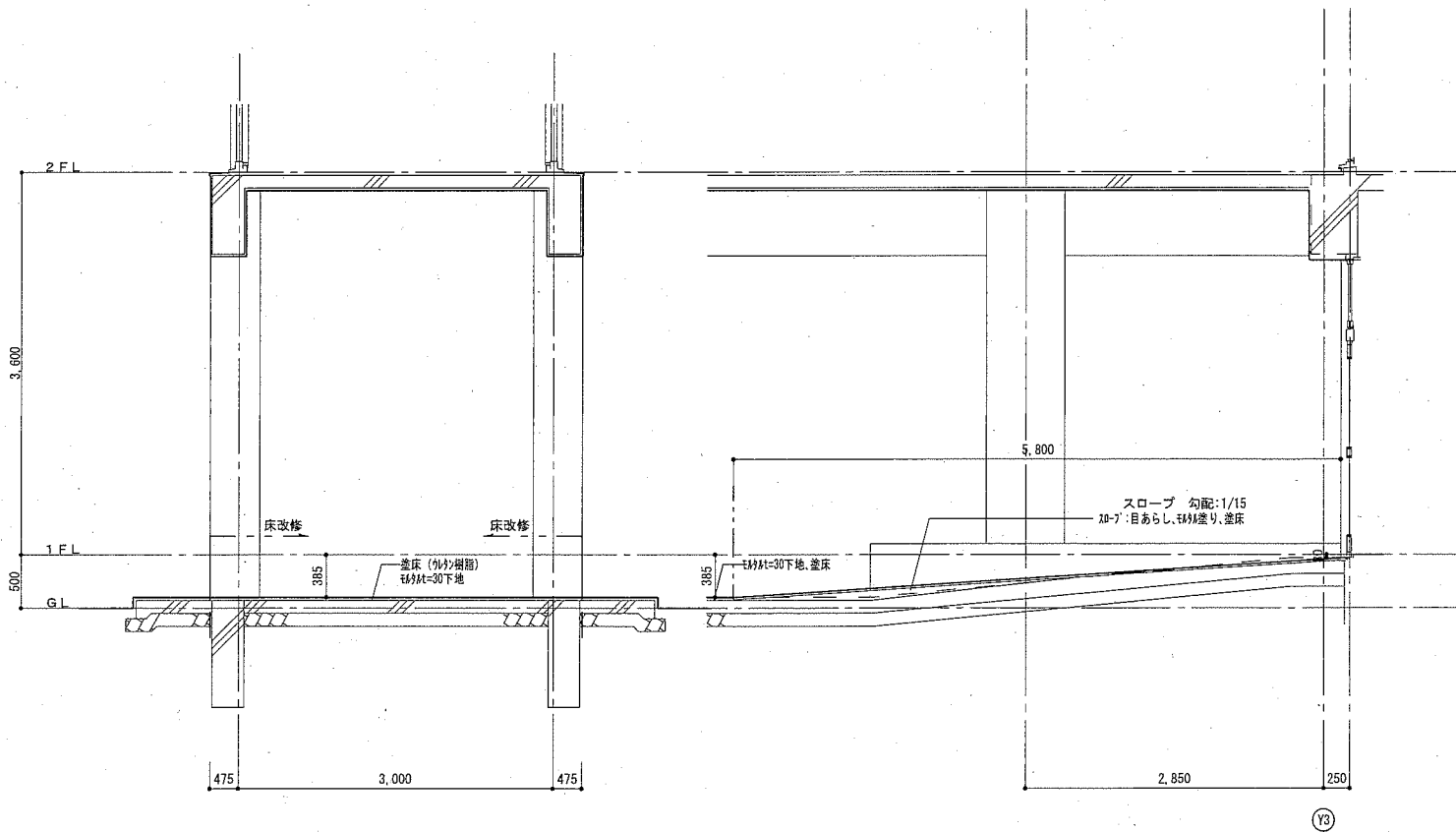


断面図 2 (改修後)



断面図 3 (改修前)

断面図 4 (改修前)



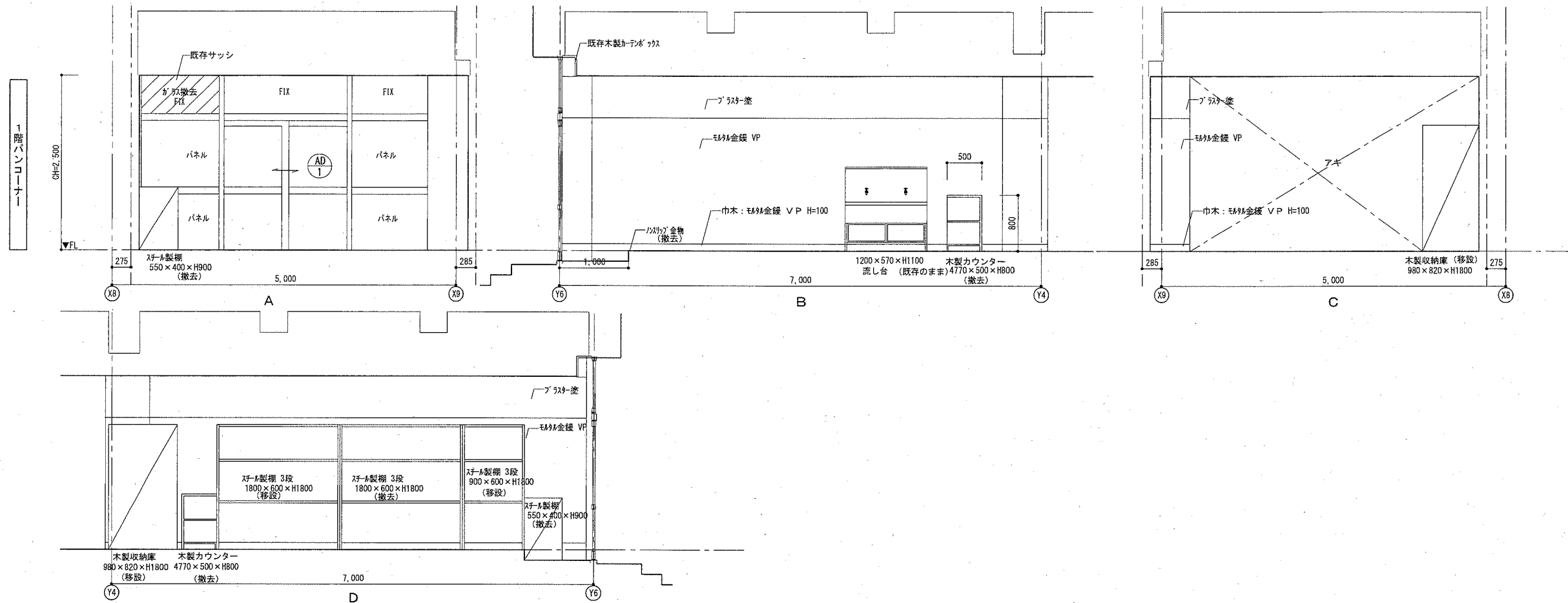
断面図 3 (改修後)

断面図 4 (改修後)

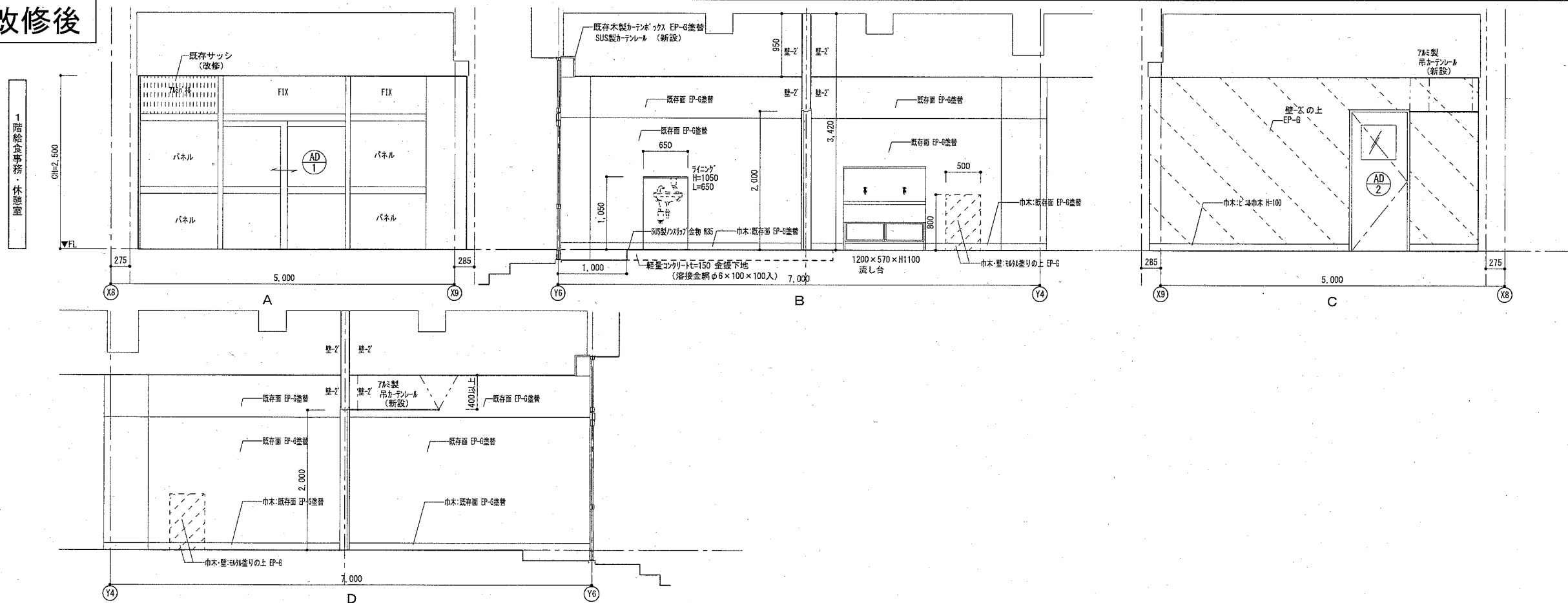
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

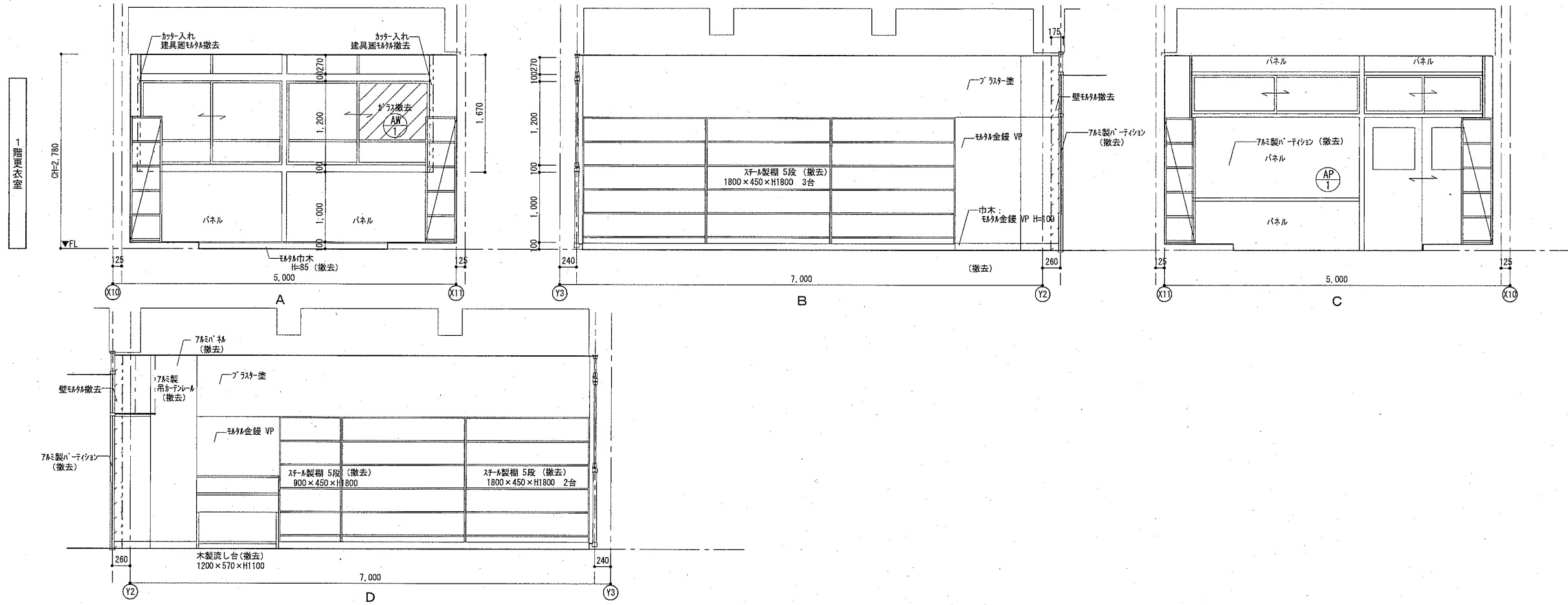
設計名称 NAME OF PROJECT	市立馬場中学校区1校界隈施設整備工事その他工事	図面名称 ITEM OF DRAWING	断面図 2
PROJECT NUMBER	(鶴居中学校)	縮尺 SCALE	1 : 50



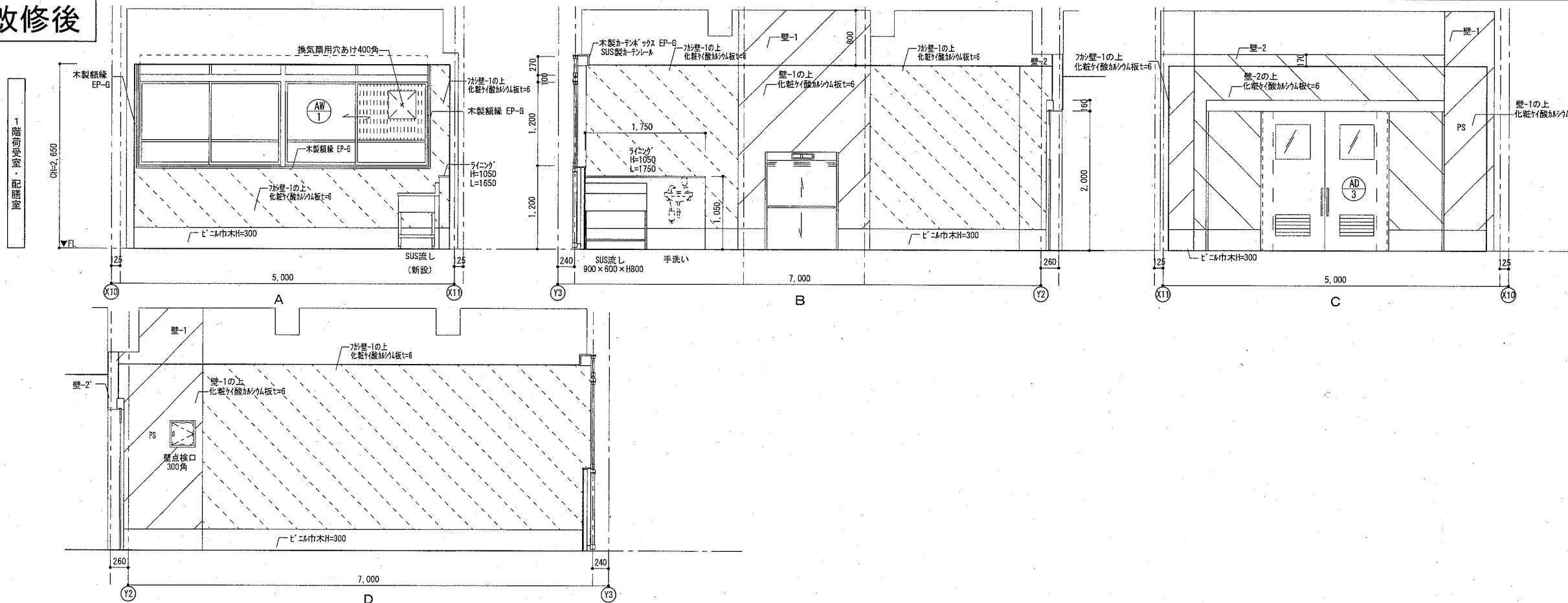
改修後



◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

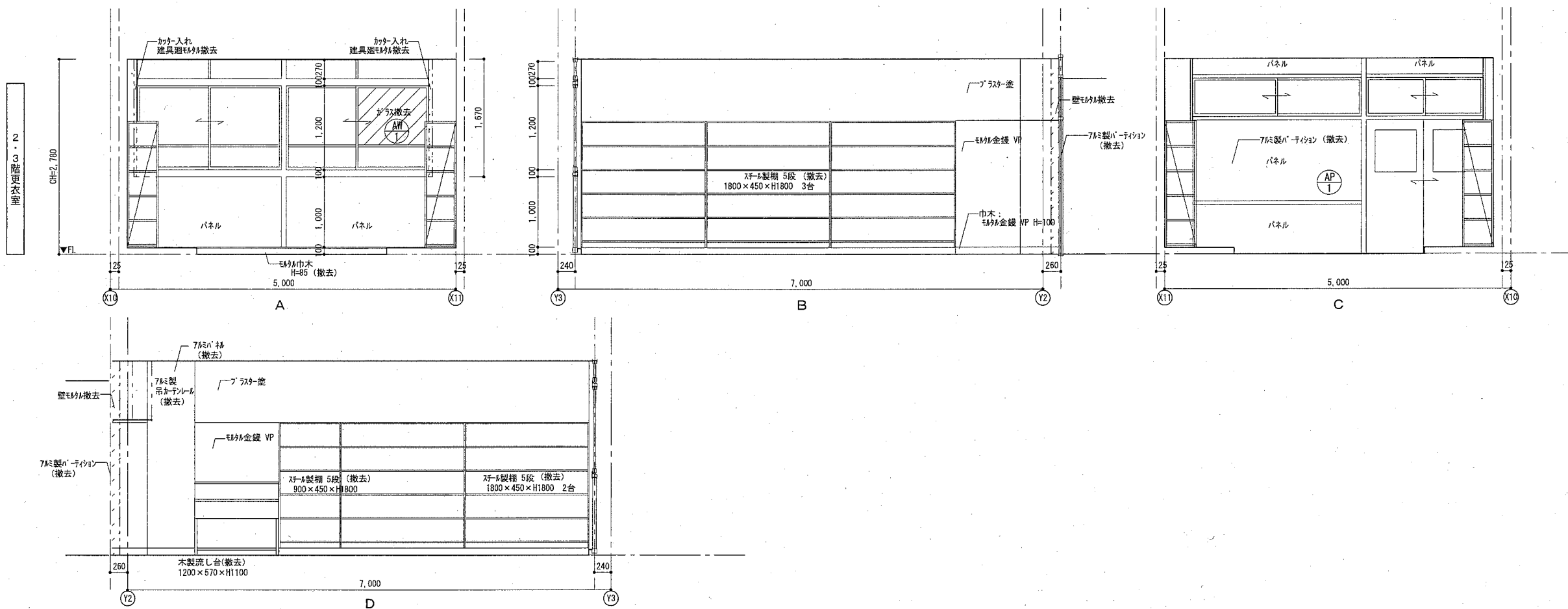


改修後



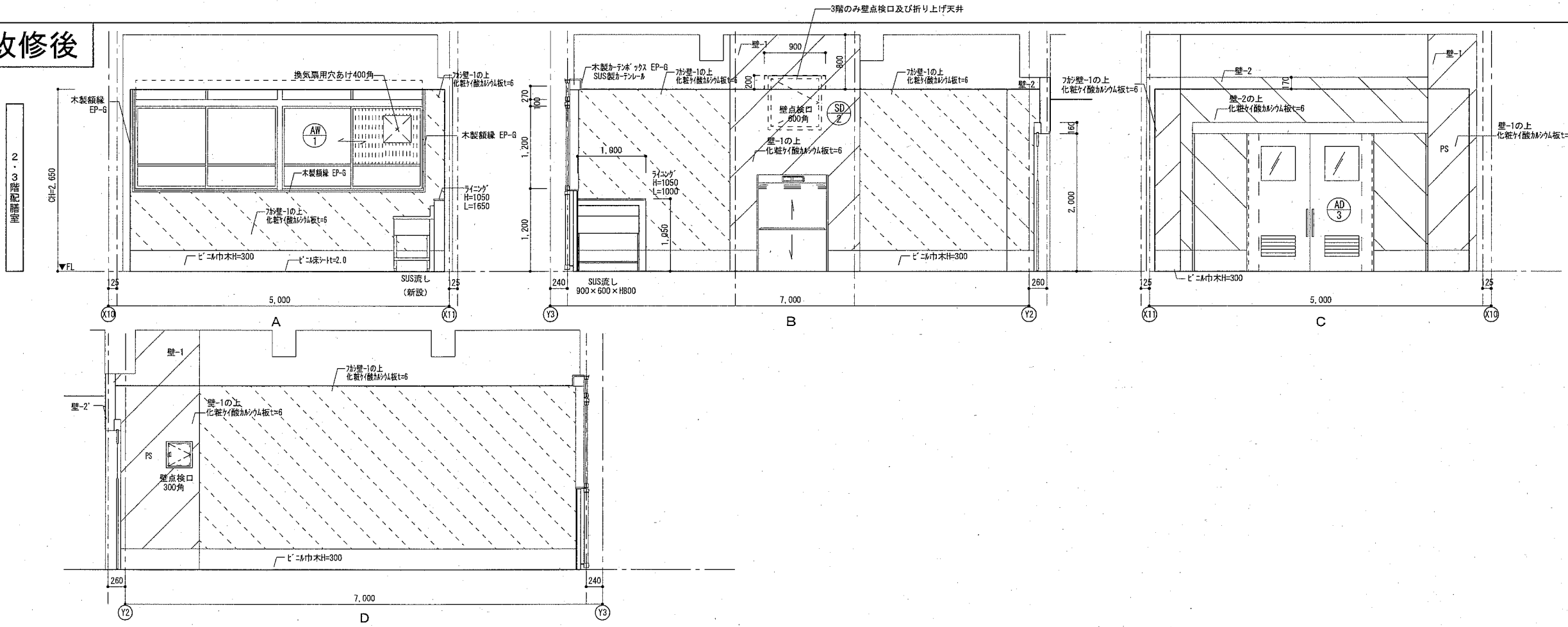
◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 NAME OF PROJECT 市立高松中学校区1校昇降施設建築その他工事 (鶴居中学校)	図面名称 TITLE OF DRAWING 1階荷受室・配膳室 展開図	縮尺 1 : 50 SCALE	NO
			設計年月日 令和 2年 2月				A-41



----- カッター入れを表す

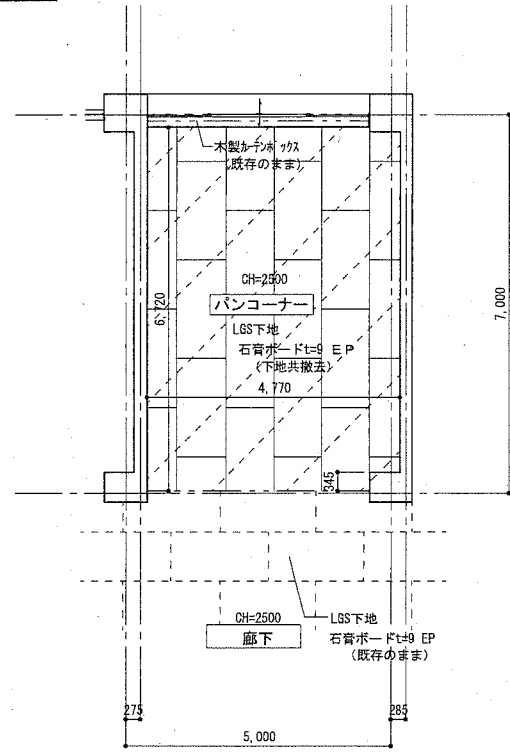
改修後



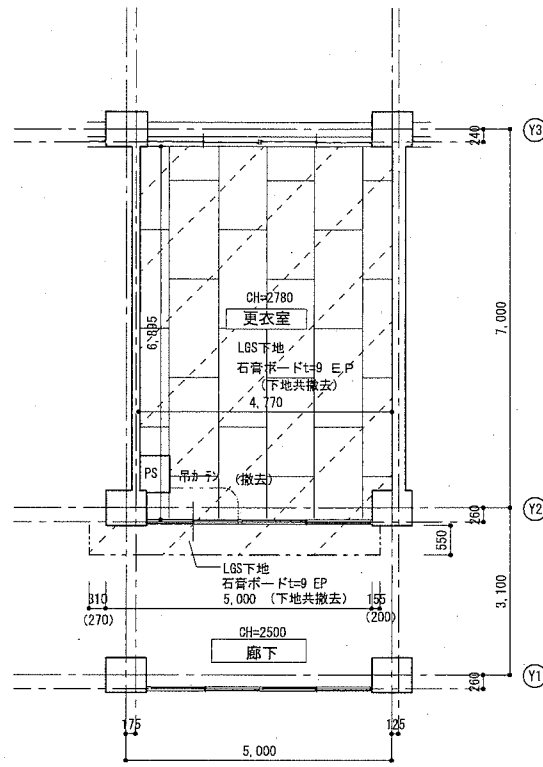
◎ 耐火壁は、躯体下まで施工すること。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (鴨居中学校)	図面名称 2-3階配膳室 展開図	縮尺 1 : 50	A-42
			設計年月日 令和 2 年 2 月	PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER	NO	

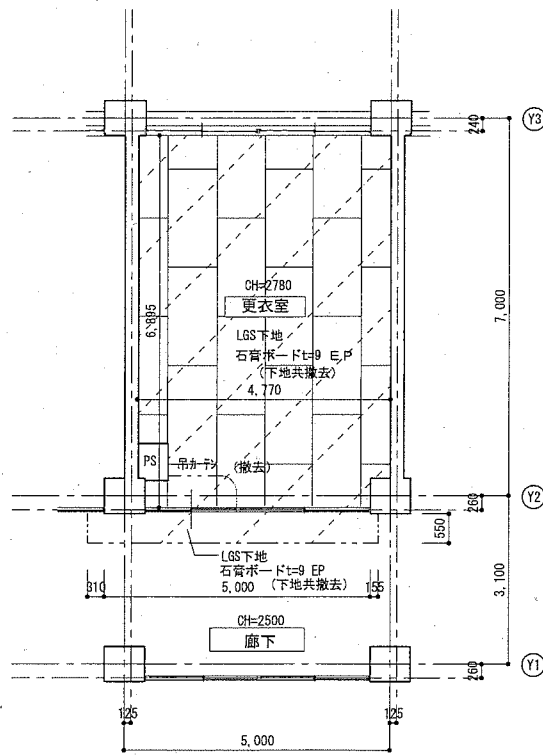
改修前



1階天井伏図



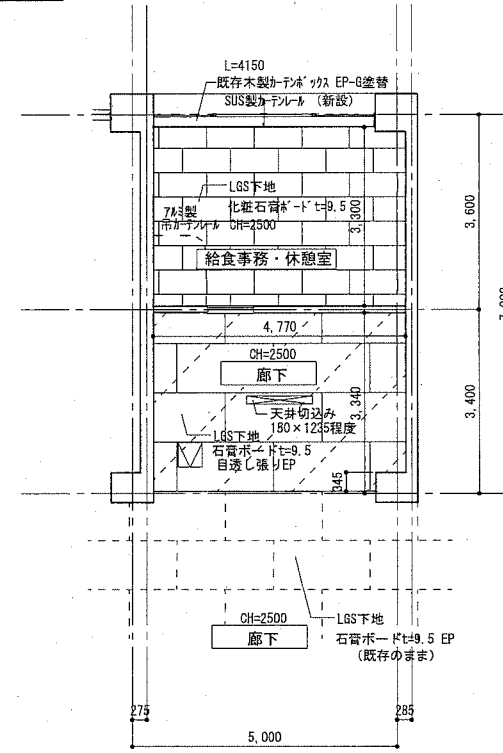
2・3階天井伏図



1階天井伏図

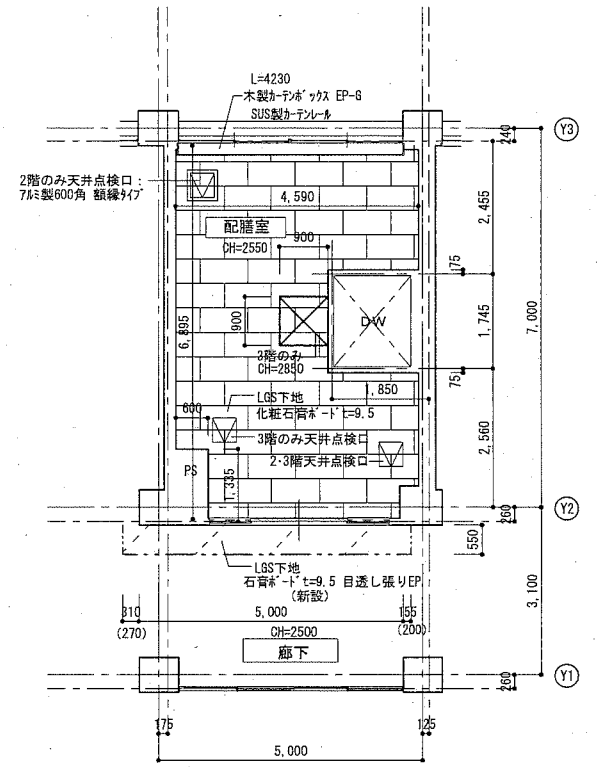
注記：
天井撤去は塩ビ製遮音共とする。

改修後

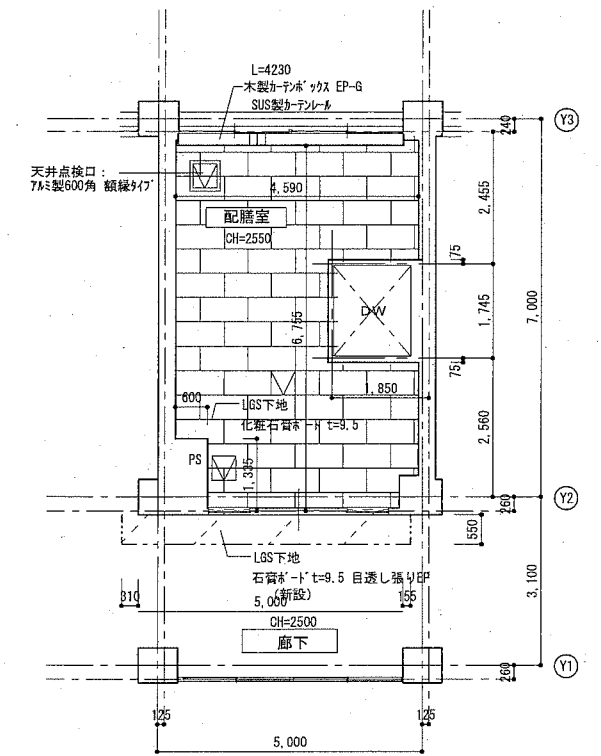


1階天井伏図

※ 1階給食事務・休憩室：天井点検口7A製450角 額縁タイプ1か所新設。
(取付位置は、監督員と協議の上決定すること。)



2・3階天井伏図



1階天井伏図

注記：
LGS下地：内部LGS(軽量鉄骨)天井下地は19形
天井には塩ビ製遮音共を使用する。
☑ 天井点検口：7A製450角 額縁タイプ (下地開口補強共)
☑ 天井点検口：7A製600角 額縁タイプ (下地開口補強共)

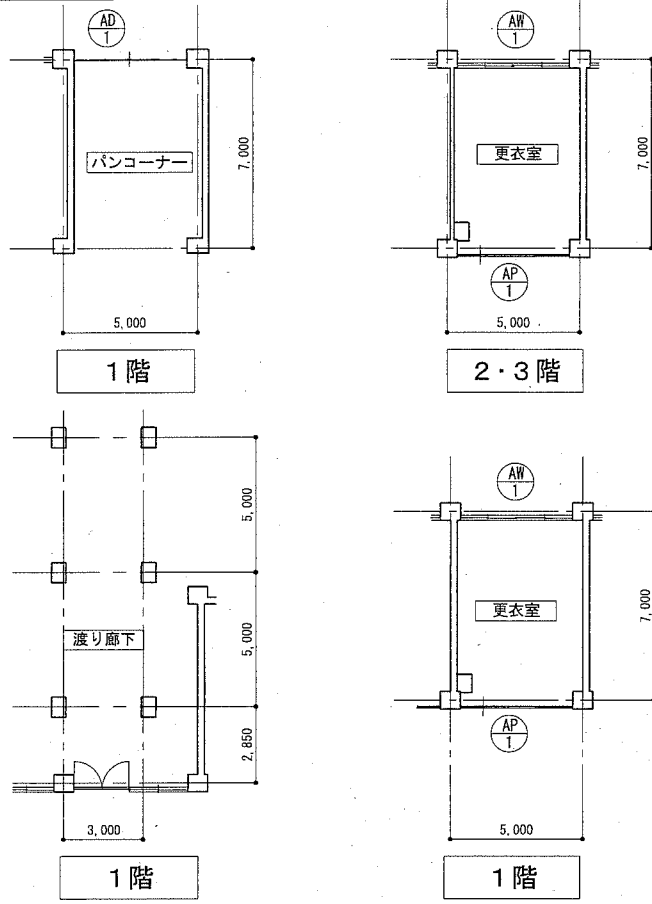
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称 NAME OF PROJECT	市立高坂中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
図面名称 TITLE OF DRAWING	天井伏図
PROJECT NUMBER	(高坂中学校)

図面名称 TITLE OF DRAWING	天井伏図
DRAWING NUMBER	
縮尺 SCALE	1 : 100

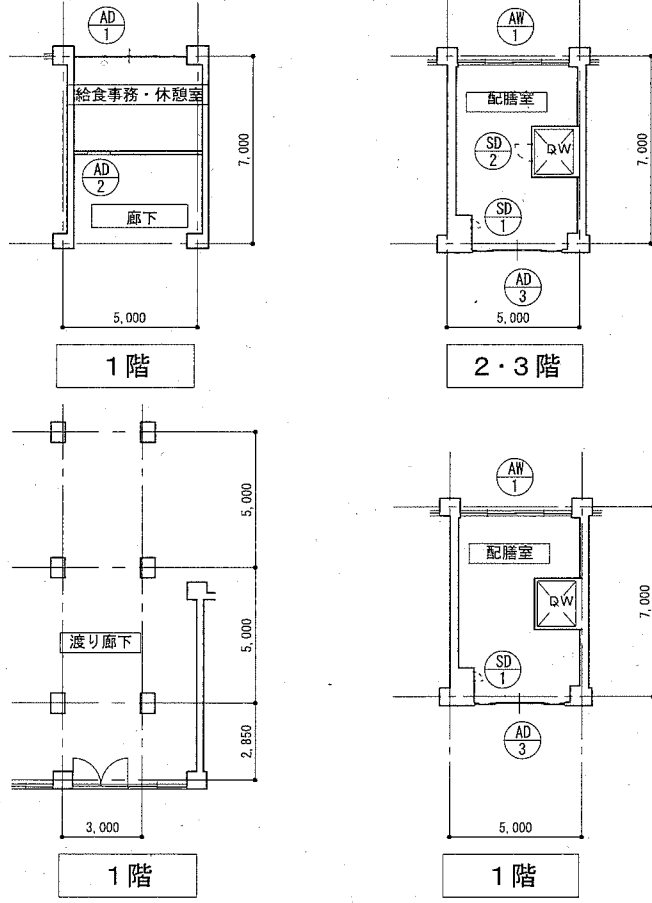
改修前

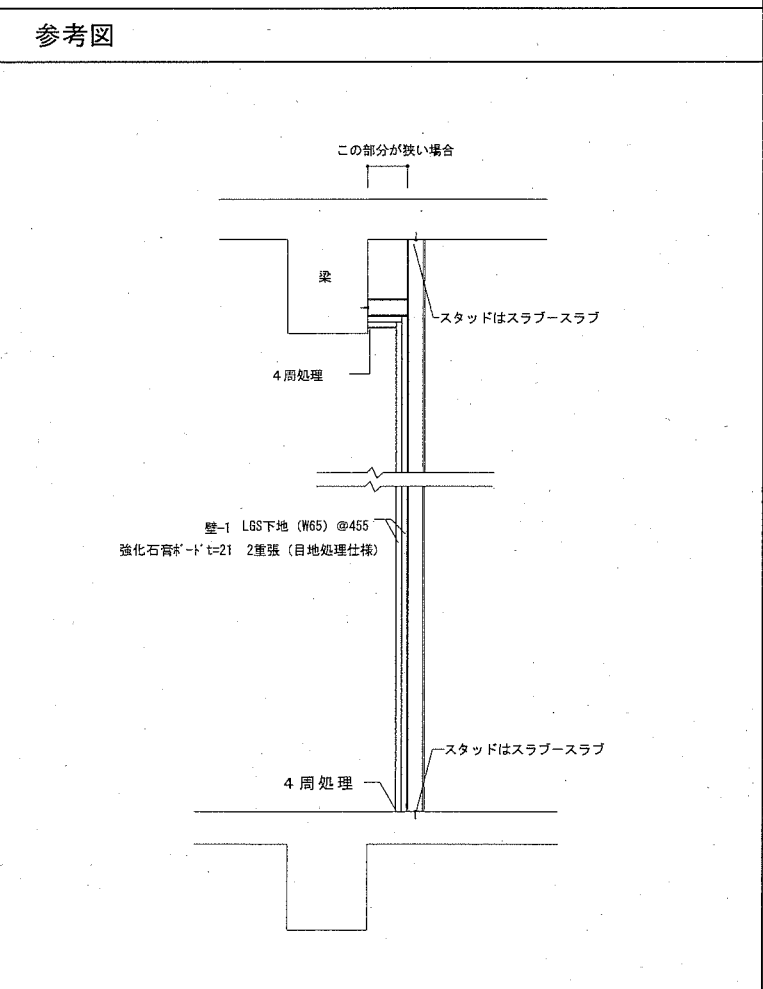
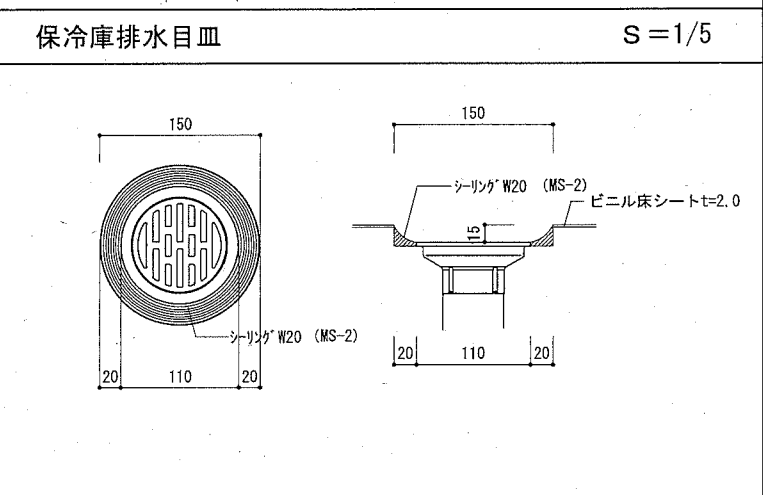
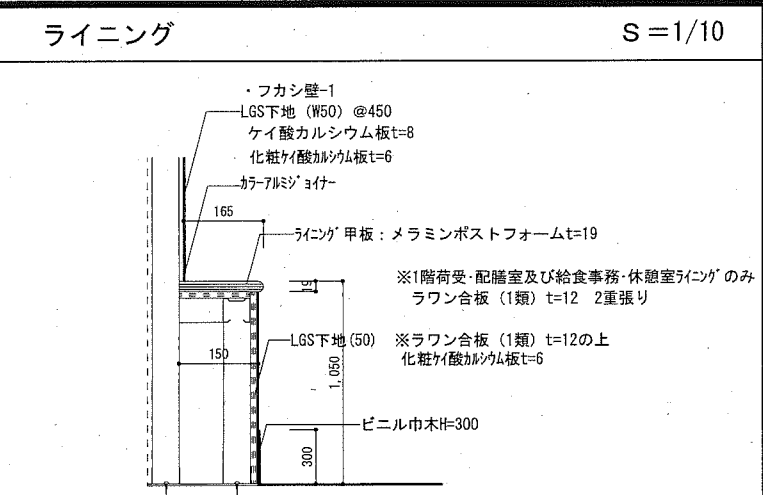
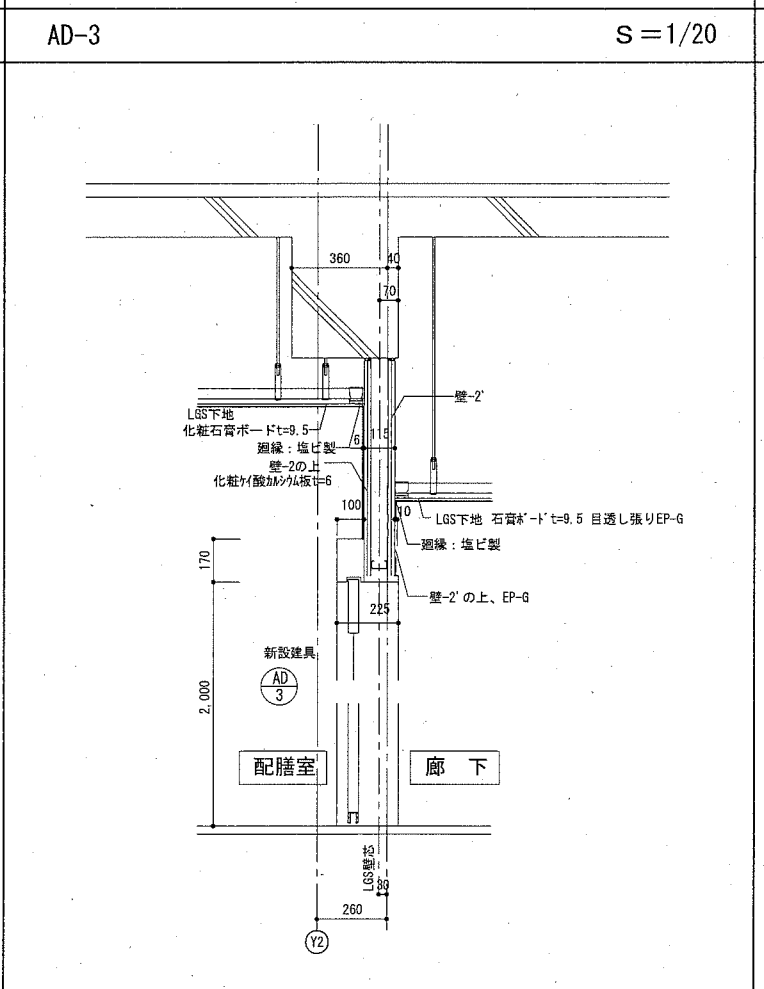
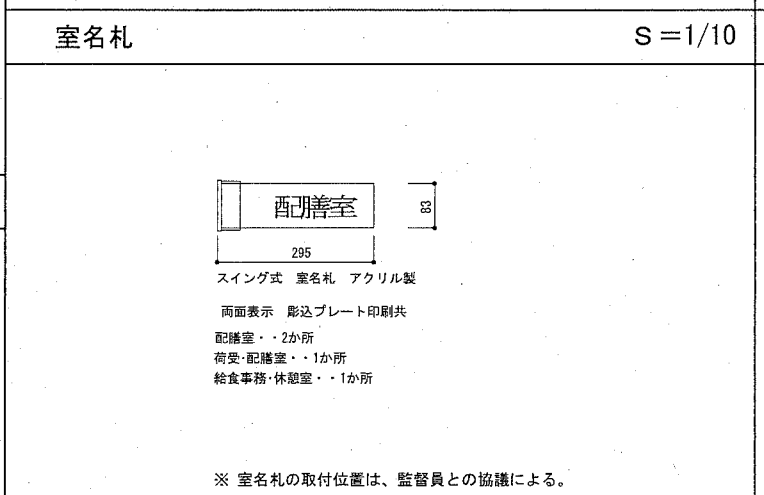
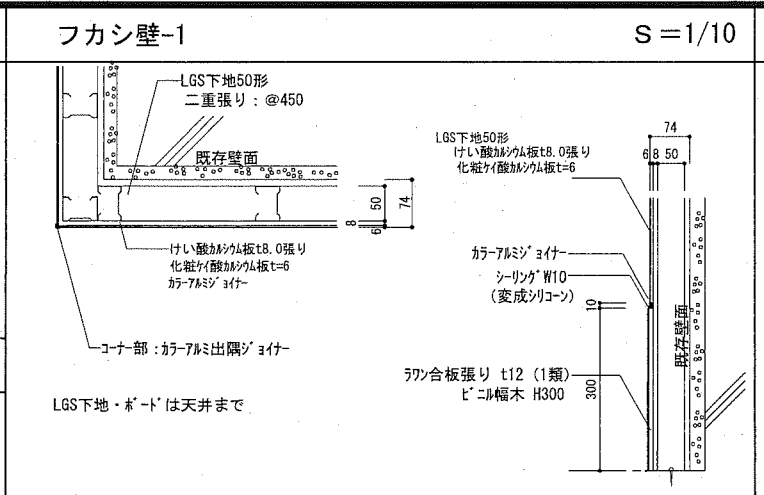
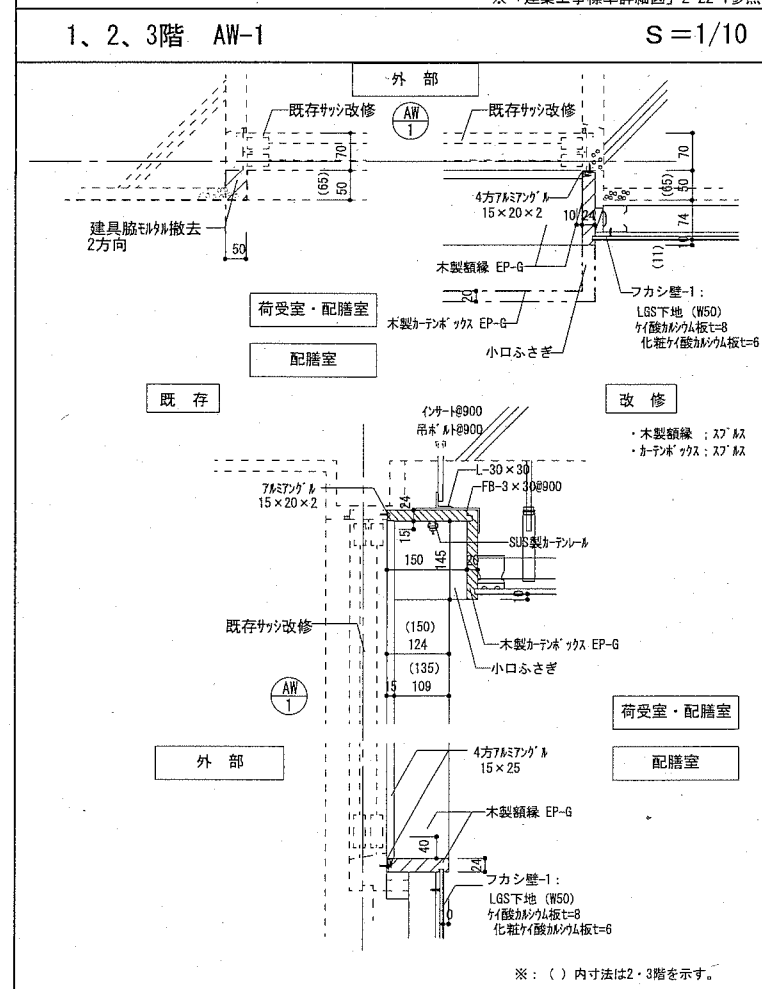
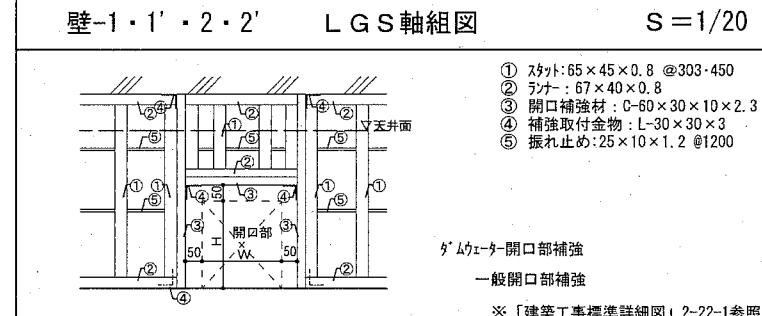
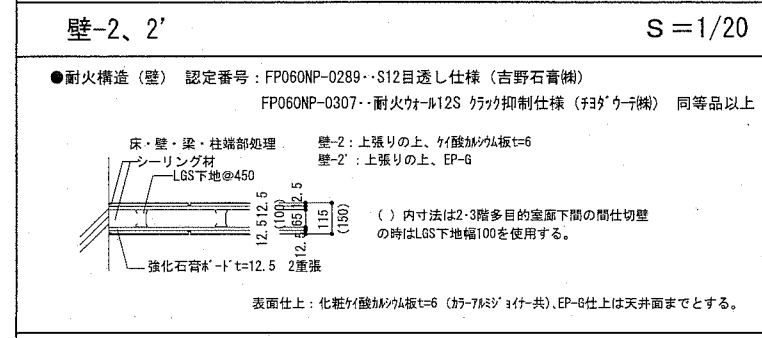
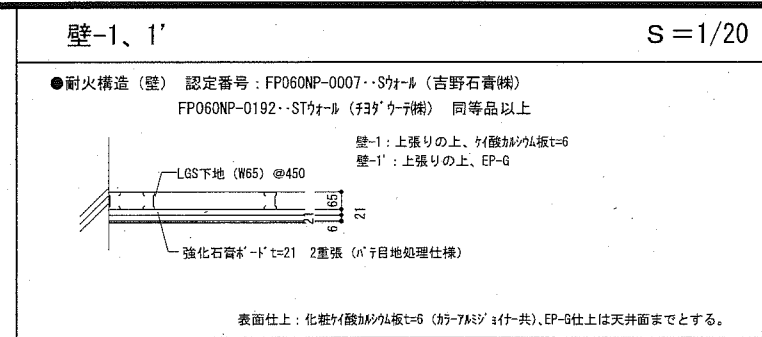


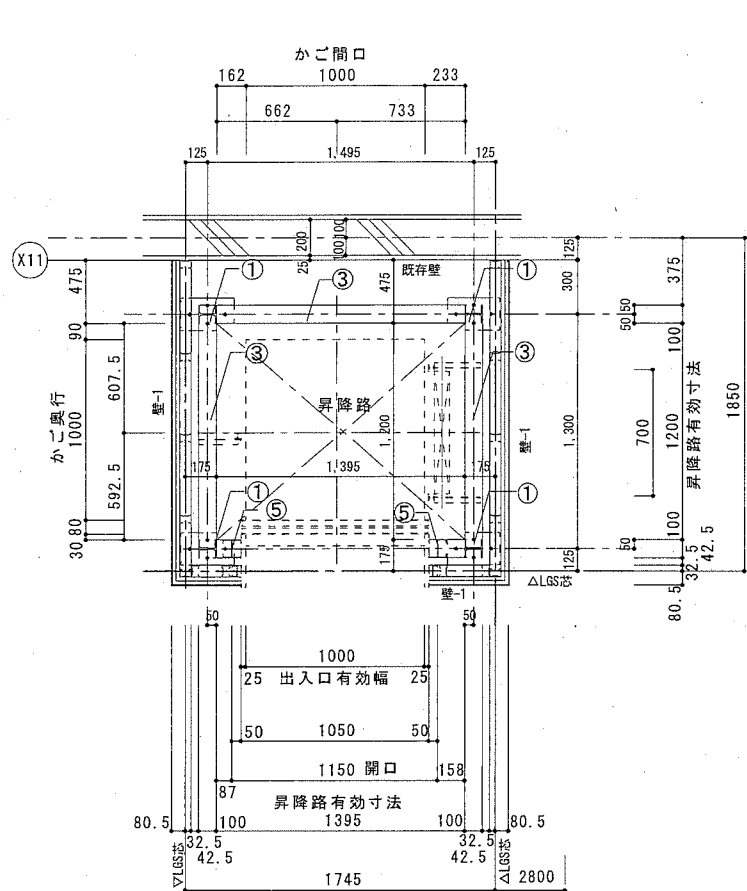
建具表 S=1/50

記号・個数	AW-1 3か所			
取付場所	各階更衣室			
形状・寸法				
見込・寸法	70			
種別方式	引違い窓			
材料仕上	アルミ製 (シルバー)			
ガラス厚	透明網入りガラスt=6.8 (一部撤去)			
付属金物	ストップ-止め			
備考	7&M27&M&Mは内外シリング共 (SR-1) (7&M27&M&M 網穴あけは機械設備工事)			
記号・個数	AD-1 1か所	AD-2 1か所	AD-3 3か所	
取付場所	バンコーナー	給食事務・休憩室	給食事務・休憩室	
形状・寸法				
見込・寸法	70		70	100
種別方式	引違い窓		片開きドア	引分け半自動ドア (必要換気量: 0.06m³)
材料仕上	アルミ製 (シルバー)		アルミ (カラー)	アルミ (カラー)
ガラス厚	透明ガラスt=3 (一部撤去)		網入型板ガラスt=6.8	網入型板ガラスt=6.8
付属金物			インーロッド、丁番、錠、縦線、戸当り	自閉装置、ガイドローラー、エンドストップ、引戸錠、押し棒、縦線
備考			シリング錠 (廊下側) / シリング錠 (室内側)	シリング錠 (廊下側) / シリング錠 (室内側)
備考			ド770-ダ-	ガラスの廊下側にSUS24メッシュの防虫網を取付
記号・個数	SD-1 3か所	SD-2 1か所	AP-1 3か所	
取付場所	各階配膳室	3階配膳室	各階更衣室	
形状・寸法				
見込・寸法	80	80	100	
種別方式	片開き点検口		引違い戸、引違い窓	
材料仕上	ステン焼付塗装		7&M2製	
ガラス厚	透明ガラスt=3		網入り型ガラスt=6.8、透明ガラスt=3	
付属金物	点検口ピン、点検口用ド770-ダ-			
備考	平面ハンド錠付 特定防火設備		枠共撤去 特定防火設備	

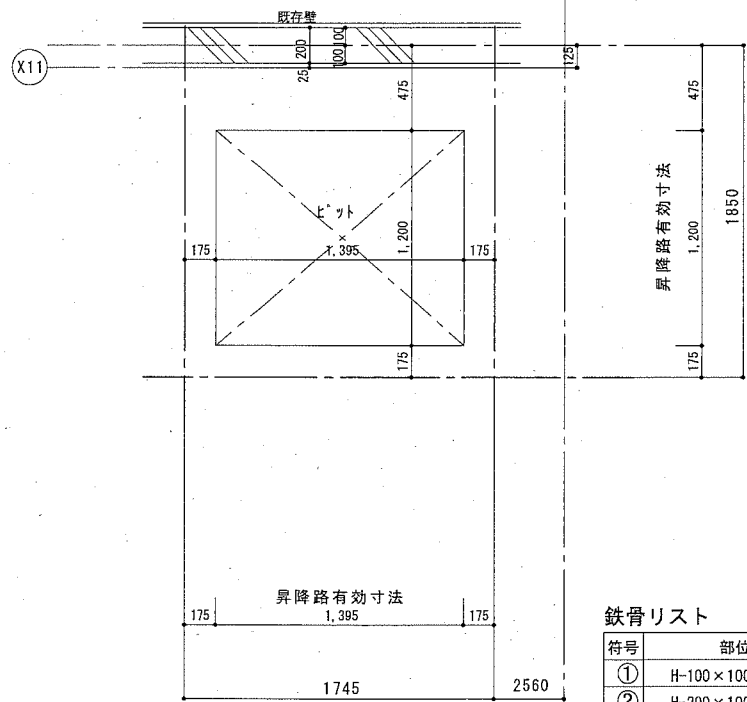
改修後







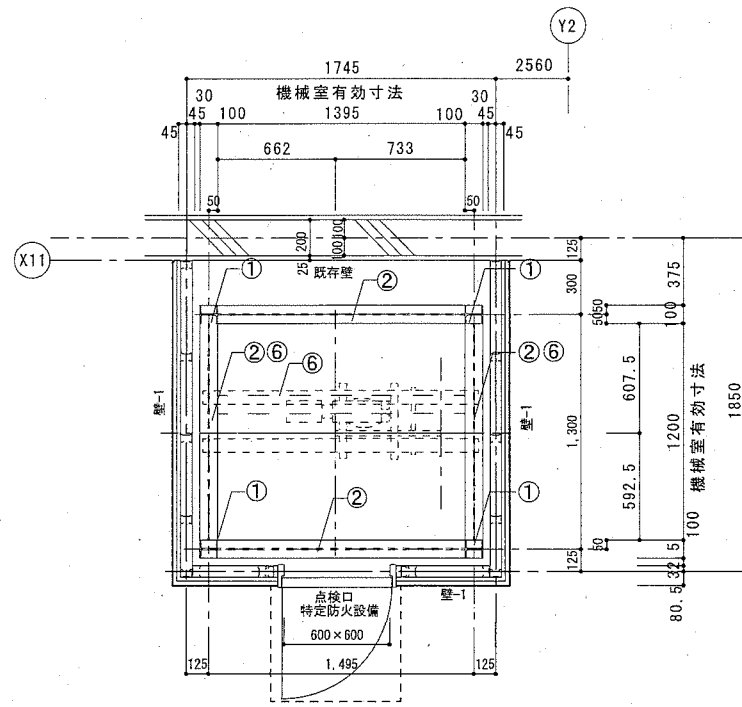
昇降路平面図 S: 1/30



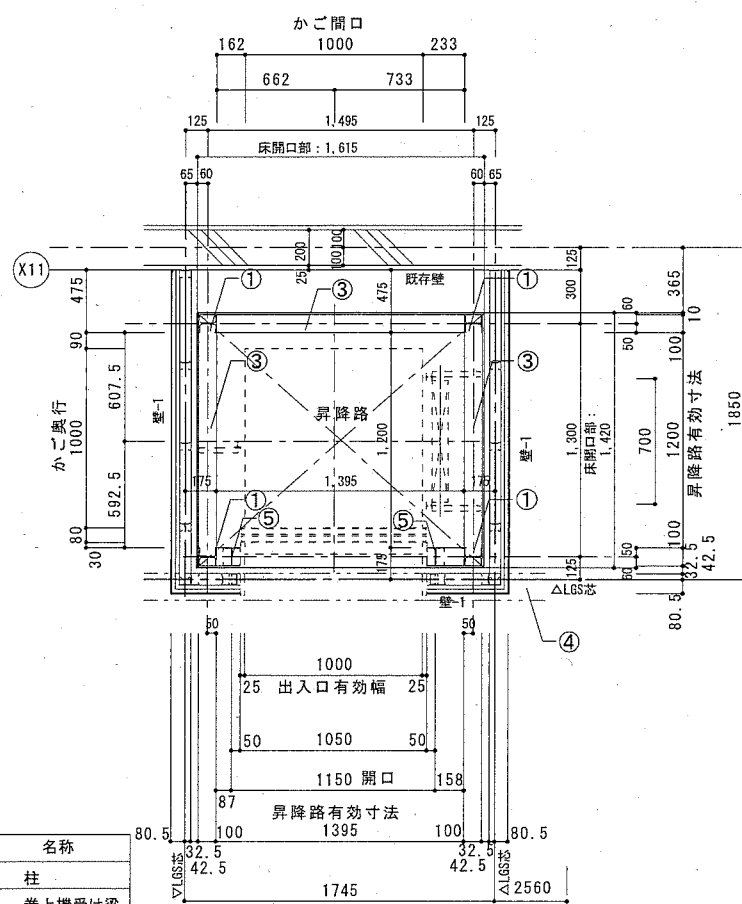
昇降路平面図 S: 1/30

鉄骨リスト

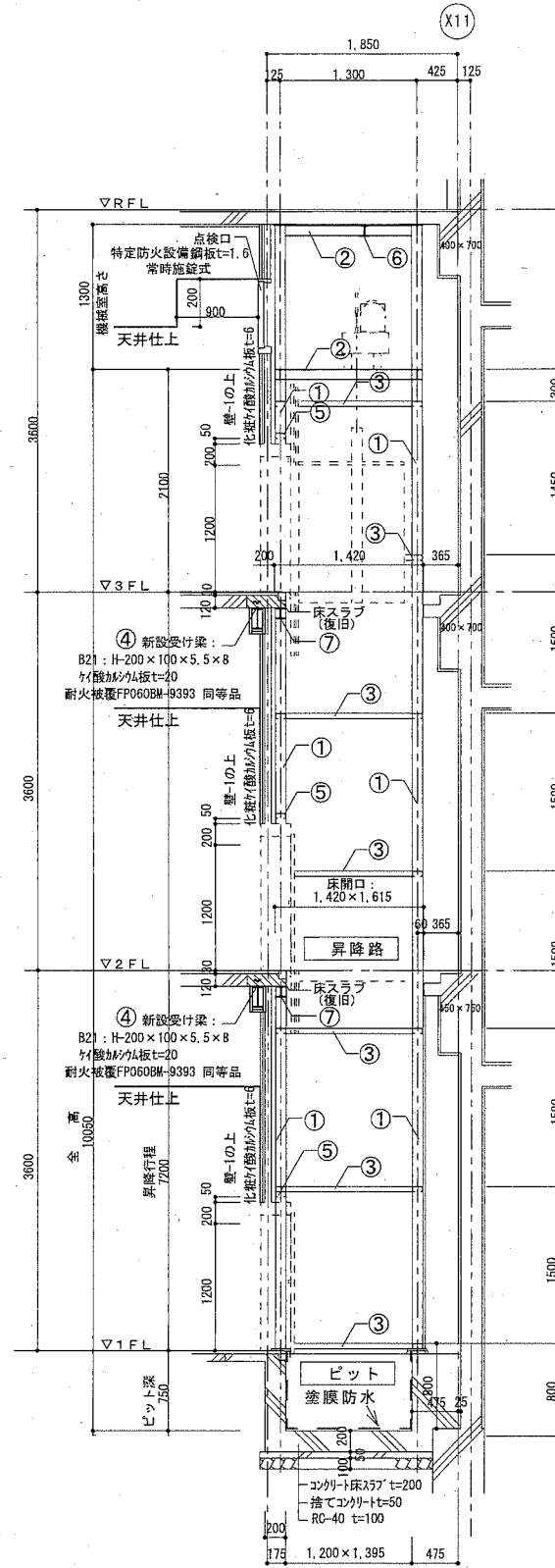
符号	部位	名称
①	H-100×100×6×8	柱
②	H-200×100×5.5×8	巻上機受け梁
③	C-100×50×20×3.2	レール受け材
④	H-200×100×5.5×8	B21 受け梁
⑤	2C-100×50×20×3.2	枠受け材
⑥	H-100×100×6×8	揚重用梁
⑦	H-100×100×6×8	敷居受け材



昇降路平面図 S: 1/30

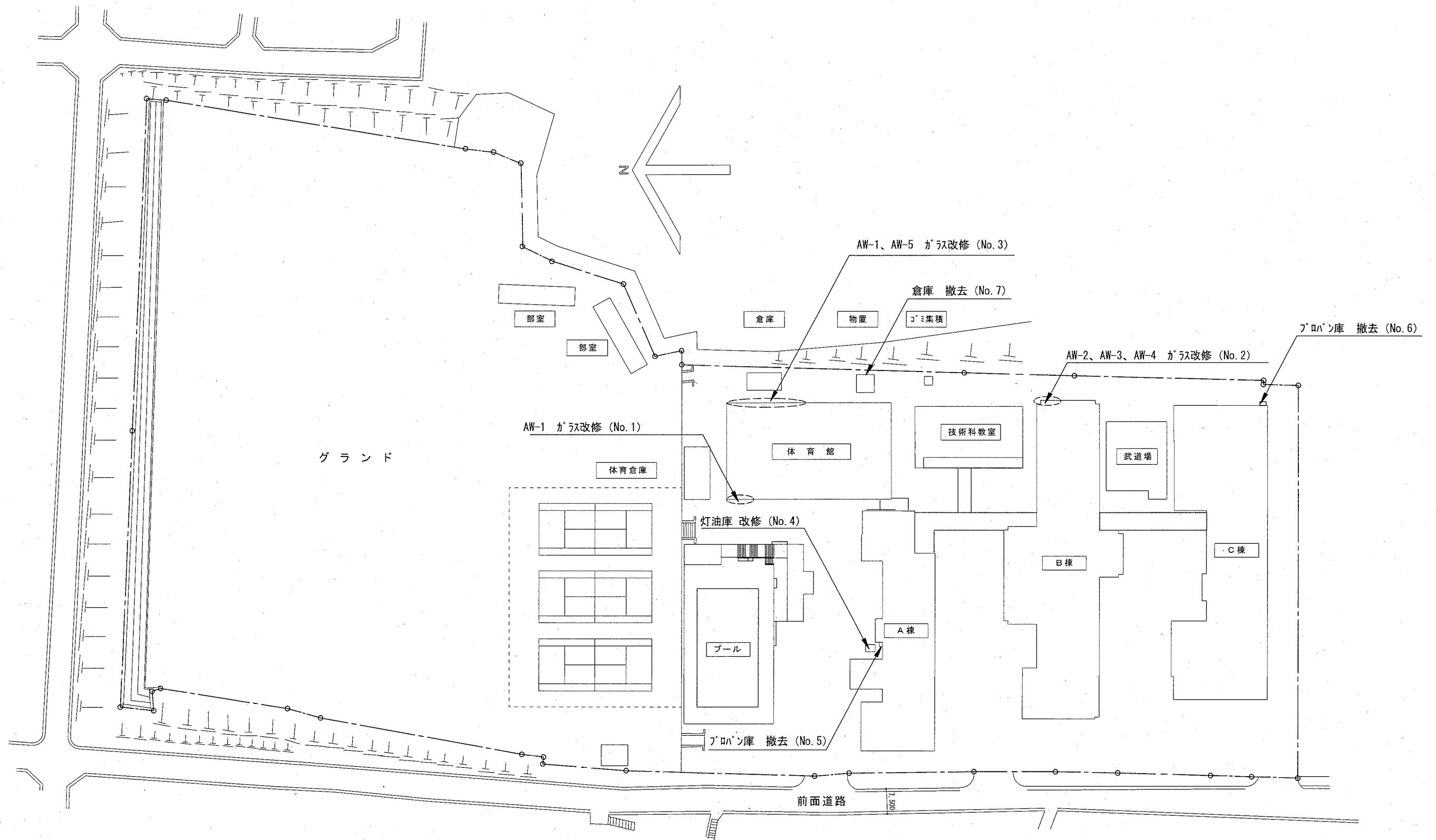


昇降路平面図 S: 1/30



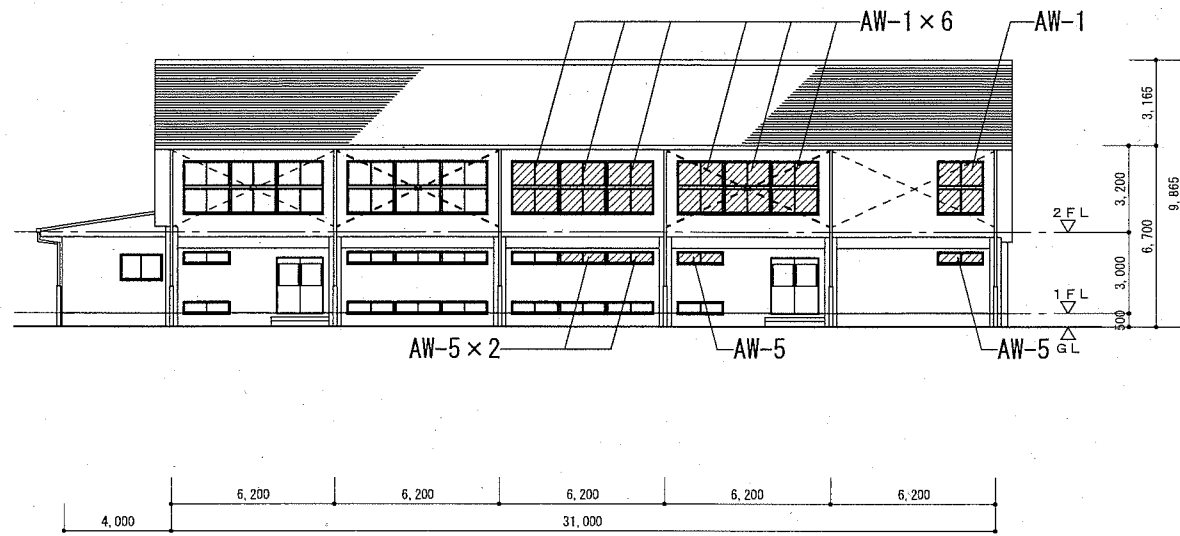
昇降路断面図 S: 1/50

塗膜防水材: ケイ酸質系塗布防水
JASS8 M-301規格適合品
C-UPタイプ

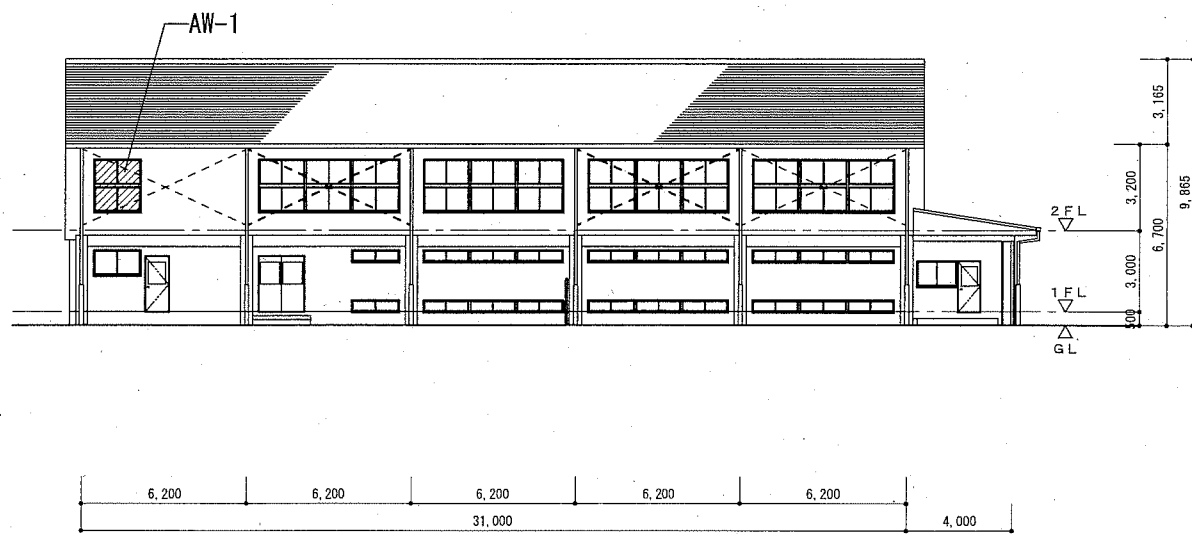


配置図 S=1:600

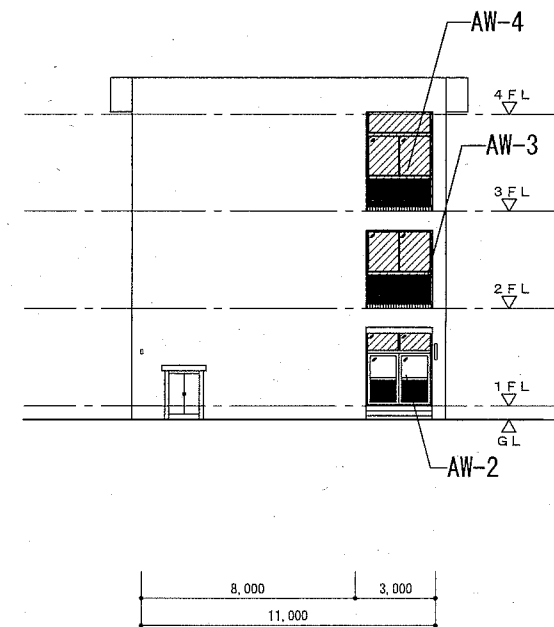
公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和 2年 2月		設計名称 <small>NAME OF PROJECT</small> 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (鴨居中学校)	図面名称 <small>TITLE OF DRAWING</small> 既存建物改修 配置図 縮尺 1/600 <small>SCALE</small>	A-47 <small>NO.</small>
----------------------------------------------------------------------------------------------	---------	---------	----------------------------------	--	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------



体育館棟 東面立面図 S=1/200



体育館棟 西面立面図 S=1/200



校舎 B棟 東面立面図 S=1/200

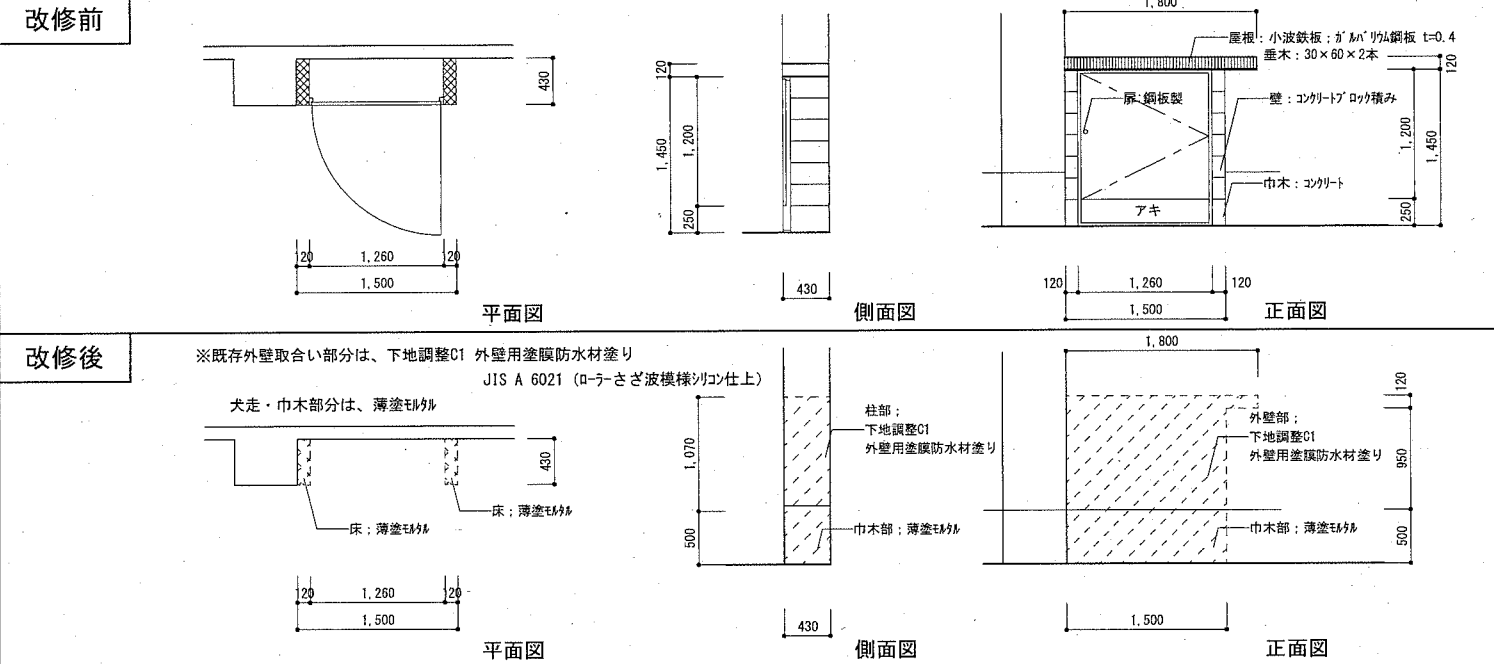
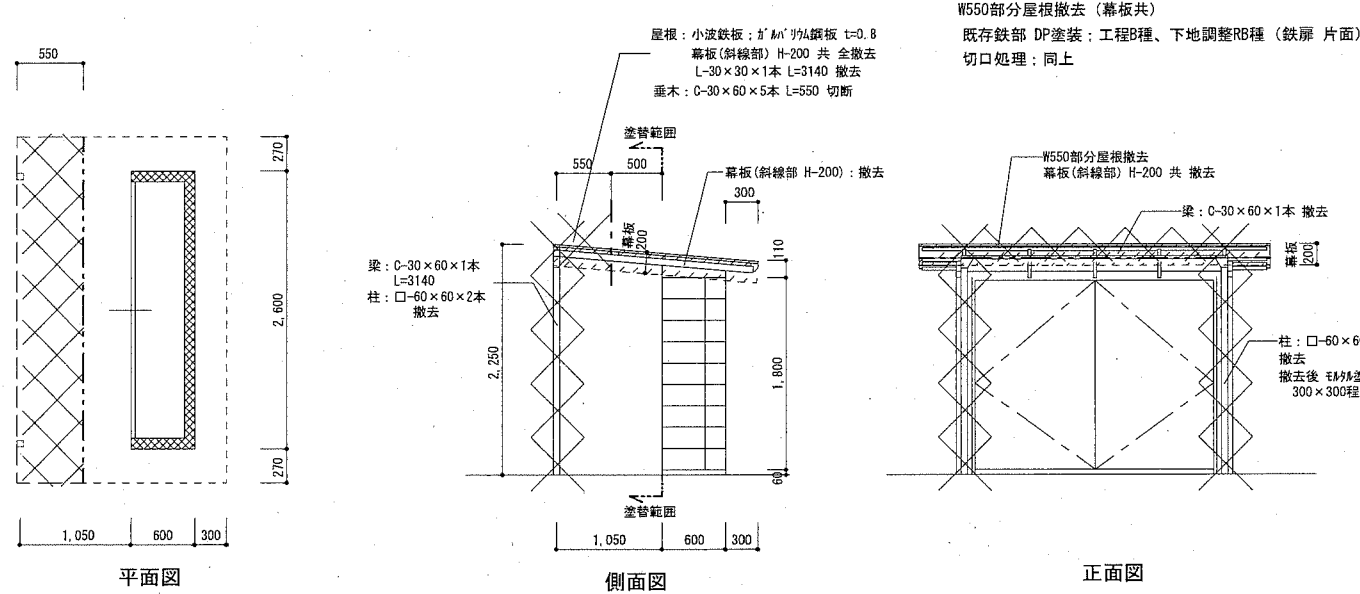
記号・個数	AF-1 8か所	AF-2 1か所	AF-3 1か所	AF-4 1か所	AF-5 4か所
取付場所	体育館 No1・2 2階	校舎 No2 B棟 1階	校舎 No2 B棟 2階	校舎 No2 B棟 3階	体育館 No3 1階
建具表 S=1/50					
形状・寸法					
凡例	<input type="checkbox"/> ガラス改修部 防火設備用シツクは4階高面施工				
ガラス厚	透明ガラスt5撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シツク(内外共)	透明ガラスt5撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シツク(内外共)	透明ガラスt3撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シツク(内外共)	透明ガラスt3撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シツク(内外共)	透明ガラスt5撤去 透明網入りガラスt6.8+防火設備用シツク(内外共)

灯油庫 改修 (No. 4)

S=1/50

プロハソ庫 撤去 (No. 5)

S=1/50

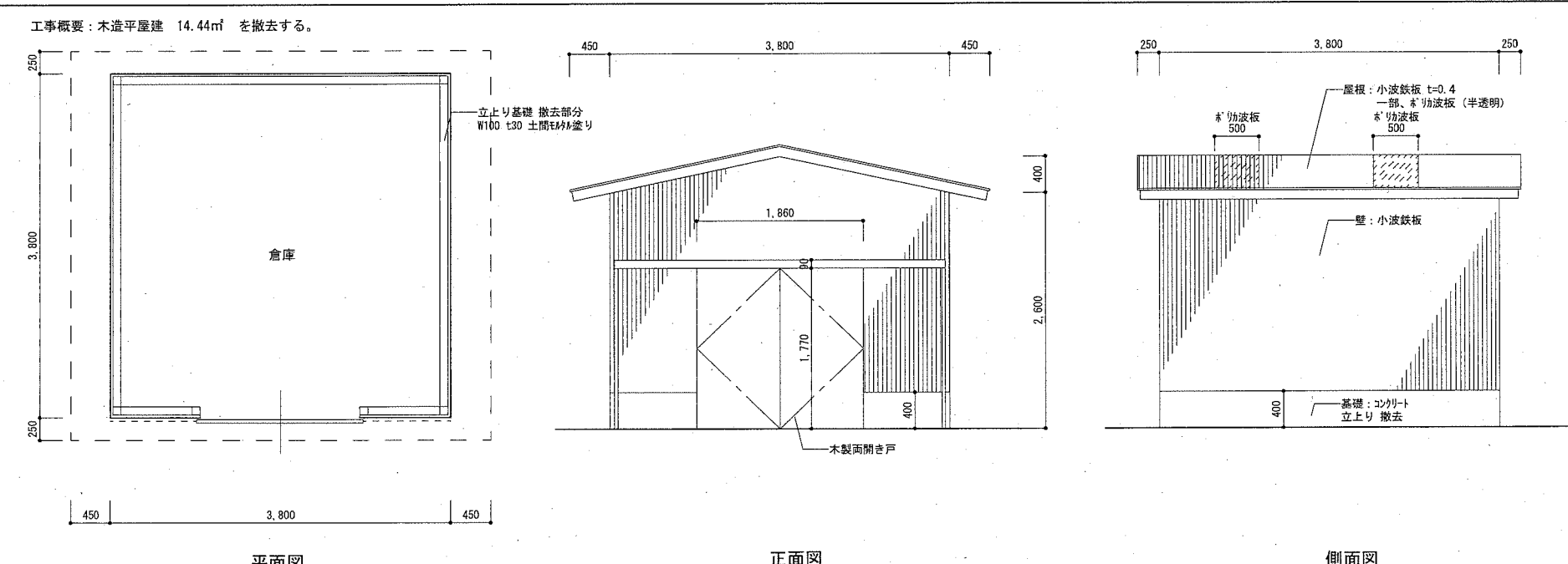
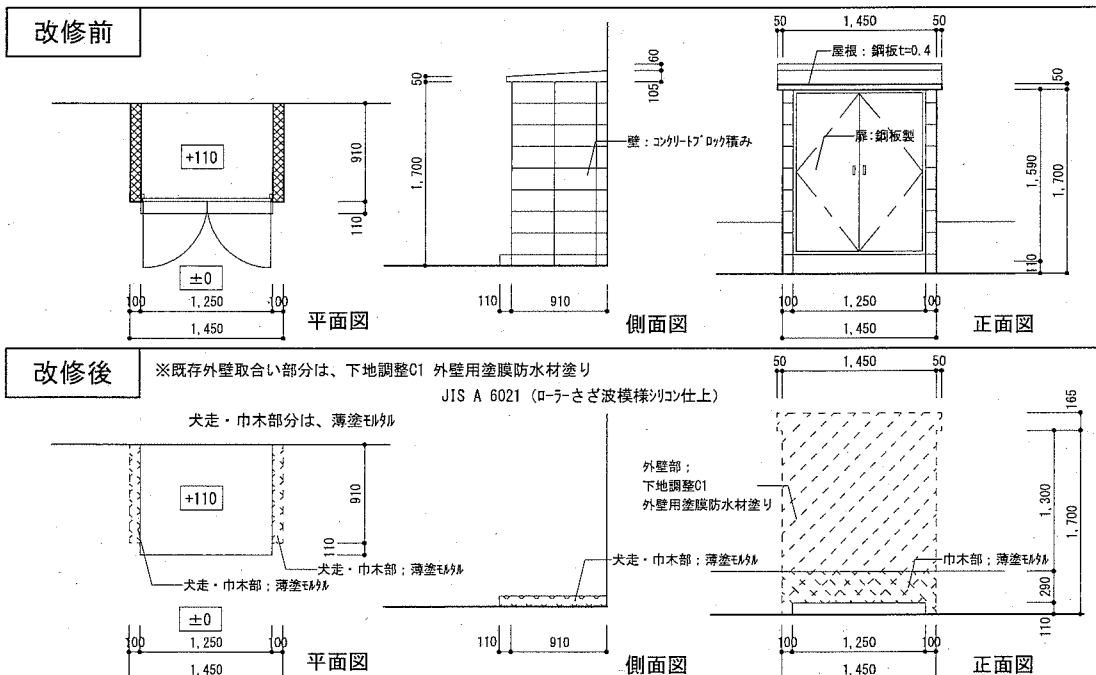


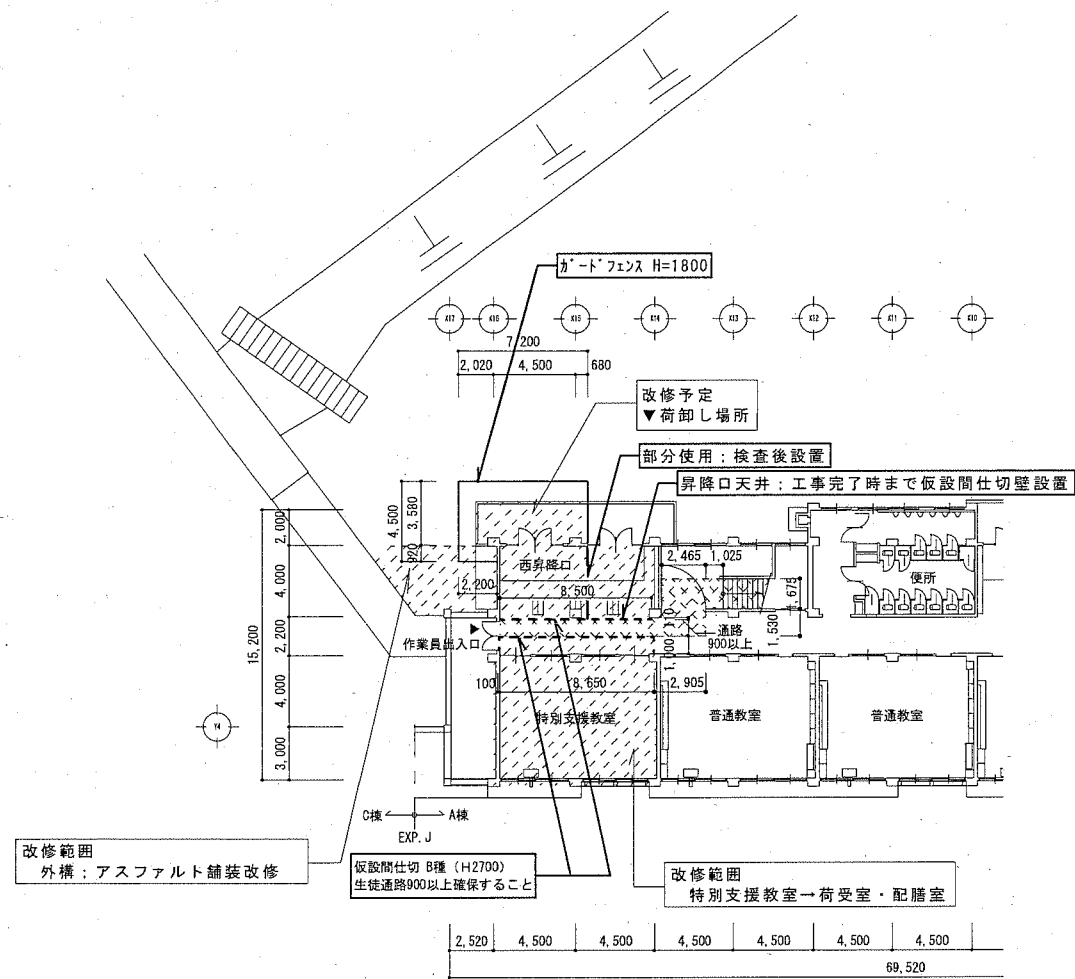
プロハソ庫 撤去 (No. 6)

S=1/50

倉庫 撤去 (No. 7)

S=1/50

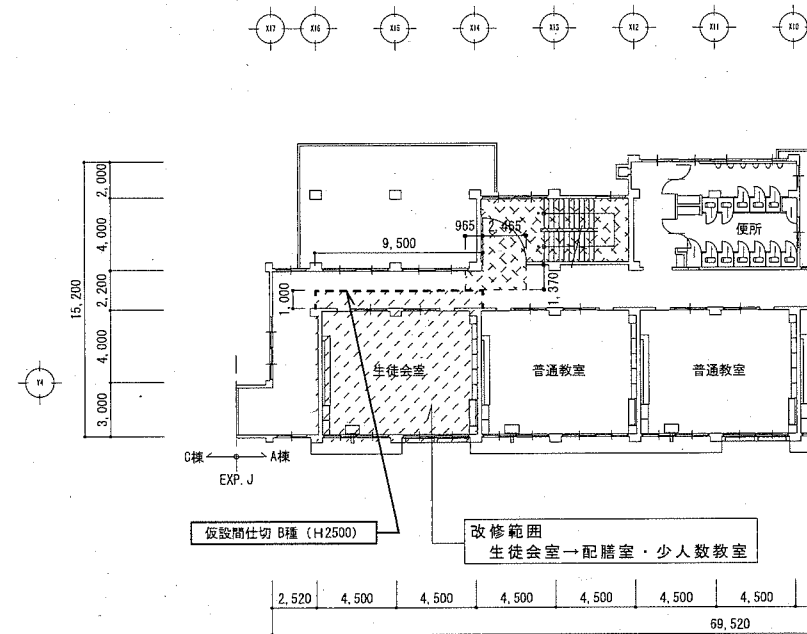




※ [ハatched area] 西昇降口及び階段から施工範囲まで
作業員が通行する廊下等の部分は、床養生すること。

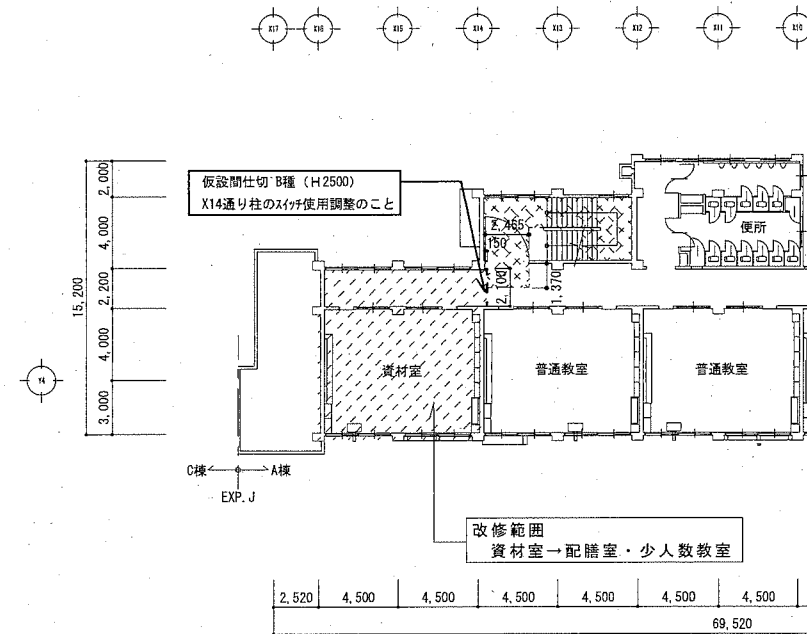
1 階 平面図

※ シフト足場: 1.7×1.88×11.4



※ [ハatched area] 階段から施工範囲まで
作業員が通行する廊下等の部分は、床養生すること。

2 階 平面図



※ [ハatched area] 階段から施工範囲まで
作業員が通行する廊下等の部分は、床養生すること。

3 階 平面図

公共建築課長	主査等	担当者

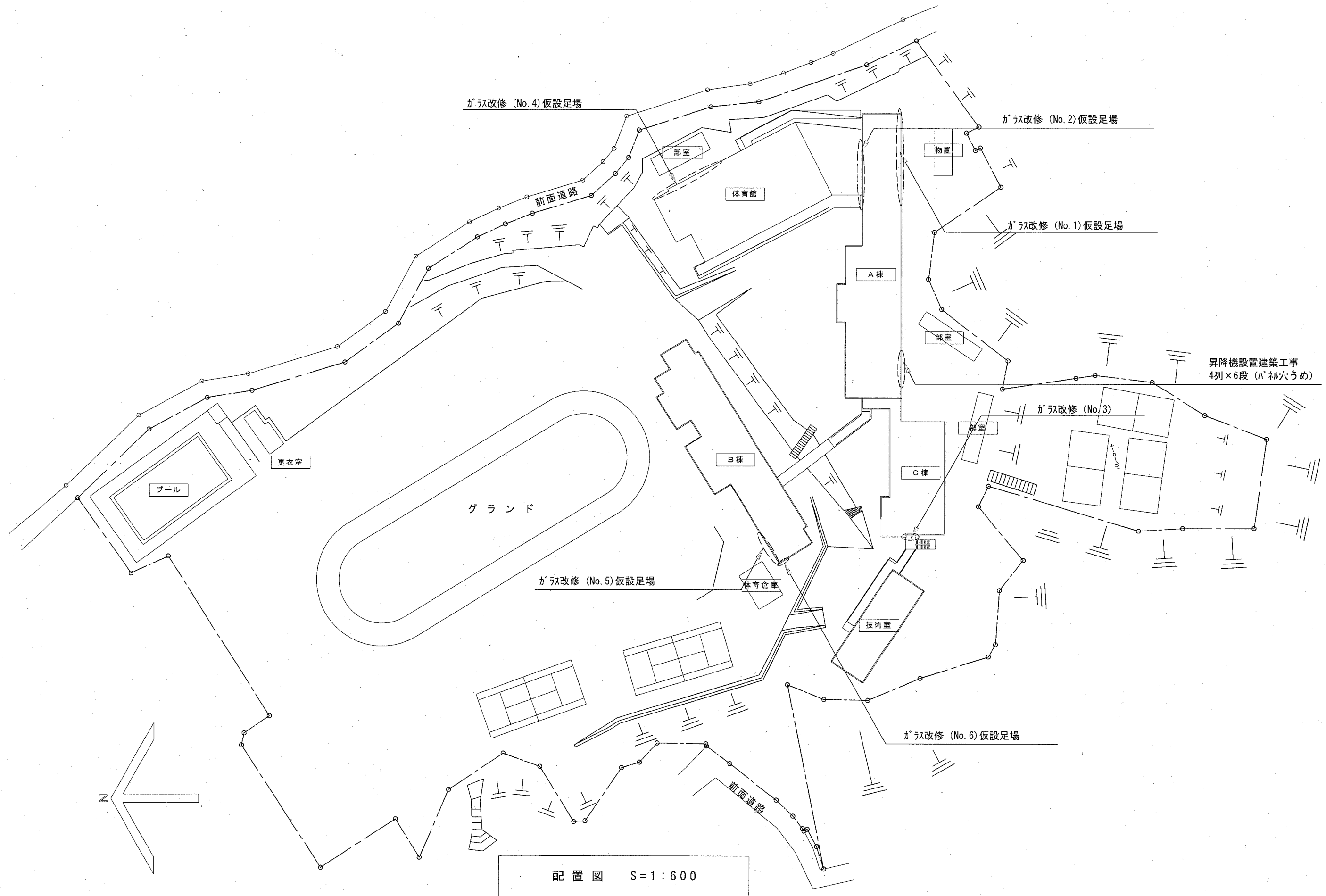
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 2 月

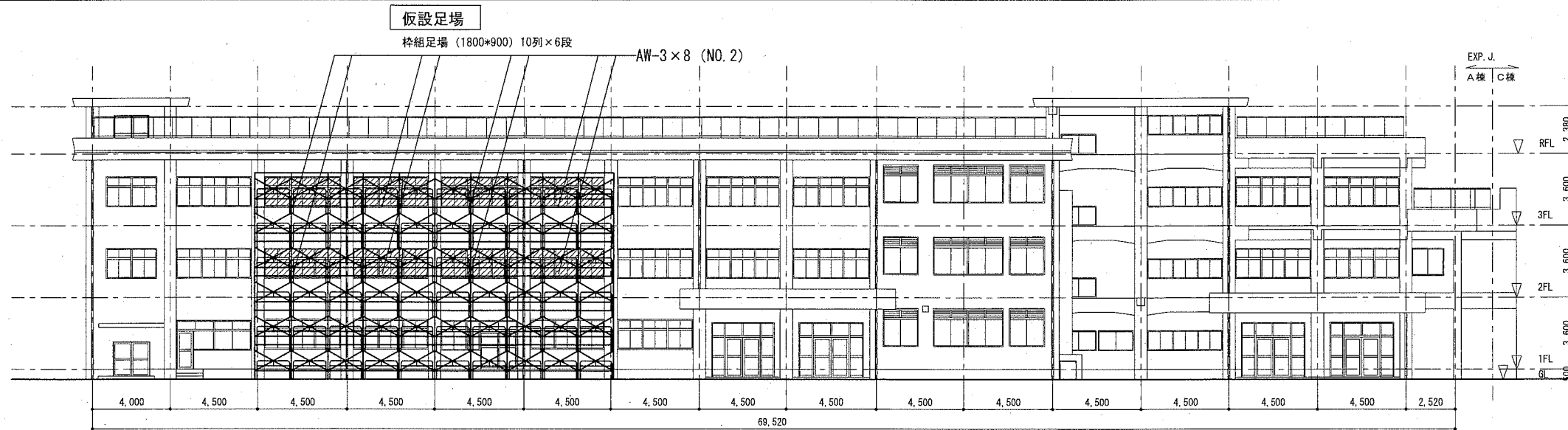
設計名称 NAME OF PROJECT	市立馬堀中学校ほか1校昇降階段設置工事 (馬堀中学校)
図面名称 ITEM OF DRAWING	仮設計画図 1 (参考用)
縮尺 SCALE	1 : 300

図面番号 DRAWING NUMBER	K-01
------------------------	------

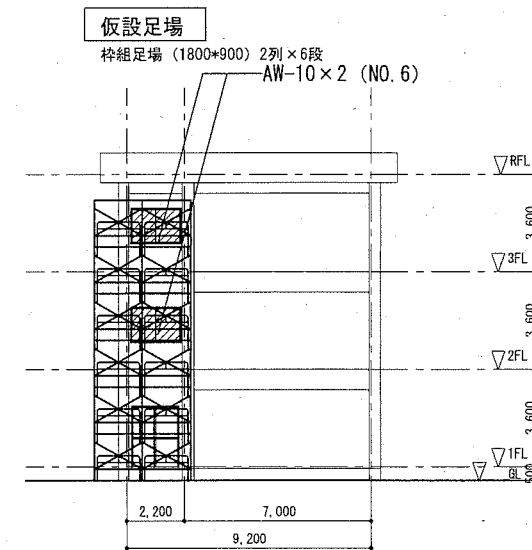
K-01



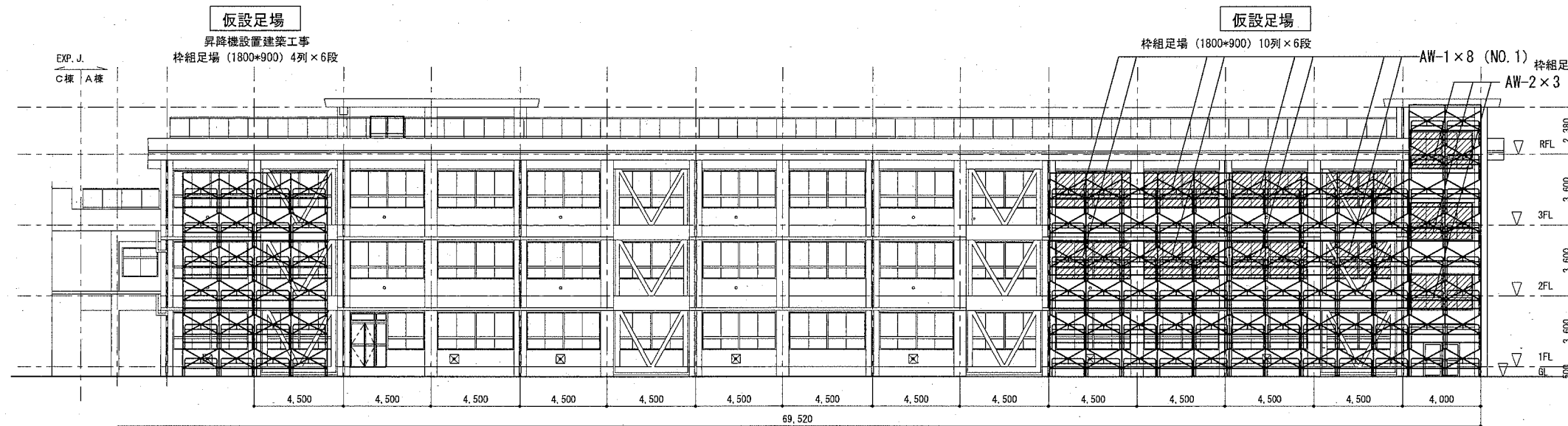
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	設計名称 NAME OF PROJECT 市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築工事 (馬堀中学校)	図面名称 TITLE OF DRAWING 仮設計画図2 (参考用)	縮尺 SCALE 1:600	NO
			設計年月日 令和 2年 2月	PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER		K-02



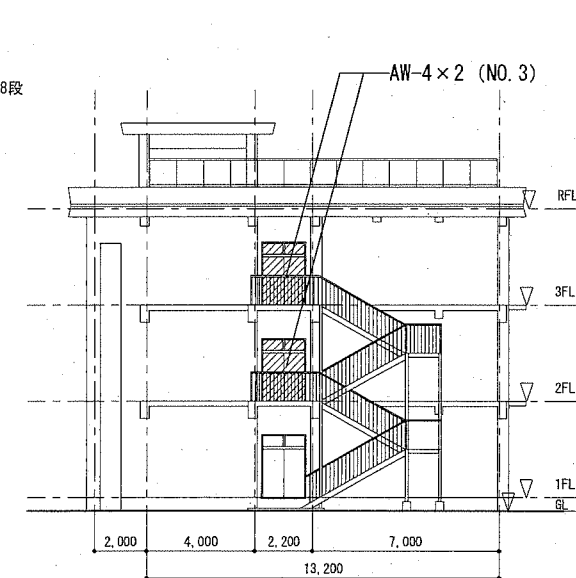
A棟 北面立面図 S=1/200



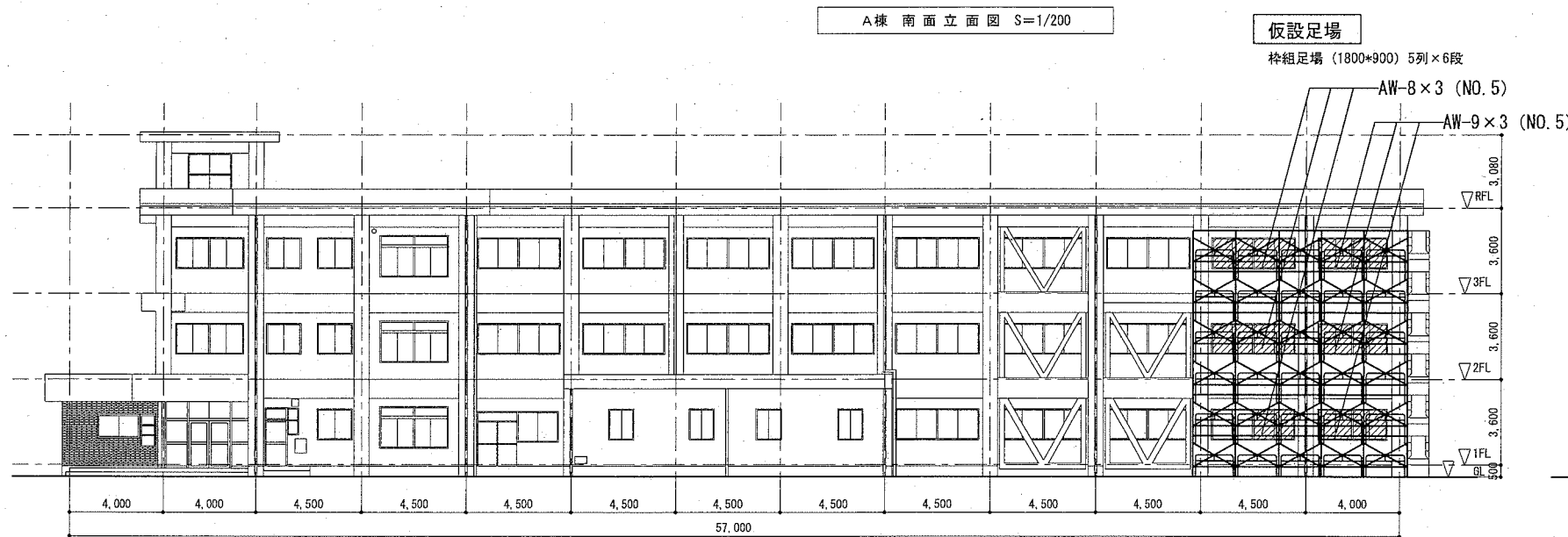
B棟 西面立面図 S=1/200



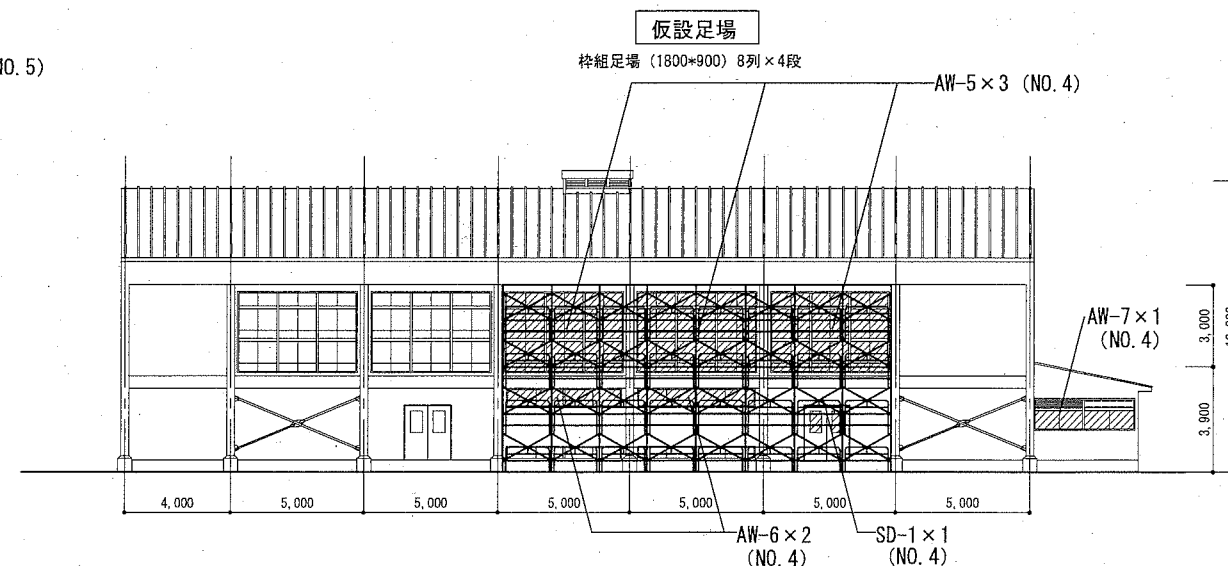
A棟 南面立面図 S=1/200



C棟 西面立面図 S=1/200



B棟 北面立面図 S=1/200



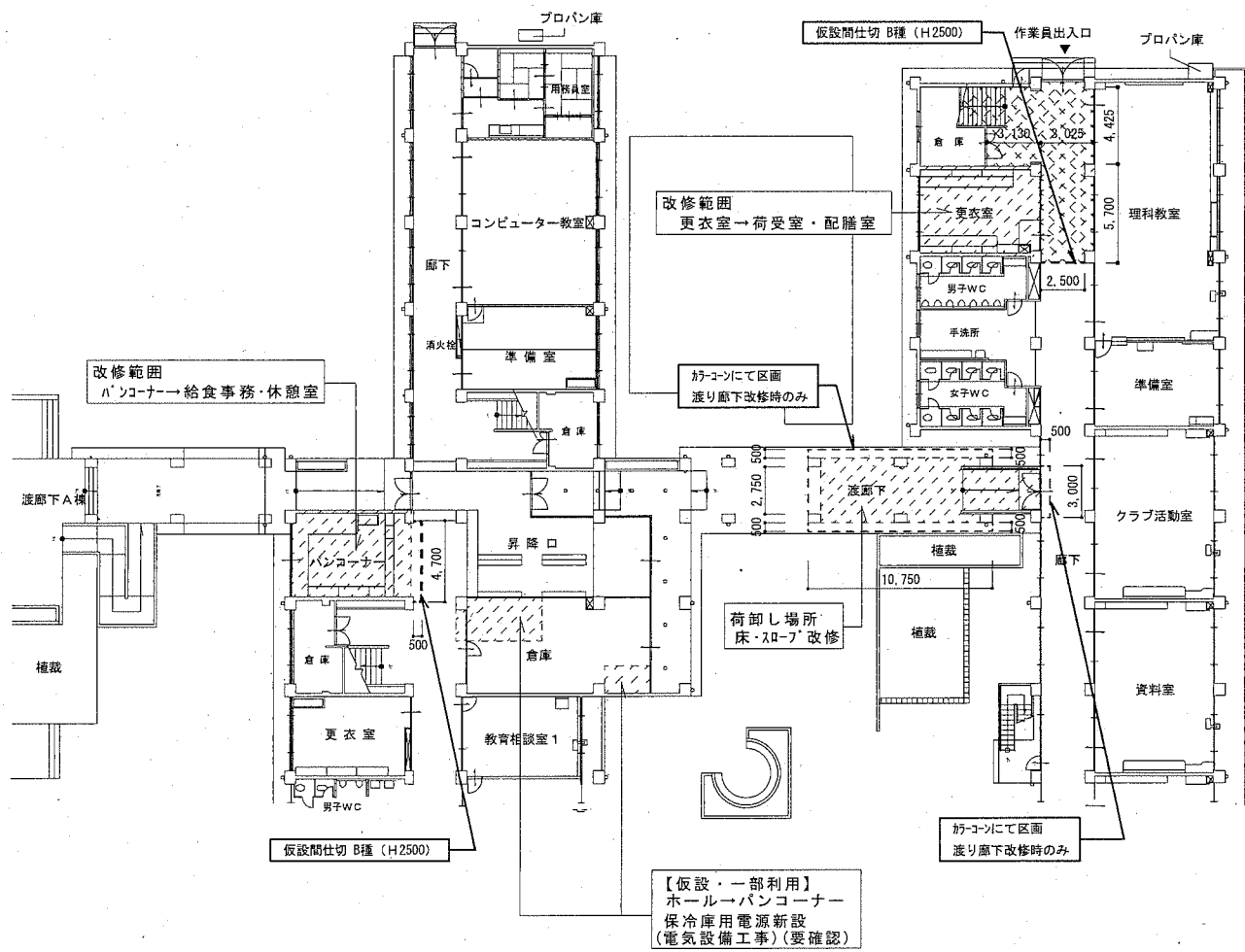
体育館 東面立面図 S=1/200

既存が撤去し、透明網入りガラスt=6.8新設
(防火設備用シーリング共) (建具表参照)

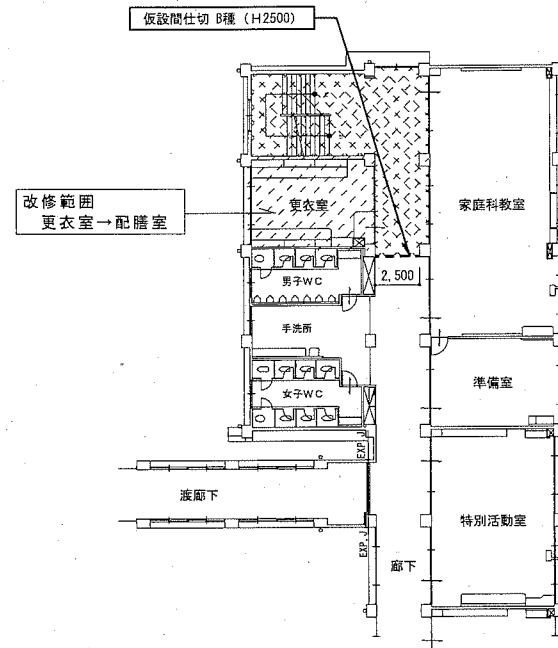
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

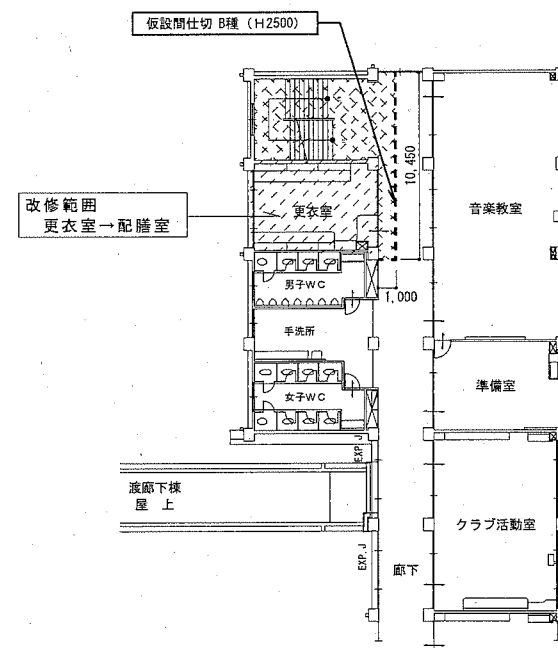
設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事 (馬場中学校)	仮設計画図3 (参考用)
縮尺 1 : 200	



1階平面図



2階平面図



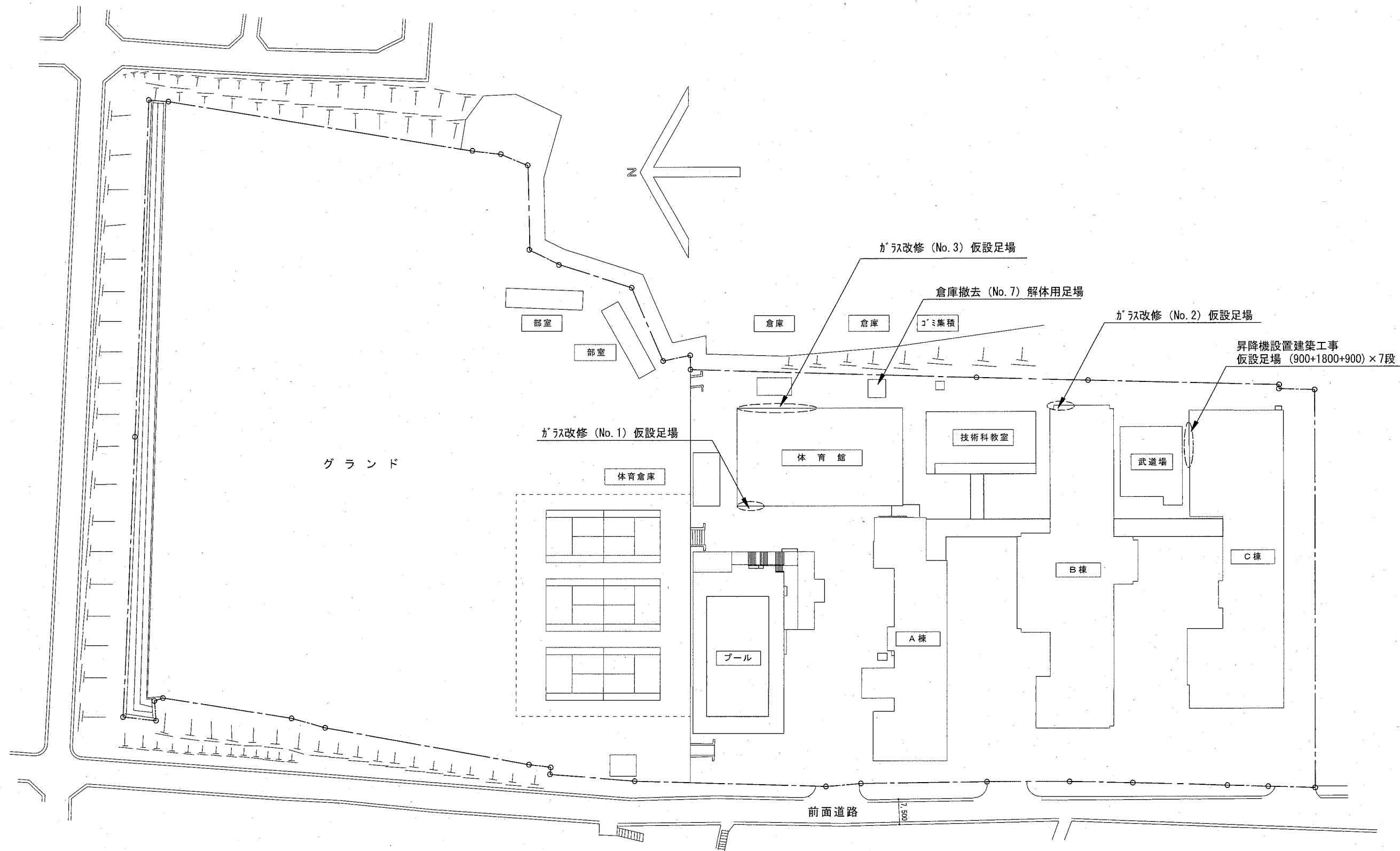
3階平面図

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2年 2月

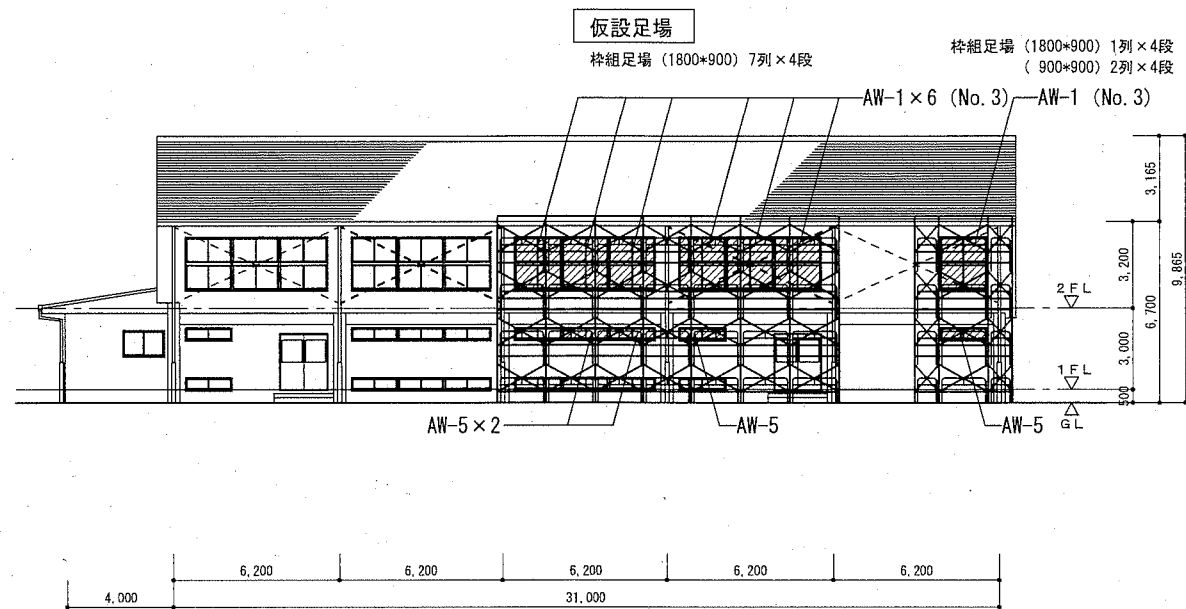
設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
市立大津中学校ほか2校昇降機設置建築その他工事 (鶴居中学校)	仮設計画図1(参考用)
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1 : 300 SCALE

NO
K-04

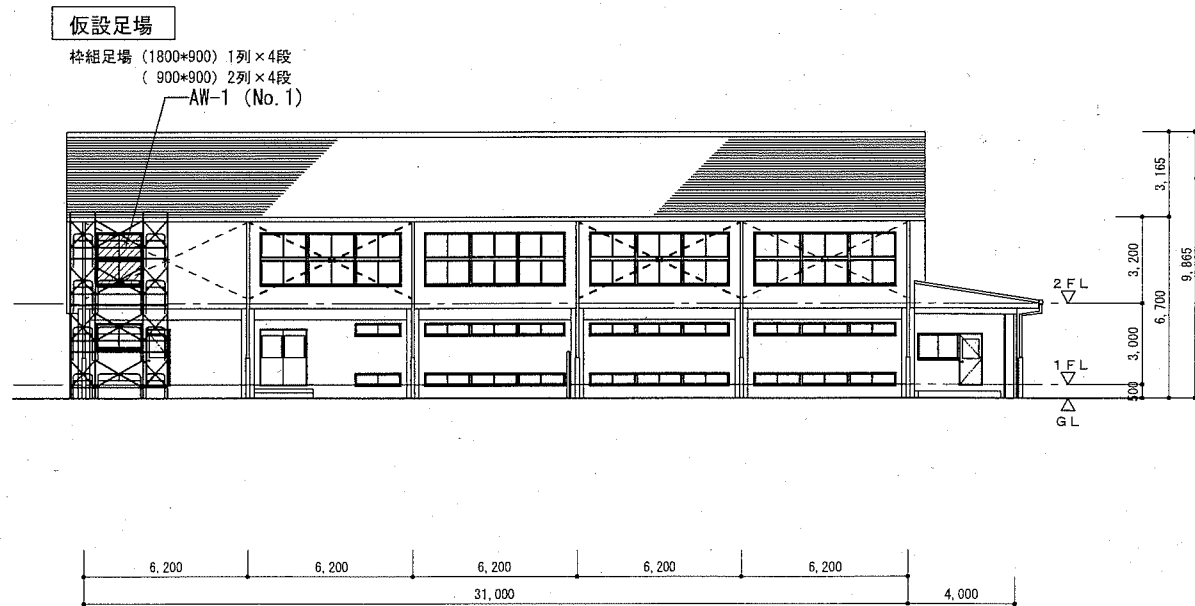


配置図 S=1:600

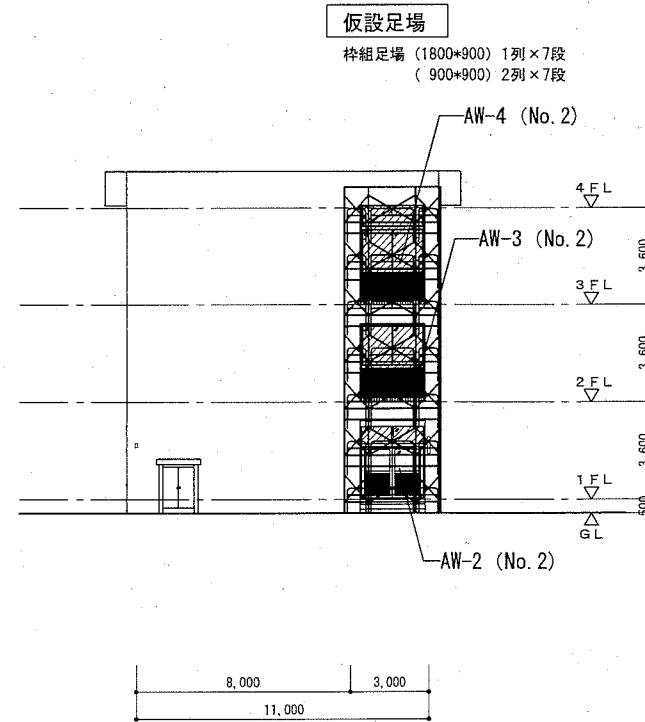
公共建築課長 	主査等 	担当者 	横須賀市 都市部 公共建築課 設計年月日 令和 2年 2月	設計名称 市立高根中学校ほか1校昇降機設置建築工事 (高根中学校)	図面名称 仮設計画図2 (参考用) 縮尺 1:600 DRAWING NUMBER	K-05
-----------------------------------------------------------------------------------------------	---------	---------	----------------------------------	-----------------------------------------	----------------------------------------------------	------



体育館棟 東面立面図 S=1/200



体育館棟 西面立面図 S=1/200



校舎B棟 東面立面図 S=1/200

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 lo...部材の内寸距離 ho...部材の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S. HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

※JASS5 (2003)による。

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ、梁等の鉄筋にのみ適用する。打込み工法による鉄筋のキヤップタイにのみ適用する。 ※折曲げスラブ、L部材の先端
図				
鉄筋の寸法	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは	SR235は3d以上 SD295A, SD295B SD345のD16以下は3d以上 D19以上は4d以上			

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内の寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A, SD295B SD345	16φ以下 D16以下 18φ以上 D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A, SD295B SD345 SD390	D16以下 D19-D25 D29-D41	6d以上 8d以上

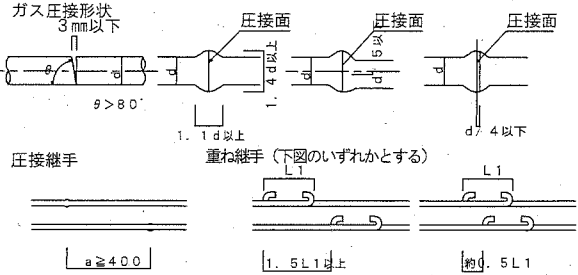
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下筋(L3)		
SR235	21, 24	35dフック付	25dフック付	150mmフック付	35dフック付
		18d下	45dフック付		
SD295A	27-36	30dフック付	25dフック付	100mmフック付	35dフック付
		21, 24	35dフック付		
SD295B	21, 24	35dフック付	25dフック付	100mmフック付	40dフック付
		18d下	40dフック付		
SD345	18d下	40dフック付	25dフック付	100mmフック付	45dフック付
		27-36	35dフック付		
SD390	21, 24	40dフック付	25dフック付	100mmフック付	45dフック付
		27-36	35dフック付		

(注) 許容応力度計算、許容応力度等計算、(ルート1)、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は4dとする

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



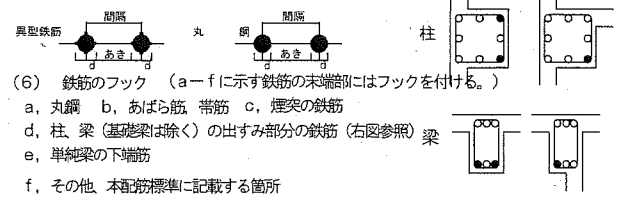
(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部位	部	露出厚さ	露出厚さ(最小)
土に接しない部分	スラブ	30	20
	梁	40	30
	柱	40	30
	基礎	50	40
土に接する部分	柱・はり・スラブ・新設	50	40
	基礎・擁壁	70	60

※ 基礎の場合のかぶり厚さは積算からとする。

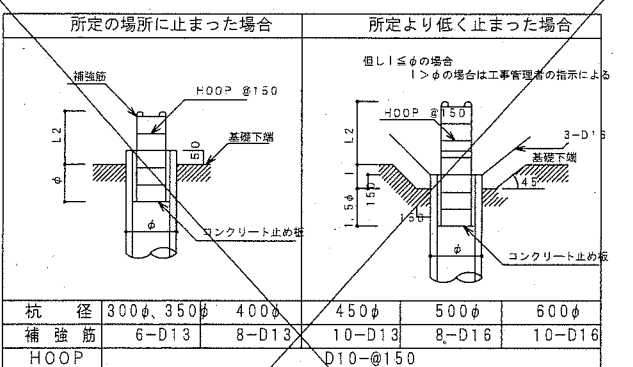
(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上 図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

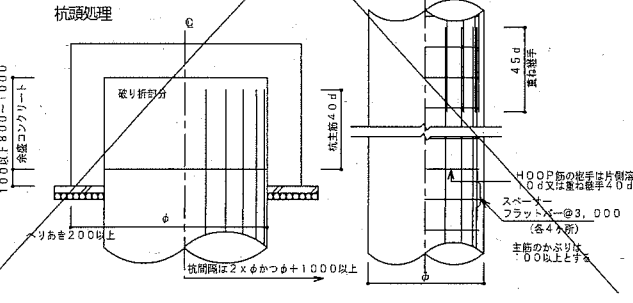


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PRC杭 又はPHC杭全てに補強を行う (詳細図参照)

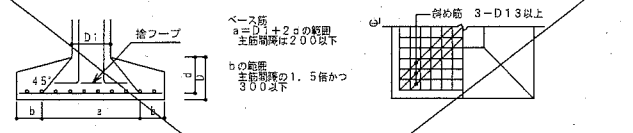


(2) 現場打ちコンクリート杭 抗腐処理

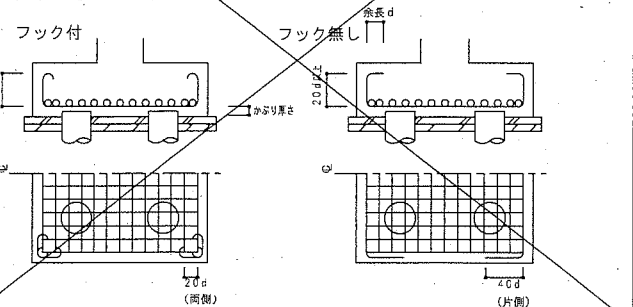


4. 基礎

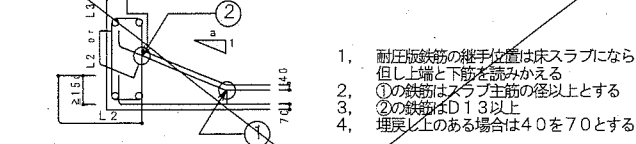
(1) 直接基礎



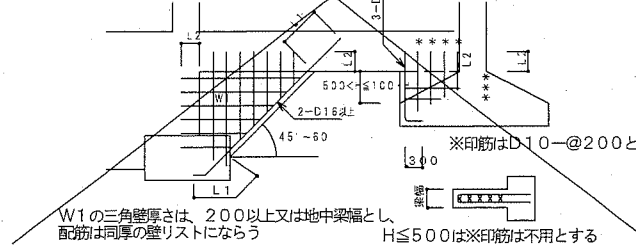
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

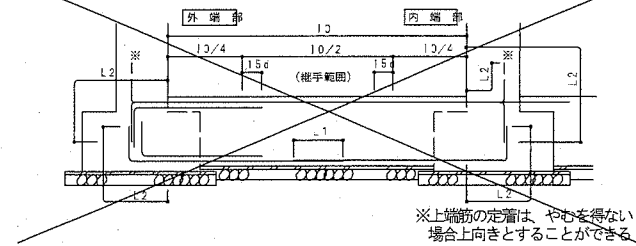


(4) 基礎接合部の補強

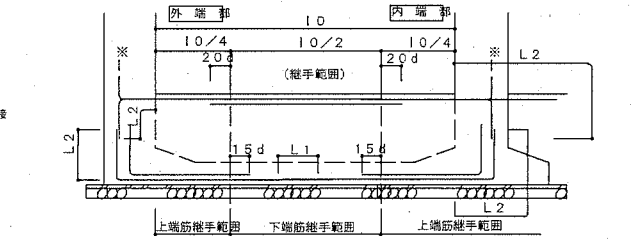


5. 地中梁

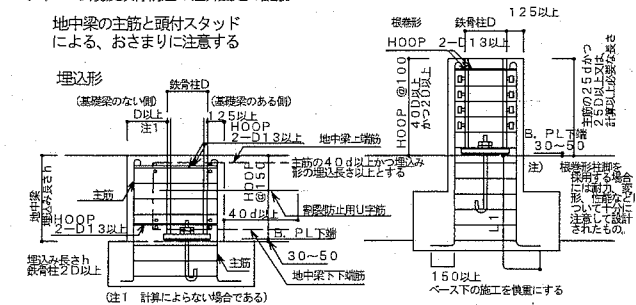
(1) 独立基礎 杭基礎の場合 (定着、継手)



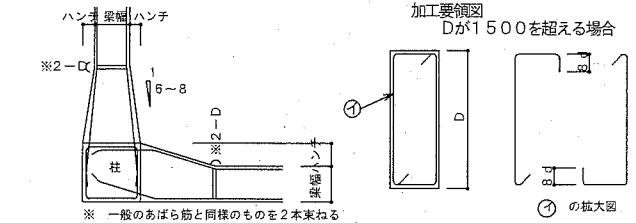
(2) 布基礎 べた基礎の場合 (定着、継手)



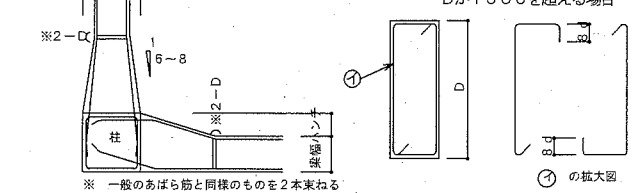
(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

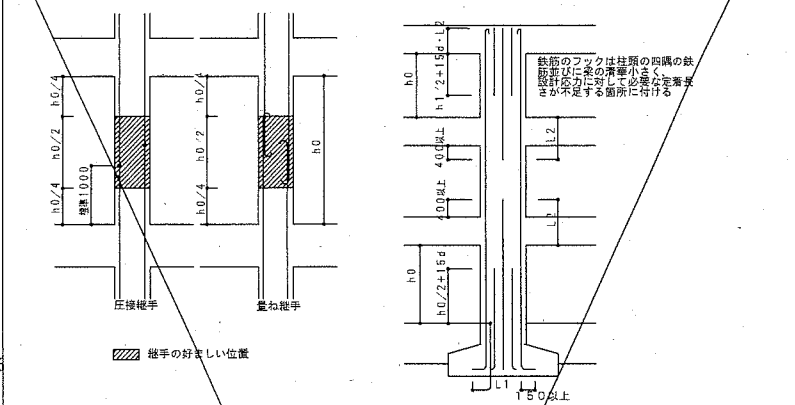


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

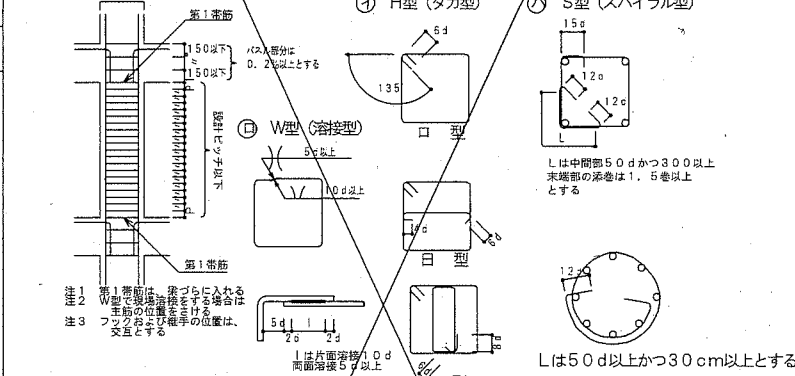


6. 柱

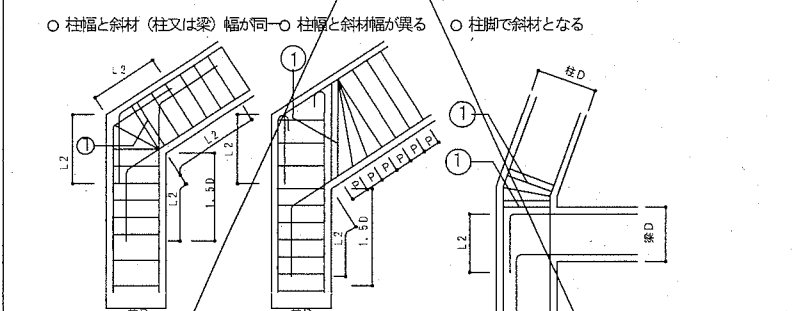
(1) 柱主筋の継手 (2) 柱主筋の定着



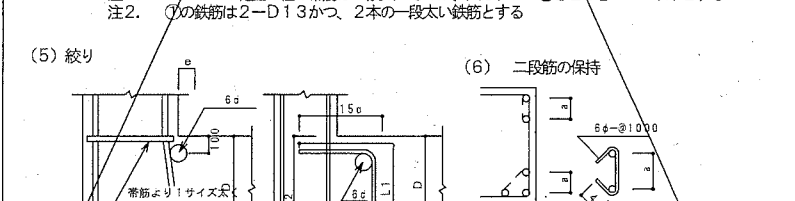
(3) 帯筋



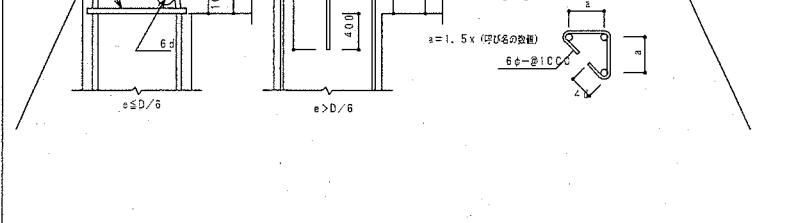
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

③大梁

④小梁の定着

⑤片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型注、床板がない場合は135°以上のフックとする

(5) 幅止め筋の本数、加工

腹筋	600 ≤ D < 900	D < 600 不要	2-D10 (9φ) 1段
	900 ≤ D < 1200		4-D10 (9φ) 2段
	1200 ≤ D		D10 (9φ) @300以内

幅止め筋 D10 (9φ) @1000位内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着および継手

③片持ち床スラブ

④一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床板厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13
200 < D ≤ 300	各2-D19	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

③軽作業の土間

④間仕切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎ面について)

9. 壁

(1) 定着

③梁に

④柱に (平面図)

⑤床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

⑥壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

完全スリット

部分スリット

(3) 手摺、パラベット

手摺

パラベット

(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合

下部防水立上りのある場合

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者及び工事管理者と打ち合わせのこと)

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱と同径、同ピッチとする。

(2) 梁

補強筋は、張主筋の1段差径 (D16以上) とする。

あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。

増打D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。

D ≥ 400の場合は、補強筋を3本とする。

aは100~200程度。

梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) はさける

(2) 鉄筋標準配筋し、φ ≤ D/3とする

80 ≤ φ ≤ 100	100 ≤ φ ≤ 150	150 ≤ φ ≤ 250
新筋 2-D13 (上下共)	新筋 2-D13 (上下共)	新筋 2-D13 (上下共)
縦筋 ST: 3×D-D13-100	縦筋 ST: 3×D-D13-100	縦筋 ST: 3×D-D13-100
横筋 2-D13 (上下共)	横筋 2-D13 (上下共)	横筋 2-D13 (上下共)
ナット筋 ST 1-D13	ナット筋 ST 1-D13	ナット筋 ST 1-D13

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

●既製品を使用し、認定既製品を使用し個別検討を行う

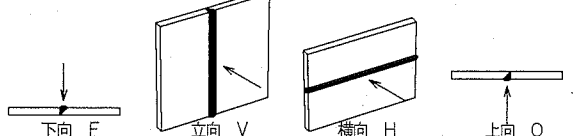
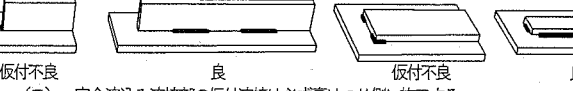
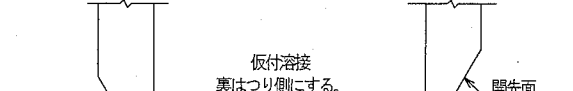
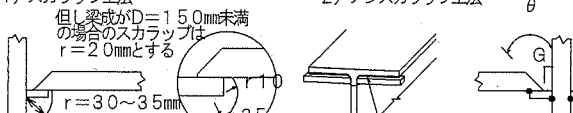
□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕打ち部分は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配筋する)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床板、壁

鉄骨構造標準図 (1)

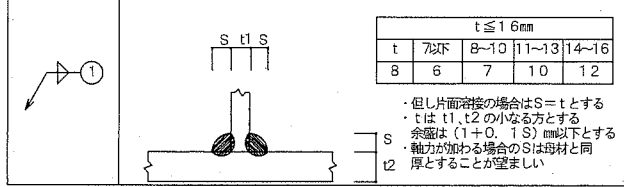
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- 構造設計仕様による
 - 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
 - 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- 本締めには使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適する JIS Z3801(手溶接)又は JIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- 交流アーク溶接機 300A~500A
 - 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - アークエアークラッピング機(直流)
 - 溶接電流を測定する電流計
 - サブマジアーク溶接機1式
 - 溶接機冷却器
- (c) 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアークラッピング(AAG)
- (d) 溶接姿勢
- 
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (i) 仮付位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- 
- (ii) 仮付不良
(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
- 
- (f) 溶接施工
- (i) エンドタブ
- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部は母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 - エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - エンドタブの長さは、MC:35mm以上、NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブが母材より10mm程度残り切断して、グラインダー仕上げとする
 - プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ 半径は30~35mmと、1.0mmのダブルアールとする
- 1) スカラップ工法
但し梁成りD=150mm未満の場合のスカラップは、r=20mmとする
- 
- (ニ) 裏はつり
規程図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためないように養生を行う
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

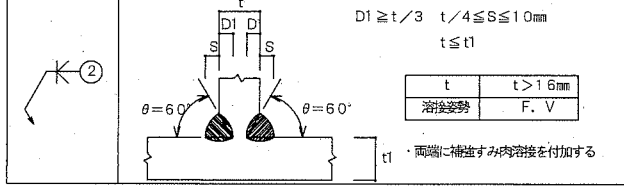
2. 溶接規準図

(注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位 mm)

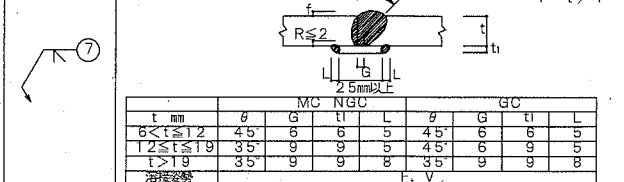
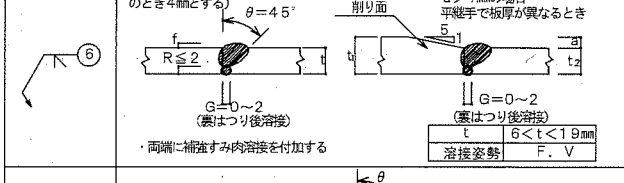
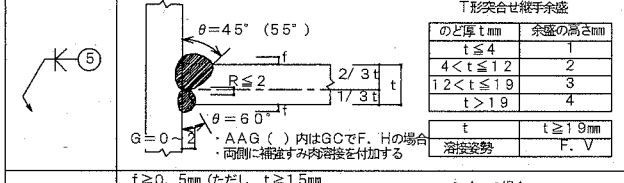
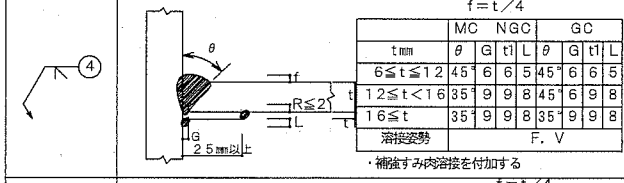
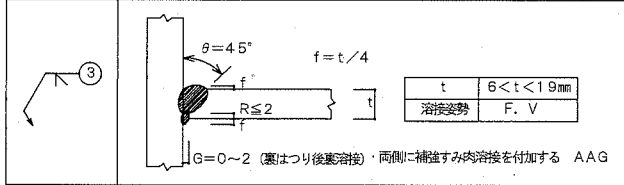
(1) スミ肉溶接



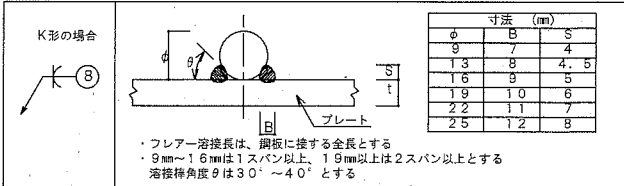
(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所へ注意)



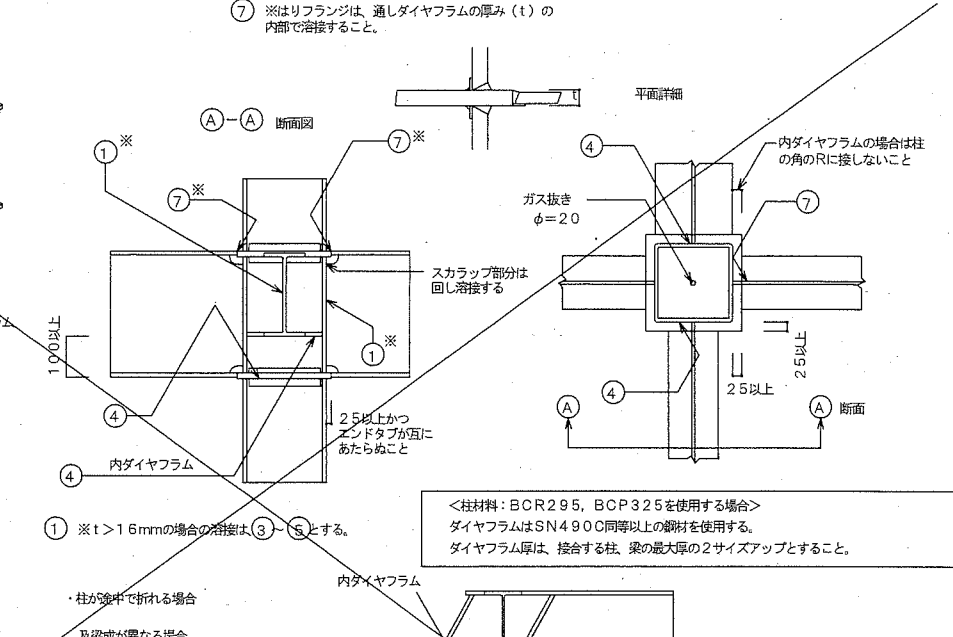
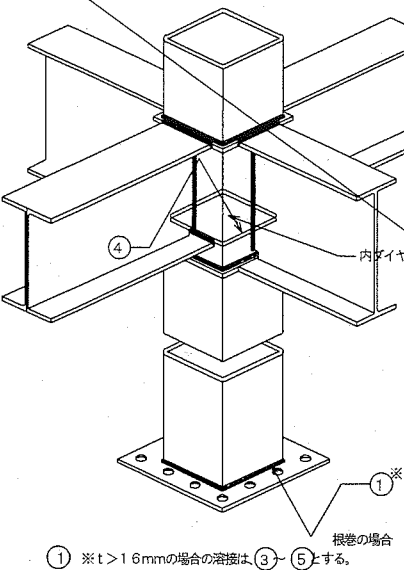
(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)



(4) フレアー溶接



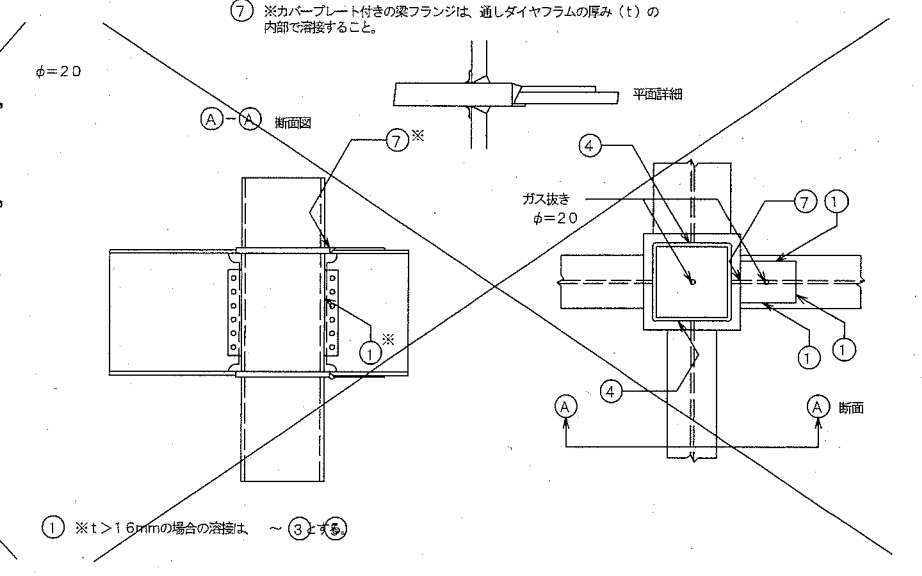
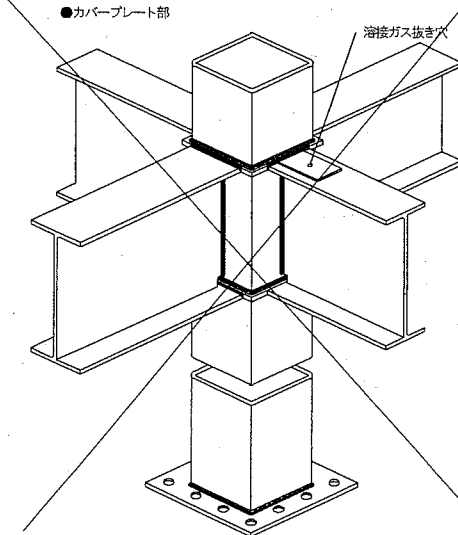
●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3211, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		

●BOX型-2 (通しダイヤフラムの場合)



◎カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項

カバープレート付き大梁の現場溶接について
従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。

本溶接→[検査] (欠陥なし) →カバープレート取り付け→カバープレート部溶接→[検査] (欠陥なし) →終
「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。

鉄骨構造標準図 (2)

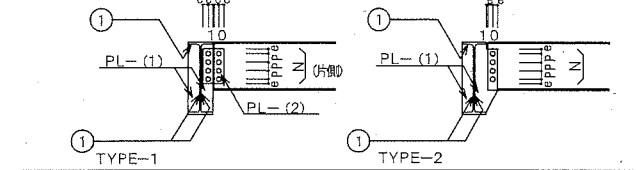
3. 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)					ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2) (3)の標準	最小	標準	
M16	18	40	28	22	40	40	60	
M20	22	50	34	26	40	50	60	
M22	24	55	38	28	40	55	60	
M24	26	60	44	30	45	60	70	

- (注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のり引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

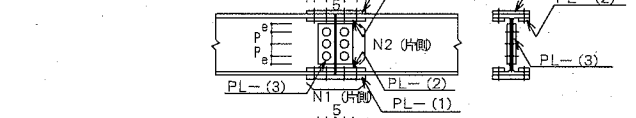
(2) ピン接合継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
b	2	H-200x100x5.5x8	PL-9		2-M20
f	2	H-100x100x6x8	PL-6		2-M16

断面表に依る

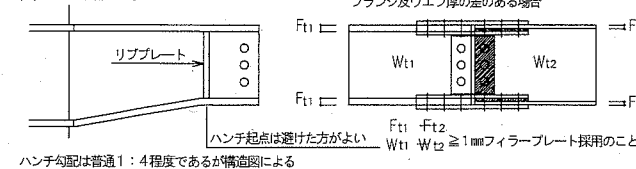
(3) 梁鋼接合継手リスト (SCSS-H97による)



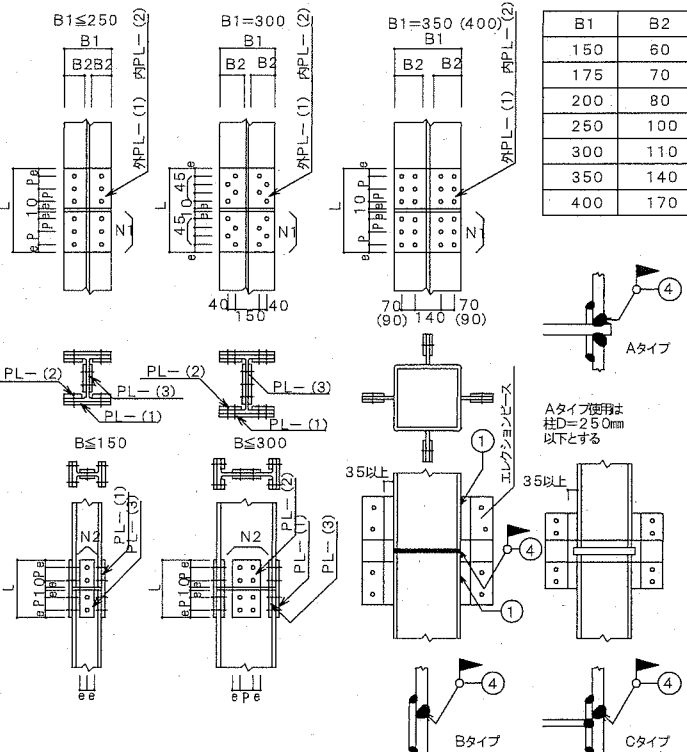
符号	部材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)

断面表に依る

(4) ハンチ部の継手



(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



符号	部材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)
a (支柱)	H-100x100x6x8				PL-9 2-M16

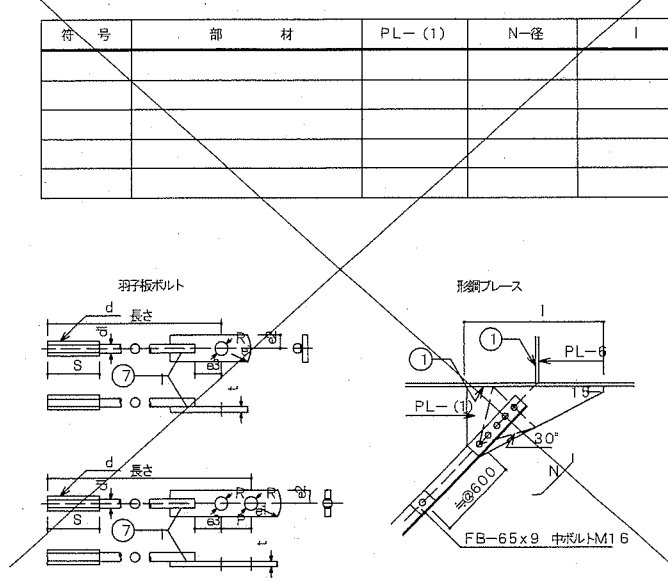
(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする...JISA5540~5542-1982)

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
調整ねじ長さ	S 100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差+0.5mm	R 13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小)	(2) e1	35	40	45	50	50	55
切板製 へりあき (最小)	(1) e2	22	28	28	34	34	38
板厚	t	4.5	6	6	9	9	9
平鋼製 へりあき (最小)	(1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5
板厚	t	4.5	6	6	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき (最小)	e3	47	52	59	66	66	73
溶接長さ (最小)	l	40	50	55	60	75	85

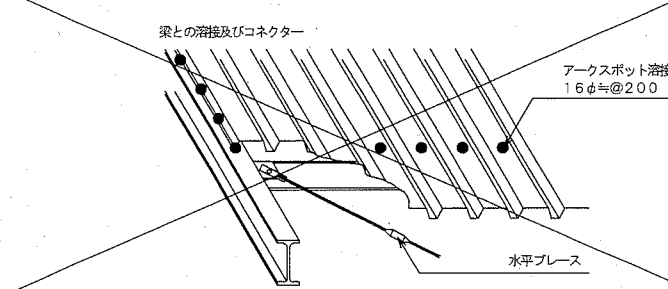
(2) 種類 JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9
 取付ボルト
 ねじの呼び M12 M16 M16 M20 M20 M22 M20
 本数 1 1 1 1 1 1 2

- (注) (1) e1, e2 が確保されれば形状は自由
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

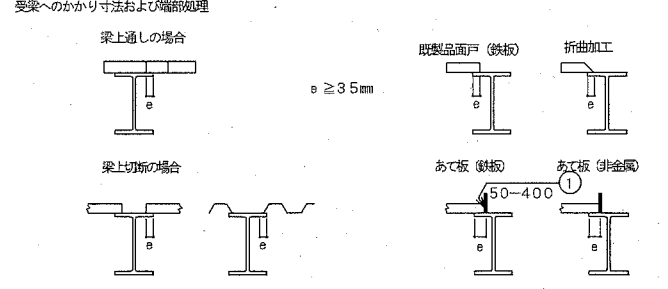
(7) 形鋼ブレース



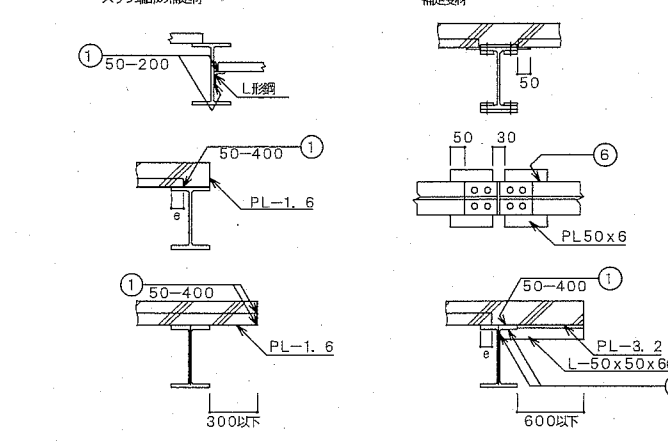
(7) デッキプレート (保水性を考慮する合成床、合成床のときは保水性参照)



受梁へのかり寸法および端部処理

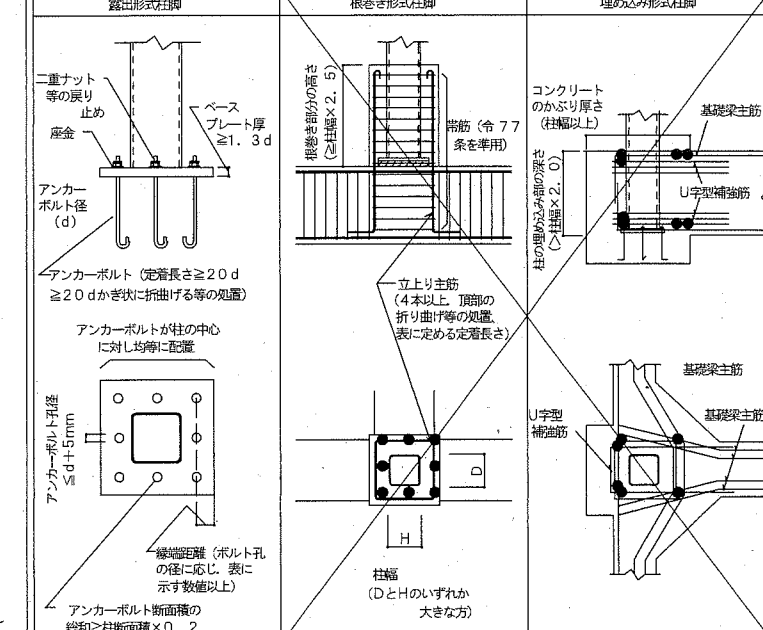


スラブ端部の補足材

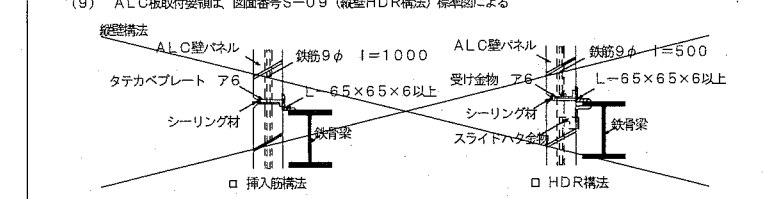


(8) 柱脚

(注) 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



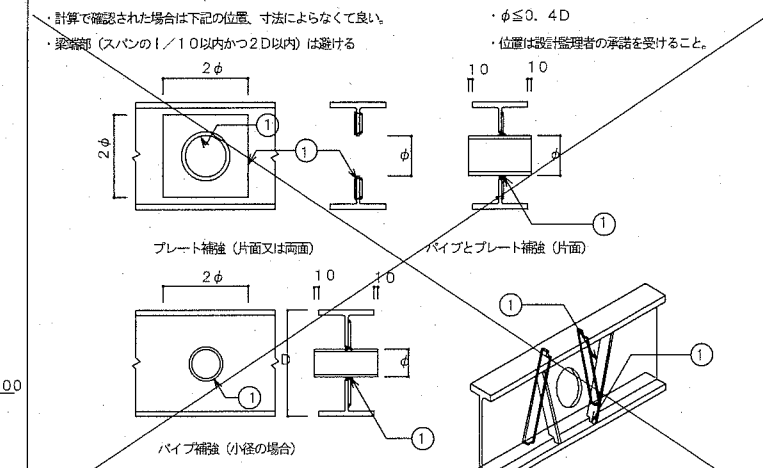
(9) ALC板取付要領は 図面番号S-09 (縦壁HDR構造) 標準図による



(10) 頭付きスタッド (JIS1198)

形状	スタッド材			
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	溶接後の長さ L (mm)
○	φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9
	φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9
○	φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5
	φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5

(11) 梁貫通補強 別図参照



接着系あと施工アンカー特記仕様書

1: 使用材質

- アンカー筋 JIS G3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) に規定されている熱間圧延異形棒鋼SD345の規格品とし、頭部はネジ切加工とし、ナット取付のこと。
- アンカーボルト 鋼材SS400 (JIS規格)。頭部は、ベース・アンカーボルト詳細図による。先端を斜めに切った全ネジボルト
- 樹脂接着剤 カプセル型樹脂接着剤とし、公的機関による引張せん断強度、耐アルカリ性の認定を受けたもので、樹脂タレの少ないものとする。

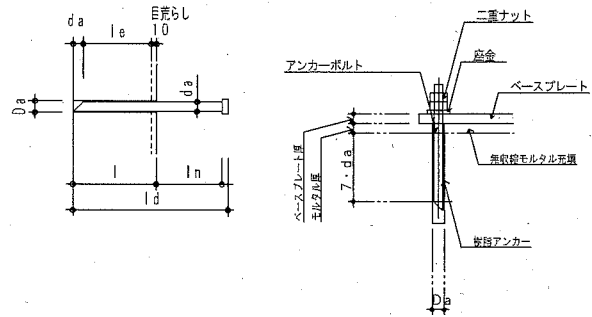
2: アンカー長さ

- Da: 既存コンクリート躯体への穿孔径 (mm)
- da: アンカー軸部の直径 (アンカー筋の呼び名 mm)
- ld: 接合筋及びアンカー筋の全長 (mm)
- l: コンクリートの穿孔深さ (mm)
- ln: 増設壁の有効定着長さ (mm)
- le: アンカーの有効埋め込み長さ (mm)

使用場所	符号	da	Da	le	l	ln	ld
アンカー筋	D10	10	13	70以上	84以上	200	300
アンカー筋	D13	13	16	91以上	114以上	260	387
アンカー筋	D19	19	25	133以上	162以上	380	474
アンカーボルト	M10	10	12	70以上	90以上		
アンカーボルト	M12	12	14	84以上	106以上		
アンカーボルト	M16	16	20	112以上	138以上		
アンカーボルト	M20	20	25	140以上	170以上		

1: アンカー筋の長さ

2: アンカーボルトの長さ



無収縮モルタル標準図

・グラウト材料及び施工一般事項

(1) 材料

モルタルは早強形特殊セメント系無収縮モルタルとし、調合はプレミックスタイプを使用し、品質は下記の項目を満足するものとする。なお、監督員の承認を得ること。

項目	コンシステンシーの範囲	圧縮強度	乾燥収縮 (x 10 ⁻⁴)
支柱接合部、柱脚	J14ロート 8 ± 2秒	300 kg f / cm ² 以上 (30 N / mm ²)	0

(2) 型枠

モルタル圧入部の型枠は注入圧力に耐え得るグラウト用とし、周囲に急結性又は速乾性コーキング材を施し、モルタル漏れのないようにする。

(3) 使用材料の保管

使用するグラウト材は、夏の直射日光の当たる場所や雨が当たる場所には放置せずに保管する。

(4) 注入

- モルタル注入工事はメーカーの責任施工とし、事前に詳細な施工要領書を監督員に提出し承諾を得ること。
- モルタルの注入前に既存コンクリート表面及びコンクリート打継部の清掃及び水湿しを十分に行う。注入に先立ち試し練りを行い、適切な練り上がり温度及び所定のコンシステンシーが得られる事を確認してから注入を開始する。
- 施工時に水温の管理を十分に行い、水温10℃以上の水を用いてグラウト材を練り上げ、練り上がり時の温度が10~35℃の範囲のものを注入する。なお、グラウト材の練混ぜ温度が規定温度以上になる場合は、水を添加する等の措置を講じた冷水を用いる。
- グラウト材の攪拌には、アルミ羽の攪拌機を用いないこと。
- 圧入は適切な圧力で行い、打継ぎのないように行う。グラウト孔をスパン中央上部下端に、空気抜きを上部スパン両端に設け、グラウト孔にホースを接続して連続圧送を行い、グラウトモルタルが空気抜きに出てくることを確認した段階で注入を中断し、各空気抜きパイプの封入を確認した後、再び加圧し作業を終了する。密封後の圧力は、圧力計を用い注入孔で0.5~1.0 kg f / cm²程度を確認すること。

(5) 試験確認等

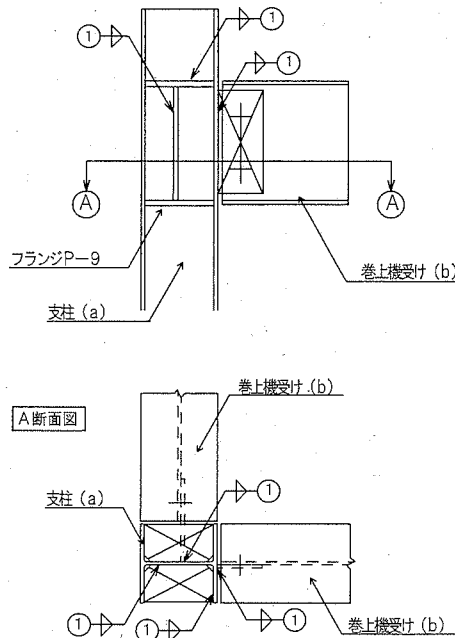
- コンシステンシー試験 試験は日本道路公団「無収縮モルタル基準」に示されている試験方法による。試験はロート法とし、ロートはJ14ロートとする。試験は午前・午後の打設前及び監督員が指示した時に行う。

(7) ボルト穴施工及びモルタル圧入要領

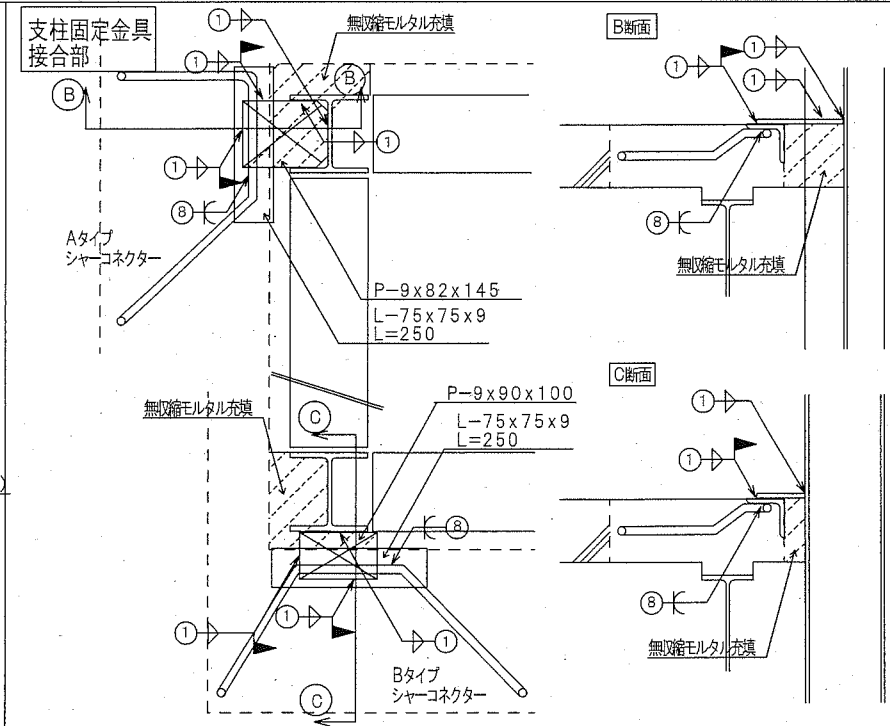
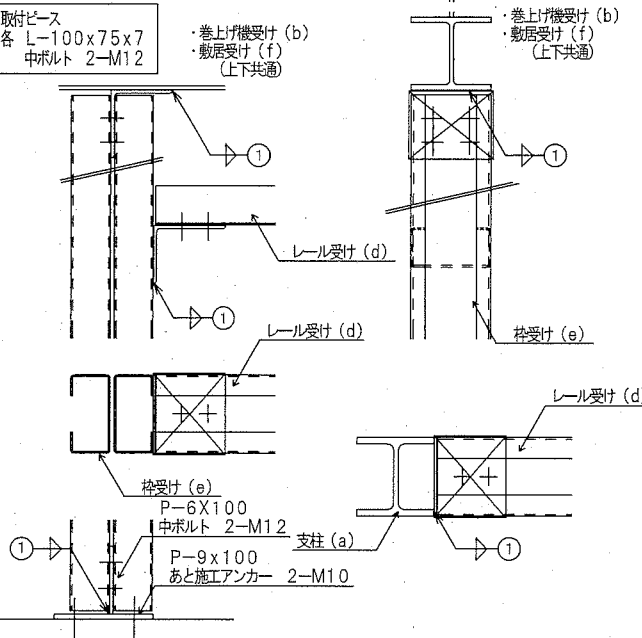
- モルタル圧入及び空気抜きは、ボルト及びベースプレート周りにモルタル充填が確実に出来る位置に設けること。また、モルタル充填が確認出来るようにする事。
- 型枠及びシールは、モルタル充填に対して、十分な強度・気密性を持つようにする事。
- ボルト穴径は、モルタル充填が確実に出来るものとして決定する事。

溶接標準図

柱(支柱)巻上機受け 接合部



枠受け・レール受け接合部



基礎・1階伏図

2階伏図

鉄骨梁増設
スラブ設置

既存スラブ撤去

・使用材料、部材サイズ、施工手順等

1. 使用材料
 ・コンクリート $F_c=21$ N/mm² (JIS規格)
 ・無収縮モルタル $F_c=30$ N/mm²
 ・鉄筋 D13:SD295A (JIS規格)
 ・鉄骨 SS400 (JIS規格)

2. 部材サイズ一覧表 (馬場中学校)

- 既存RC柱
 ・A, C通り 1, 2, 3F 600x450
 ・B通り 2, 3F 600x450
 1F 700x450

- 既存RC梁
 ・G1, 2 3, RF 330x800~650
 2F 340x800~650

- ・G3, 4, 5 2, 3, RF 400x700

- ・FG1, 2 1F 400x700

- ・FG3, 4, 5 1F 400x800

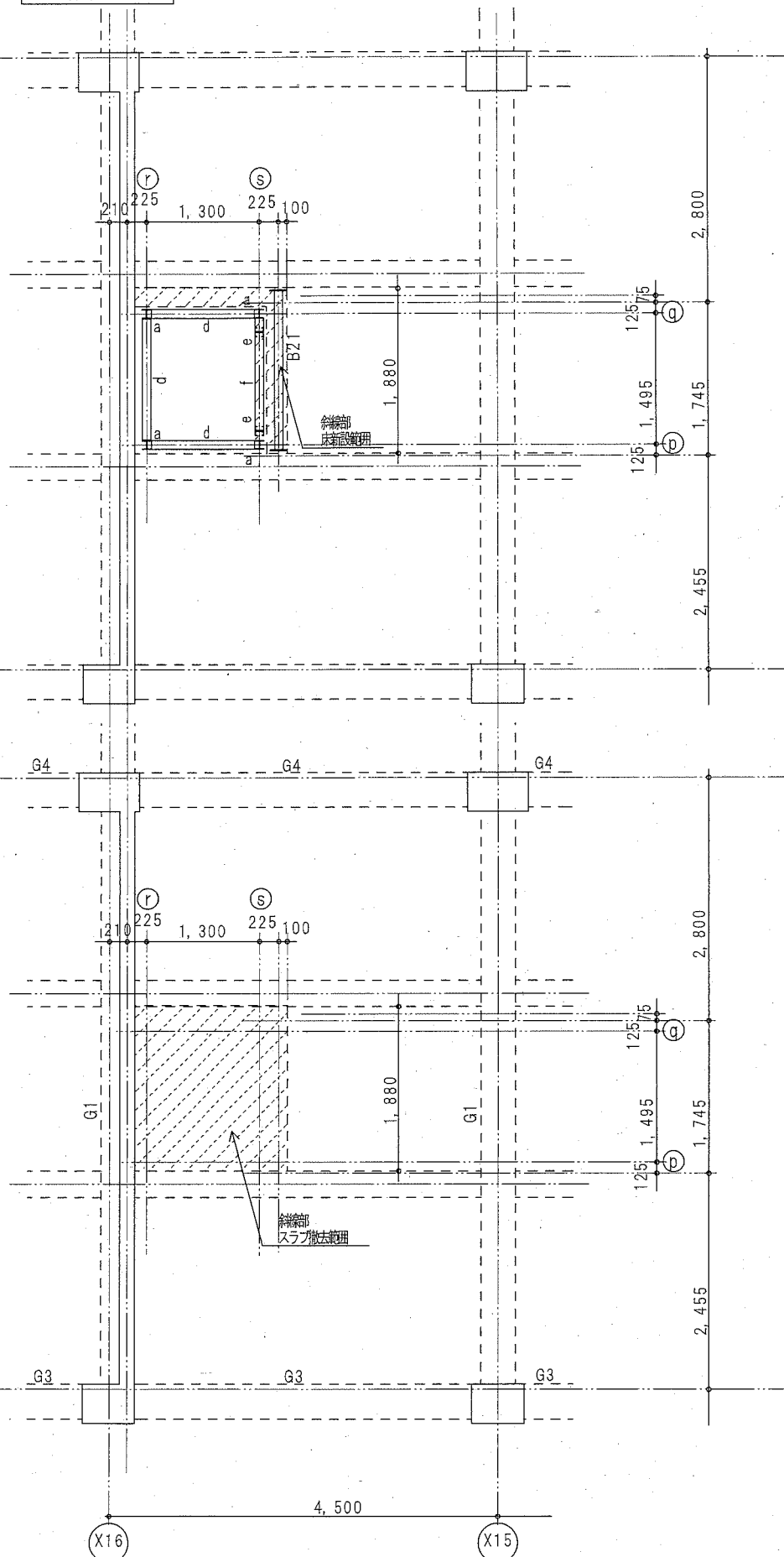
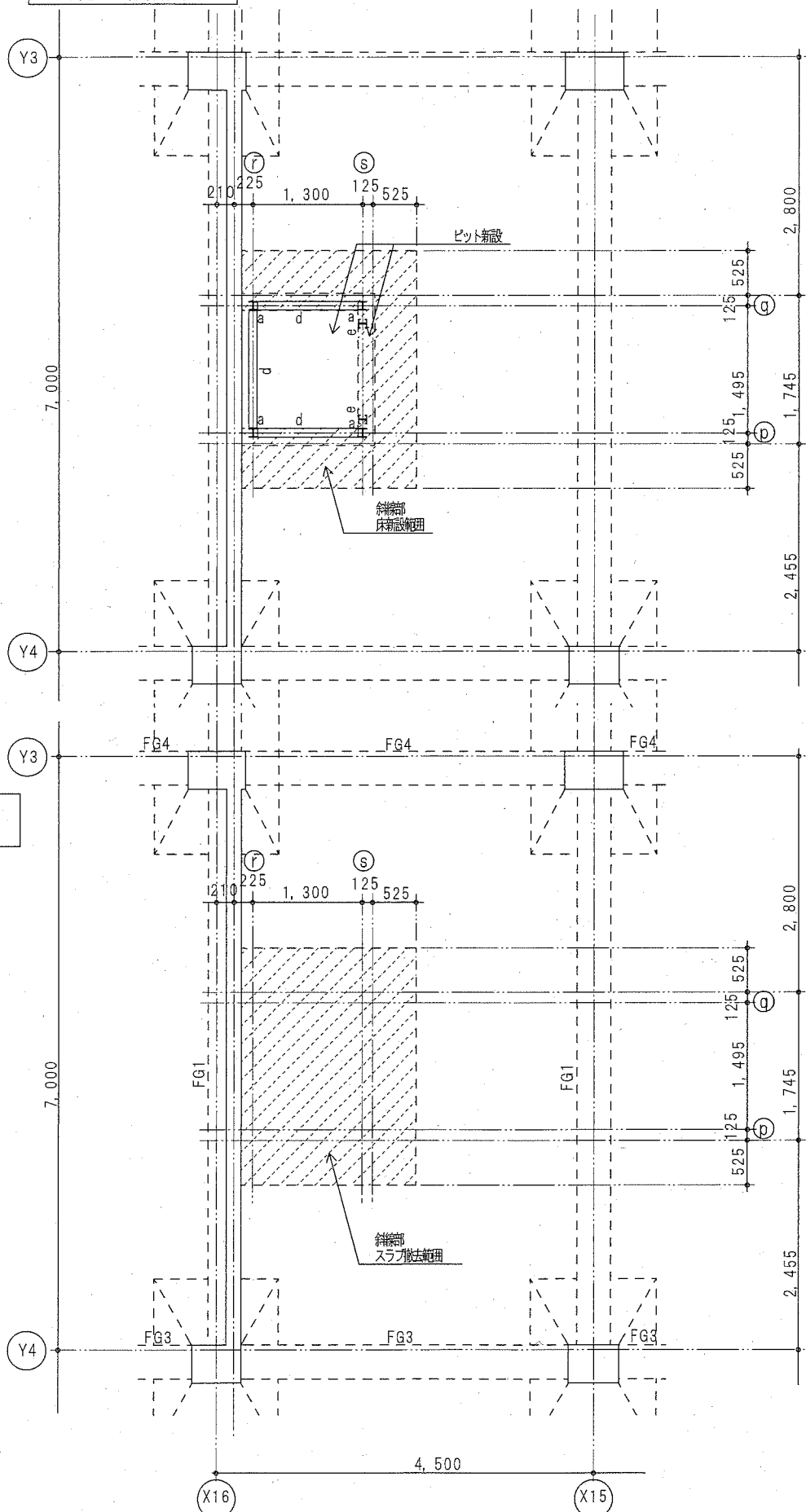
- ・B1 2-RF 300x400

- 増設S梁
 ・B21 2, 3F H-200x100x5.5x8

- ・a (支柱) H-100x100x6x8
 ・b (巻上機受け梁) H-200x100x5.5x8
 ・c (揚重用受け梁) H-100x100x6x8
 ・d (レール受け) C-100x50x20x3.2
 ・e (拵受け) 2C-100x50x20x3.2
 ・f (敷居受け) H-100x100x6x8

・床開口施工手順

- 床開口寸法+200mm (片側) でコンクリートを撤去する。コンクリートを研る前に、カッターで両面に切り込みを入れ、ひび割れが入らないよう、また、鉄筋を切断しないようにすること。
- 鉄筋は新設コンクリート (モルタル) 部への定着部分を残して切断する。
- 増設S梁がある場合は、アンカーボルトを用いて設置する。
- 既存鉄筋及び新設の鉄筋を加工配置する。
- 清掃のち、型枠を設置する。
 型枠枠上端に、無収縮モルタル充填用の投入口を設ける。
- 無収縮モルタルを充填する。
- 鉄骨フレーム設置。
- 鉄骨フレームと床に設置した接合金物を溶接し接合する。
- 床と鉄骨フレームの間を、無収縮モルタルを充填して一体化する。



公共建築課長 主査等 担当者 横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和2年2月

設計名称
 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
 (馬場中学校)
 図面名称
 基礎・1, 2階伏図 (撤去、増設)
 縮尺 1:50
 図面番号

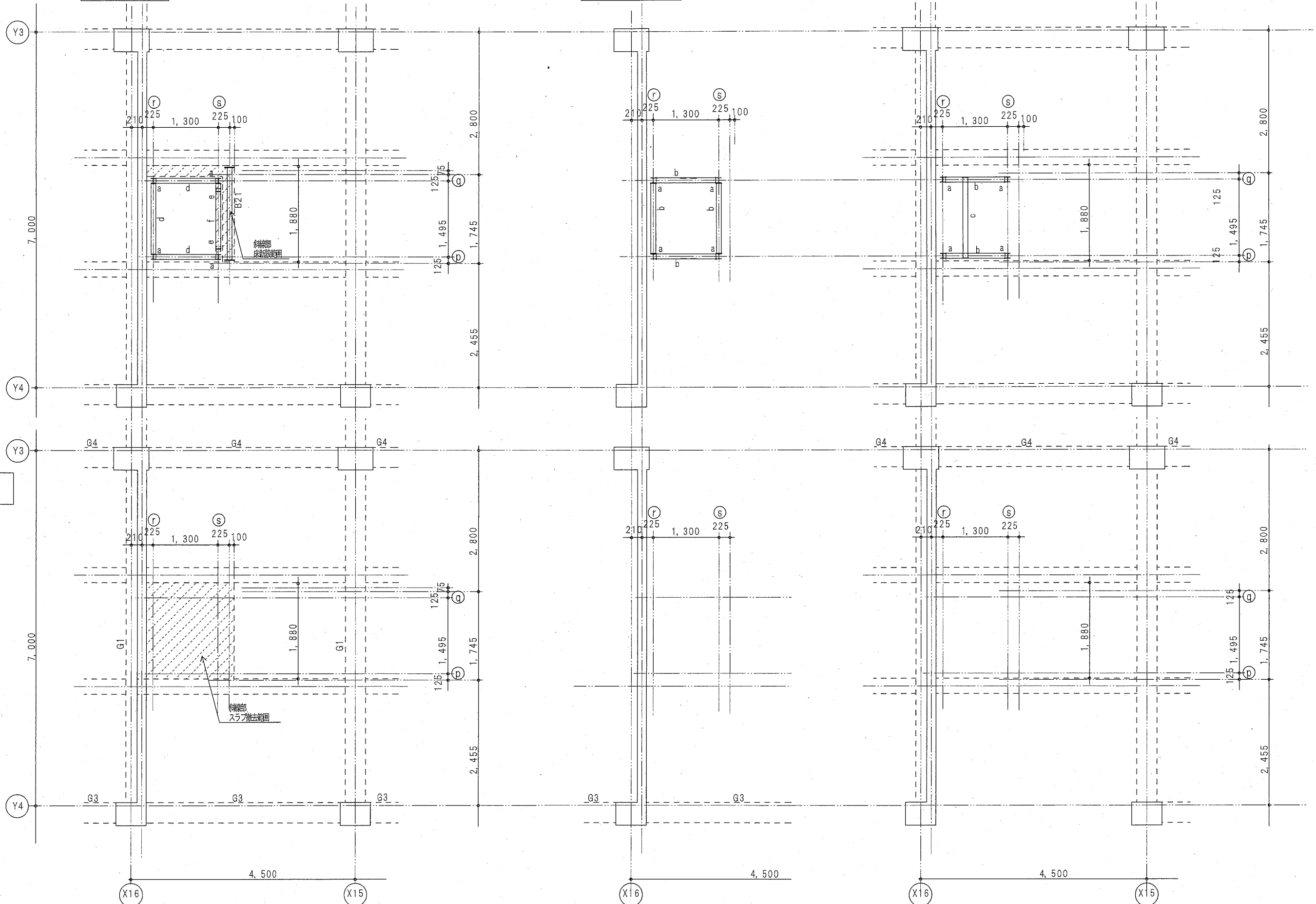
鉄骨梁増設
スラブ設置

既存スラブ撤去

3階伏図

R1階伏図

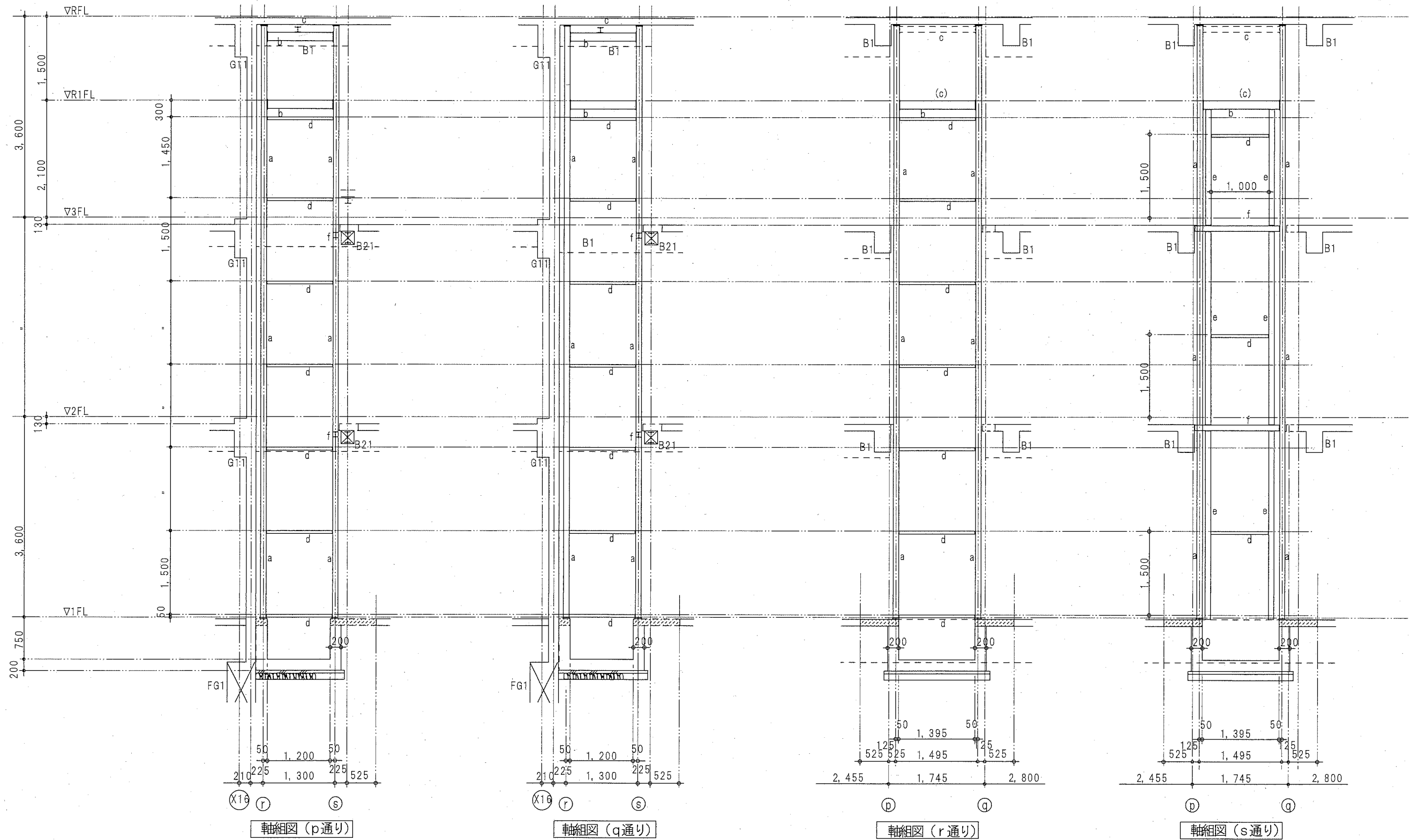
R階伏図



公共建築課長 主査等 担当者 横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和2年2月

設計名称
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(原田中学校)
PROJECT NUMBER

図面名称
3、R1、R階伏図 (撤去、増設)
DRAWING NUMBER
縮尺 1:50
SCALE



軸組図 (p通り)

軸組図 (q通り)

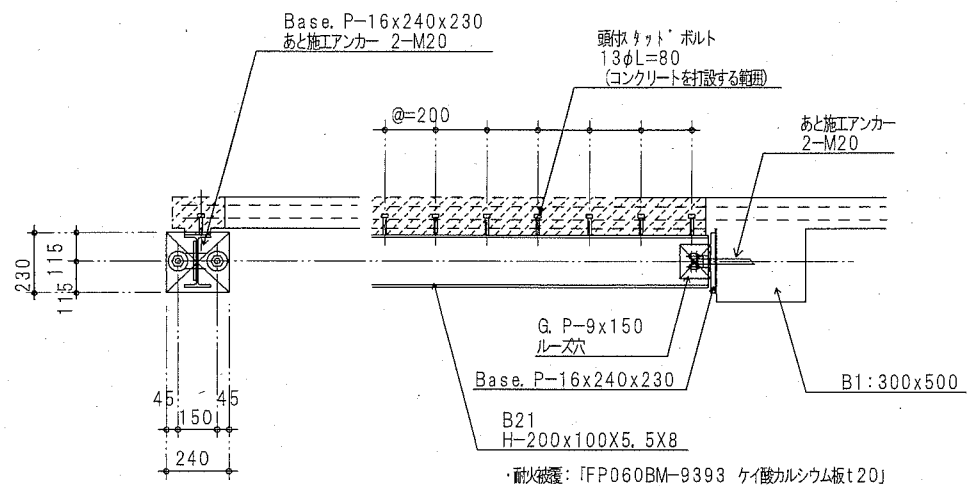
軸組図 (r通り)

軸組図 (s通り)

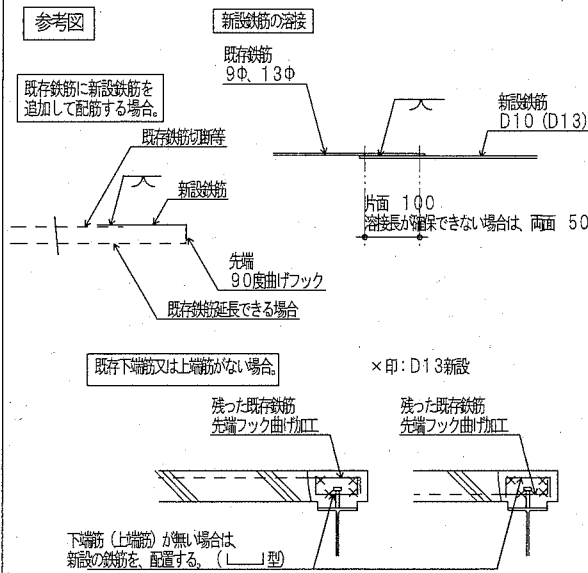
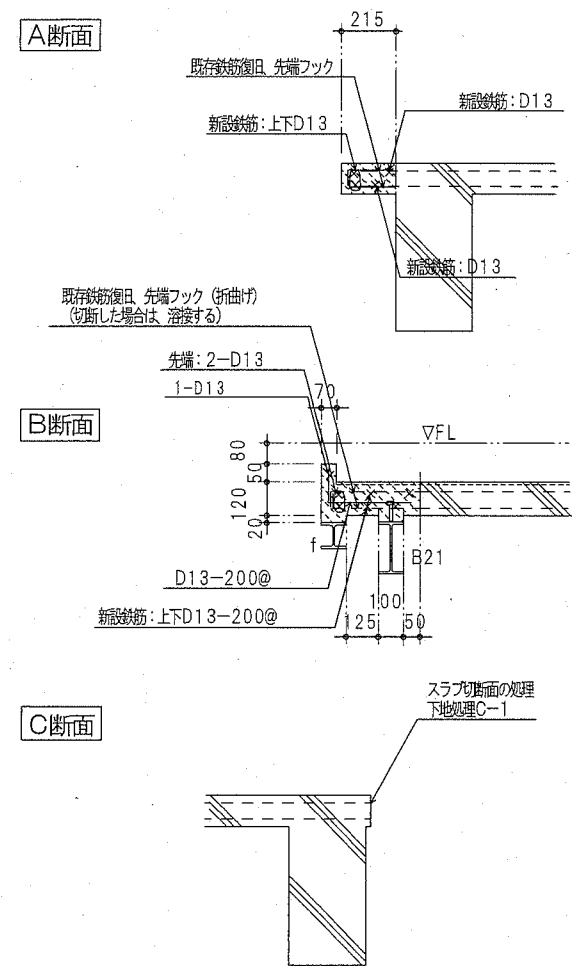
公共建築課長 主査等 担当者 横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和2年2月

設計名称 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
 図面名称 軸組図 (鉄骨部材増設)
 縮尺 1:50

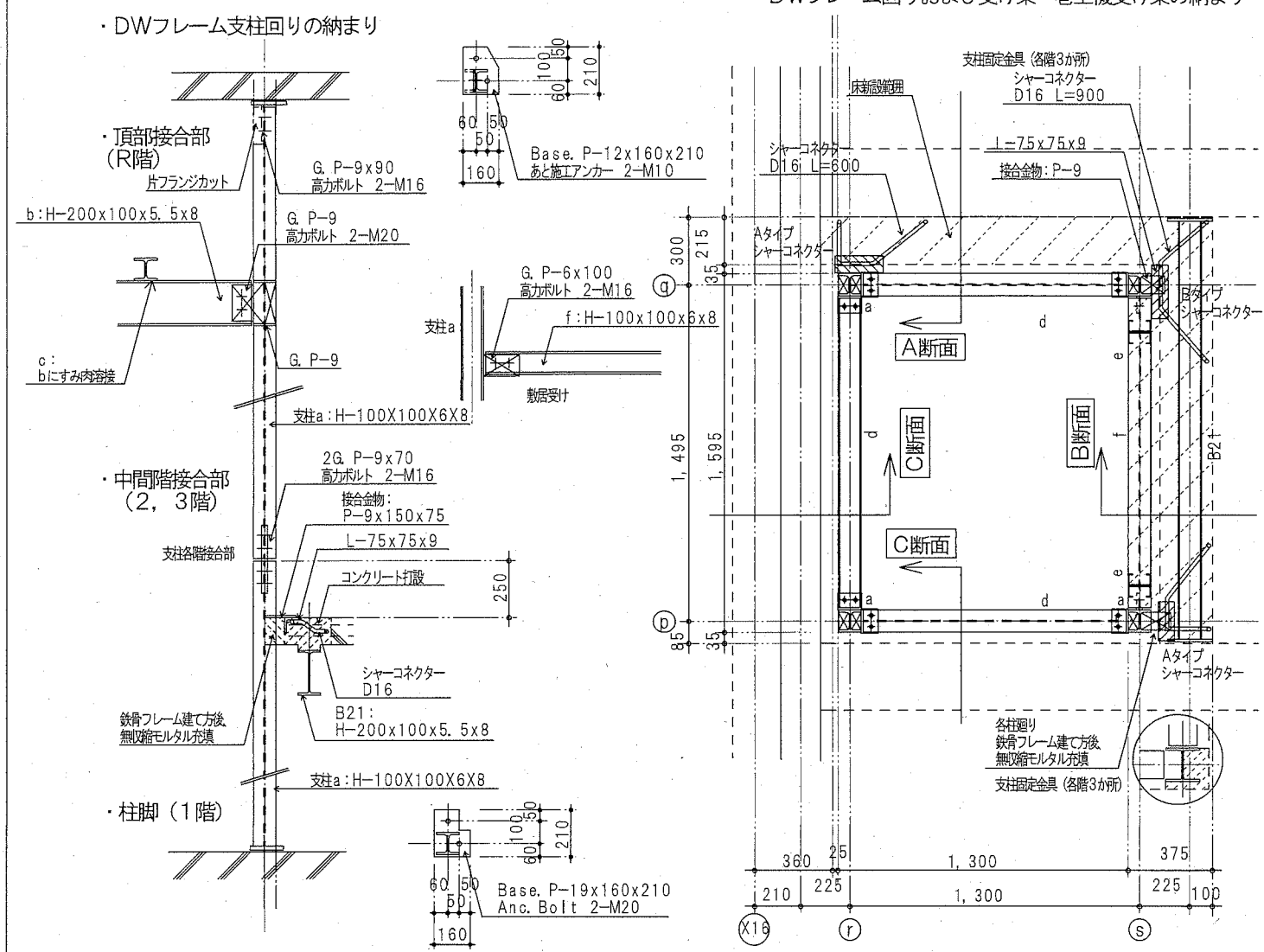
・受け梁 (B21) 詳細図 1/20



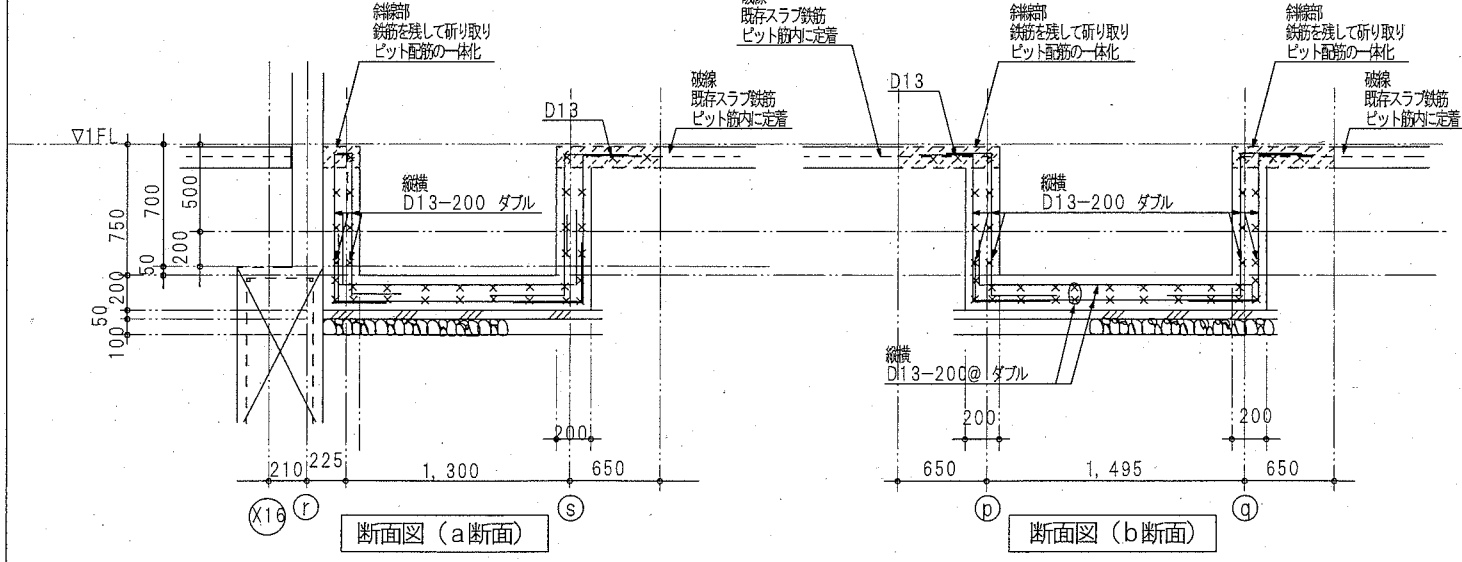
・2, 3階DWシャフト詳細図 (配筋図) 1/20



・DWフレームおよび接合部鉄骨詳細図 1/20



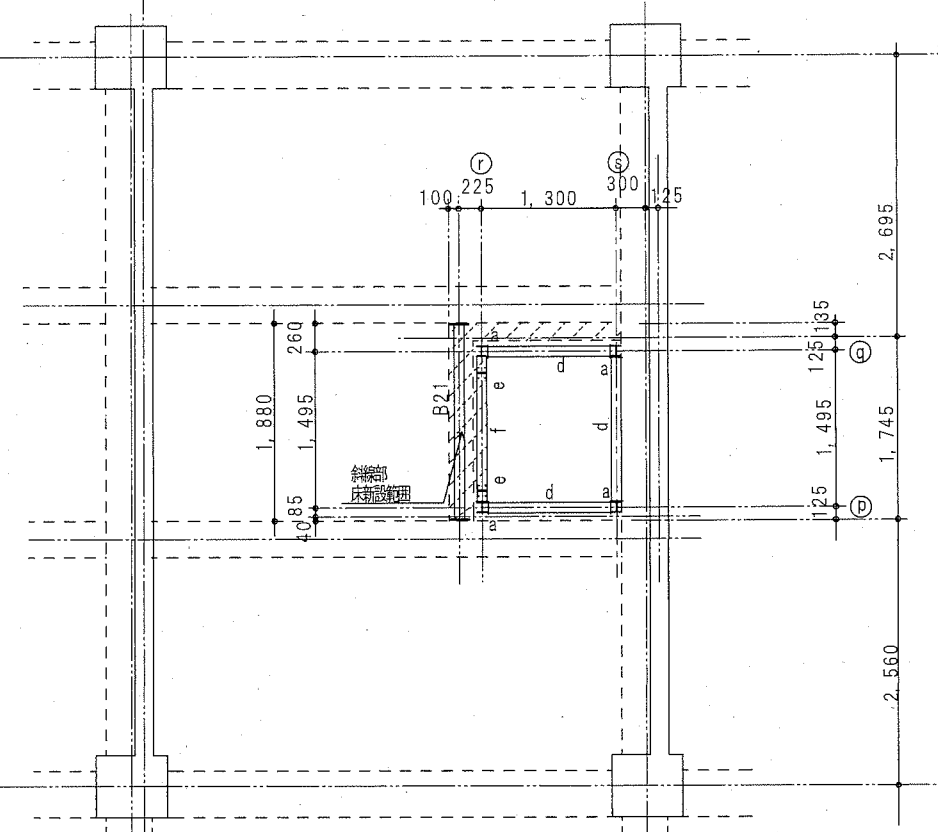
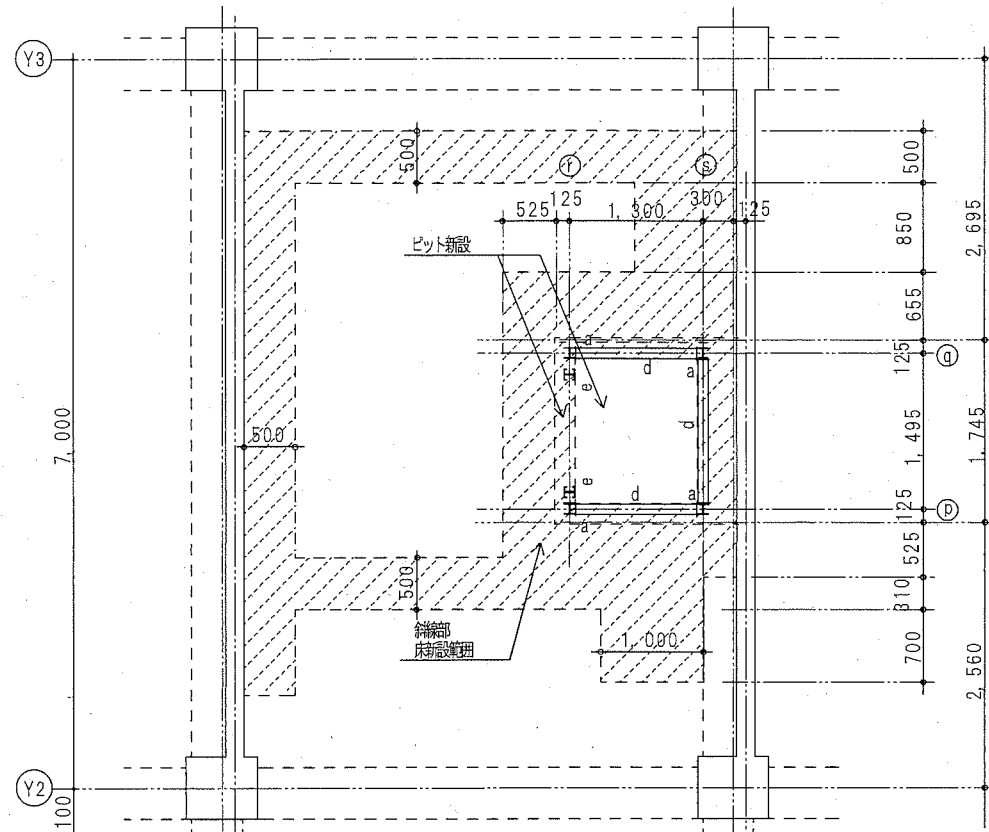
・DWピット増設詳細図 1/30



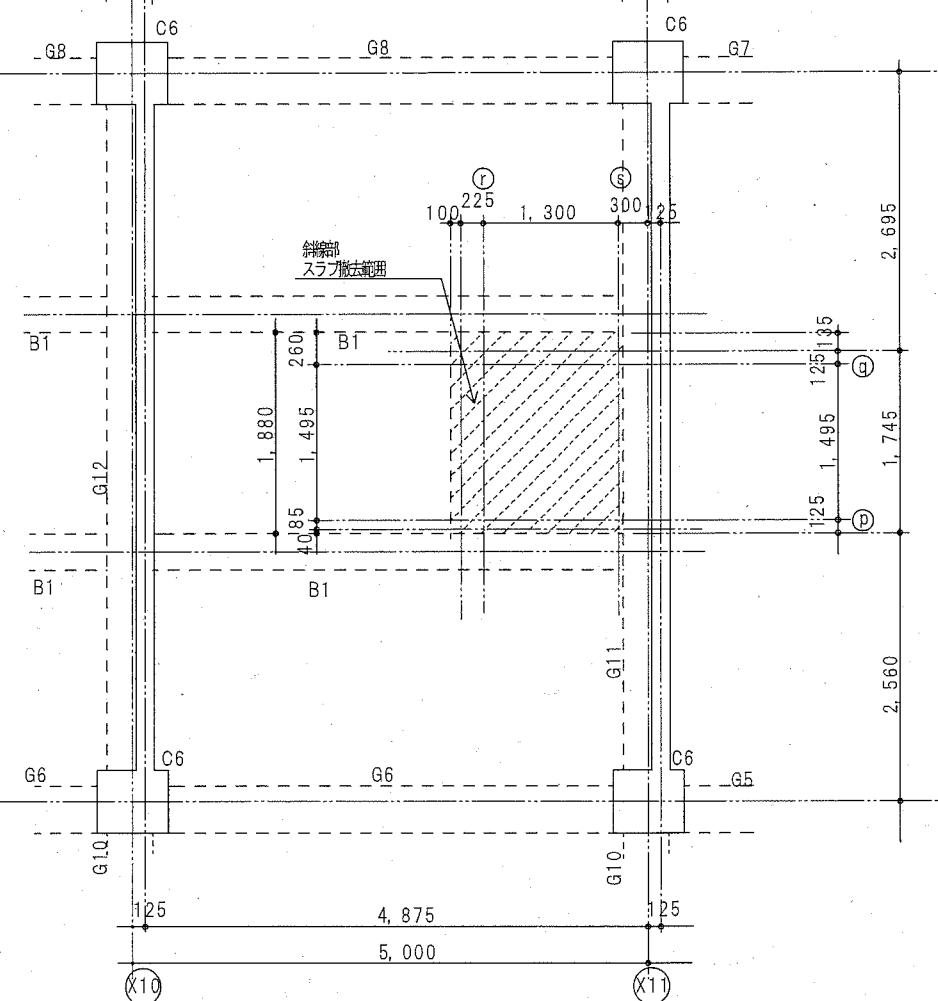
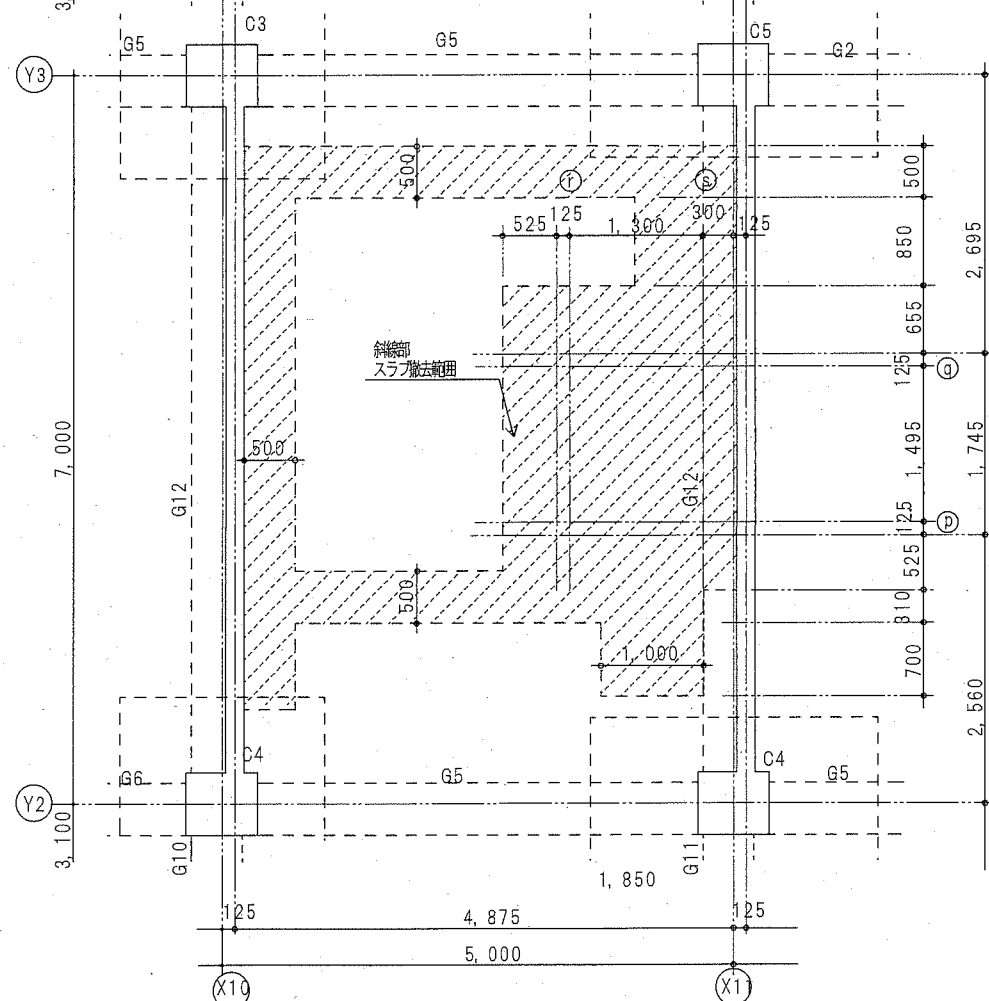
基礎・1階階伏図

2階伏図

鉄骨梁増設
スラブ設置



既存スラブ撤去



・使用材料、部材サイズ、施工手順等

- 使用材料
 - ・コンクリート $F_c=21$ N/mm² (JIS規格)
 - ・無収縮モルタル $F_c=30$ N/mm²
 - ・鉄筋 D13:SD295A (JIS規格)
 - ・鉄骨 SS400 (JIS規格)
- 部材サイズ一覧表 (鶴居中学校)
 - 既存RC梁
 - ・G9 3, RF 400x800
 - 2F 450x850
 - 1F 500x1,300
 - ・G10 3, RF 400x550
 - 2F 450x600
 - 1F 500x1,300
- ・G11, 1.2 3, RF 400x700
- 2F 450x750
- 1F 500x1,300
- ・B1 2-RF 350x500
- 増設S梁
 - ・B21 2, 3F H-200x100x5.5x8
- ・a (支柱) H-100x100x6x8
- ・b (巻上機受け梁) H-200x100x5.5x8
- ・c (揚重用受け梁) H-100x100x6x8
- ・d (レール受け) C-100x50x20x3.2
- ・e (枠受け) 2C-100x50x20x3.2
- ・f (敷居受け) H-100x100x6x8

- ・床開口施工手順
1. 床開口寸法+200mm (片側) でコンクリートを撤去する。コンクリートを破る前に、カッターで両面に切り込みを入れ、ひび割れが入らないよう、また、鉄筋を切断しないようにすること。
 2. 鉄筋は新設コンクリート (モルタル) 部への定着部分を残して切断する。
 3. 増設S梁がある場合は、アンカーボルトを用いて設置する。
 4. 既存鉄筋及び新設の鉄筋を加工配置する。
 5. 清掃のち、型枠を設置する。壁型枠上端に、無収縮モルタル充填用の投入口を設ける。
 6. 無収縮モルタルを充填する。
 7. 鉄骨フレーム設置。
 8. 鉄骨フレームと床に設置した接合金物を溶接し接合する。
 9. 床と鉄骨フレームの間を、無収縮モルタルを充填して一体化する。

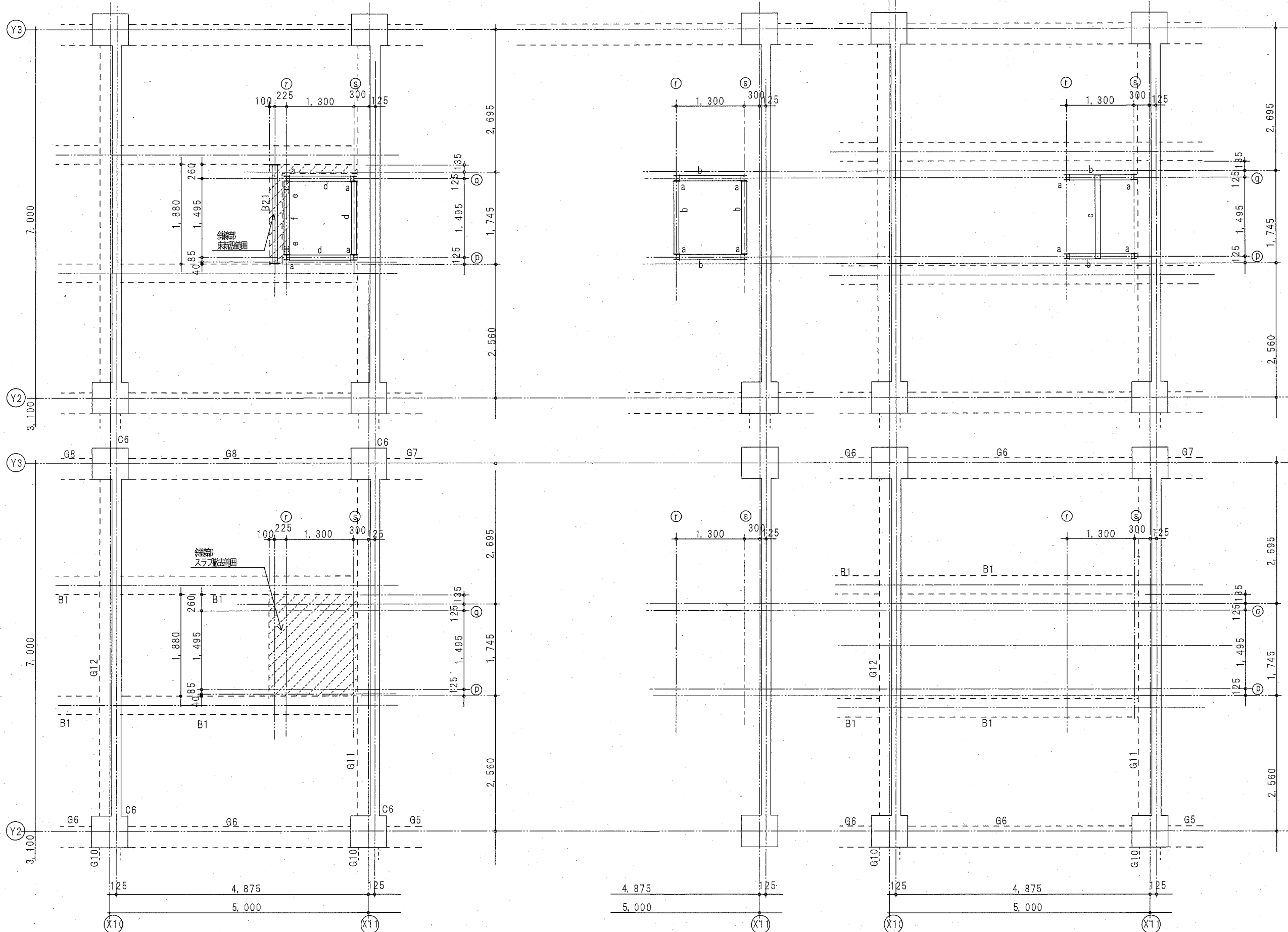
3階伏図

R1階伏図

R階伏図

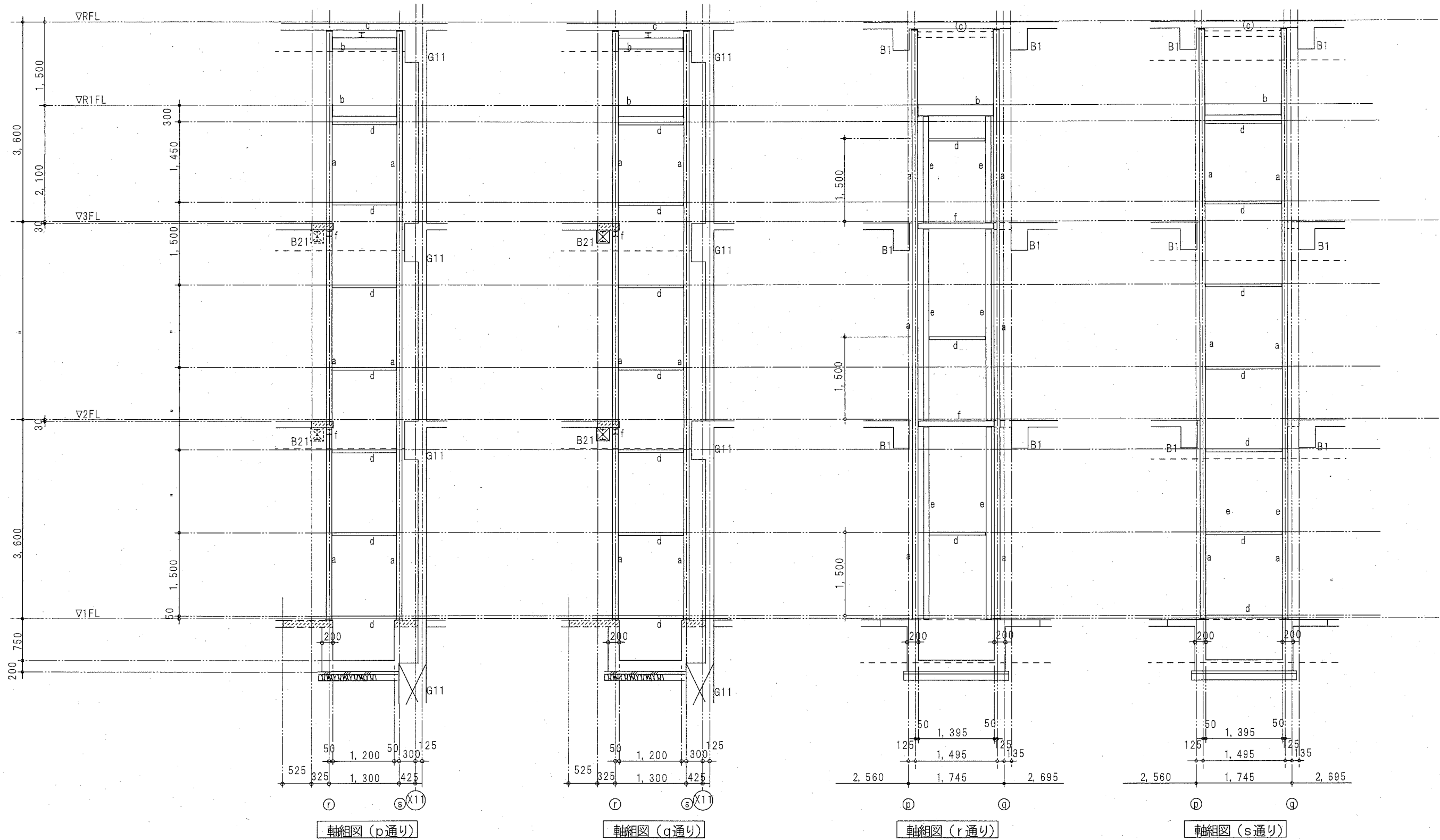
鉄骨梁増設
スラブ設置

既存スラブ撤去

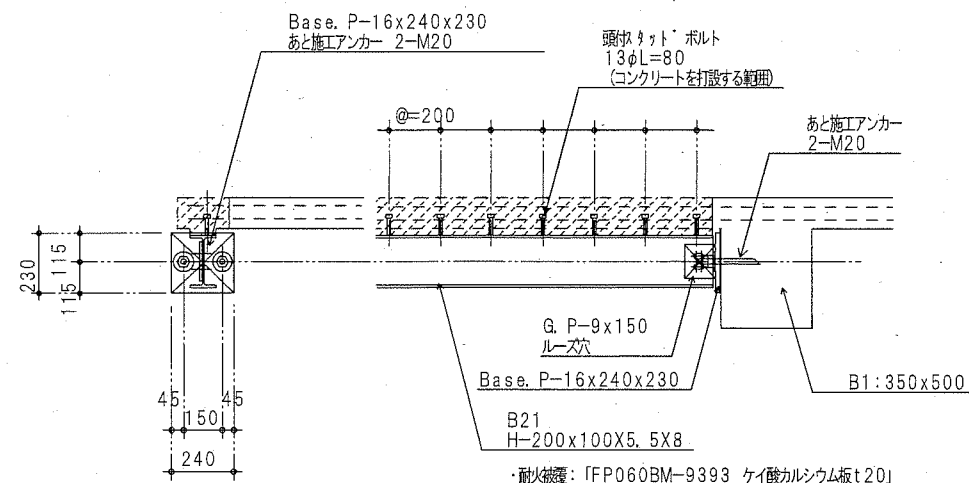


公共建築課長 主査等 担当者 横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和2年2月

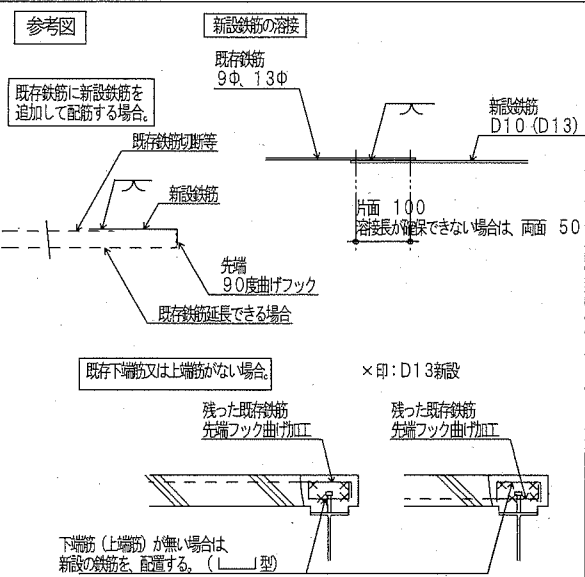
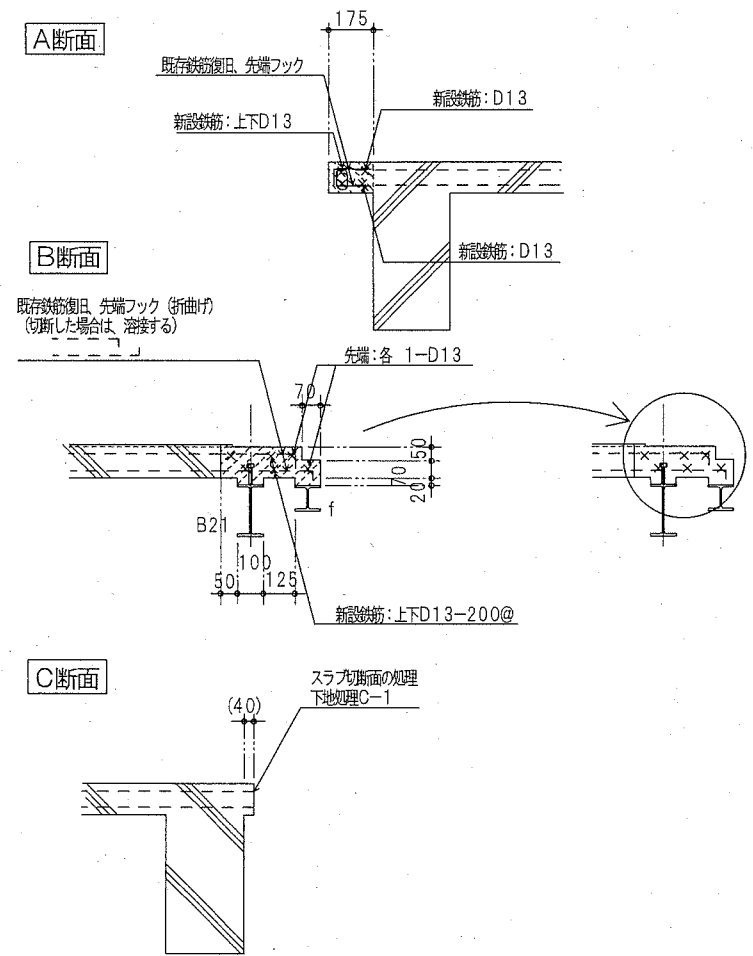
設計名称 市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
 (馬場中学校)
 図面名称 3, R1, R階伏図 (撤去, 増設)
 縮尺 1 : 50



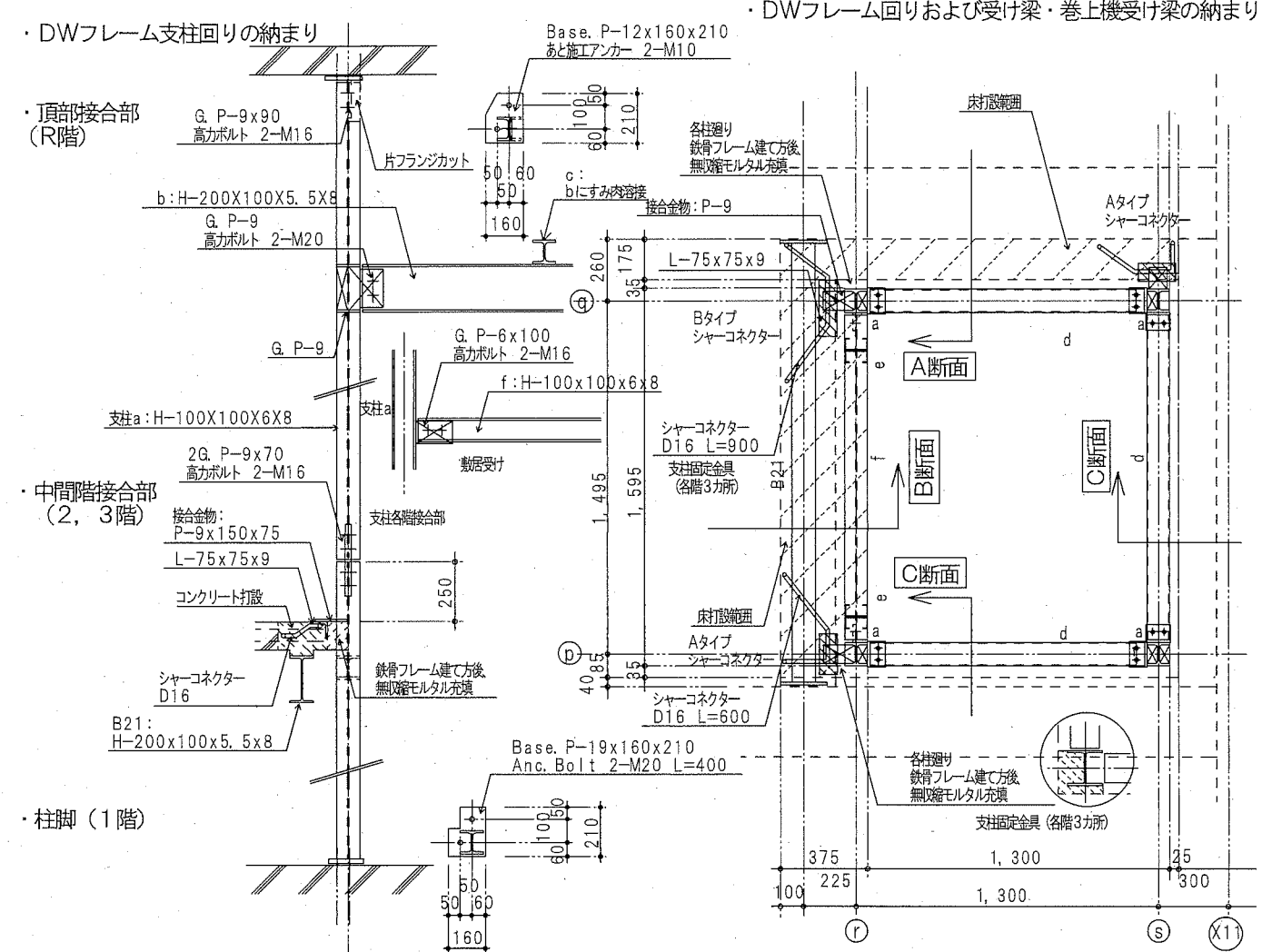
・受け梁 (B21) 詳細図 1/20



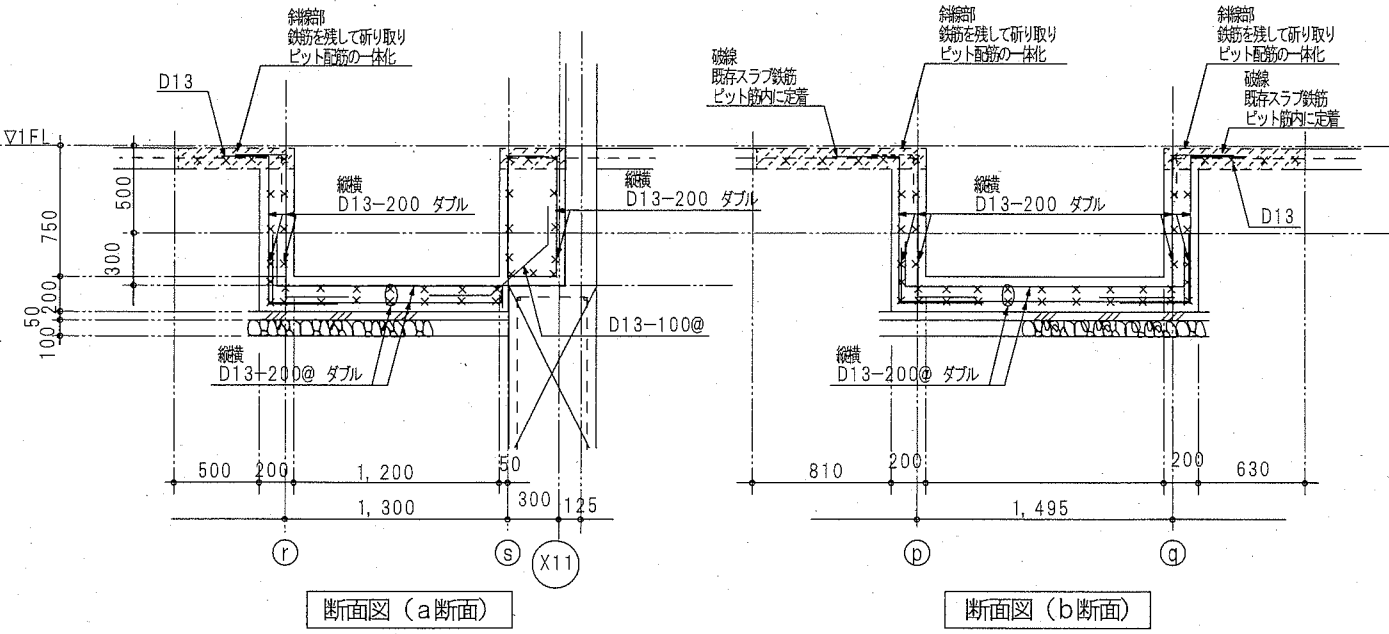
・2, 3階DWシャフト詳細図 (配筋図) 1/20



・DWフレームおよび接合部鉄骨詳細図 1/20



・DWピット増設詳細図 1/30



機器表 (エアコン新設)

機器番号	型式	形状	機器能力		電源容量		APF 2015	付属品	台数	設置場所	備考	
			冷房	暖房	相	電圧						圧縮機
			[kw]	[kw]	(φ)	(V)						[kw]
ACP-1	天井吊形	シングル	5.6	6.3	3-200	1.68	5.5以上	コンクリート製基礎ブロック (ゴムシート敷き)、ワイヤレスリモコン、他標準付属品一式	1	2階 少人数教室	耐塩害仕様	
ACP-2	天井吊形	シングル	5.6	6.3	3-200	1.68	5.5以上	コンクリート製基礎ブロック (ゴムシート敷き)、ワイヤレスリモコン、他標準付属品一式	1	3階 少人数教室	耐塩害仕様	

【特記】 1.機器類の能力は表示された値とする。電動機出力は値以下とする。
 2.電源周波数は50Hzとし、屋外電源タイプとする。
 3.機器能力及び消費電力は、JIS B 8616 に規定された定格条件による。
 4.クリーン購入法適合品とする。
 5.高効率型新冷媒対応機種 (オゾン破壊係数: 0) とする。
 6.屋外機に機器番号・設置場所の表示を行うこと。

機器表 (エアコン撤去)

機器番号	型式	形状	機器能力		電源容量		APF 2015	台数	設置場所	備考	
			冷房	暖房	相	電圧					圧縮機
			[kw]	[kw]	(φ)	(V)					[kw]
ACP-3	天井吊形	マルチエアコン	10.0	11.2	1-200	-	-	1	1階 特別支援教室	-	

【特記】 ACP-3の屋外機能力は33.5kWであり、屋内機は全3台である。本工事では、この中の1台である1階特別支援教室室内機1台の撤去を行う。

換気機器 (換気新設)

機器番号	名称	機器仕様	機器能力		電源容量		ウェザーカーバー	防露網	その他付属品	台数	非常電源	設置場所	備考	
			風量	静圧	相	電圧								容量
			(m3/h)	(Pa)	(φ)	(V)								(w)
FE-1	換気扇	φ250壁取付	900	-	1-100	40	●	●	●	1		1階 荷受室・配膳室		
FE-2	換気扇	φ200壁取付	400	-	1-100	16	●	●	●	1		2階 配膳室		
FE-3	換気扇	φ200壁取付	400	-	1-100	16	●	●	●	1		3階 配膳室		

【特記】 1.機器類の能力・容量は表示された能力以上とし、電動機出力は参考値とする。
 2.電源周波数は50Hzとする。
 3.ウェザーカーバーはステンレス製とする。
 4.スイッチは別途工事とする。

衛生器具表 (撤去)

機器番号	名称	仕様	数量	1階 特別支援教室	2階 生徒会室	3階 資料室	備考
WHE-1	電気給湯器	貯湯量: 20L 1φ200V 2kW	1	1			

衛生器具表 (新設)

名称	TOTO 参考型番	LIXIL 参考型番	付属品	数量	1階 荷受室 配膳室	2階 配膳室	3階 配膳室	備考
洗面器	L210C	L-176UEC	自動水栓 (単水栓)、Pトラップ、壁給水	1	1			
自在水栓	T131SUN13C	LF-16F-13		3	1	1	1	

凡例

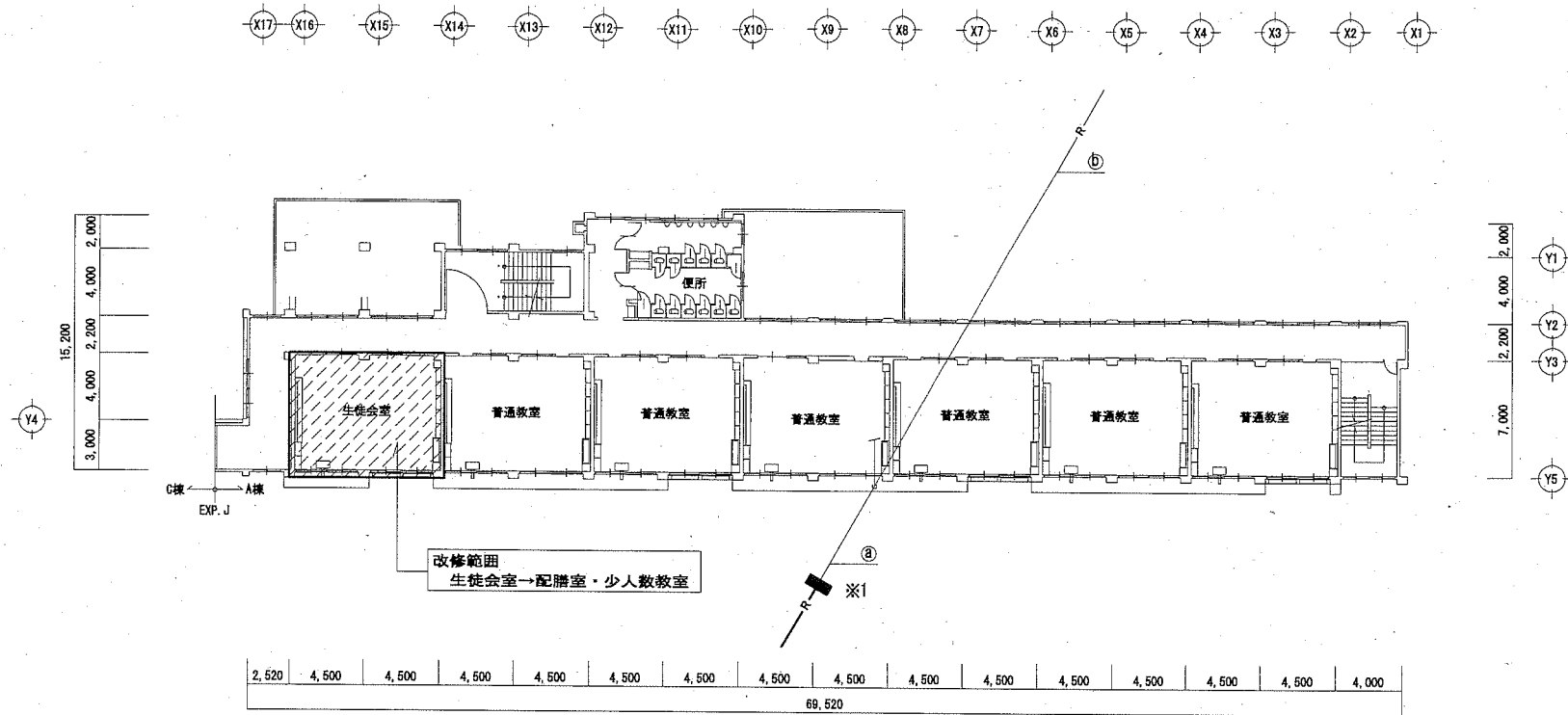
記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装
— R —	冷媒管	屋内露出	冷媒用被覆銅管	保温化粧ケース
		屋外露出		SUSラッキング
— D —	ドレン管	屋内露出	保温付VP	保温化粧ケース
		屋外露出	カラーVP	-
— — —	給水管	屋内隠蔽	SUS-C	-
		埋設	HVP	管廻り100mm山砂
— — —	排水管	屋内隠蔽	VP	グラスウール+ALGC (2, 口, 巾)
		埋設	VU	管底より管上部100mmまで山砂 (管底は突き固め)
— — — — —	通気管	屋内隠蔽	VP	-

【改修前】

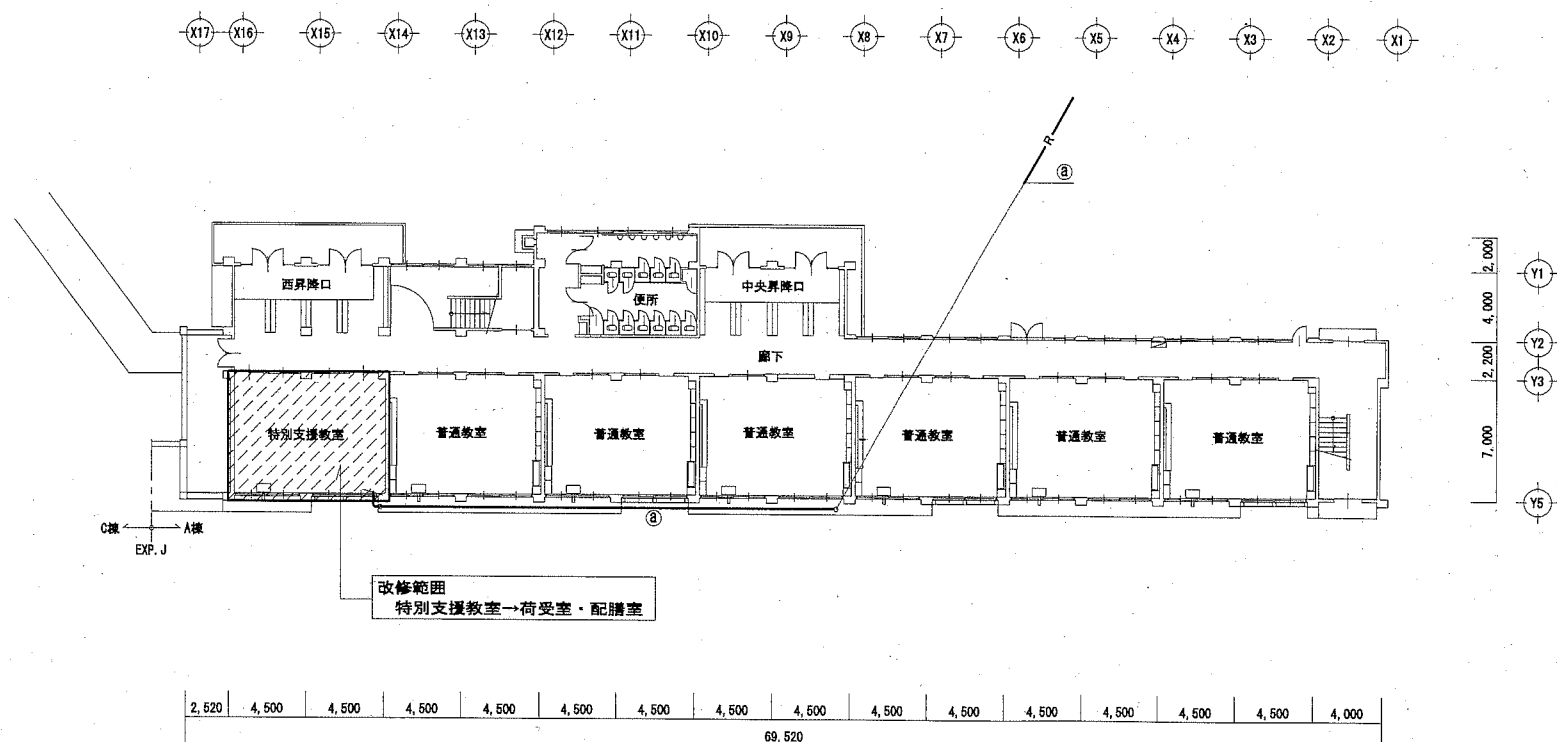
- ※1部は既存配管切断を示す。
- ※2部は既存配管閉塞を示す。
- 細線部は既設再使用を示す。
- 太線部は撤去又は取外しを示す。

【改修後】

- ※3部は既存配管接続を示す。
- ※4部は分岐接続を示す。
- 細線部は既設再使用を示す。
- 太線部は新設を示す。



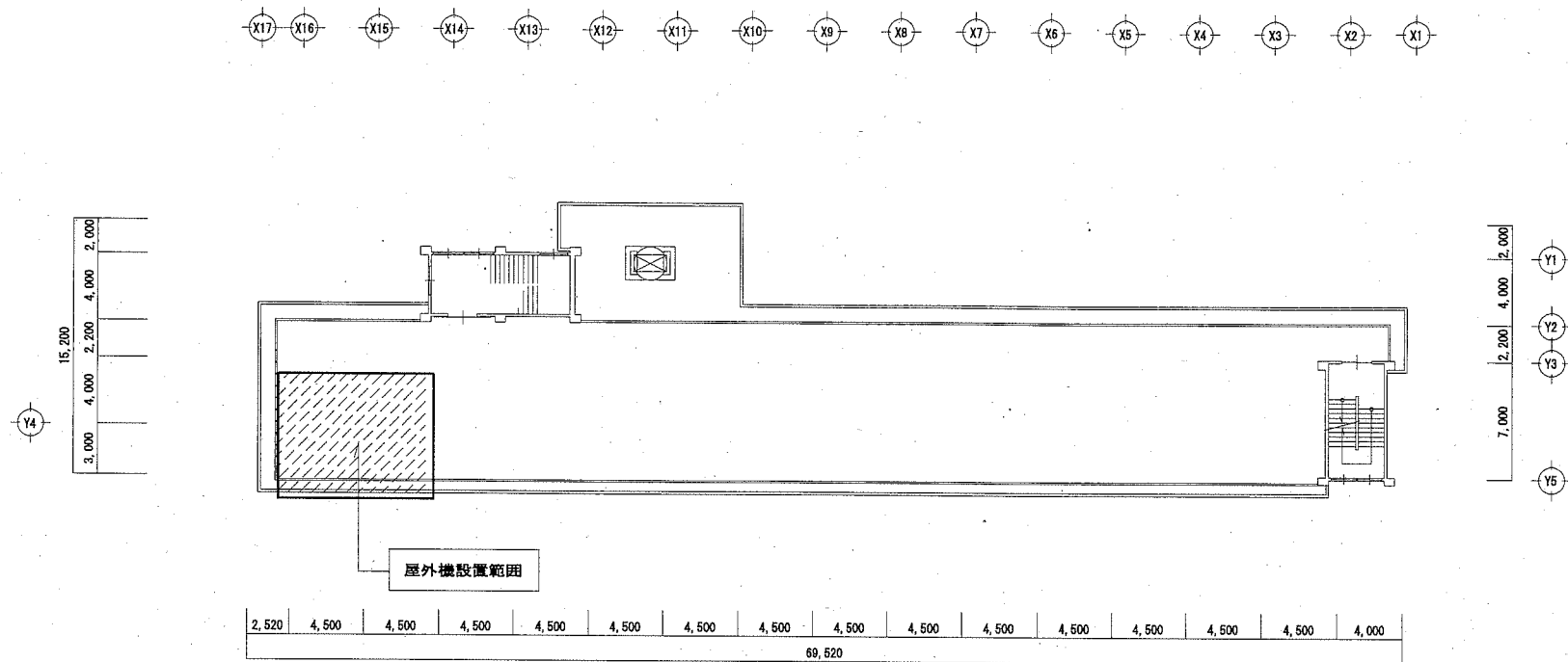
2階平面図



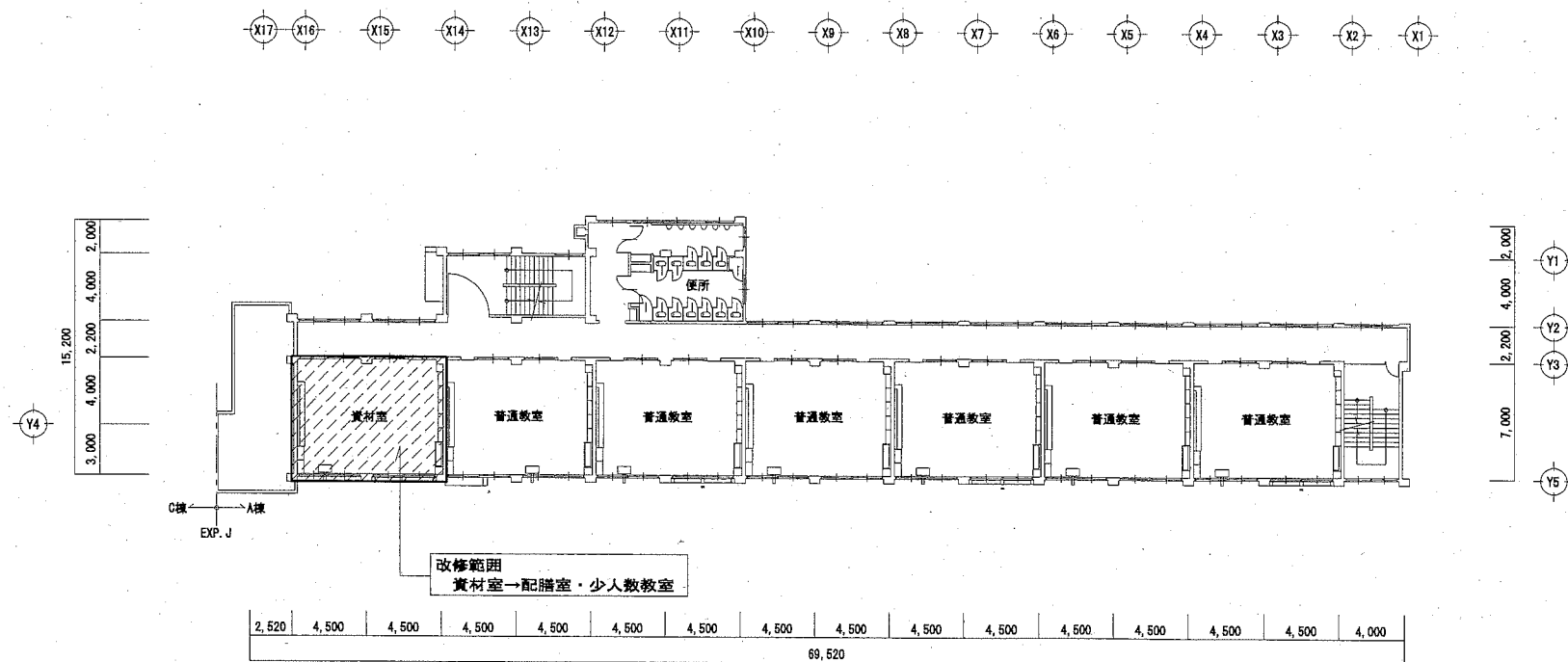
1階平面図

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.4φ	12.7φ
Ⓑ	9.5φ	15.9φ

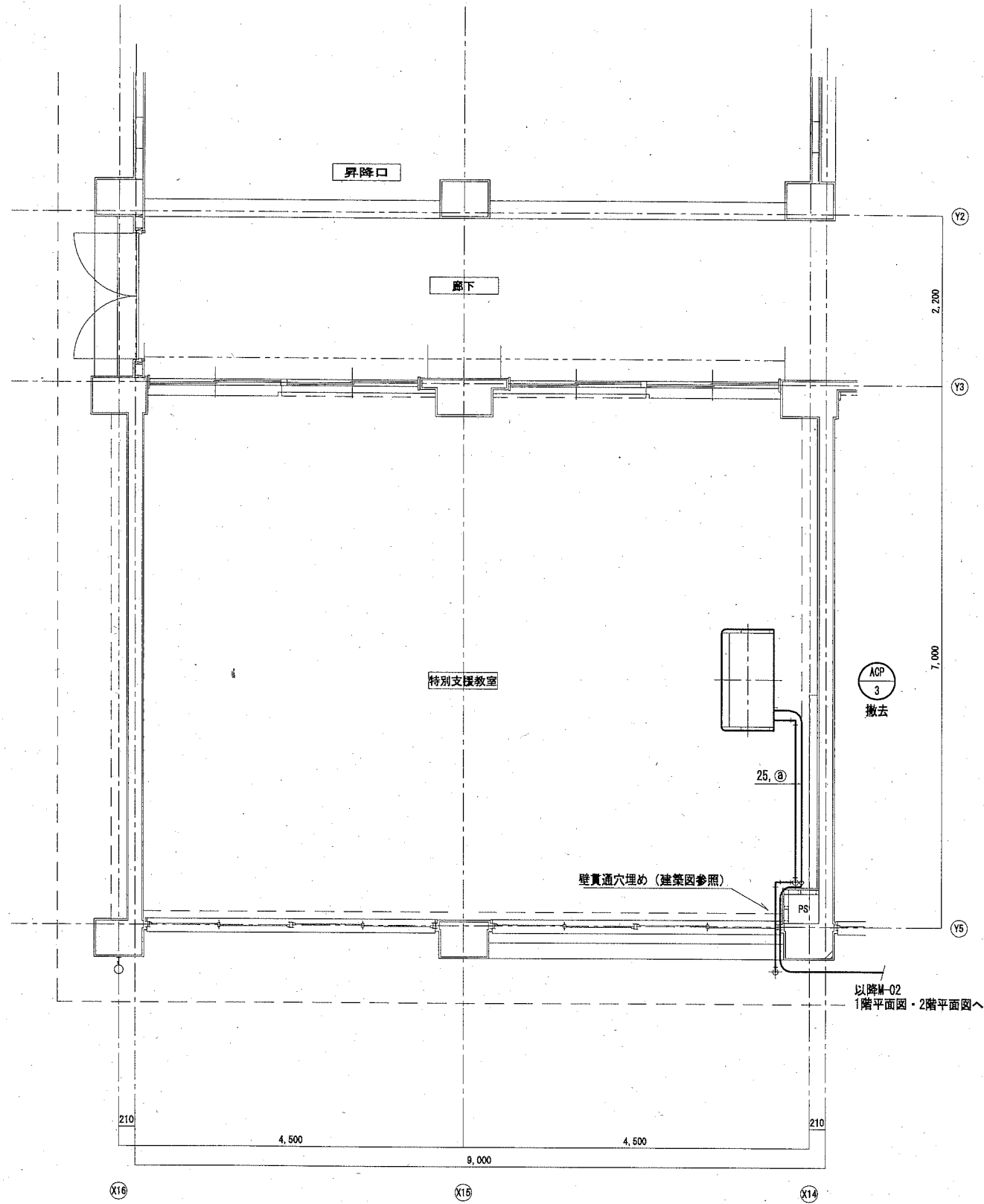


R階平面図



3階平面図

改修前

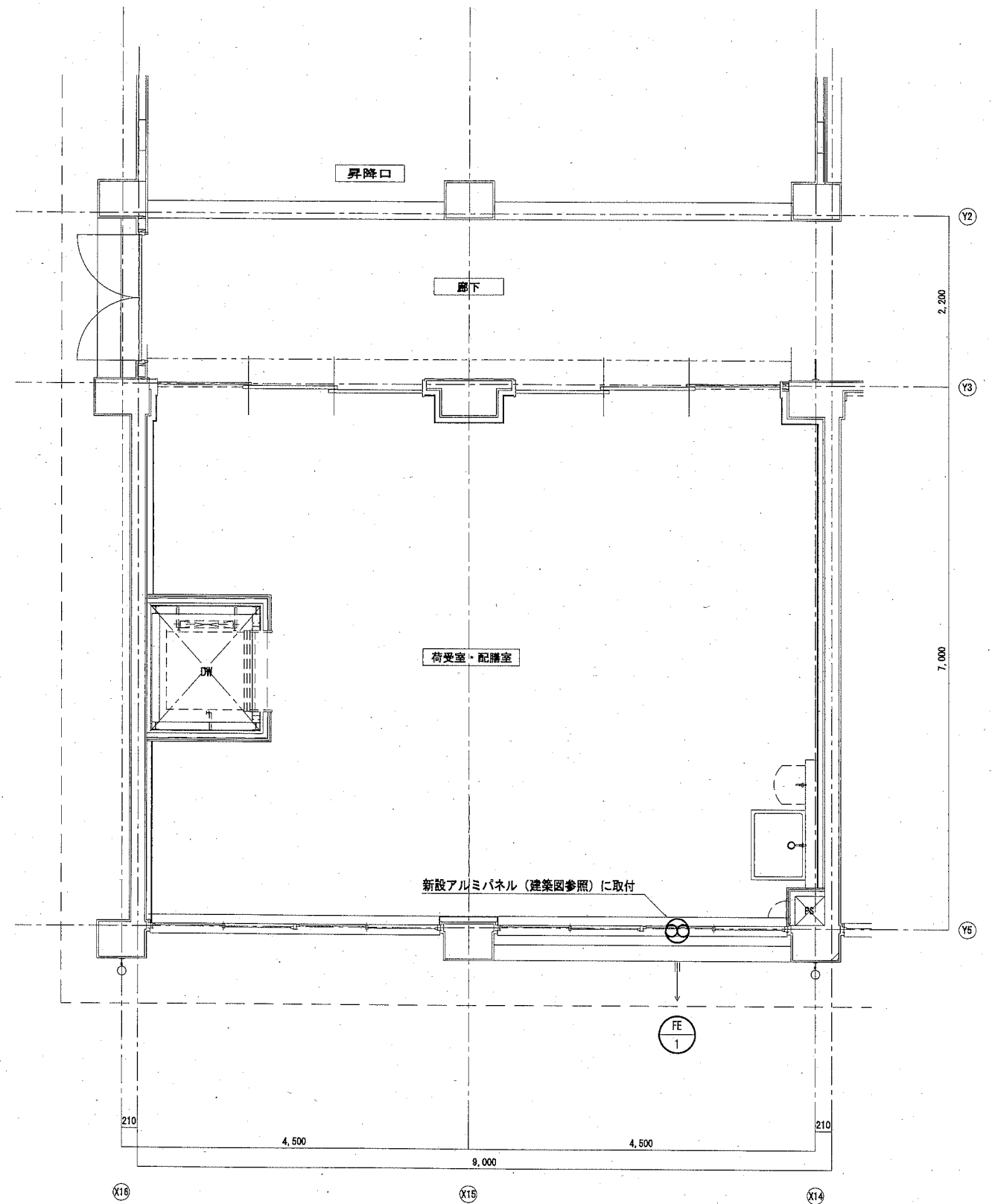


冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
㊸	6.4φ	12.7φ

空調設備 1階荷受室・配膳室平面図 (改修前)

改修後



空調設備 1階荷受室・配膳室平面図 (改修後)

公共建築課長 主査等 担当者



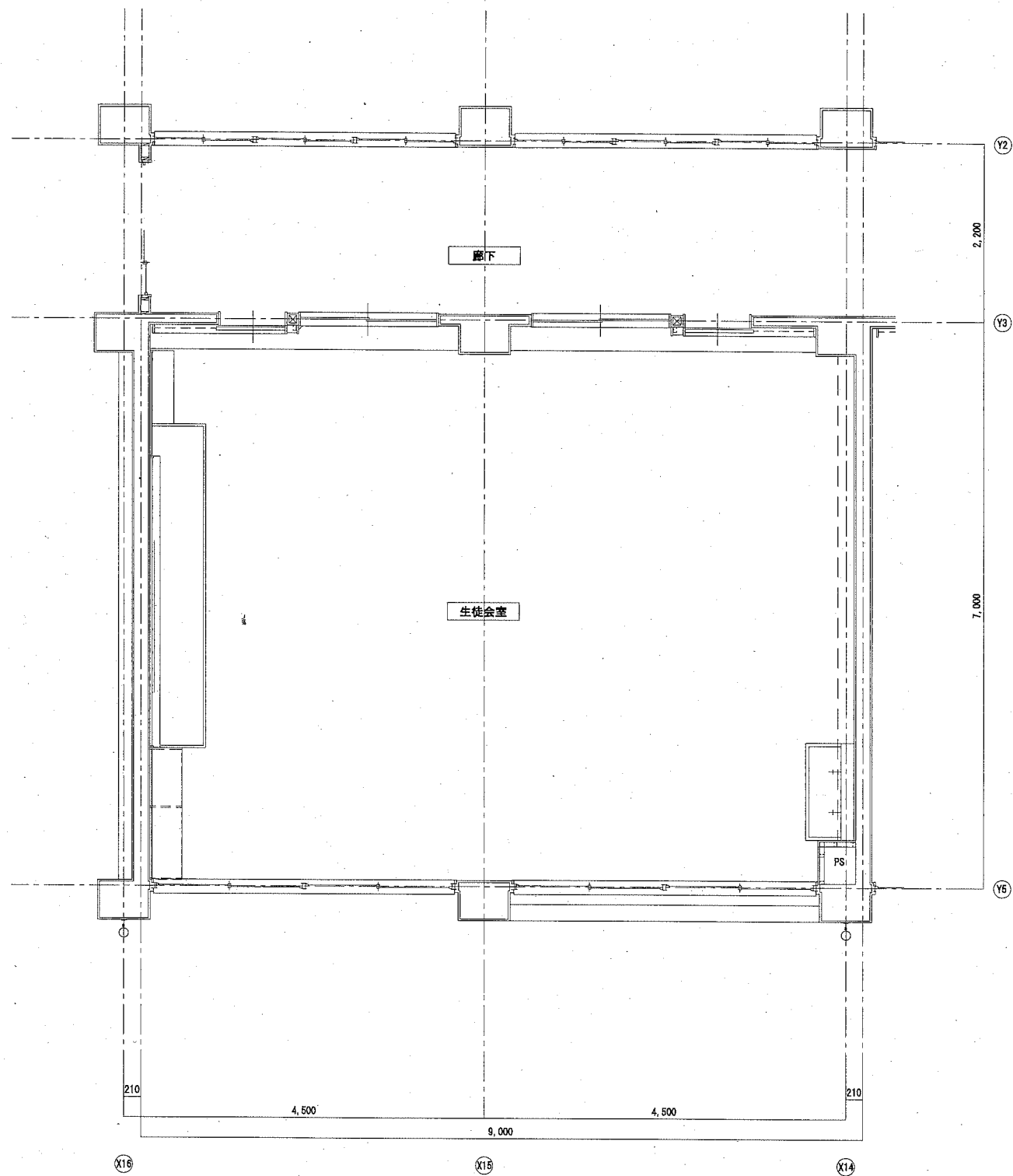
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 2 月

設計名称
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(馬場中学校)

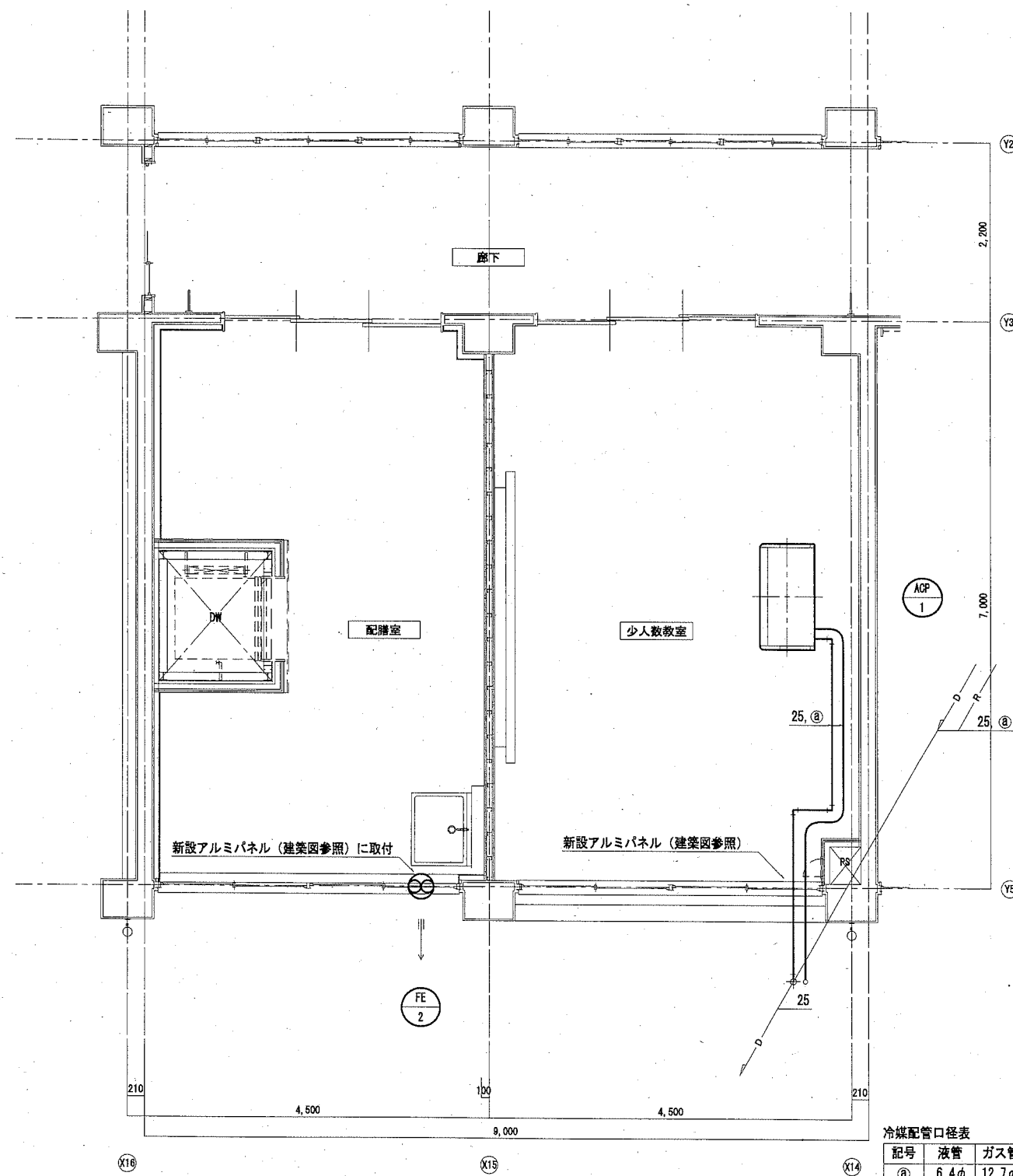
図面名称
空調設備 1階荷受室・配膳室平面図
縮尺 1:50

改修前



空調設備2階配膳室平面図（改修前）

改修後



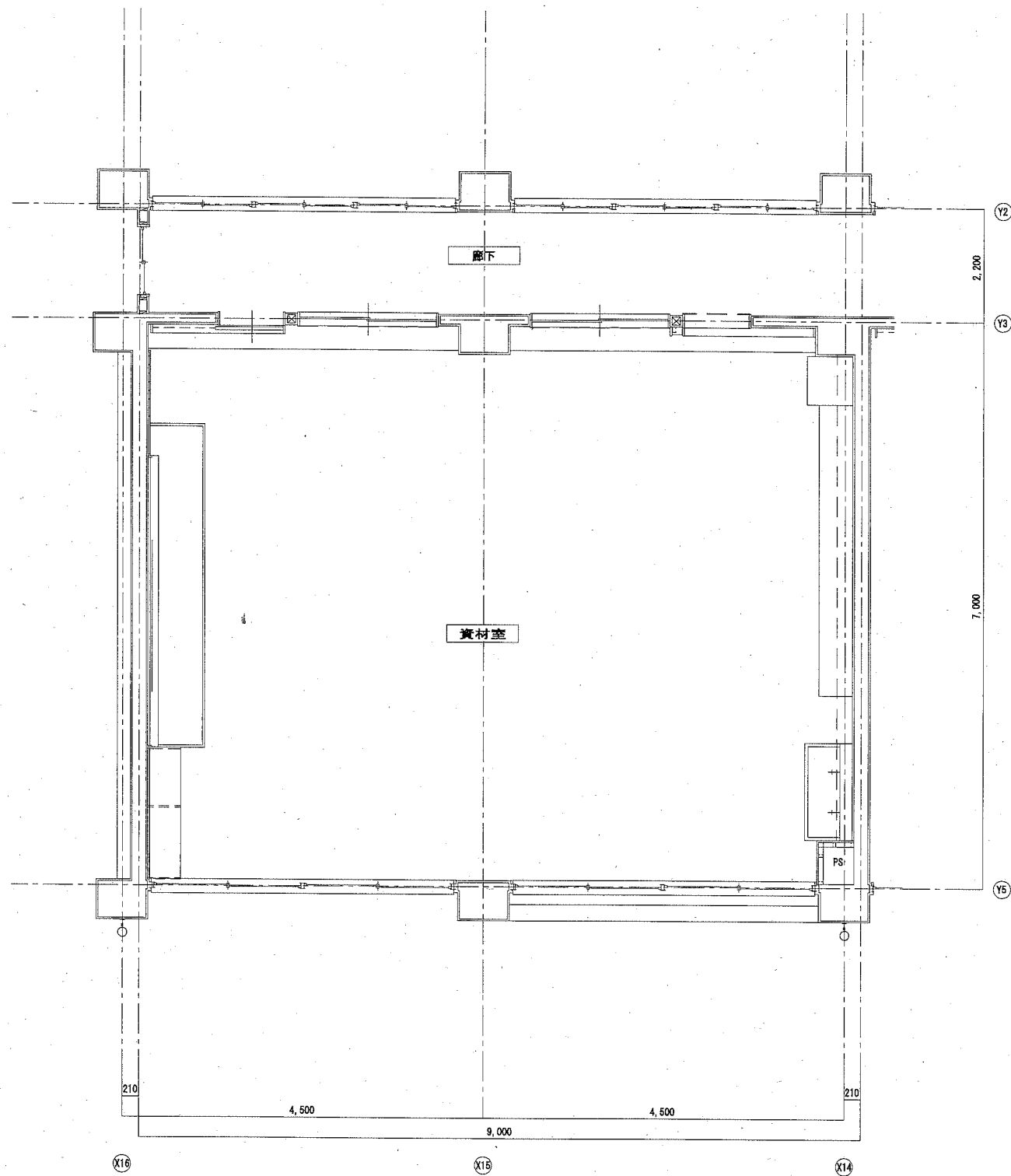
空調設備2階配膳室平面図（改修後）

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
㊸	6.4φ	12.7φ

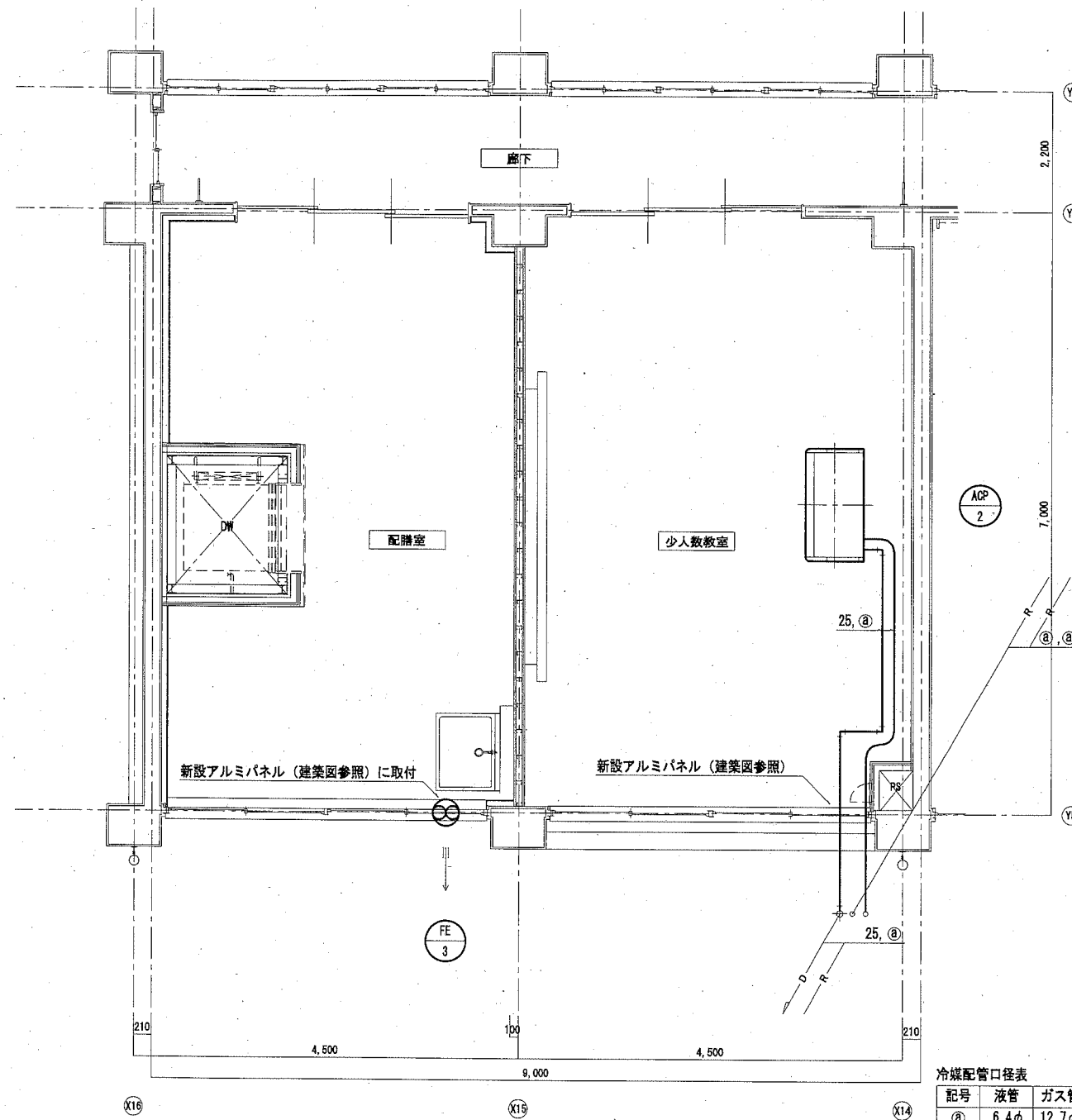
- 1) 内外連絡配線は冷媒管共巻工事とする。
- 2) 冷媒管・ドレン管はアルミパネル貫通とする。
- 3) ドレン排水はGL放流とする。

改修前



空調設備 3階配膳室平面図 (改修前)

改修後



空調設備 3階配膳室平面図 (改修後)

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
㊸	6.4φ	12.7φ

- 1) 内外連絡配線は冷媒管共巻工事とする。
- 2) 冷媒管・ドレン管はアルミパネル貫通とする。
- 3) ドレン排水はGL放流とする。

公共建築課長

主査等

担当者



横須賀市 都市部 公共建築課

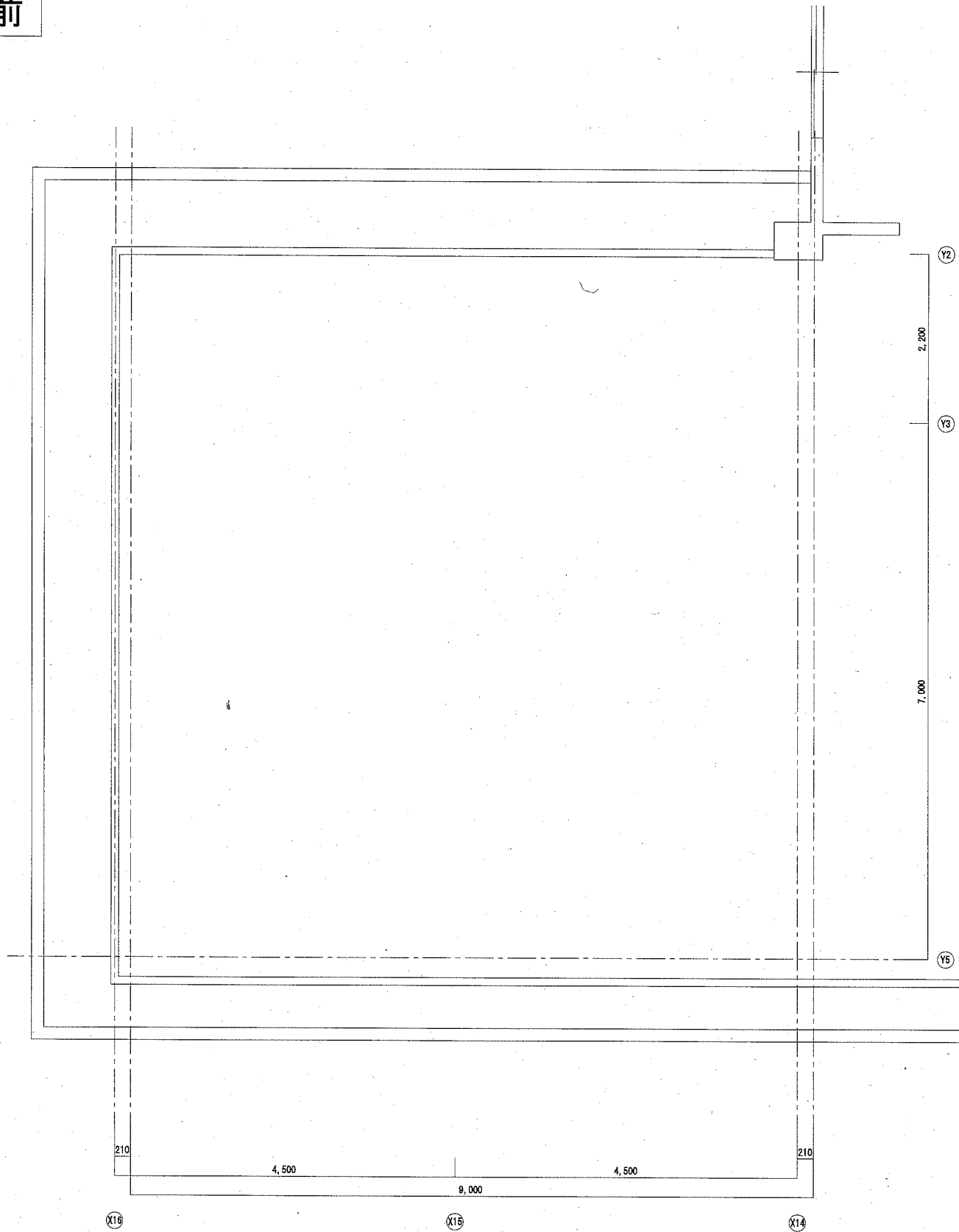
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(馬堀中学校)

図面名称
空調設備 3階配膳室平面図
縮尺 1:50

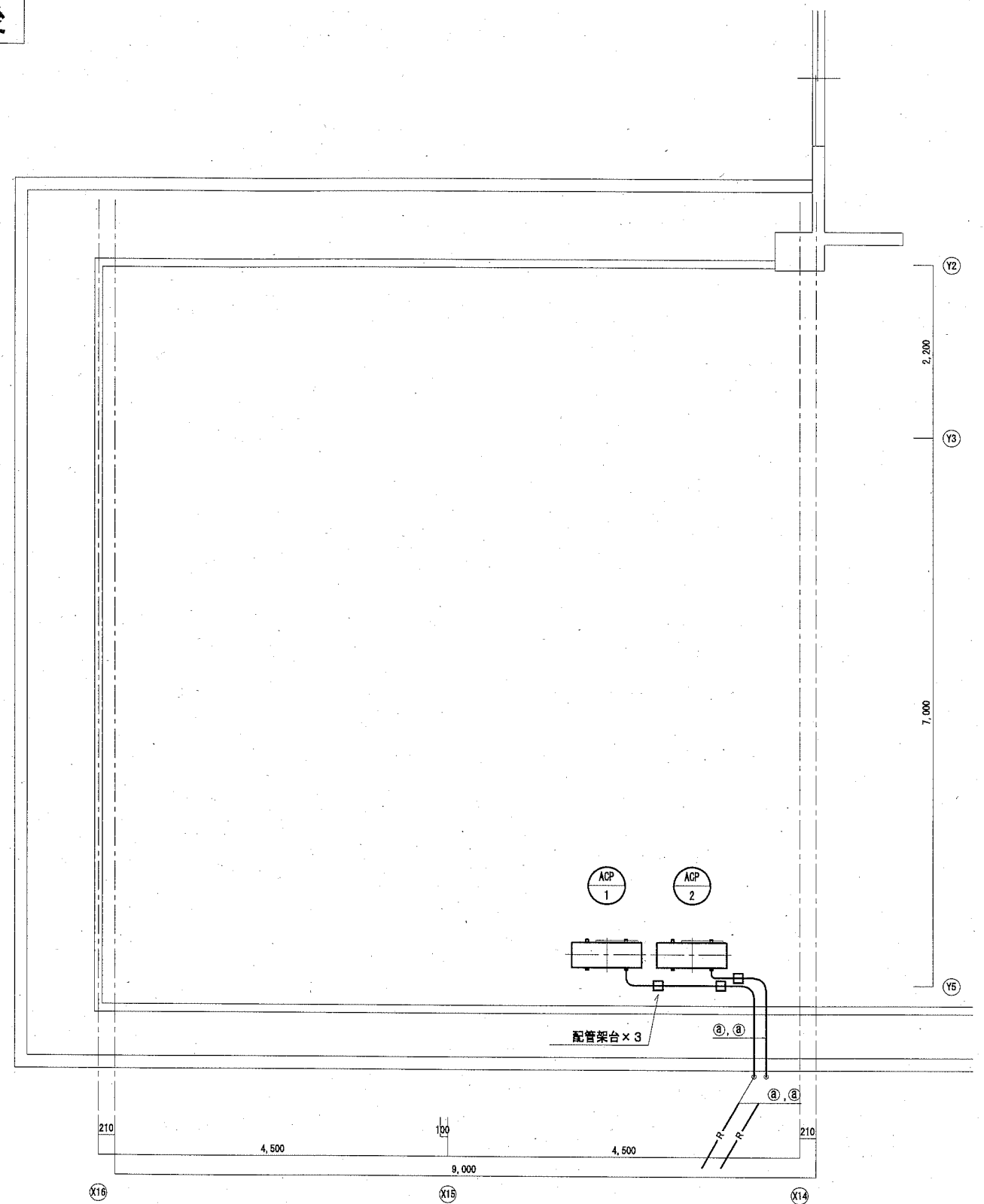
M-06

改修前



空調設備R階平面図（改修前）

改修後



空調設備R階平面図（改修後）

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
㊸	6.4 φ	12.7 φ

1) 内外連絡配線は冷媒管共巻工事とする。

公共建築課長 主査等 担当者



横須賀市 都市部 公共建築課

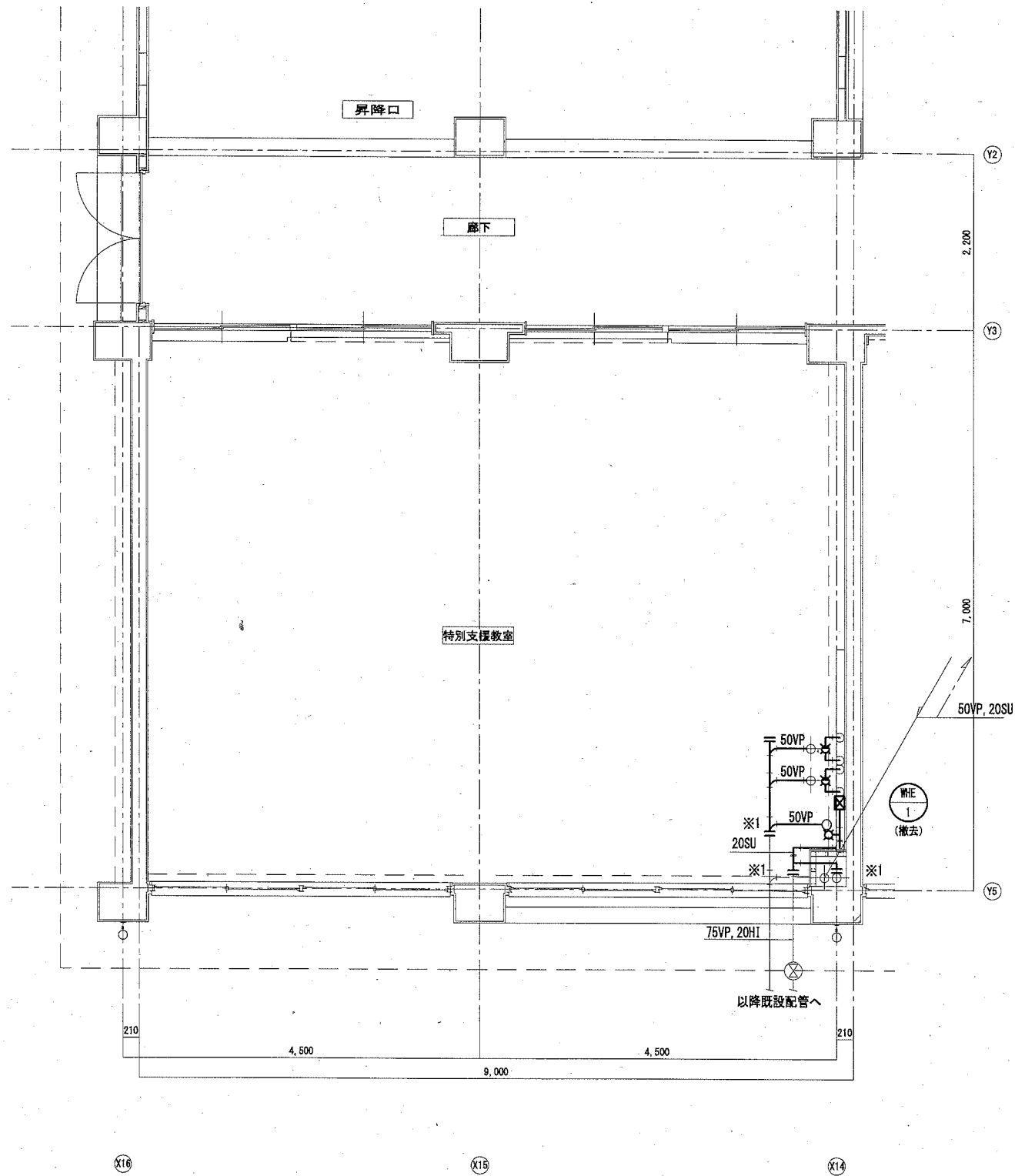
設計年月日 令和 2 年 2 月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(馬堀中学校)

図面名称
空調設備 R階平面図
縮尺 1 : 50

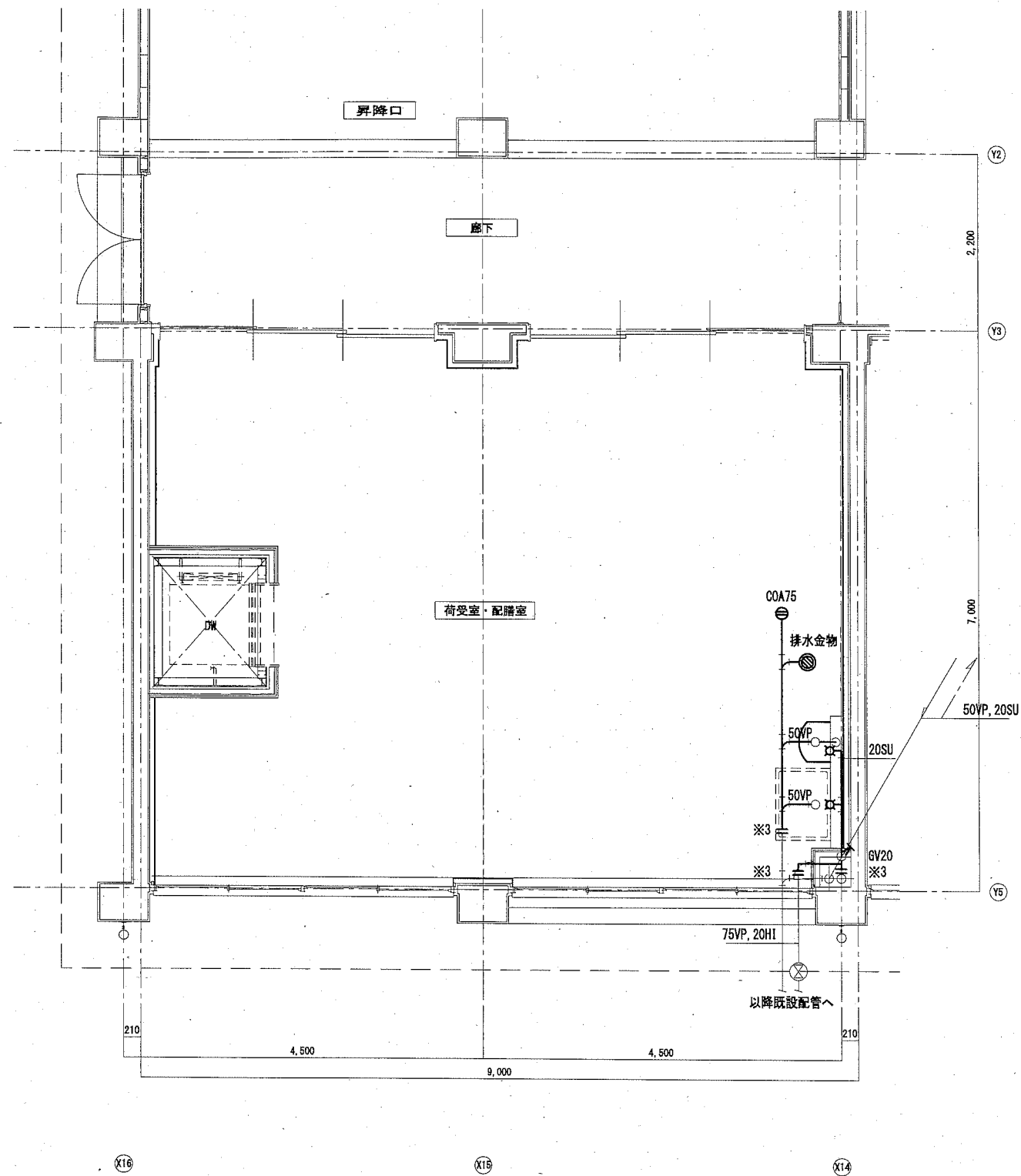
M-07

改修前



衛生設備 1階荷受室・配膳室平面 (改修前)

改修後



衛生設備 1階荷受室・配膳室平面 (改修後)

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

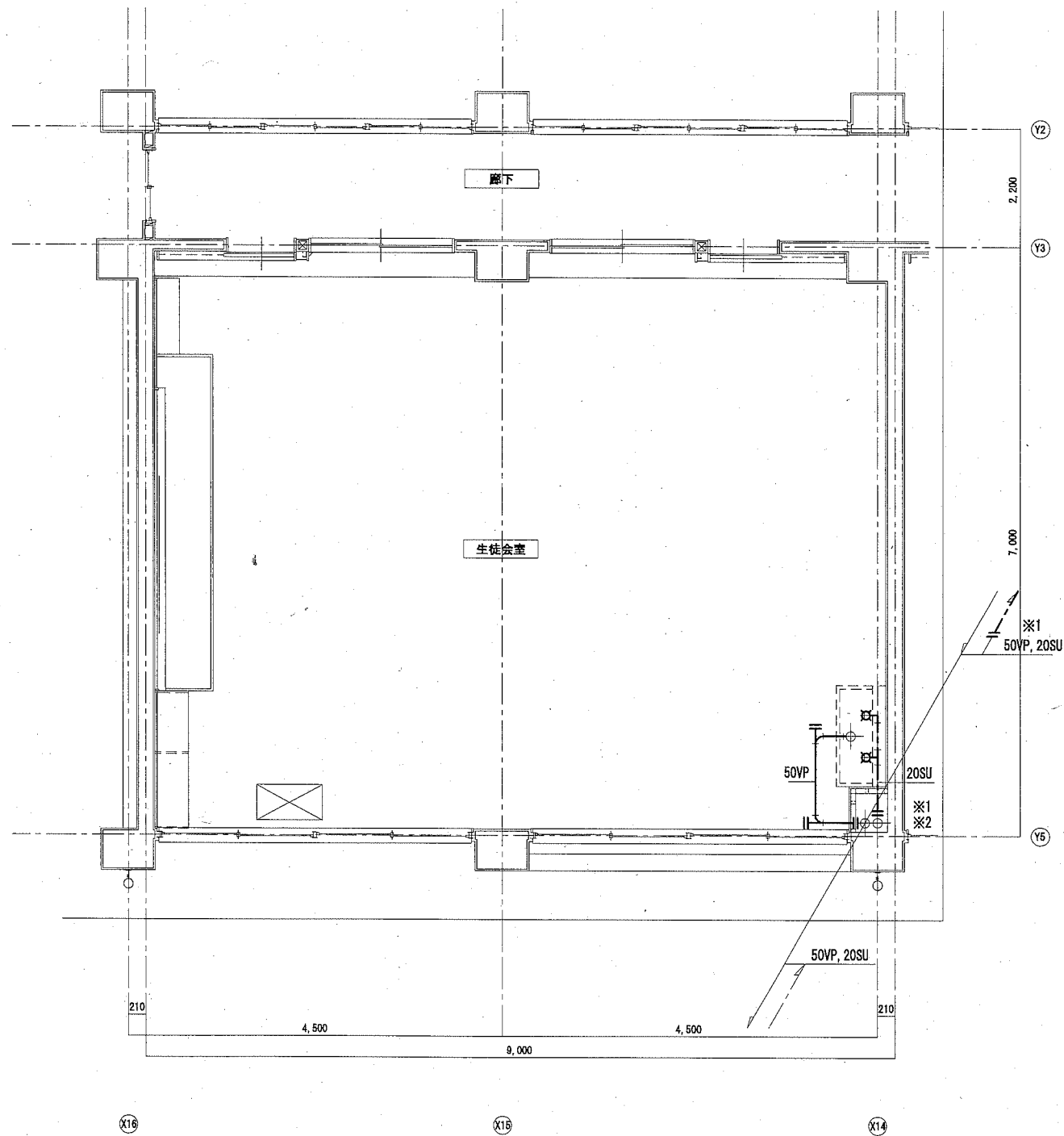
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(馬堀中学校)

図面名称
衛生設備 1階荷受室・配膳室平面図
縮尺 1:50

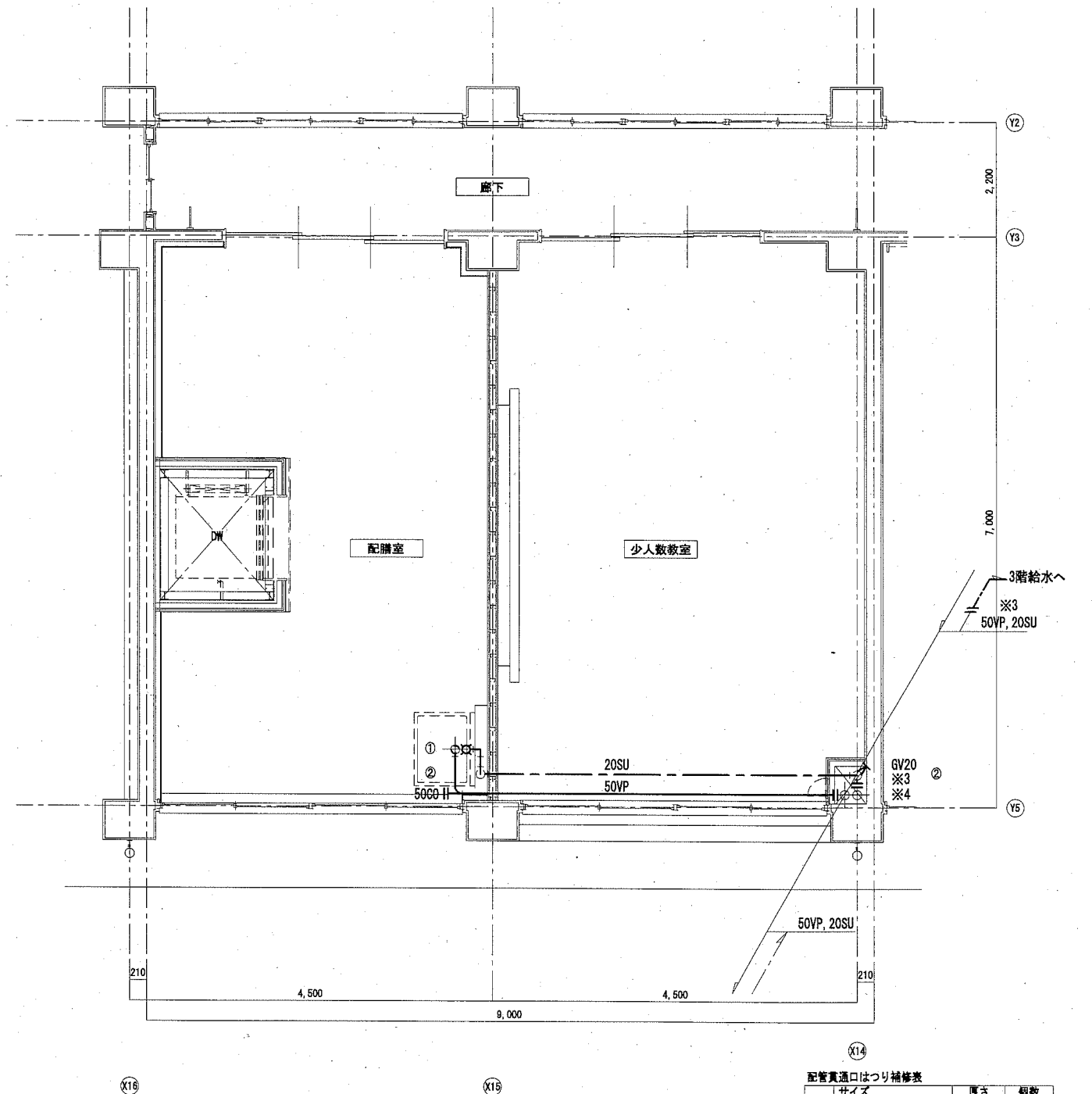
M-08

改修前



衛生設備2階配膳室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備2階配膳室平面図 (改修後)

①④
配管直通口はつり補修表

サイズ	厚さ	個数
① 排水管 φ100	200	1
② 給水管 φ50	200	2

公共建築課長 主査等 担当者



横須賀市 都市部 公共建築課

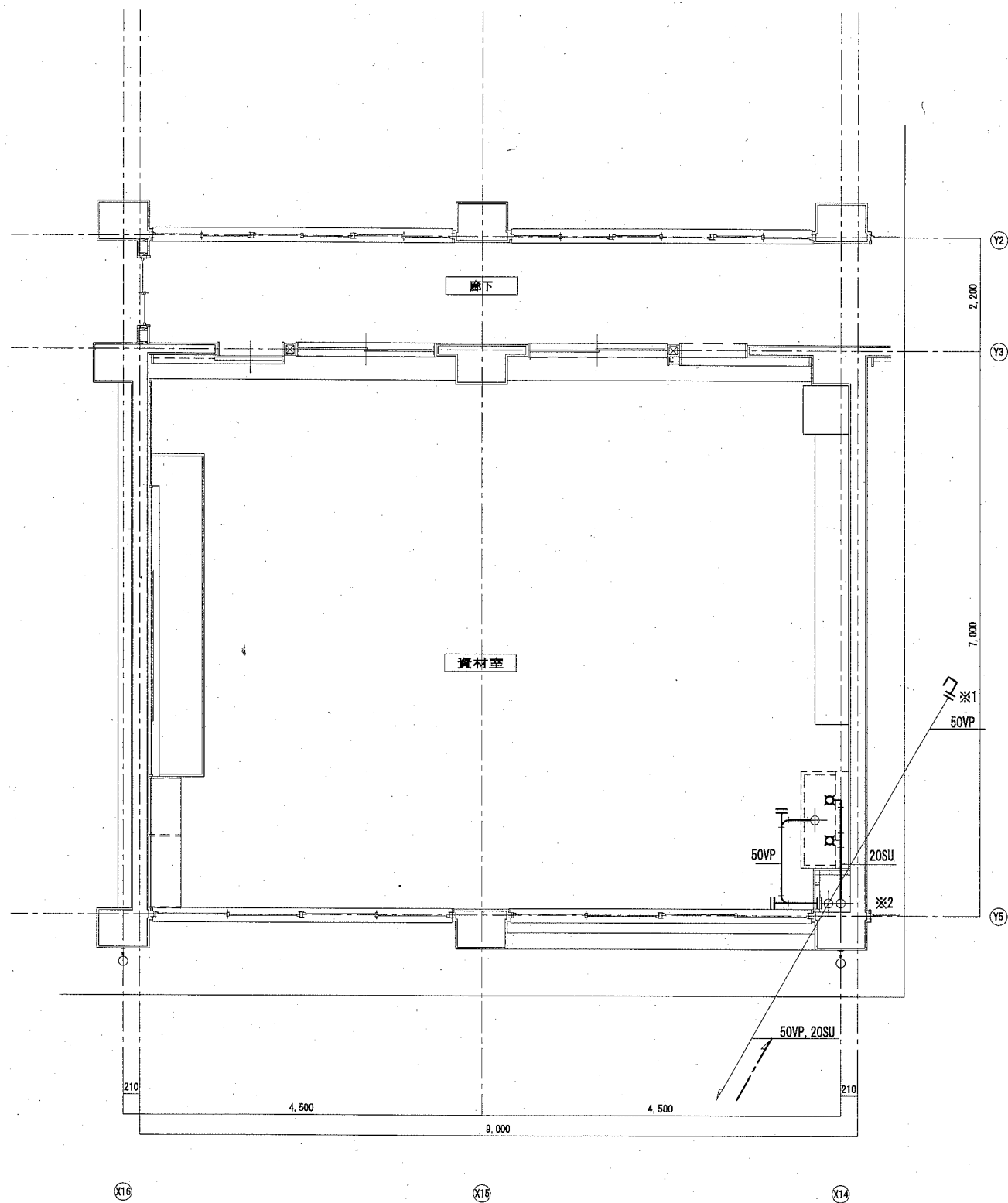
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1枚昇降機設置建築その他工事
(馬堀中学校)

図面名称
衛生設備 2階配膳室平面図
縮尺 1 : 50

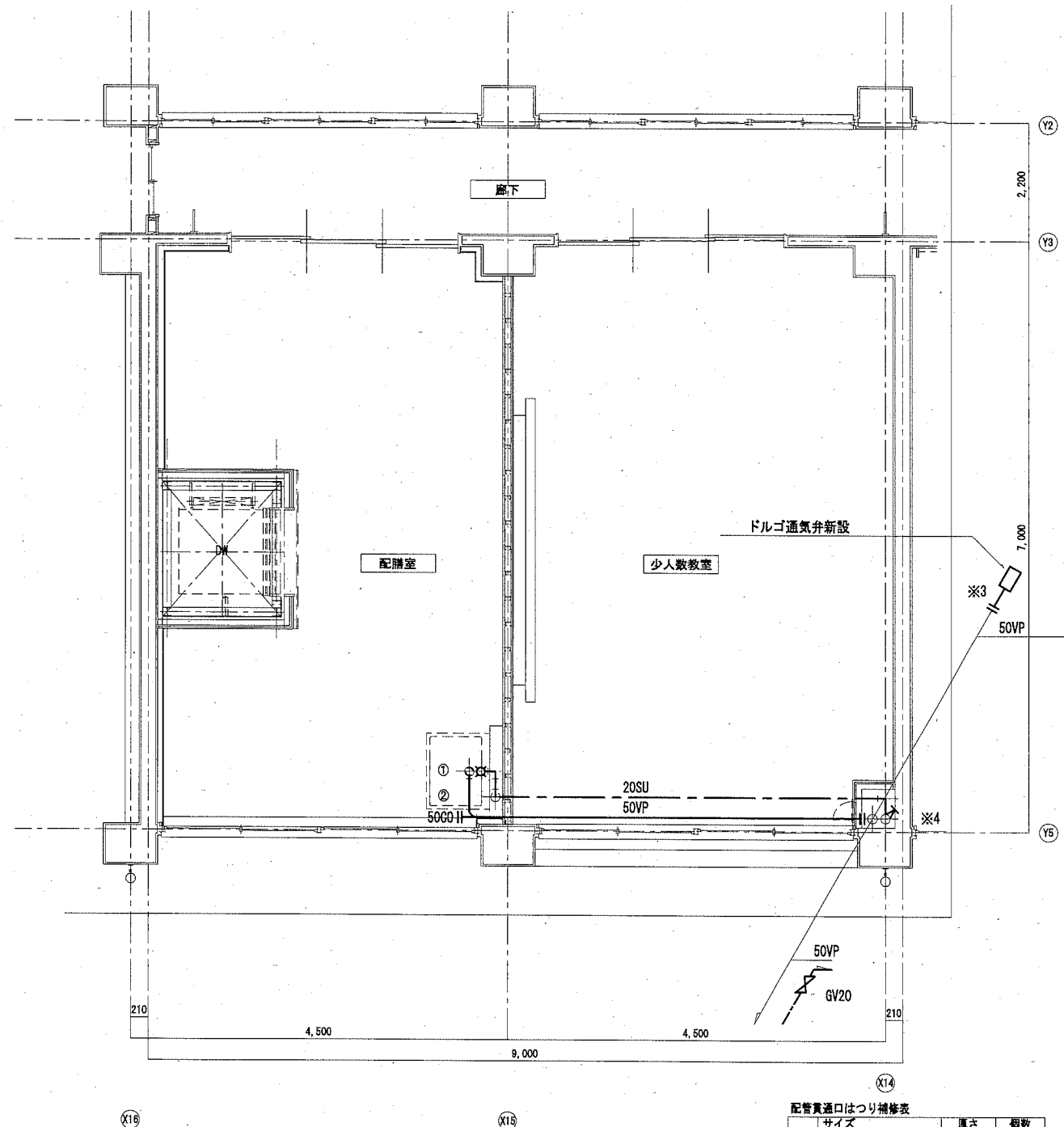
M-09

改修前



衛生設備3階配膳室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備3階配膳室平面図 (改修後)

配管貫通口はつり補修表

①	サイズ	厚さ	個数
①	排水管 φ100	200	1
②	排水管 φ50	200	1

公共建築課長 主査等 担当者



横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(馬堀中学校)

図面名称
衛生設備 3階配膳室平面図
縮尺 1 : 50

M-10

機器表 (エアコン)												
機器番号	型式	形状	機器能力		電源容量			APF 2015	付属品	台数	設置場所	備考
			冷房	暖房	相	電圧	圧縮機					
			[kw]	[kw]	(φ)	(V)	[kw]					
AC-1	壁掛型	ルームエアコン	3.6	4.2	1-200	0.95	6.5以上	コンクリート製基礎ブロック (ゴムシート敷き)	1	1階 給食事務・休憩室	耐塩害仕様	
									ワイヤレスリモコン、他標準付属品一式			
<p>【特記】</p> <p>1.機器類の能力は表示された値とする。電動機出力は値以下とする。</p> <p>2.電源周波数は50Hzとし、室内電源タイプとする。</p> <p>3.機器能力及び消費電力は、JIS B 8616 に規定された定格条件による。</p> <p>4.クリーン購入法適合品とする。</p> <p>5.高効率型新冷媒対応機種(オゾン破壊係数：0)とする。</p> <p>6.屋外機に機器番号・設置場所の表示を行うこと。</p> <p>7.屋外機に転倒防止金具を設置すること。</p>												

換気機器													
機器番号	名称	機器仕様	機器能力		電源容量			ウェザーカーバー	防錆	N.S.他付属品	台数	設置場所	備考
			風量	静圧	相	電圧	容量						
			(m3/h)	(Pa)	(φ)	(V)	(w)						
FE-1	換気扇	φ250壁取付	450	—	1-100	16	●	●	●	1	1階 荷受室・配膳室		
FE-2	換気扇	φ250壁取付	450	—	1-100	16	●	●	●	1	2階 配膳室		
FE-3	換気扇	φ250壁取付	450	—	1-100	16	●	●	●	1	3階 配膳室		
<p>【特記】</p> <p>1.機器類の能力・容量は表示された能力以上とし、電動機出力は参考値とする。</p> <p>2.電源周波数は50Hzとする。</p> <p>3.ウェザーカーバーはステンレス製とする。</p> <p>4.スイッチは別途工事</p>													

器具表											
名称	TOTO 参考型番	LIXIL 参考型番	付属品	数量	1階 給食事務・休憩室	1階 荷受室・配膳室	2階 配膳室	3階 配膳室	備考		
洗面器	L210C	L-176UEC	自動水栓 (単水栓)、Pトラップ、壁給水	2	1	1					
自在水栓	T131SUN13C	LF-16F-13		3		1	1	1			

凡例				
記号	名称	施工場所	材料	保温防食塗装
— R —	冷媒管	屋内露出	冷媒用被覆銅管	保温化粧ケース
		屋外露出		SUSラッキング
— D —	ドレン管	屋内露出	保温付VP	保温化粧ケース
		屋外露出	カラーVP	—
— — —	給水管	屋内隠蔽	SUS-C	—
		埋設	SGP-VB	グラスウール+ALGC(c2,(口),Ⅷ)
— — —	排水管	屋内隠蔽	VP	グラスウール+ALGC(c2,(口),Ⅷ)
		埋設	VU	管底より管上部100mmまで山砂(管底は突き固め)
— — — —	通気管	屋内隠蔽	VP	—
— G —	ガス管		SGP白	—

【改修前】

- ※1部は既存配管切断を示す。
- ※2部は既存配管閉塞を示す。
- 細線部は既設再使用を示す。
- 太線部は撤去を示す。

【改修後】

- ※3部は既存配管接続を示す。
- ※4部は分岐接続を示す。
- 細線部は既設再使用を示す。
- 太線部は新設を示す。

公共建築課長 主査等 担当者



横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 2 月

設計名称

NAME OF PROJECT

市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事

(騎居中学校)

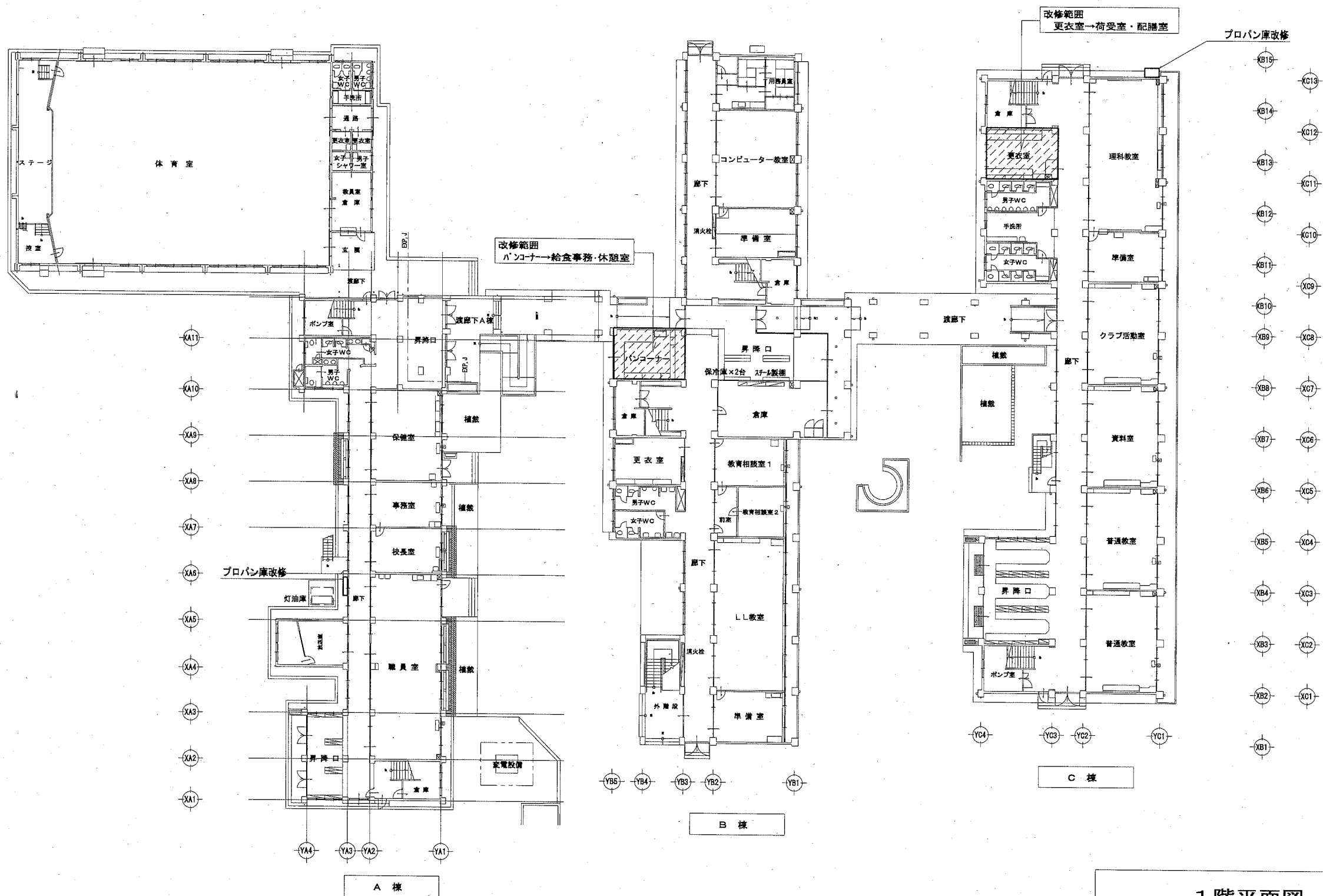
図面名称

ITEM OF DRAWING

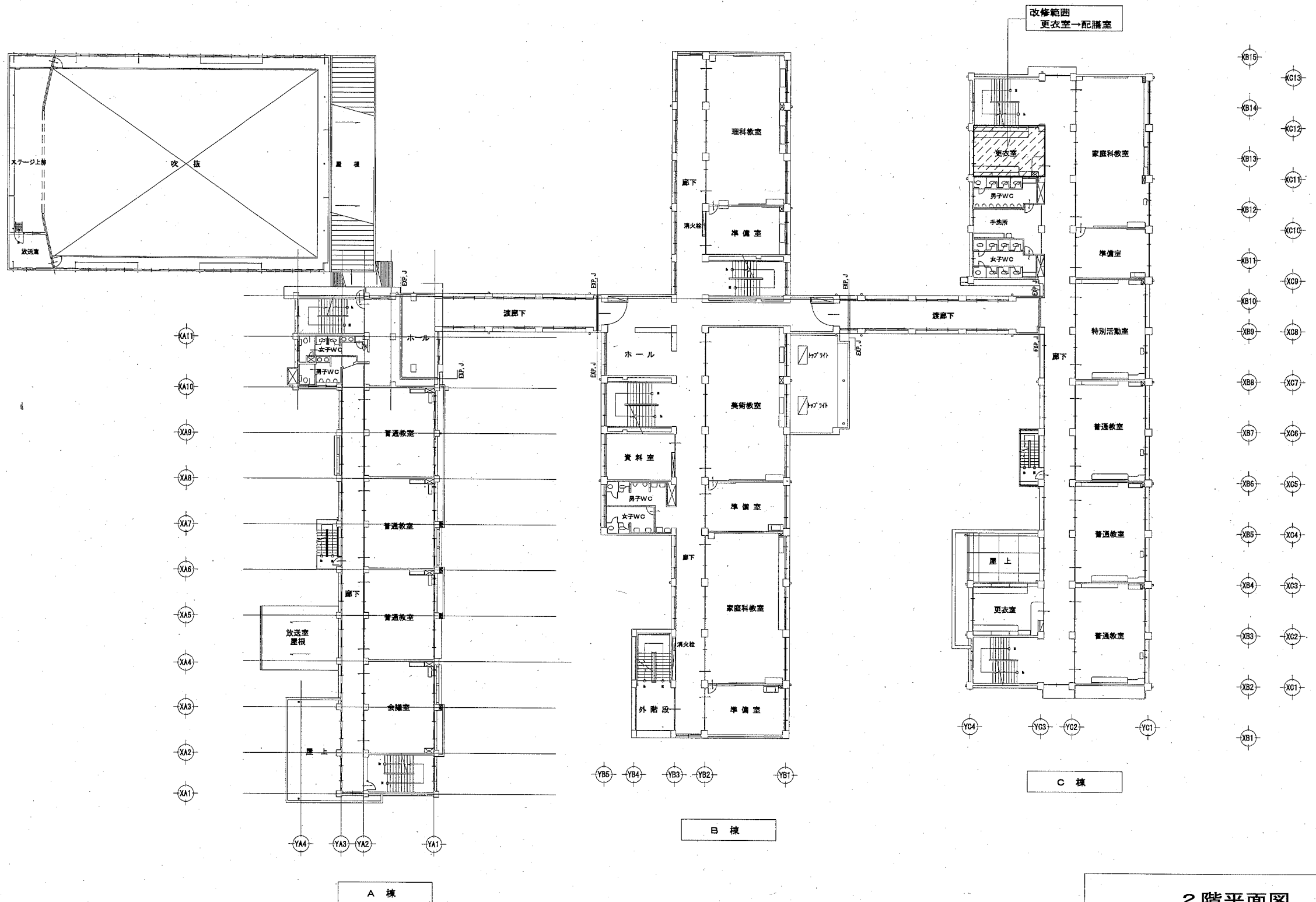
機器表・器具表・凡例

縮尺 N.S

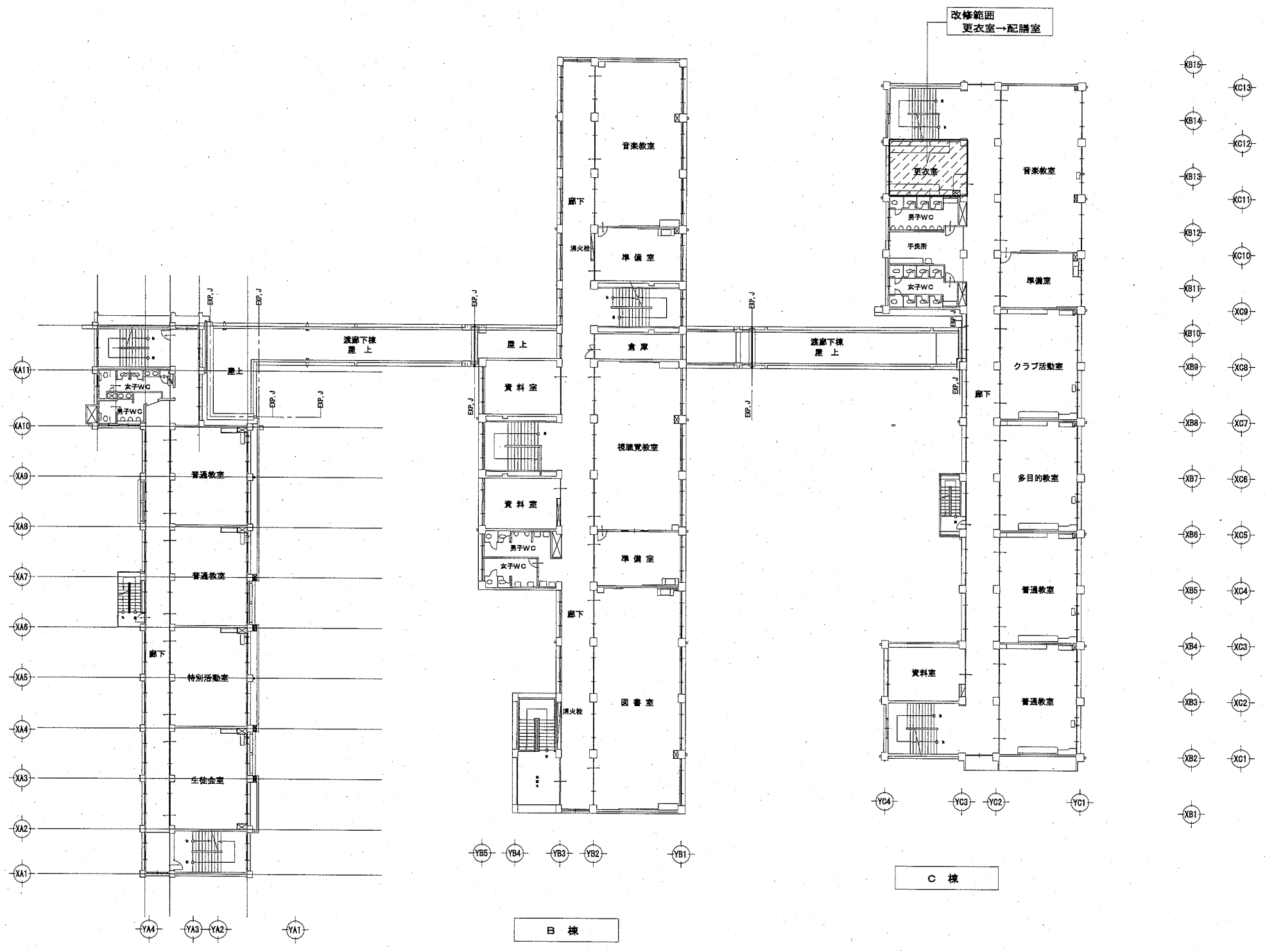
SCALE



1階平面図

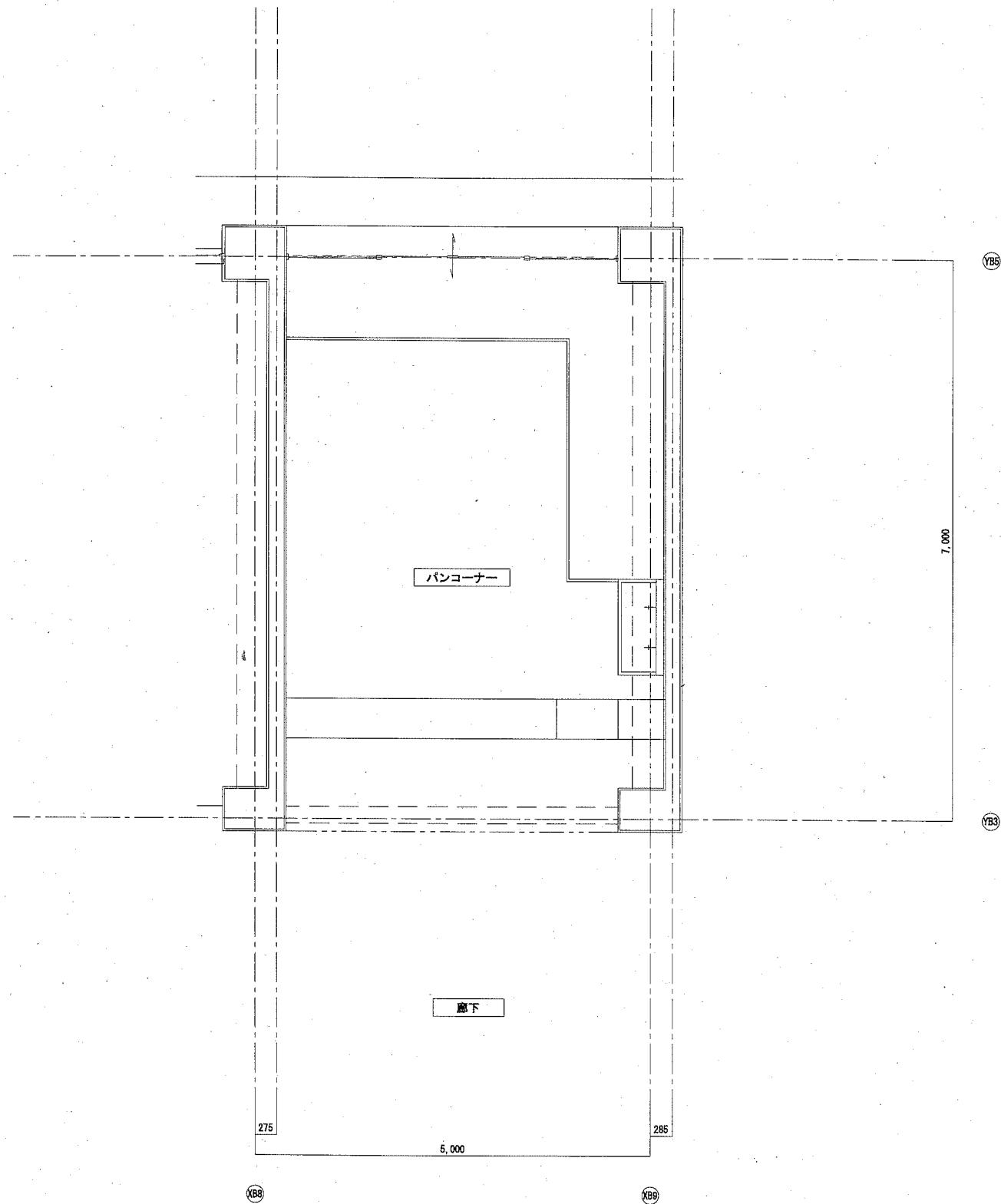


2階平面図



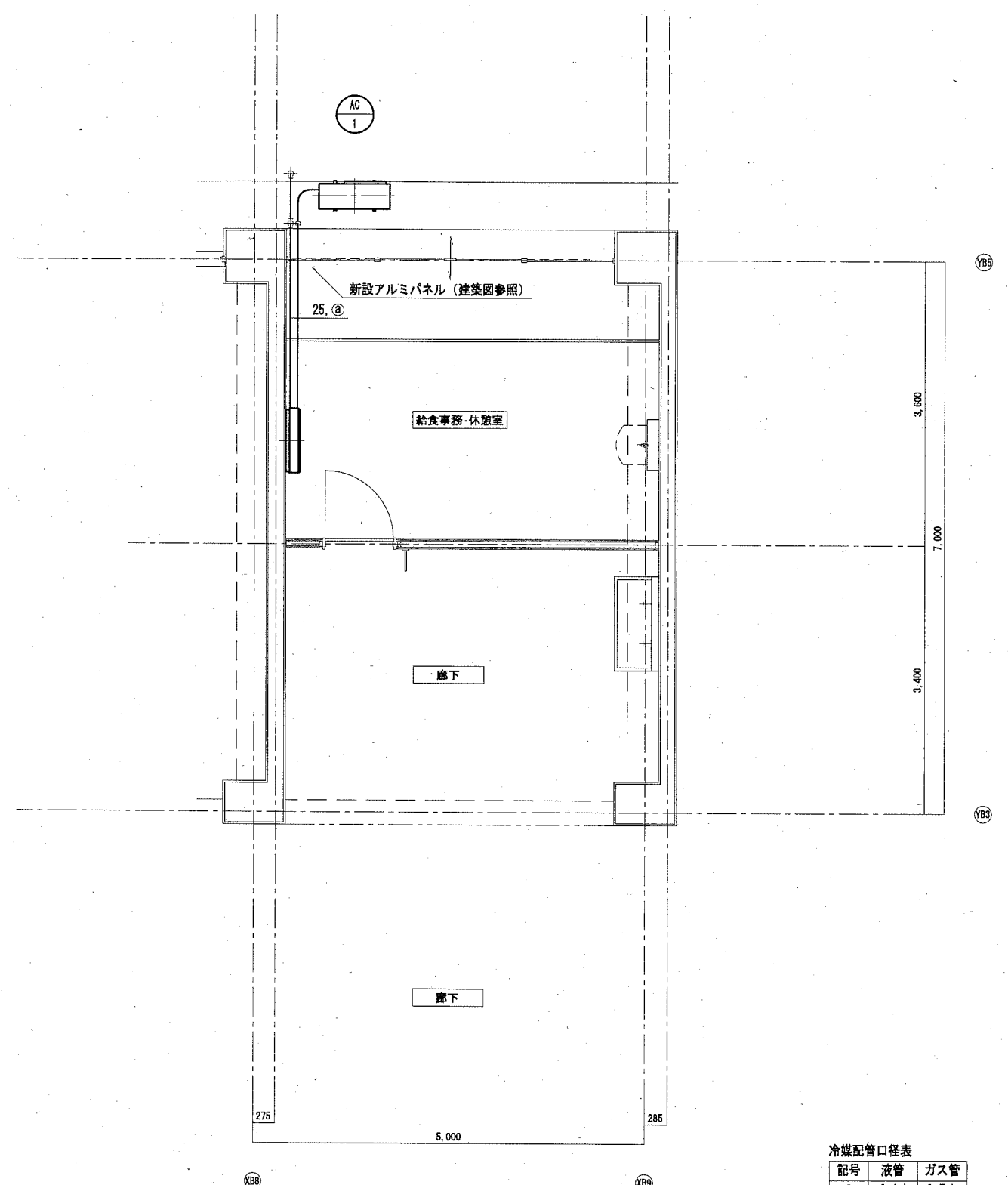
3階平面図

改修前



空調設備B棟1階給食事務・休憩室平面図（改修前）

改修後



空調設備B棟1階給食事務・休憩室平面図（改修後）

冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
㊸	6.4φ	9.5φ

- 1) 内外連絡配線は冷媒管共巻工事とする。
- 2) 冷媒管・ドレン管はアルミパネル貫通とする。
- 3) ドレン排水はGL放流とする。

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

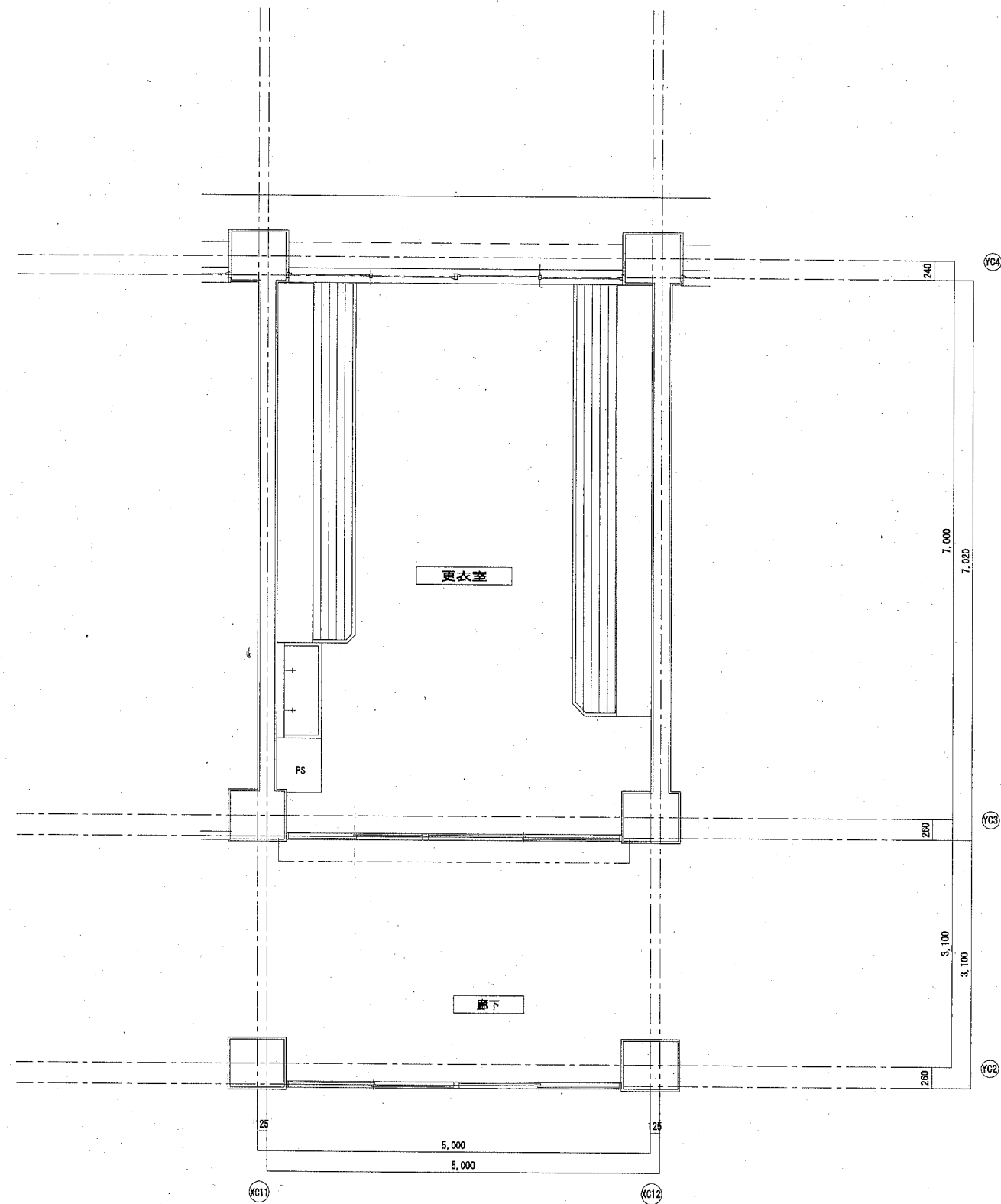
設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(鶴居中学校)

図面名称
空調設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図
縮尺 1 : 50

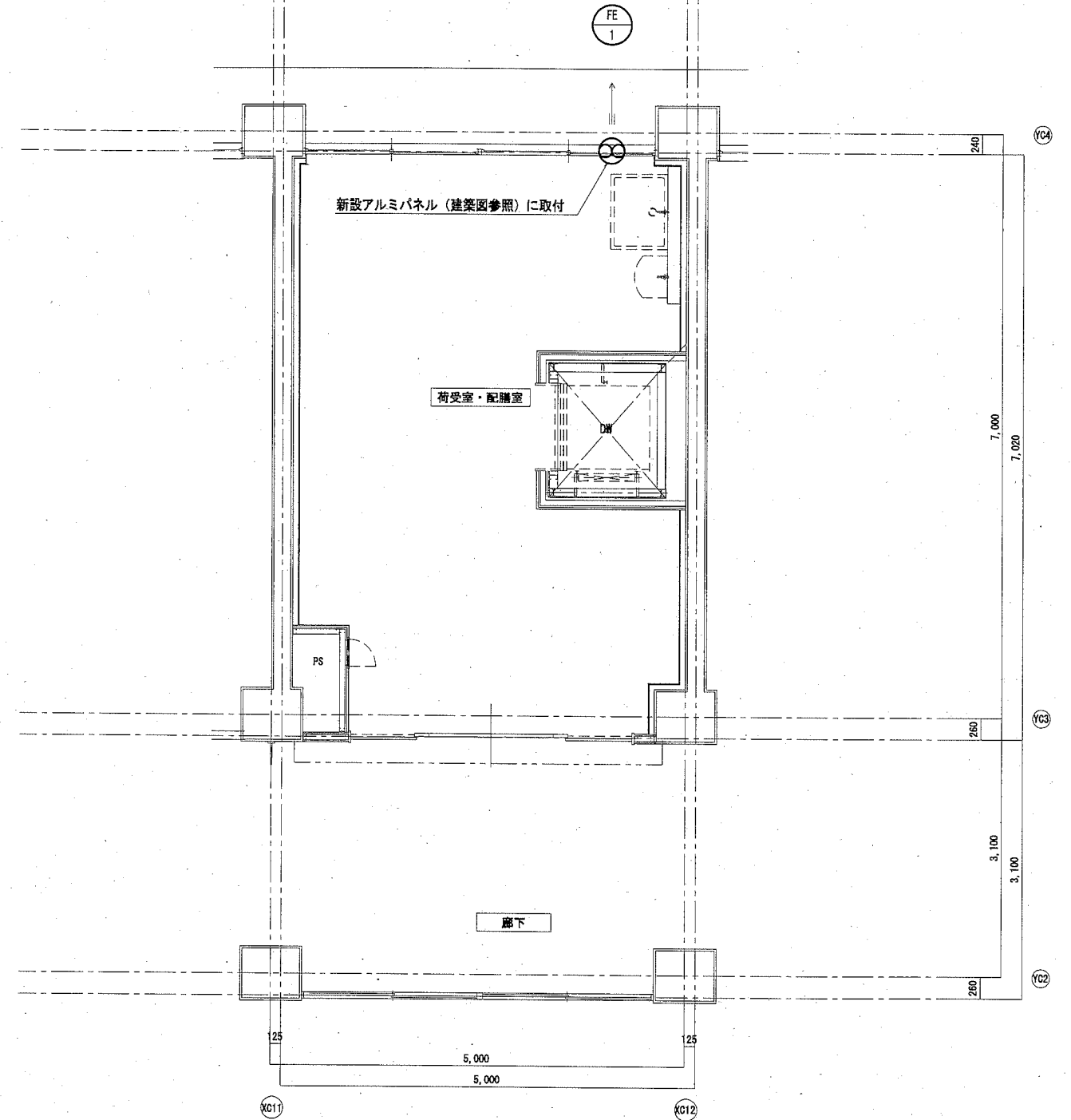
M-15

改修前



空調設備C棟1階荷受室・配膳室平面図（改修前）

改修後



空調設備C棟1階荷受室・配膳室平面図（改修後）

公共建築課長 主査等 担当者



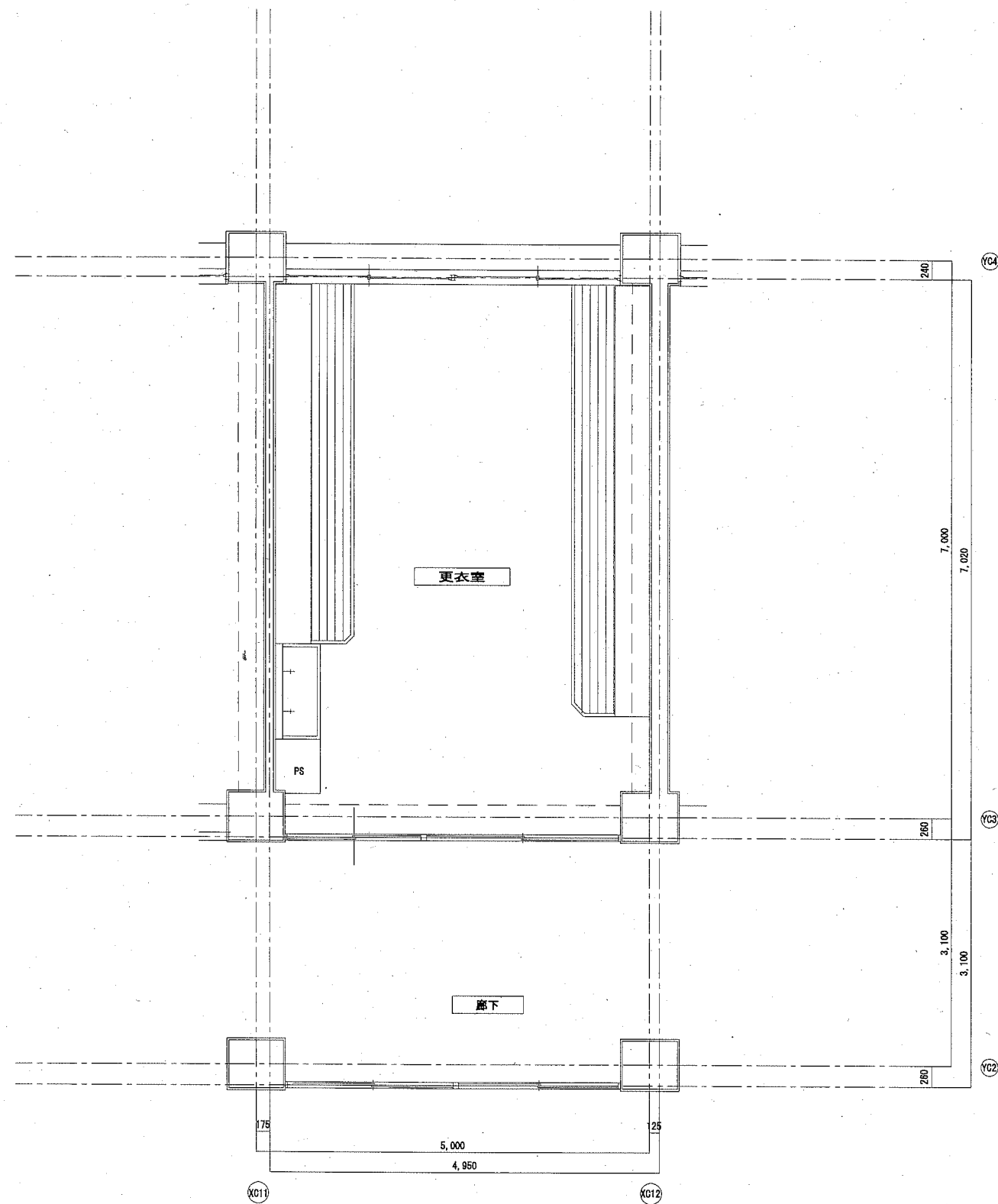
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
NAME OF PROJECT
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
PROJECT NUMBER
(鶴居中学校)

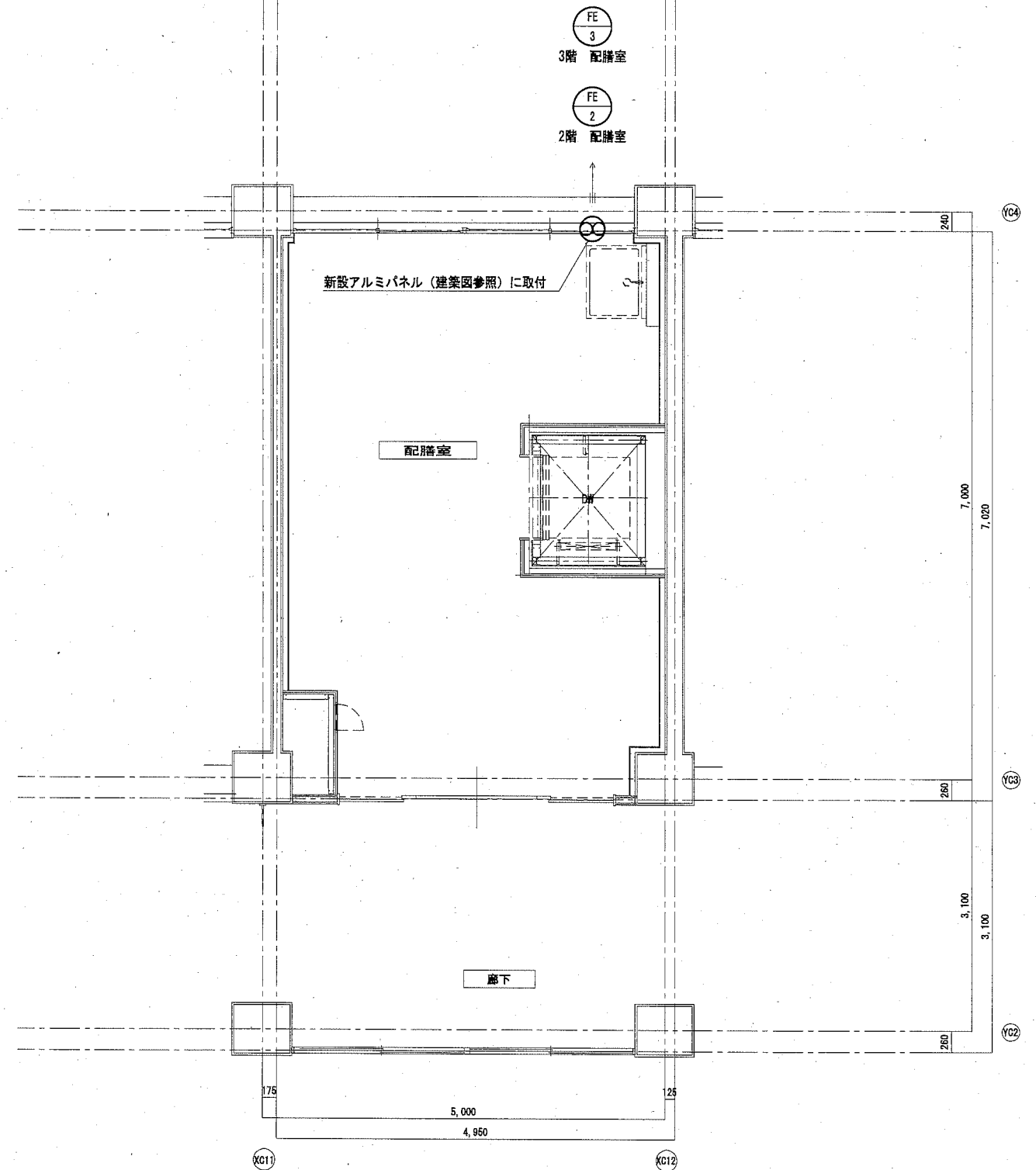
図面名称
ITEM OF DRAWING
空調設備 C棟1階荷受室・配膳室平面図
DRAWING NUMBER
縮尺 1:50
SCALE

改修前



空調設備C棟2・3階配膳室平面図（改修前）

改修後



空調設備C棟2・3階配膳室平面図（改修後）

公共建築課長 主査等 担当者



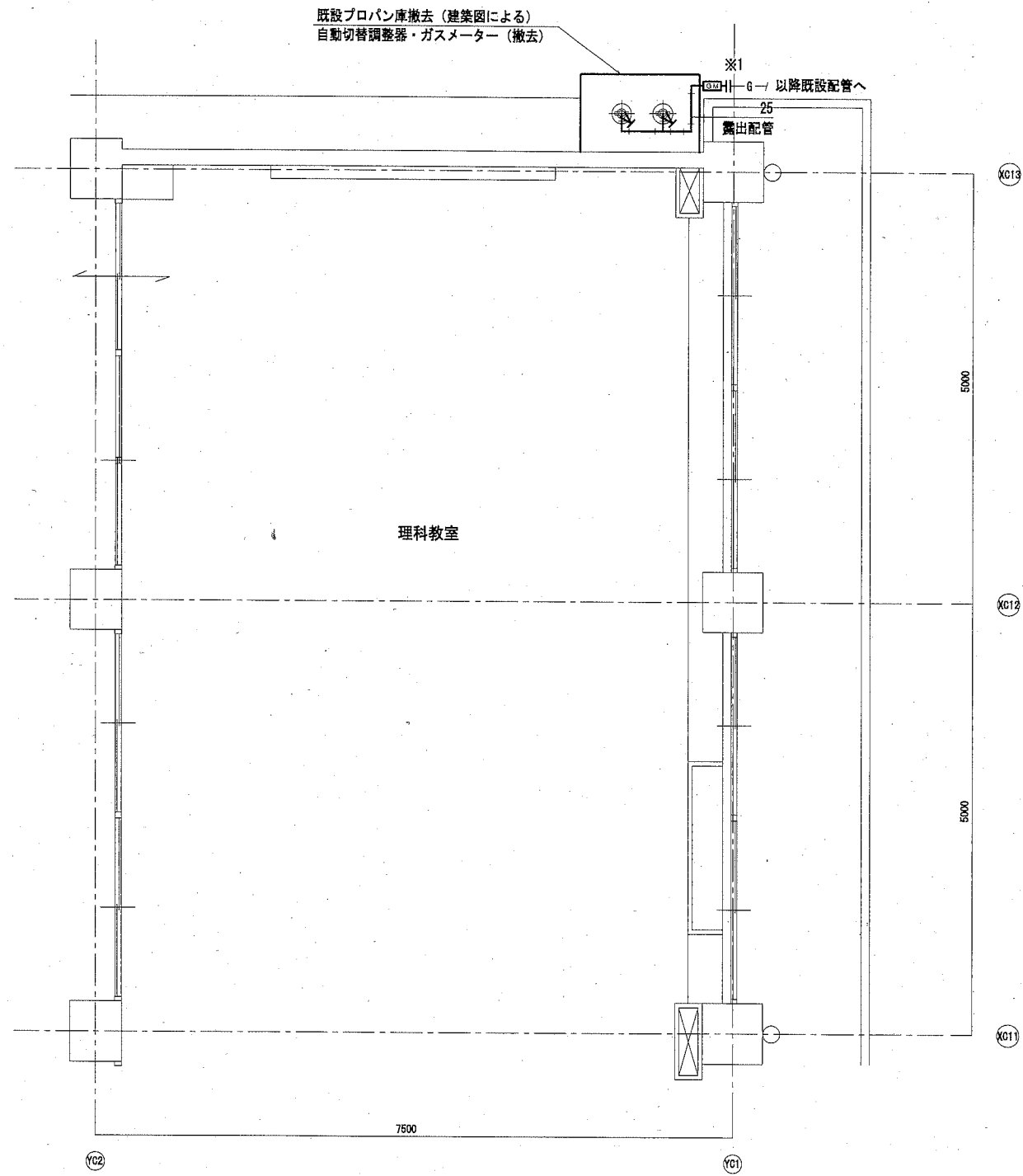
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
NAME OF PROJECT
市立馬場中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(鶴居中学校)

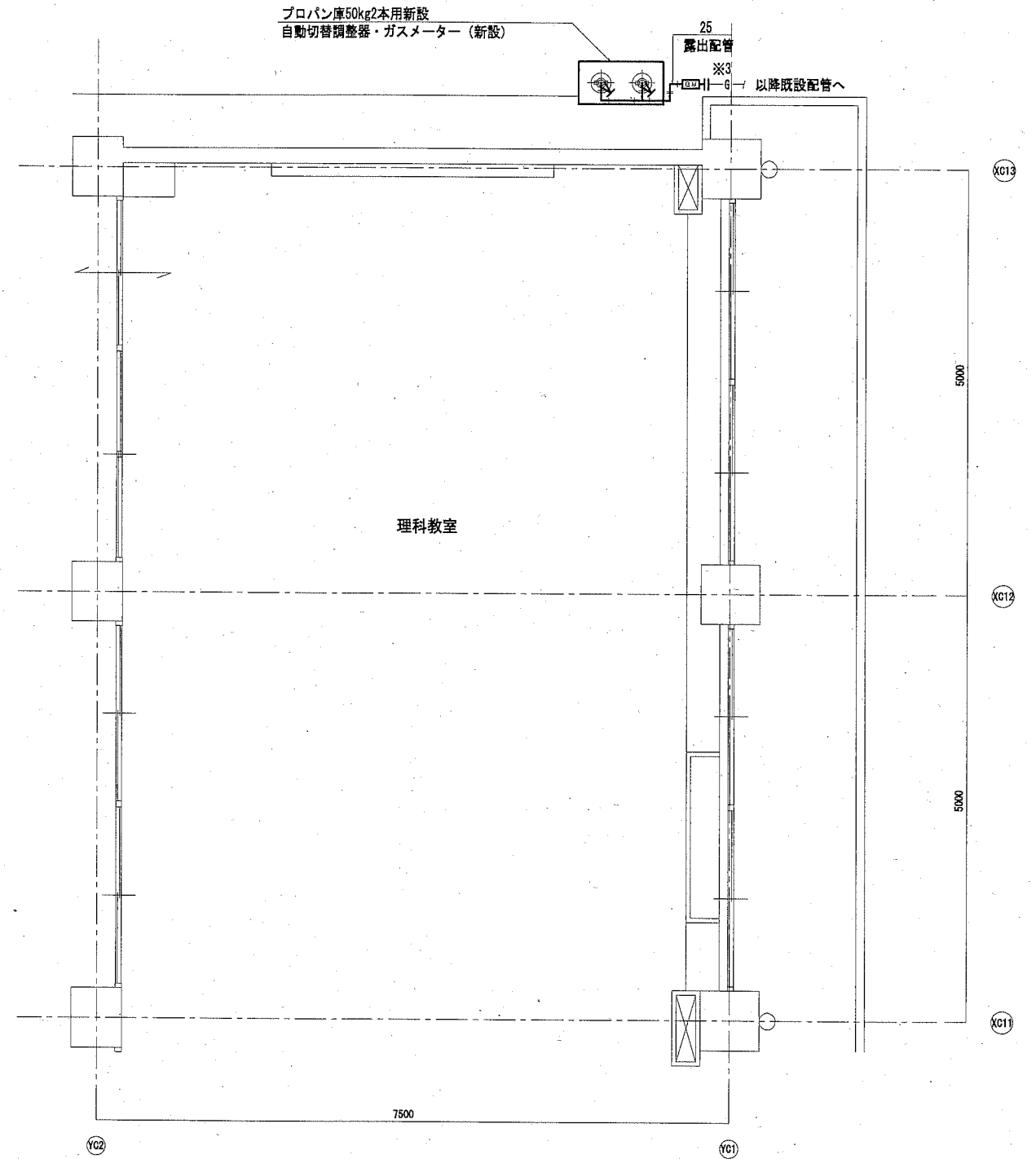
図面名称
TITLE OF DRAWING
空調設備 C棟2・3階配膳室平面図
縮尺 1:50
DRAWING NUMBER
SCALE
NO

改修前



衛生設備C棟1階理科教室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備C棟1階理科教室平面図 (改修後)

公共建築課長 主査等 担当者

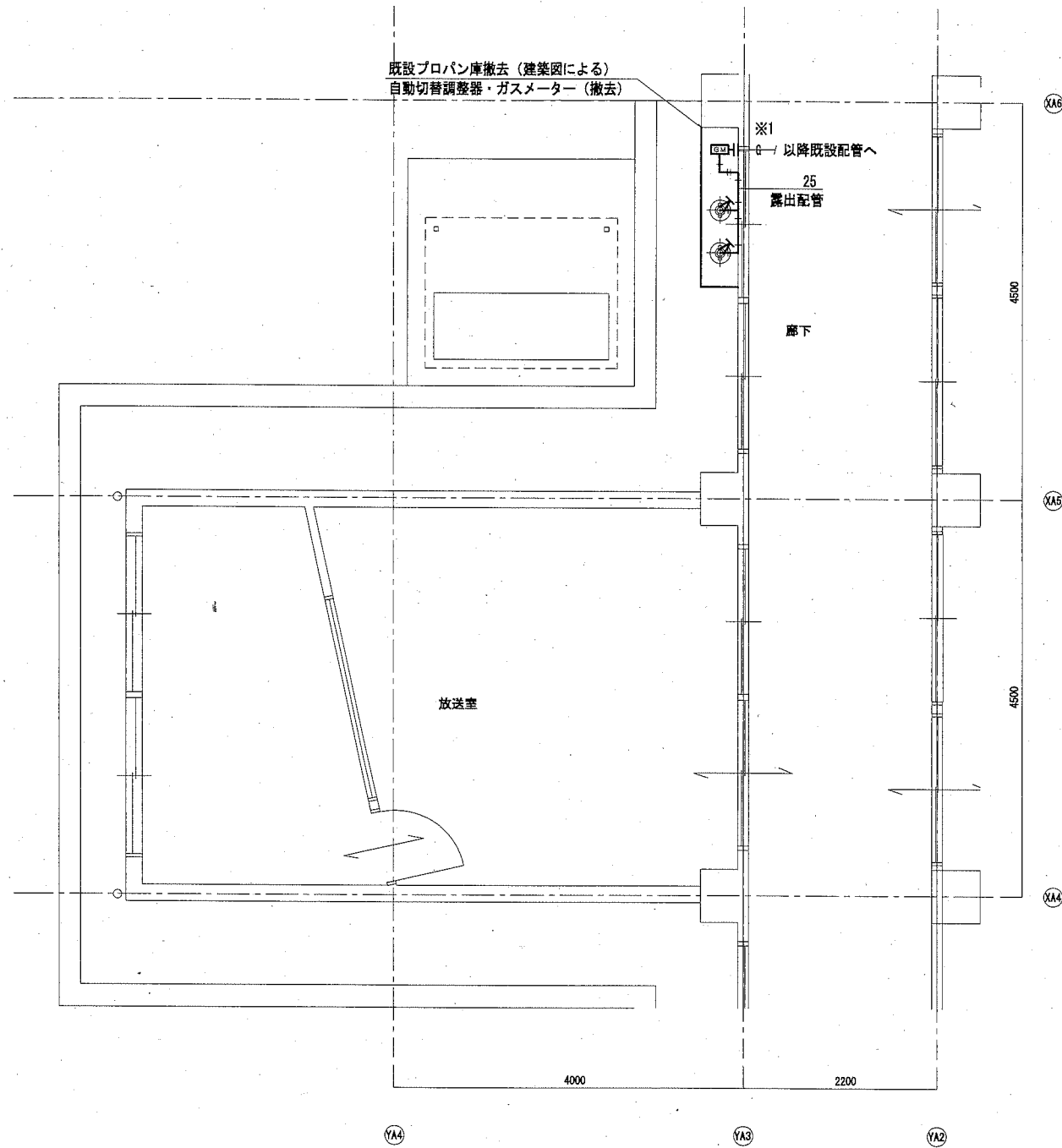
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 2 月

設計名称
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(鶴居中学校)

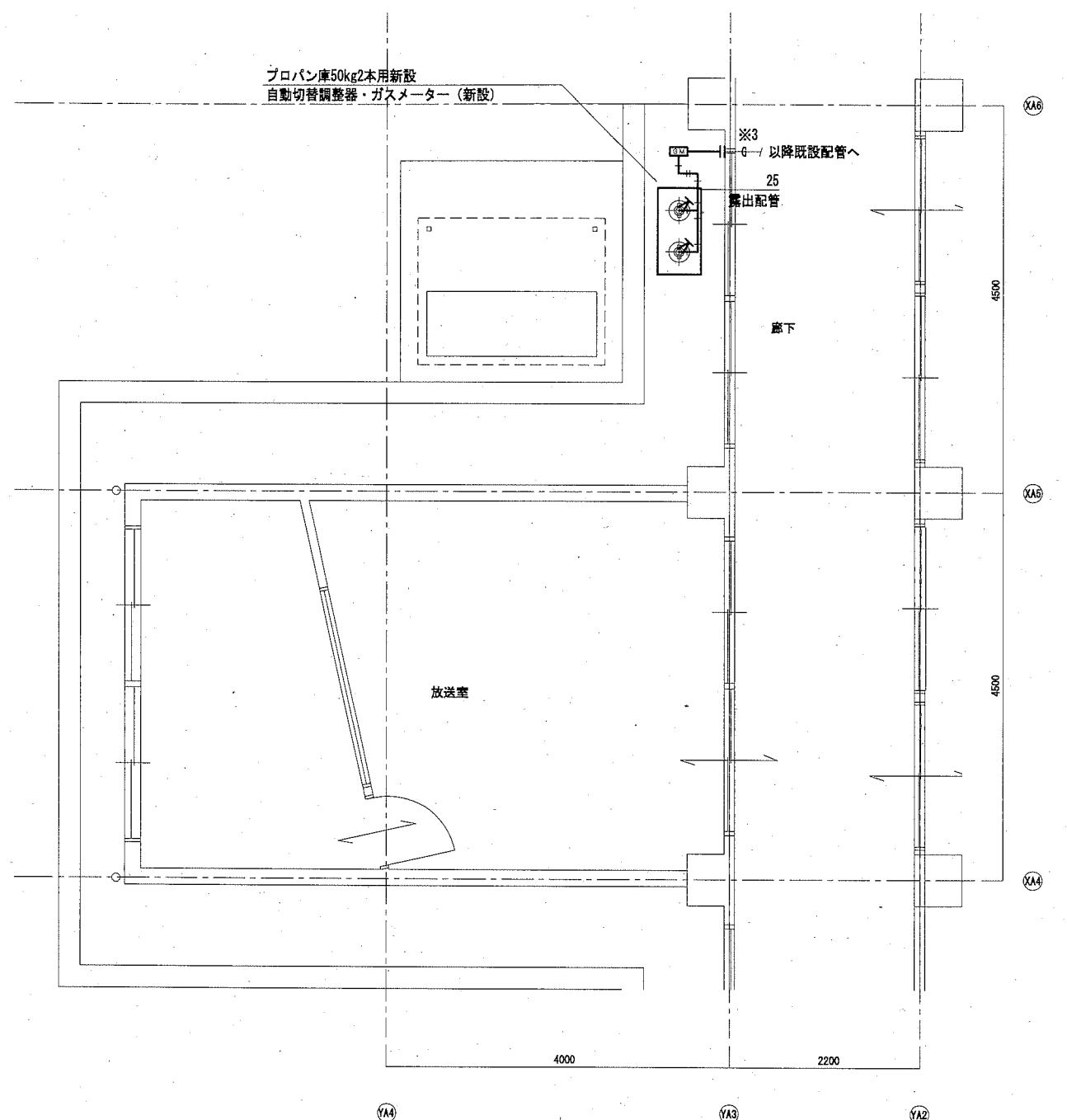
図面名称
衛生設備 C棟1階理科教室平面図
縮尺 1 : 50

改修前



衛生設備A棟1階放送室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備A棟1階放送室平面図 (改修後)

公共建築課長 主査等 担当者



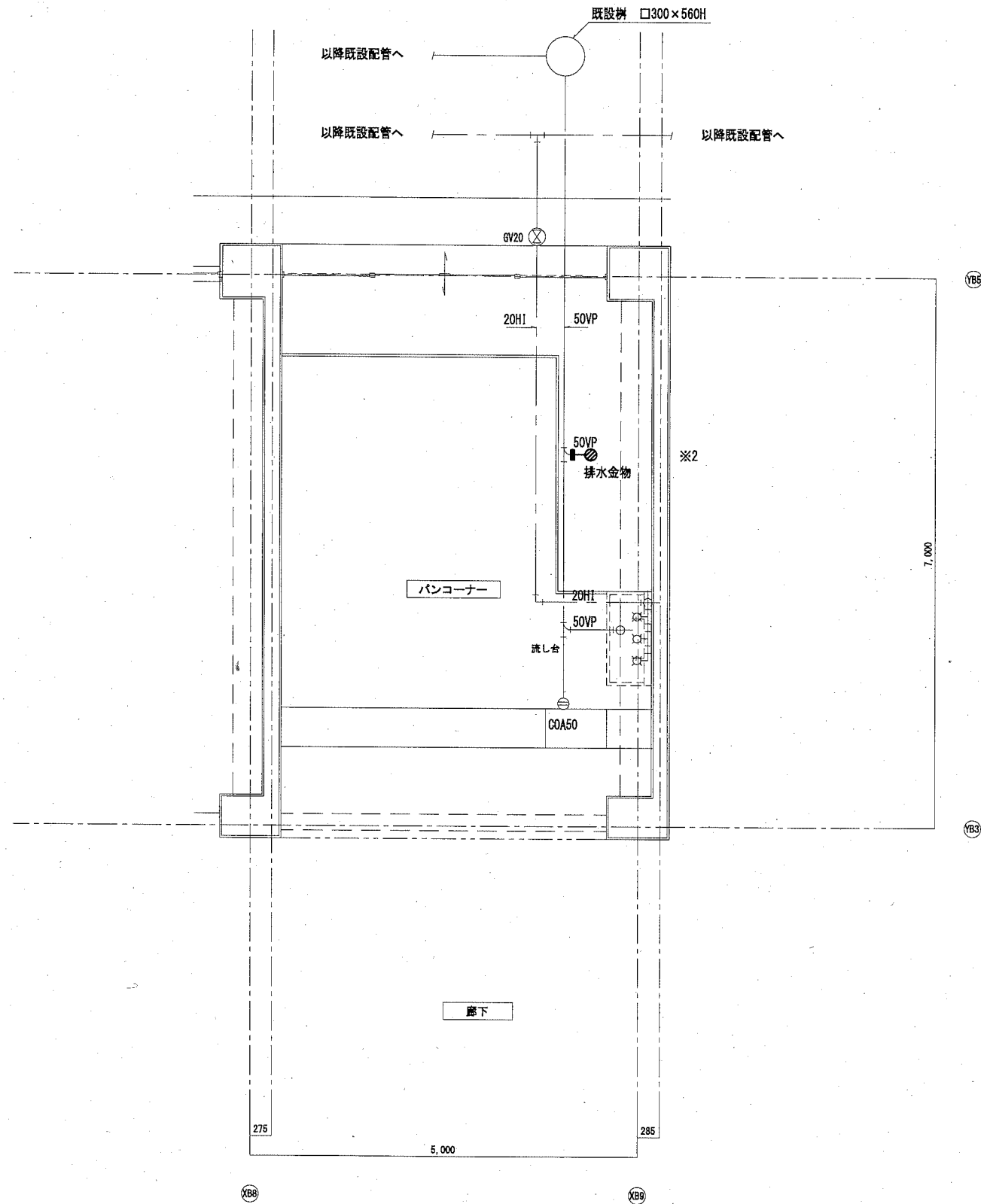
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 2 月

設計名称
NAME OF PROJECT
市立馬堀中学校ほか1校昇降機設置建築その他工事
(鶴居中学校)
PROJECT NUMBER

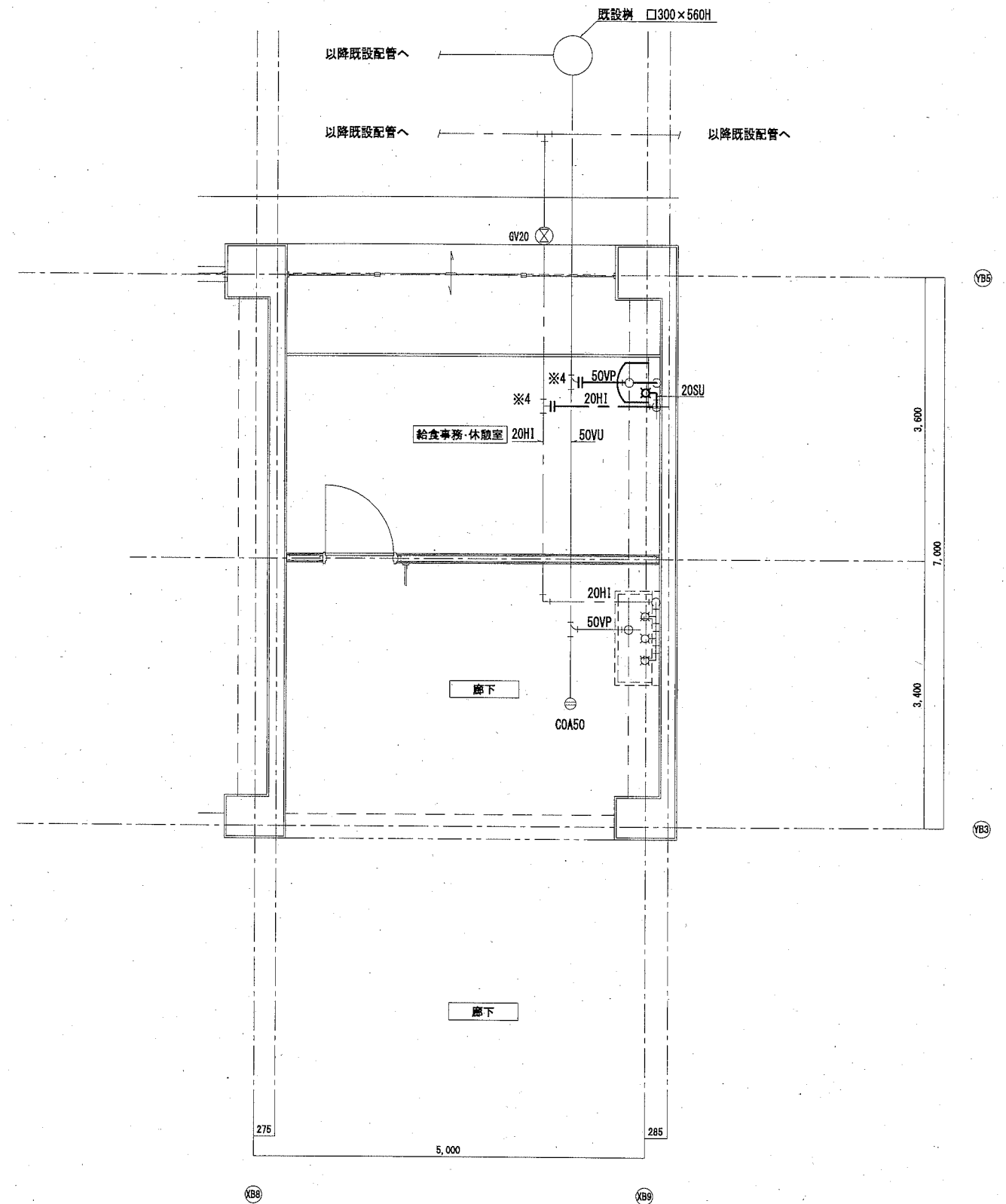
図面名称
ITEM OF DRAWING
衛生設備 A棟1階放送室平面図
縮尺 1 : 50
DRAWING NUMBER

改修前



衛生設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図 (改修後)

公共建築課長 主査等 担当者



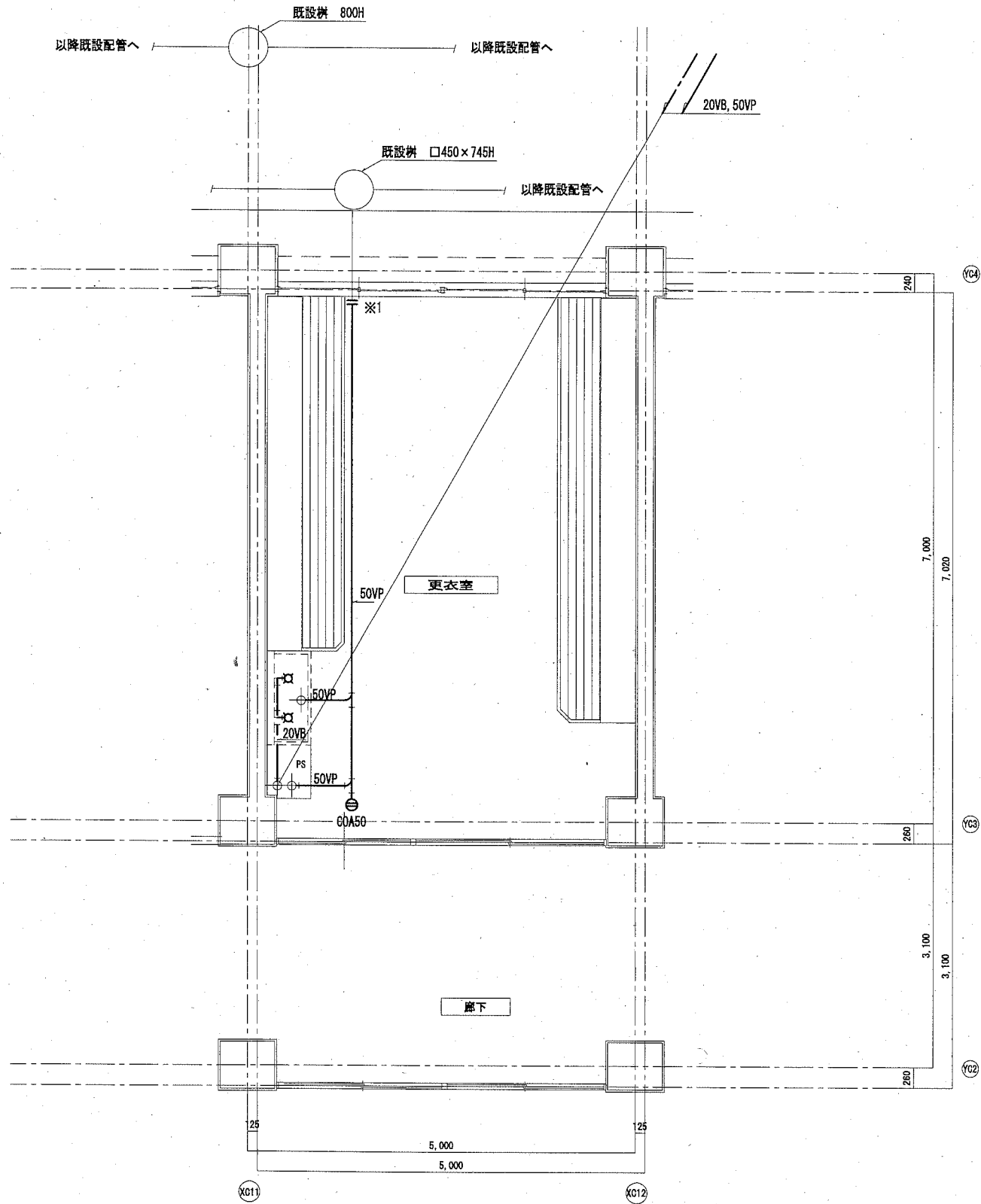
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
市立黒塚中学校ほか1校昇降機設置工事の施工
PROJECT NUMBER
(黒塚中学校)

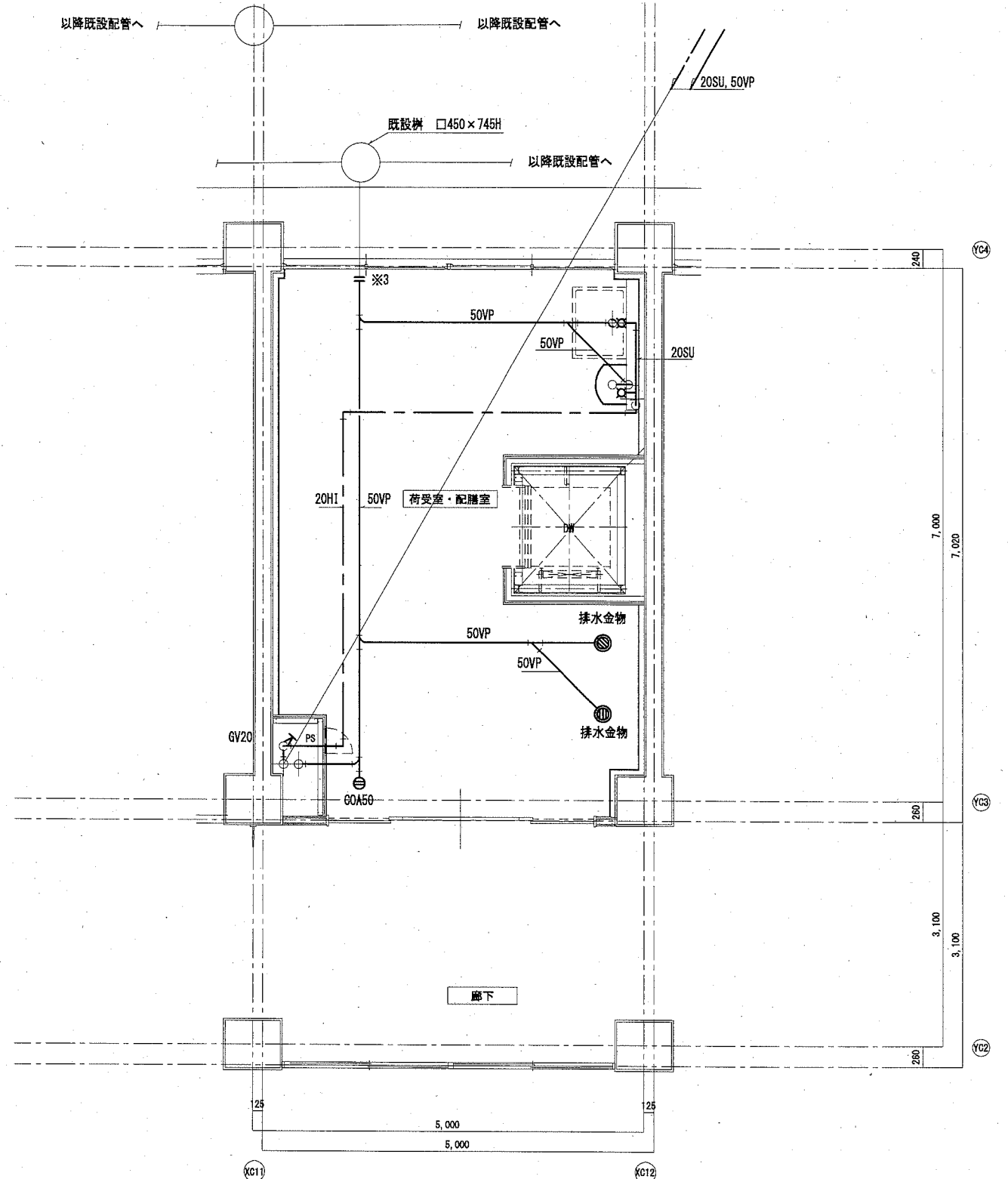
図面名称
衛生設備 B棟1階給食事務・休憩室平面図
DRAWING NUMBER
縮尺 1 : 50
SCALE

改修前



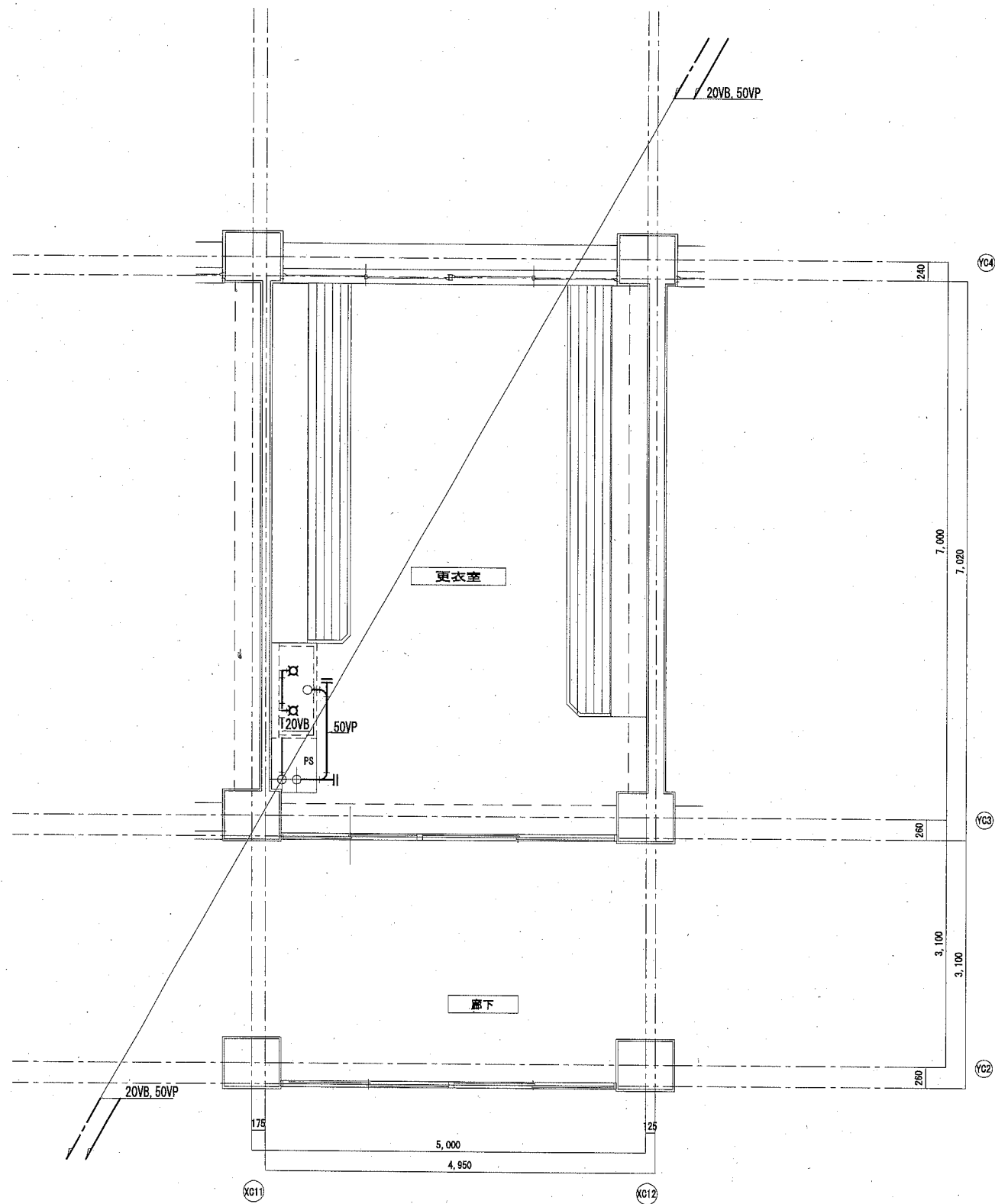
衛生設備 C棟1階荷受室・配膳室平面図 (改修前)

改修後



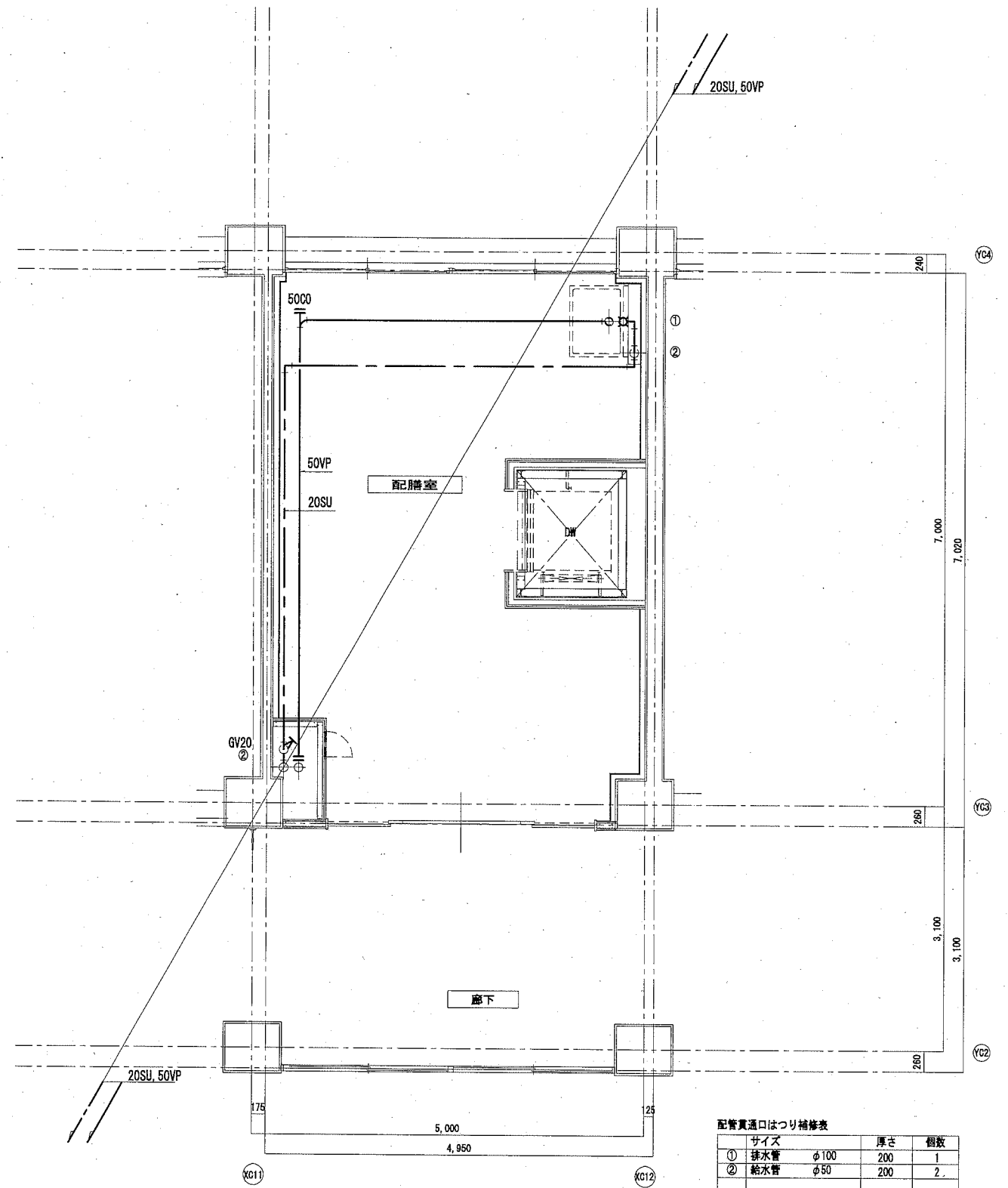
衛生設備 C棟1階荷受室・配膳室平面図 (改修後)

改修前



衛生設備 C棟2階配膳室平面図図 (改修前)


改修後



衛生設備 C棟2階配膳室平面図図 (改修後)

配管貫通口はつり補修表

	サイズ	厚さ	個数
①	排水管 φ100	200	1
②	給水管 φ50	200	2

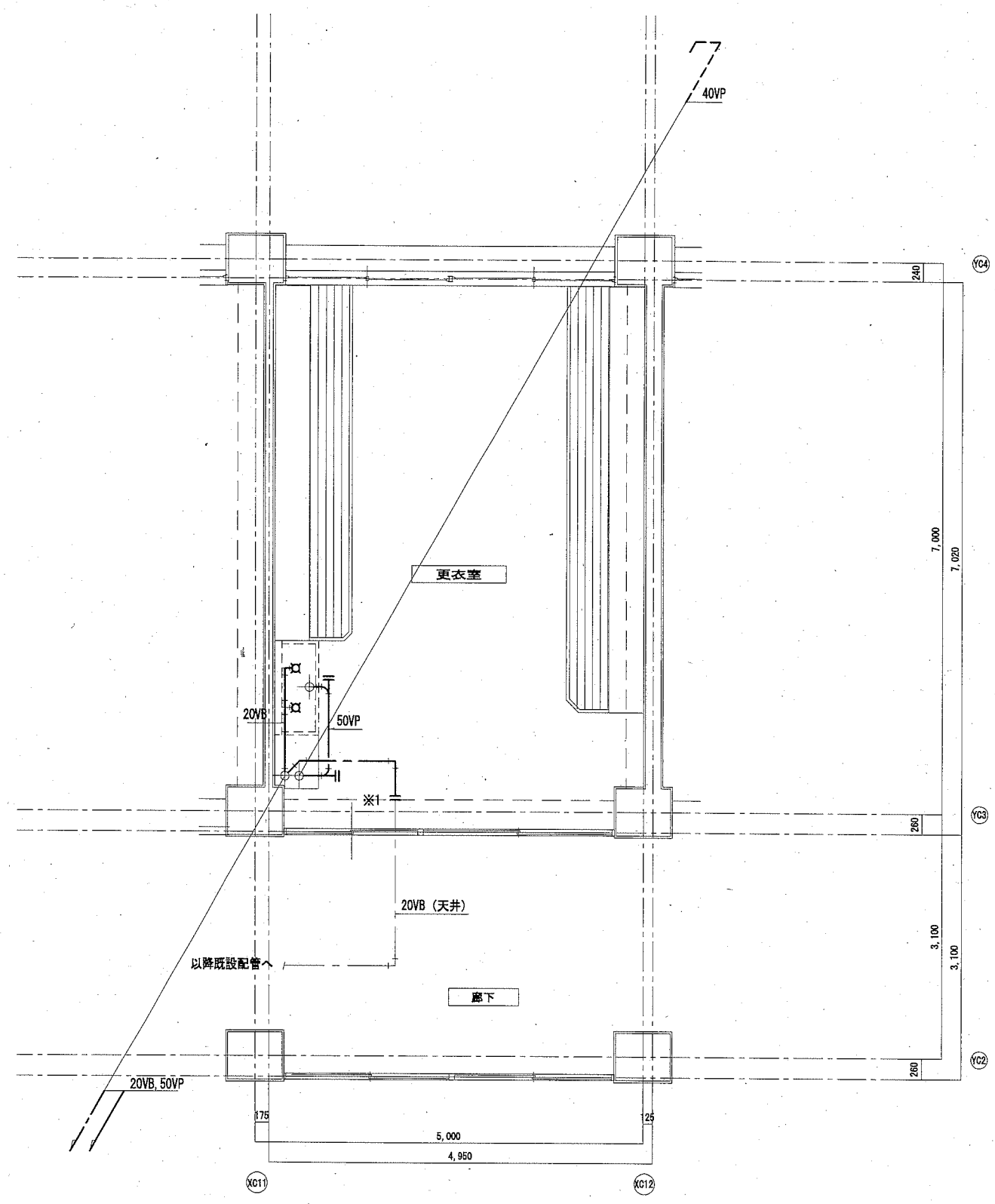
公共建築課長

 主査等
 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和 2年 2月

設計名称
 市立高畑中学校ほか1校昇降機設置工事
 (鶴居中学校)
 PROJECT NUMBER

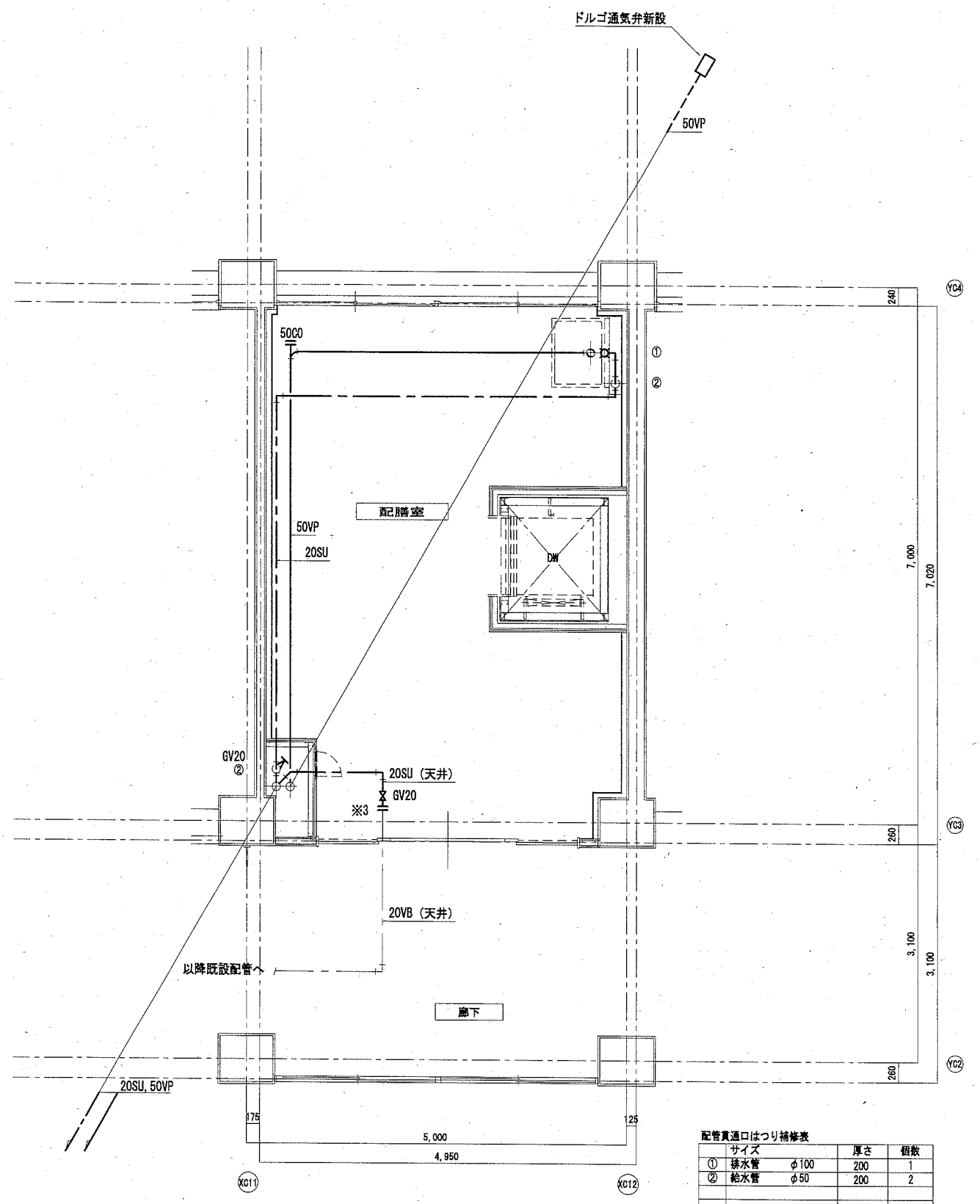
図面名称
 衛生設備 C棟2階配膳室平面図
 縮尺 1 : 50
 DRAWING NUMBER

改修前



衛生設備 C棟3階配膳室平面図 (改修前)

改修後



衛生設備 C棟3階配膳室平面図 (改修後)

配管貫通口はつり補修表

サイズ	厚さ	個数
① 排水管 φ100	200	1
② 給水管 φ50	200	2

※給水管の異種管接続には電蝕防止継手を用いること。